

武蔵野市 公共施設白書



平成 23 年 9 月
武蔵野市

武蔵野市公共施設白書 目次

はじめに（公共施設白書作成の背景と目的）	1
----------------------	---

第1章 武蔵野市の概要

1. 市の概況	3
2. 市の人口状況	4
3. コミュニティ地区の人口状況	7

第2章 市の財政状況と保有する資産の状況

1. 財政状況	11
2. 保有する資産の状況	13
3. 今後の施設整備にかかるコスト試算	20

第3章 用途別実態把握

1. コスト情報とストック情報の把握	23
2. 公共施設の配置状況	24
3. 主な施設の実態把握	24
(1) 市庁舎等施設（市政センター・市役所市民課）	31
(2) 文化・集会施設	
ア 図書館	43
イ 文化・集会施設	57
(3) コミュニティセンター	74
(4) 学校教育施設	
ア 小学校・中学校	91
イ 地域子ども館 あそべえ	115
ウ こどもクラブ（学童クラブ）	124

(5) 子育て支援施設	
ア 保育園・幼稚園	134
イ 児童館	145
ウ 0123施設	152
(6) スポーツ施設	158
(7) 健康・福祉施設	
ア 福祉施設	168
イ 保健センター	185

※1 本白書では、推移を除いて「平成21年度」データを基本に調査を行っています。

※2 本白書では、次のような端数処理をしています。

- ・ 文章中の合計数値は、「億円」「万円」で記載しているため、グラフ等の数値と一致しないことがあります。「約」を付けずに標記している場合があります。
- ・ 図及び表のデータ数値は、端数処理をしているため、合計と一致しない場合があります。

※3 人件費の算出にあたっては、原則として、事務事業評価で用いている「平均給与」から算出しています。

はじめに（公共施設白書作成の背景と目的）

武蔵野市は昭和 22 年に市制を施行し、昭和 46 年に武蔵野市基本構想・長期計画を策定するなど、計画行政のもとで、早期から都市基盤を整備し、公共施設（本書では市所有若しくは管理する建物を指す）を効果的に配置してきました。

第一期の基本構想・長期計画の策定から 40 年が経過し、大きなストックとなった公共施設の横断的管理と、老朽化に対応する計画的整備の必要性から、平成 12 年度の武蔵野市第三期長期計画・第二次調整計画に「公共施設の計画的整備」を掲げ、防災性能を確保する耐震改修や、建物の長寿命化の前提となる劣化保全整備を進めてきました。その結果、ほぼ全ての公共施設が新耐震基準に適合し、劣化保全整備についても、長期修繕計画を基とした予防保全のノウハウを培うとともに、平成 17 年度からは独自の事業として確立しました。今後はバリアフリーやユニバーサルデザインなどの福祉性能、省エネルギー、省 CO₂ や地球環境問題などの環境性能、避難安全に係る既存不適格などの安全性能などを、改良保全として展開していきます。

本市では、このように公共施設の「質の見直し」から取り組んできましたが、併せて「量の見直し」に取り組む必要があります。税制改正や少子高齢社会の進展による生産年齢人口の減少など、将来の税収の予測が難しくなる一方で、都市基盤のリニューアルや扶助費の増加など財政負担が大きくなると予想されます。公共施設についても、将来の建替えも含めた既存ストックの維持に、多くの費用が必要になるため、総量抑制が検討されています。今後は、長期的な視点で「質・量の見直し」を行い、公共施設の適正配置を進めていく必要があります。

そこで、本書は、市全体の財政状況、資産状況を確認した上で、公共施設の改修、建替えについて、将来コストシミュレーションを行うとともに、市民への直接的なサービスとそれを提供する施設を対象に、用途ごと、施設ごとの利用状況、コスト状況、ハード状況を「見える化」し、公共施設の実態を横断的に把握することで、「質・量の見直し」の議論に資することを目的としています。

第1章 武蔵野市の概要

1.市の概況

2.市の人口状況

3.コミュニティ地区の人口状況

第1章 武蔵野市の概要

1. 市の概況

武蔵野市は副都心新宿から電車で20分、距離にして約12kmの至近に位置するとともに、東京都特別区の西部に接し、多摩地域との結節点にあります。市域は東西6.4km、南北3.1km、面積は10.73km²、地形は総体的に平坦になっています。狭い市域に3つの駅があり、駅勢圏ごとにみると、都内有数の商業地を有する吉祥寺圏、文化・スポーツ施設や市役所などの行政機関がある中央圏、緑豊かで大学や医療施設が集まる武蔵境圏という特徴があります。人口は13万5,065人、人口密度は12,588人/km²で全国の市の中では2位（2010市勢統計）と非常に高く、隣接市区も全国的にみて人口密度の高い地域となっています。

市民の担税力は大きく歳入約605億円の26%程度が個人市民税、23%程度が固定資産税によるものです（平成21年度決算）。

図1-1-1 武蔵野市の位置



面積	10.73km ² （775位／786市）
広がり	東西6.4km 南北3.1km
人口	135,065人（181位／786市）
人口密度	12,588人/km ² （2位／786市）
昼間人口指数 (昼間人口/夜間人口)	112（平成17年10月1日現在）

出典：市勢統計（平成22年度版）

2. 市の人口状況

(1) 人口の流出入状況（国勢調査 平成17年10月1日現在）

流出人口をみると、武蔵野市民のうち約5.1万人が昼間、通勤、通学で市外に出ています。そのうちの約3.6万人は千代田区、新宿区、港区などの区部へ移動しており、ベッドタウンとしての性質がみられます。

流入人口をみると三鷹市、杉並区、西東京市などの近隣市区などから約6.8万人が流入しています。昼間人口指数が112と多摩地区で最も高く、都市としての性質もみられ、複合的な生活核都市となっていることがわかります。

【1日あたりの鉄道乗降客数】

吉祥寺駅（JR、京王井の頭線）で延べ約43万人、三鷹駅（JR）で延べ約18万人、武蔵境駅（JR、西武多摩川線）で延べ15万人の乗降客があります。

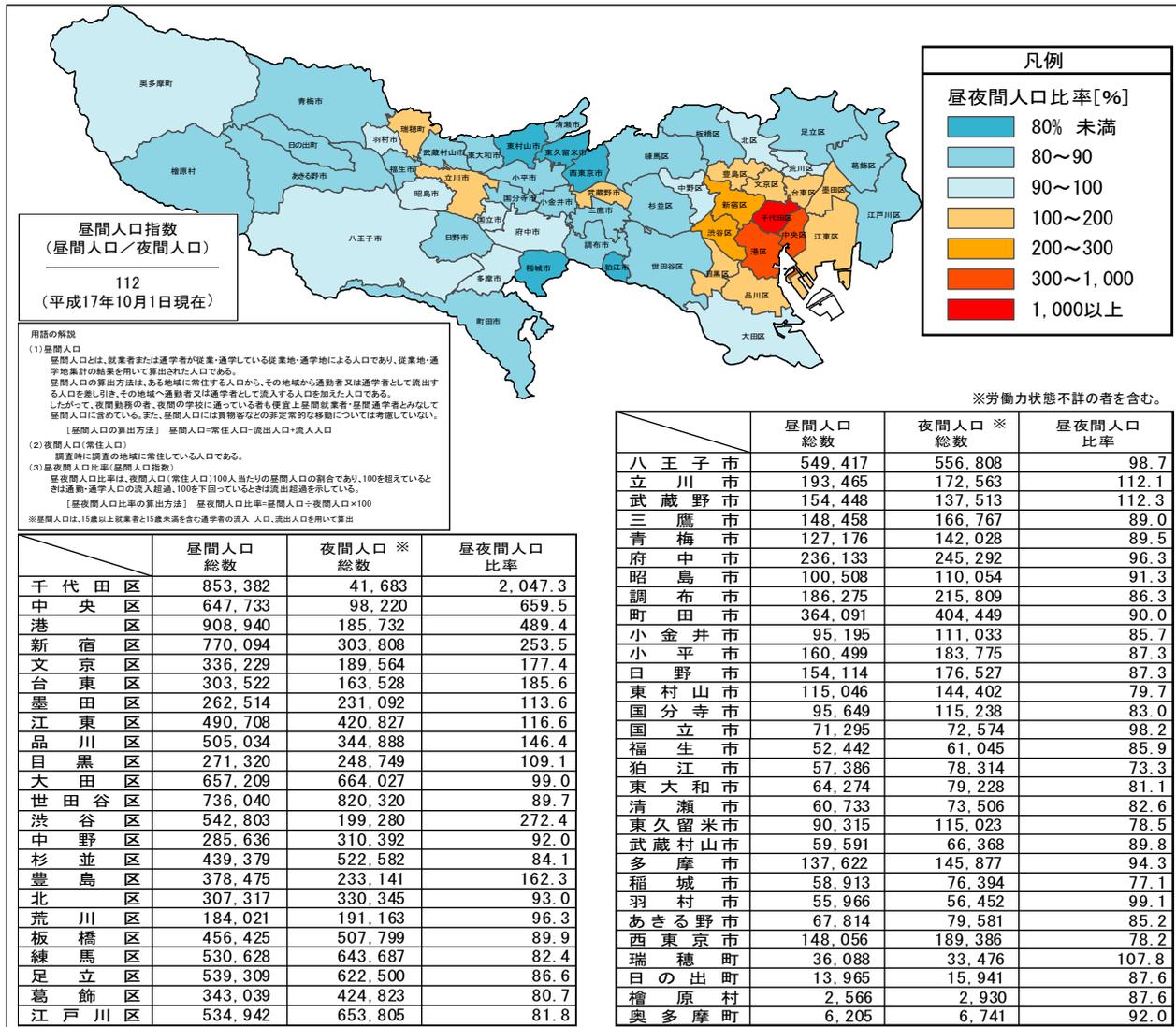
図表 1-2-1 武蔵野市の流入人口

(人)

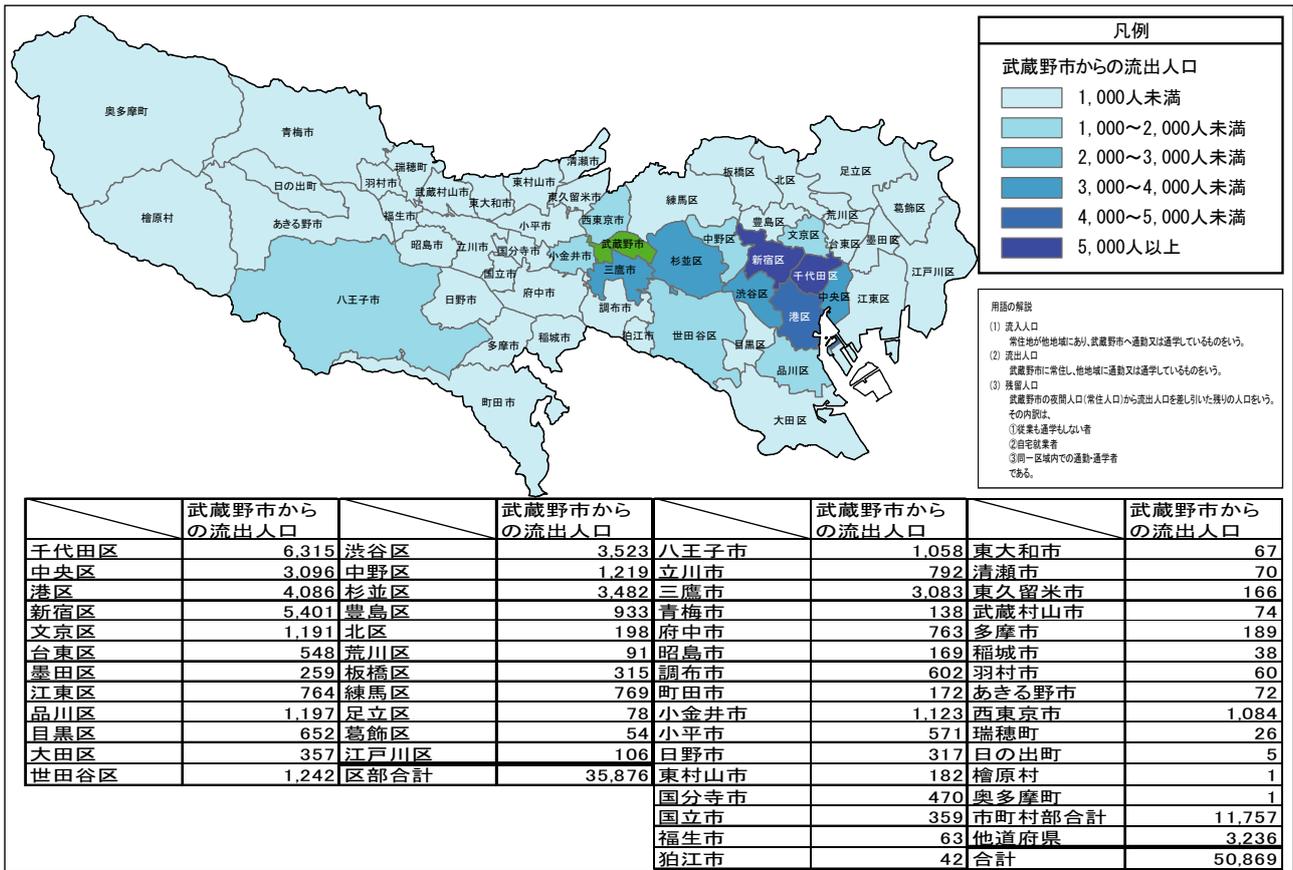
武蔵野市への流入人口			武蔵野市からの流出人口			残留人口※
総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者	
67,804	49,933	17,871	50,869	43,049	7,820	86,644

※労働力状態不詳の者も含む

図表 1-2-2 昼間人口

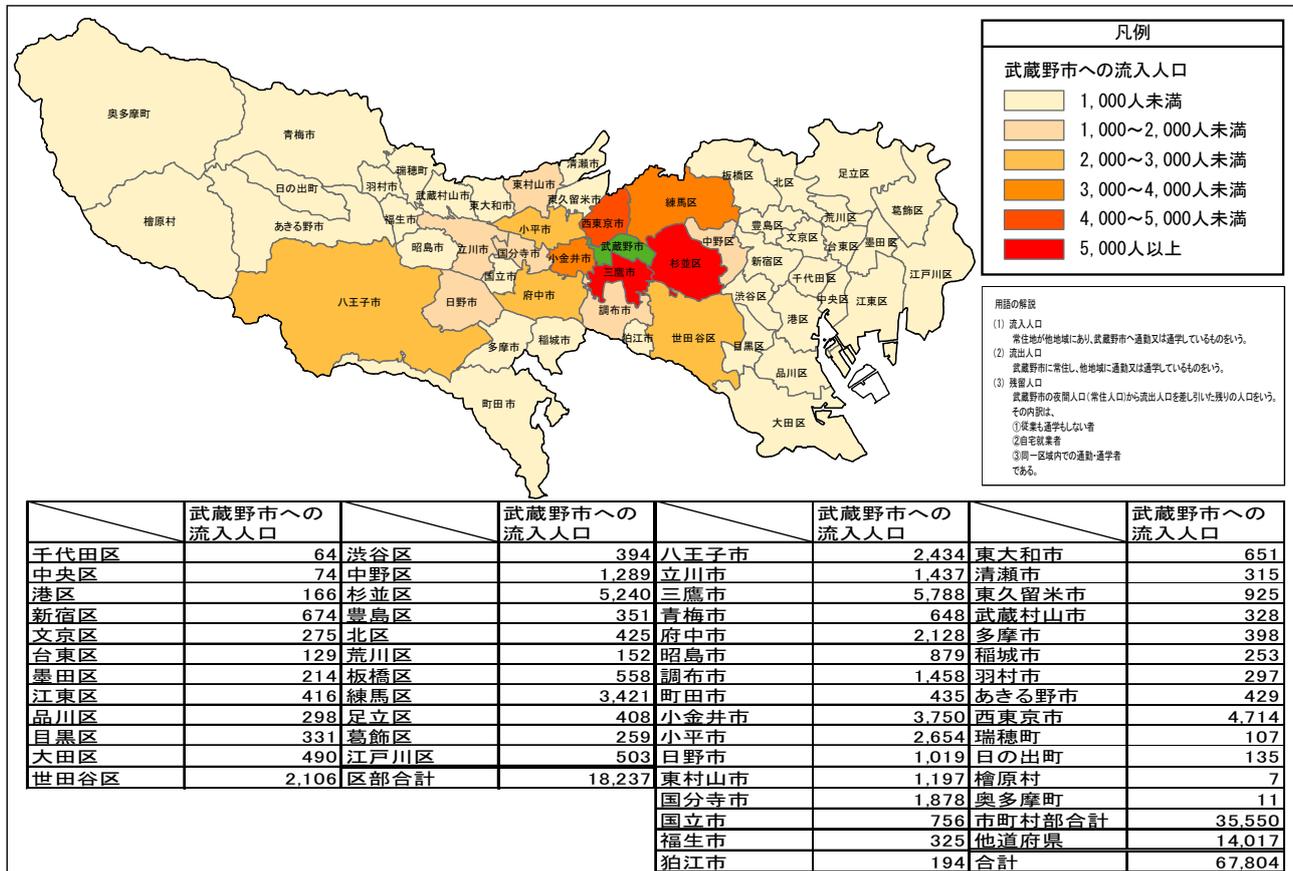


図表 1-2-3 武蔵野市からの流出口



出典：武蔵野市地域生活環境指標（平成21年版）

図表 1-2-4 武蔵野市への流入人口



出典：武蔵野市地域生活環境指標（平成21年版）

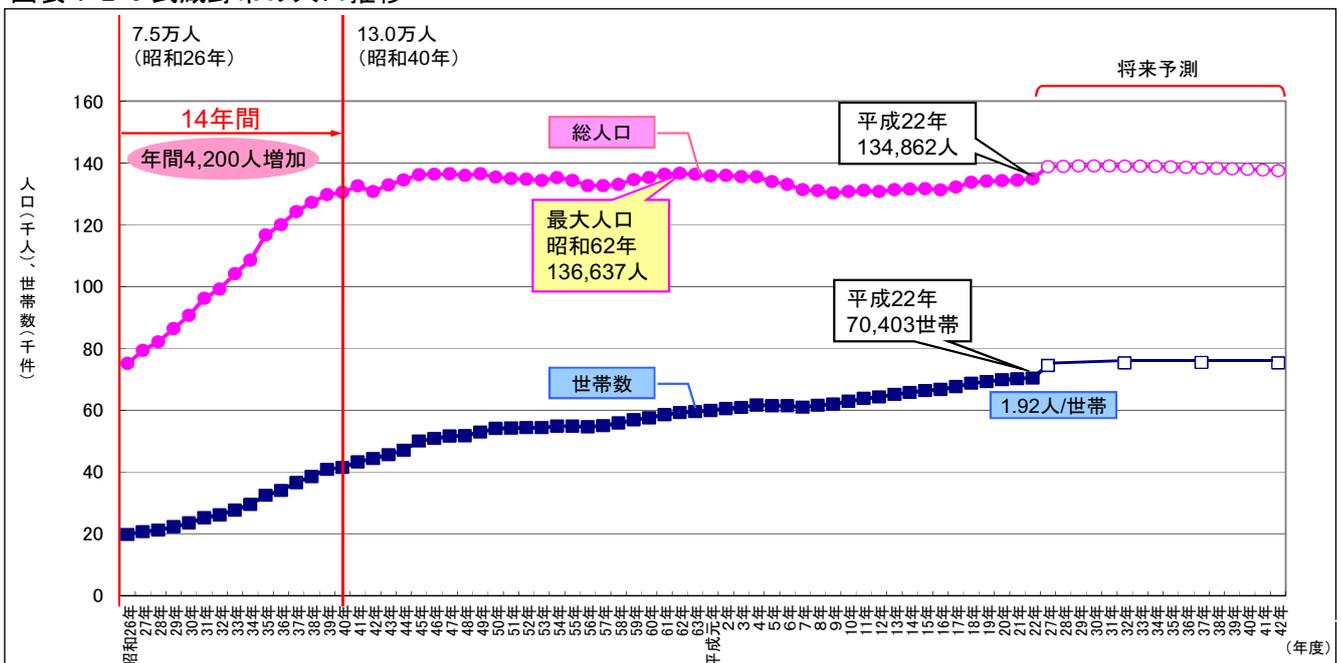
(2) 市全体の人口推移と人口構成

昭和26年の人口は75,082人でしたが、宅地化により急速に増加し、昭和33年には10万人、昭和40年には13万人を超え、その後増加が鈍化し、13万人半ばで現在まで推移しています。一方、世帯数は現在まで増加を続け、1世帯当たりの人数は2人に満たなくなっています。

将来人口は平成30年頃に13万9000人程度まで増加し、その後は減少傾向が見込まれます。

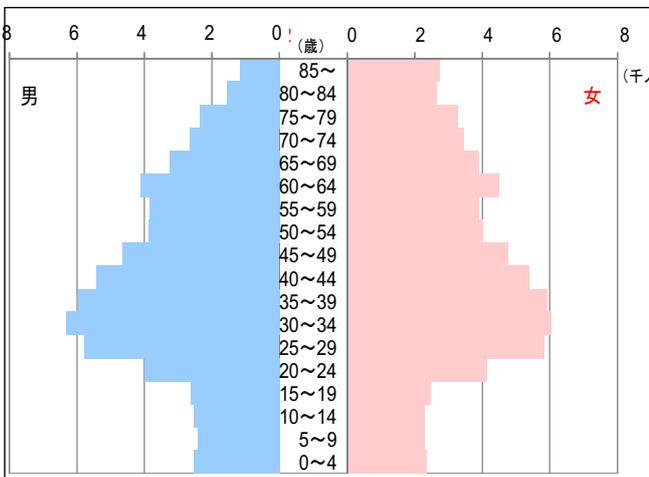
平成42年の人口構成をみると、団塊の世代が80歳を越え、ますます少子高齢化が進むことがわかります。人口構成のピークは平成22年の30代から、平成42年には50代へと変化しています。また、平成42年には40代後半から60代にかけて山となっており、大きく高齢化が進む前段階となっていることがわかります。将来、単身世帯の増加、子ども施設、福祉施設の需要の変化が予測されます。

図表 1-2-5 武蔵野市の人口推移

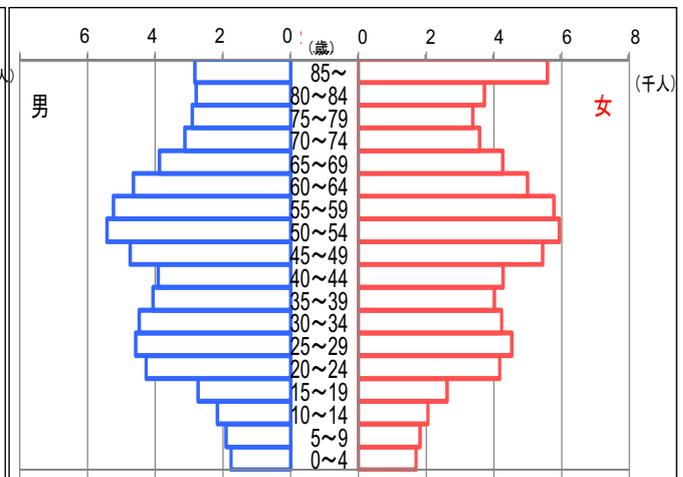


出典：平成21年度版武蔵野市地域生活環境指標、武蔵野市の将来人口推計（平成22年度～平成42年度）

図表 1-2-6 平成22年の人口構成



図表 1-2-7 平成42年の人口構成



出典：「武蔵野市の将来人口推計」

3. コミュニティ地区の人口状況

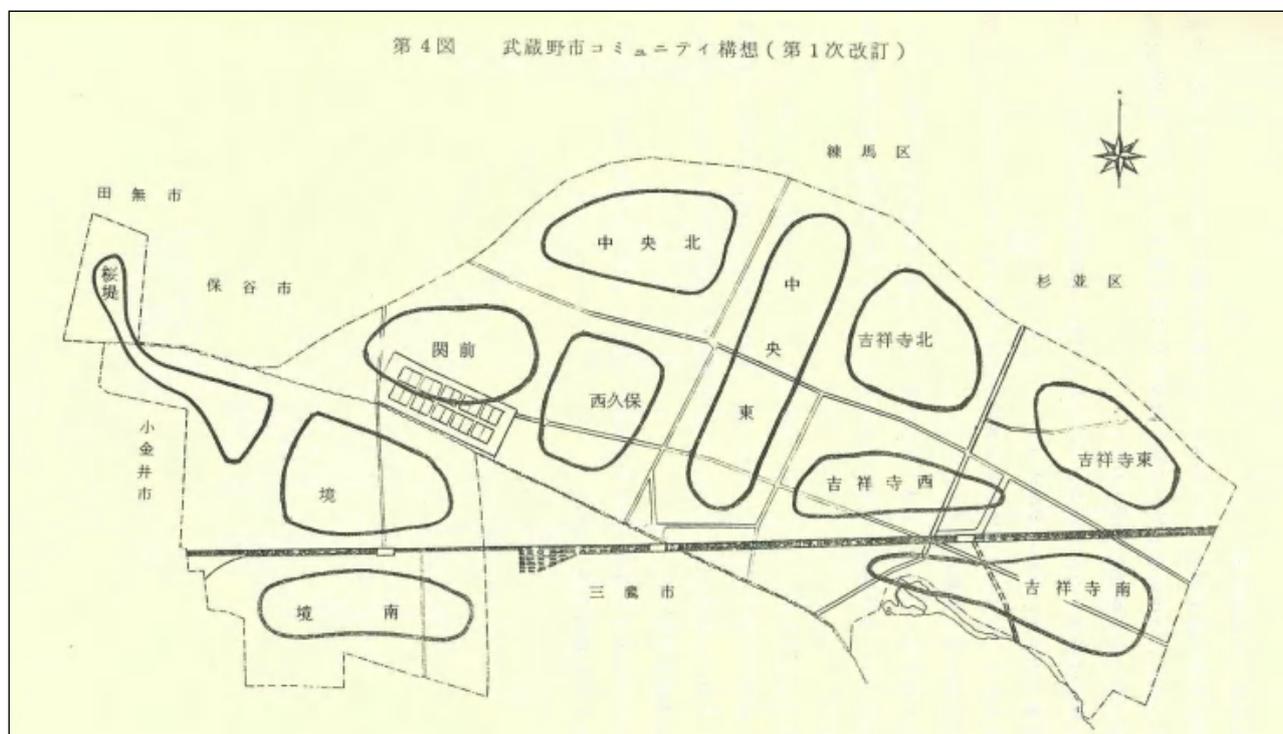
(1) コミュニティ地区の考え方

武蔵野市では、昭和46年の武蔵野市基本構想・長期計画で示された考え方を継承し、公共施設を配置してきました。その基本となる考え方は、市民の生活空間を、地域生活単位としての「コミュニティレベル」、より広い交流を図る場としての三駅の「駅勢圏レベル」、さらに市域全域を対象とする「市全域レベル」の三層のレベル（三層構造）を想定し、どのレベルに配置すべき施設であるかを位置づけた上で計画的に配置していくというものです。さらに、公共施設の設置にあたっては単一目的の施設建設をできるだけ避けるとともに、民間施設の活用も積極的に図るという考えです。この考え方によって、コミュニティセンターや図書館をはじめとする市民施設が効率的、効果的に配置されてきました。

地域生活単位としてのコミュニティ地区は、昭和46年にコミュニティ構想によって、ある程度の広がりをもつ8つのコミュニティとして想定されました。その後コミュニティ市民委員会によって11コミュニティに修正されたのを受け、市の第一期長期計画・第一次調整計画においても、その考えを踏襲しています。その後20館のコミュニティセンターが設置されていますが、コミュニティ構想に改訂はなく現在に至っています。

公共施設白書では、公共施設配置の現状を表した地域実態マップの作成や今後の行政需要の動向を探る資料とする人口推計においては、三層構造の考え方を踏まえるとともに、便宜的にコミュニティ地区の区分によって行っています。

図表はじめに 1-3-1 第一期基本構想・第一次調整計画（昭和49～53年度）におけるコミュニティ地区



(2) コミュニティ地区の人口推移と人口構成

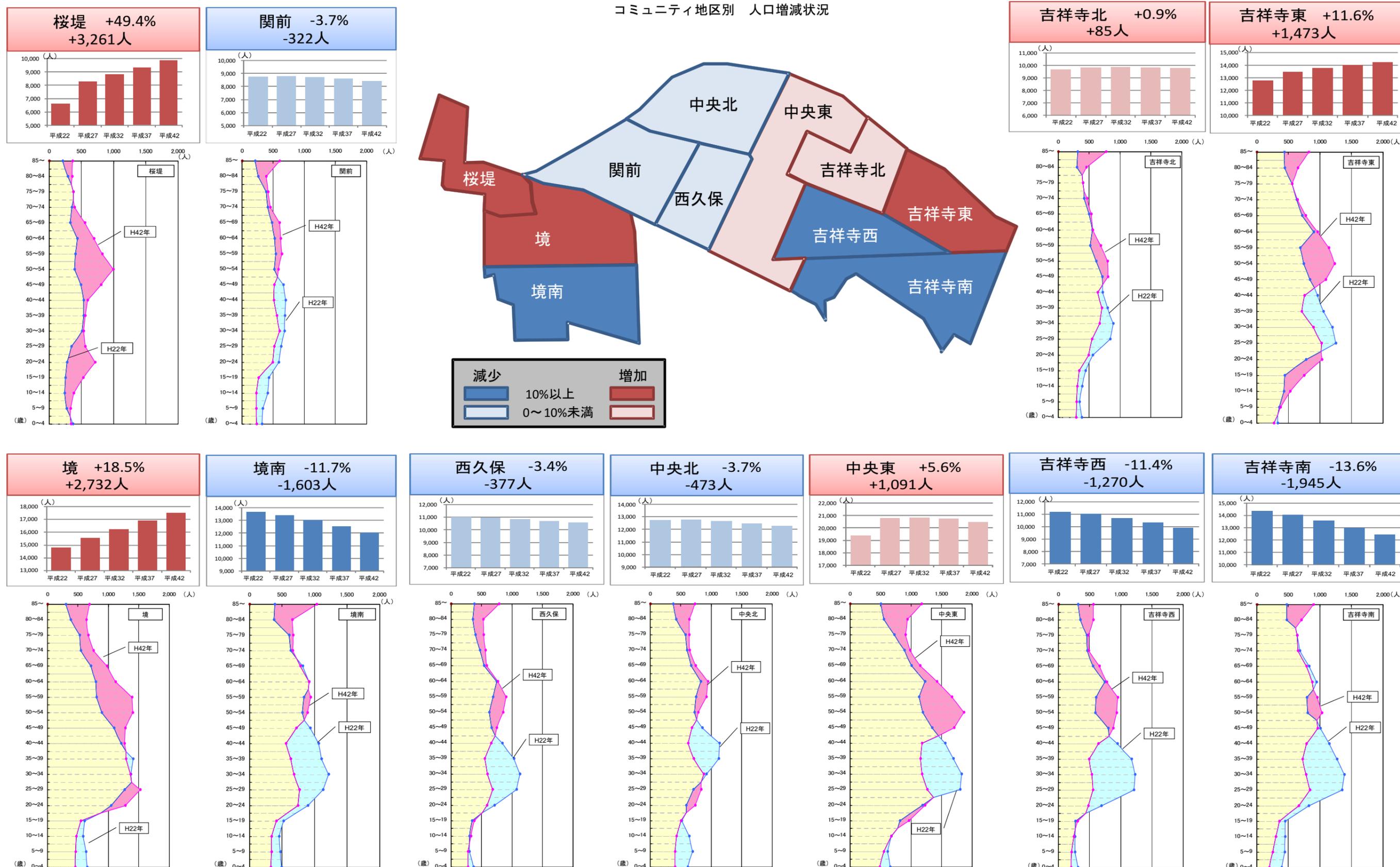
市域全体の人口は平成 30 年頃まで微増傾向となり、その後減少傾向となります。コミュニティ地区ごとの人口推移をみると、地区により違いが明らかになります。

人口減少傾向と予測されるのは吉祥寺南、吉祥寺西、中央北、西久保、関前、境南地区です。特に吉祥寺南、吉祥寺西、境南の 3 地区では平成 42 年には、平成 22 年に比べ 10%程度の減少が予測されます。一方で人口増加傾向と予測されるのは吉祥寺東、吉祥寺北中央東、境、桜堤地区です。吉祥寺東、境地区で 10~20%程度の増加、桜堤地区では 50%程度と大きな人口増が予測されています。

中期的には、地域により人口の増減に偏在が見られ、特に桜堤地区などは行政ニーズの変化を見極める必要があります。

人口構成の変化を見ると、全ての地区で、80 歳以上の人口が増加しています。

図表 1-3-2 コミュニティ地区別の人口推移



第2章 市の財政状況と保有する資産の状況

1.財政状況

2.保有する資産の状況

3.今後の施設整備にかかるコスト試算

第2章 市の財政状況と保有する資産の状況

1. 財政状況

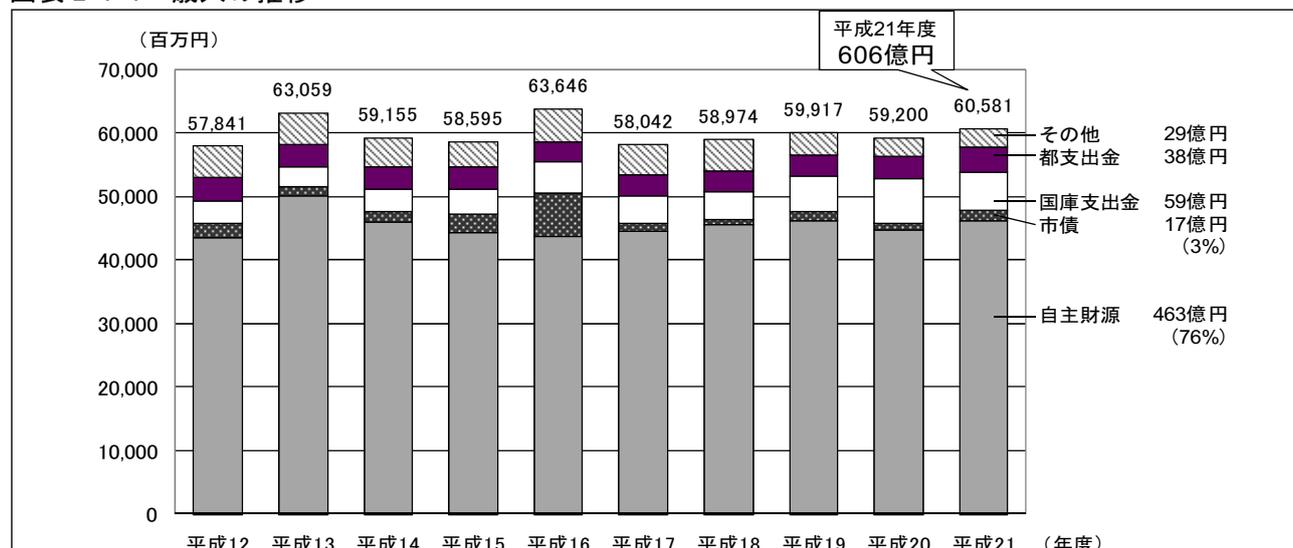
(1) 歳入

平成13年度は法人市民税が一時的に伸びたこと、また平成16年度は市債（減税補てん債）の借換えにより、630億円程度となりましたが、概ね570～600億円程度で推移しています。

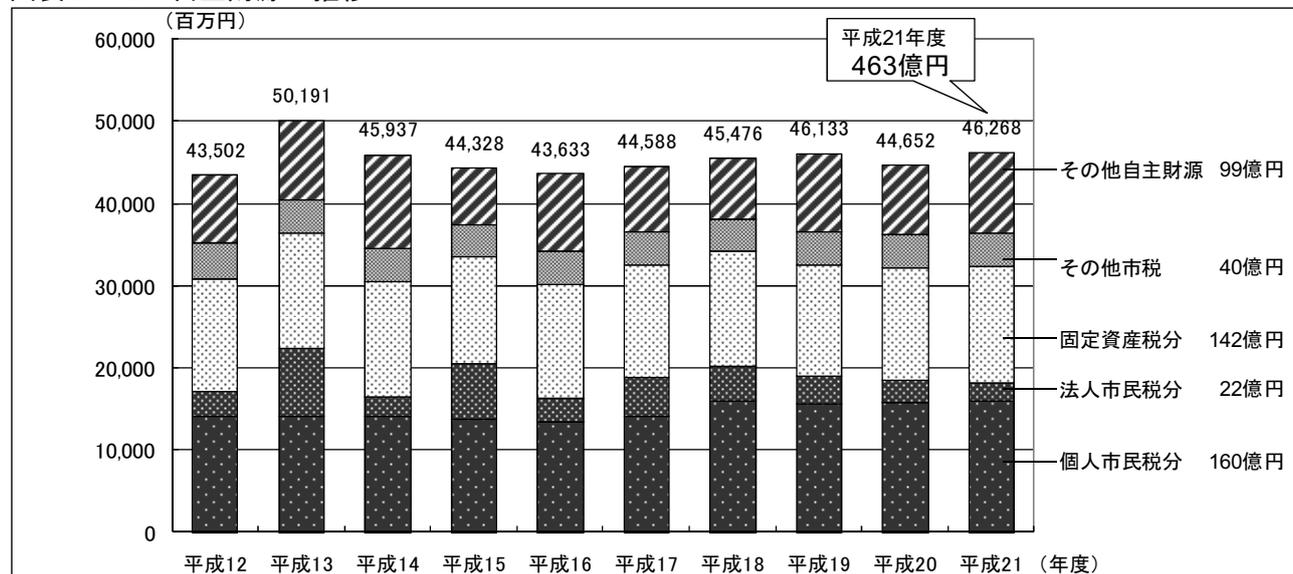
平成21年度の内訳では歳入の約76%を自主財源が占めています。さらに自主財源の内訳を図表2-1-2で見ると、平成21年度は、個人市民税が約35%、法人市民税が約5%、固定資産税が約31%となっています。個人市民税、固定資産税が自主財源の約65%を占め、法人市民税の割合が少ないことから、歳入が短期的な景気の影響を受けにくいことがわかります。ここ10年間の推移をみると、平成13、15、17、18年度は法人市民税額が一時的に伸びています。

財政基盤の強さや余裕度を示す財政力指数は1.605（多摩26市平均1.064）（武蔵野市の年次財務報告書 平成21年度版）で、基準となる1.0を大きく上回り、他の団体に比べ財政的に良好ということが伺えます。しかし、今後は税制改正や少子高齢化による生産年齢人口の減少などの影響もあり歳入面で厳しくなることが予想されます。

図表2-1-1 歳入の推移



図表2-1-2 自主財源の推移



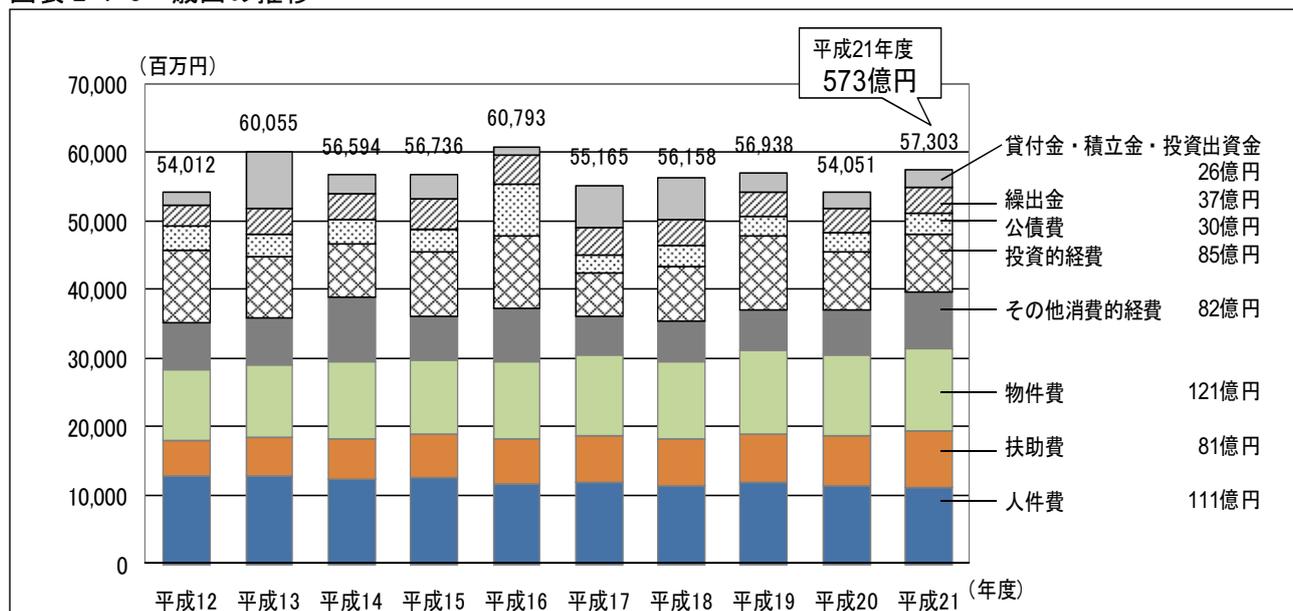
(2) 歳出

平成13年度及び平成16年度に600億円程度となりましたが、概ね540-570億円程度で推移しています。平成13、15、17、18年度は、歳入の法人市民税が伸びたため、基金への積立金が大きくなっています。

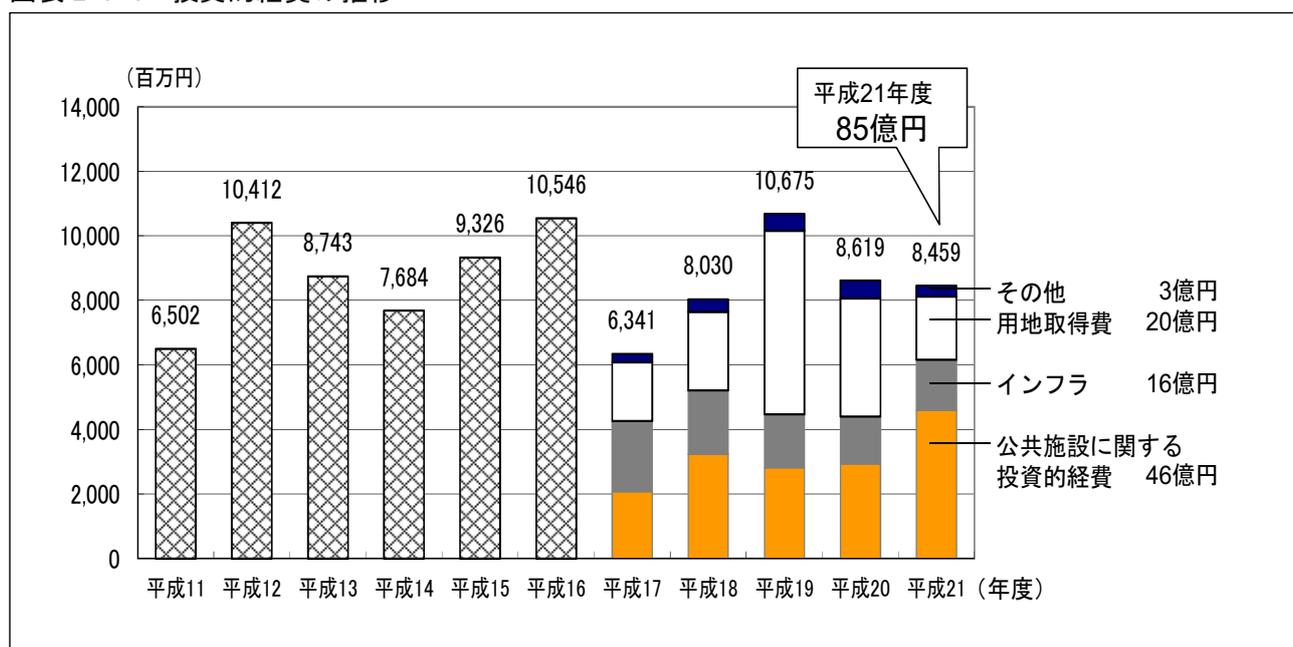
平成21年度における人件費の割合は約19%で、ここ10年間に歳出総額比で4.0ポイント下がっています。扶助費は約14%で、ここ10年間に歳出総額比で4.3ポイント上がり、今後も扶助費の増加傾向が続くと考えられ、財源の確保が必要です。

投資的経費は支出の効果が長期にわたる経費で、主に道路等のインフラや公共施設等の新設・改修などの費用です。63億円から107億円程度で推移しています。

図表 2-1-3 歳出の推移



図表 2-1-4 投資的経費の推移



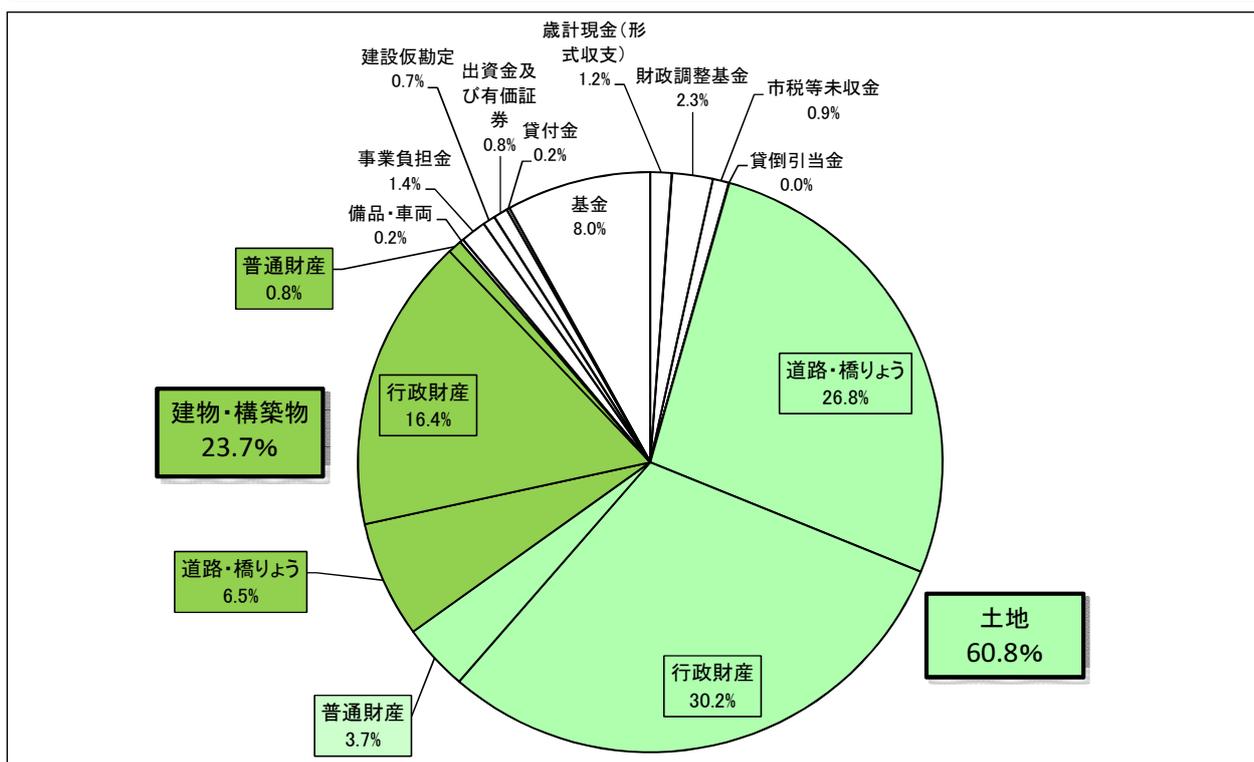
2. 保有する資産の状況

(1) 保有する資産の状況

地方自治体の資産は、一般的に土地、建物・構築物が大半を占めます。武蔵野市も同様に資産のうち、土地が約61%、建物・構築物が約24%を占めており、有効活用しなければなりません。

図表 2-2-1 保有する財産の状況一覧

区 分		取得価額（千円）	比率	
流動資産	歳計現金(形式収支)	3,278,376	1.2%	
	財政調整基金	6,260,368	2.3%	
	市税等未収金	2,407,125	0.9%	
	貸倒引当金	△ 110,489	0.0%	
固定資産	土地	道路・橋りょう	74,094,224	26.8%
		行政財産	83,425,411	30.2%
		普通財産	10,275,985	3.7%
	建物・構築物	道路・橋りょう	17,974,645	6.5%
		行政財産	45,274,507	16.4%
		普通財産	2,154,691	0.8%
	備品・車両	536,521	0.2%	
	事業負担金	3,962,229	1.4%	
	建設仮勘定	1,871,705	0.7%	
投資その他	出資金及び有価証券	2,211,481	0.8%	
	貸付金	432,924	0.2%	
	基金	22,126,480	8.0%	
財産合計		276,176,183		
内、固定資産の土地・建物		233,199,463	84.4%	



出典：武蔵野市の年次財務報告書（平成 21 年度版）

(2) 500 m²以上の未利用地の状況

本白書では、建物を対象として実態把握を行っていますが、市の資産の大半を占める土地の中で、500 m²以上の低・未利用地の状況についても整理をします。

500 m²以上の低・未利用地が9ヶ所あります。市内に8ヶ所、山梨県富士吉田市に1ヶ所となっています。

また、土地開発公社所有の低・未利用地は6ヶ所で、吉祥寺地域に集中しています。

図表 2-2-2 市所有の低・未利用地一覧（500 m²以上）（平成 21 年度）

施設名	住居表示	台帳地積(m ²)
1 下水道ポンプ場跡	吉祥寺東町四丁目9番1号ほか	2,099.87
2 (旧)西久保住宅跡地 *1	西久保二丁目440番5号ほか	843.44
3 (旧)千川小学校プール *2	八幡町三丁目349番3号ほか	849.66
4 (旧)中央図書館	吉祥寺北町四丁目1391番23号	2,066.20
5 (旧)武蔵境駅北口自転車駐車場	境一丁目541番4号の内他	662.72
6 旧西久保保育園跡地	西久保三丁目46番16号	603.85
7 都市計画諸用地(西久保3-106-1)	西久保三丁目106番1号	1,412.15
8 代替用地(西久保1-278-6)	西久保一丁目8番	572.69
9 旧富士高原ファミリーロッジ跡地 *3	山梨県富士吉田市上吉田字熊穴4565番4号	16,162.00

出典：平成 21 年度 財産に関する調査

*1 道路整備に伴い、平成 22 年度に一部敷地を道路用地に変更

*2 八幡町コミュニティセンター建設予定地

*3 平成 22 年度に売却済み

図表 2-2-3 土地開発公社所有の低・未利用地一覧（500 m²以上）（平成 21 年度）

区分	所在地	台帳地積
1 吉祥寺駅周辺再整備のための種地 *1	吉祥寺東町1-530-5 外1筆	851.41
2 公共用地	吉祥寺本町3丁目2877番7,8,14	1,813.53
3 公園用地等 *2	吉祥寺東町1-354-1 外5筆	3,181.59
4 公園用地	吉祥寺南町4-2418-1	2,791.19
5 公園・緑地用地 *1	吉祥寺北町2-772-28、861-7	1,661.49
6 諸用地	吉祥寺東町1-531-5	1,933.33

出典：土地開発公社ホームページ

*1 平成 22 年度に市へ売却済み

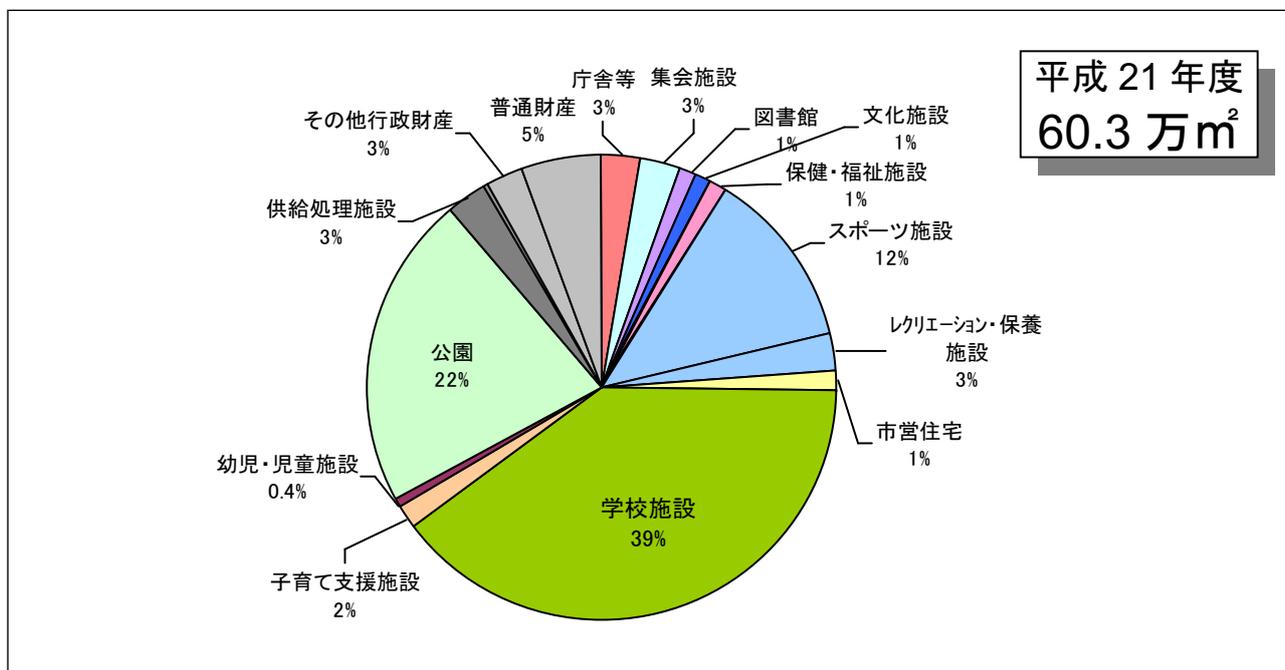
*2 平成 22 年度に市へ一部売却済み

(3) 保有する土地・建物の内訳

■ 土地

土地面積の内訳をみると学校施設が約39%、公園が約22%を占めています。

図表 2-2-4 利用目的別の土地面積の内訳

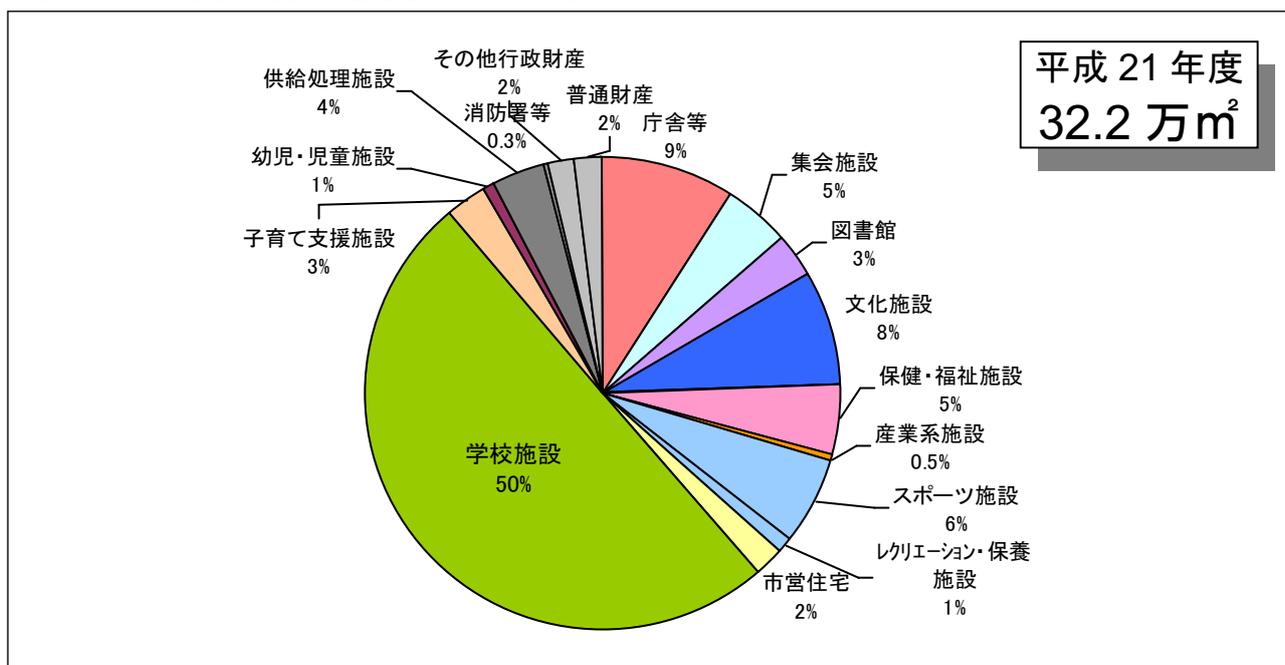


出典：平成21年度 財産に関する調査

■ 建物

延床面積の内訳をみると学校施設が50%を占めています。

図表 2-2-5 利用目的別の建物延床面積の内訳



出典：平成21年度 財産に関する調査

(4) 施設課で管理している施設一覧

市で所有している施設のうち、施設課で管理している施設は下表の通りです。

図表 2-2-6 施設課で管理している施設一覧（平成23年度） 用途別実態把握(3章)の対象施設

施設名(棟別)	所在地	竣工年度	建物階数	延べ面積(m ²)
境南コミュニティセンター	境南町3-2-2-9	昭和50年度	地上3階	1,602.88
西久保コミュニティセンター	西久保1-2-3-7	昭和51年度	地下1階地上2階	1,433.77
吉祥寺東コミュニティセンター	吉祥寺東町1-1-2-6	昭和52年度	地上1階	236.00
中町集会所	中町1-2-8-5	昭和52年度	地上2階	205.42
吉祥寺北コミュニティセンター	吉祥寺北町1-2-2-10	昭和53年度	地下1階地上2階	1,381.09
本町コミュニティセンター	吉祥寺本町1-2-2-2	昭和54年度	地上3階	507.02
八幡町コミュニティセンター	八幡町4-10-7	昭和54年度	地上2階	196.80
関前コミュニティセンター	関前2-2-6-10	昭和55年度	地上2階	782.70
関前コミュニティセンター分館	関前3-1-6-6	昭和46年度	地上2階	153.44
御殿山コミュニティセンター	御殿山1-5-1-1	昭和56年度	地上2階	601.66
中央コミュニティセンター	中町3-5-1-7	昭和49年度	地上3階	1,517.25
桜堤コミュニティセンター	桜堤3-3-1-1	昭和56年度	地上2階	344.38
吉祥寺南町コミュニティセンター	吉祥寺南町3-1-3-1	昭和57年度	地下1階地上2階	1,481.64
緑町コミュニティセンター	緑町3-1-1-7	昭和61年度	地上2階	534.48
西部コミュニティセンター	境5-6-2-0	昭和61年度	地下1階地上3階	1,499.70
吉祥寺西コミュニティセンター	吉祥寺本町3-2-0-1-7	昭和63年度	地下1階地上2階	911.68
吉祥寺西コミュニティセンター分館	吉祥寺本町4-1-0-7	平成3年度	地上1階	81.51
けやきコミュニティセンター	吉祥寺北町5-6-1-9	平成元年度	地上2階	576.20
本宿コミュニティセンター	吉祥寺東町3-2-5-2	平成3年度	地上2階	720.19
武蔵野公会堂	吉祥寺南町1-6-2-2	昭和38年度	地下1階地上5階	2,486.62
武蔵野芸能劇場	中町1-1-15-10	昭和58年度	地下1階地上4階	1,578.62
武蔵野市民文化会館	中町3-9-1-1	昭和59年度	地下1階地上5階	15,362.57
武蔵野スイングホール(会議室を含む)	境2-1-4-1	平成8年度	地下2階地上11階	1,992.33
吉祥寺美術館	吉祥寺本町1-1-1-5 FFビルA館	昭和45年	地上7階地下2階	1,008.98
吉祥寺シアター	吉祥寺本町1-3-3-2-0	平成16年度	地上3階	1,431.45
松露庵	桜堤1-4-2-2	昭和15年度	地上1階	99.90
かたらいの道市民スペース(平成22年度開館)	中町1-1-1-1-6	平成21年度	-	141.78
消防団第1分団	吉祥寺南町5-2-1-4	昭和51年度	地上2階	146.01
消防団第2分団	吉祥寺本町1-2-7-2	昭和46年度	地上2階	73.68
消防団第3分団	御殿山1-6-1-1	昭和63年度	地上1階	91.00
消防団第4分団	北町1-1-9-1	昭和53年度	地上3階	108.77
消防団第5分団	北町3-5-2-2	平成14年度	地上2階	127.81
消防団第6分団	西久保3-1-6-7	昭和43年度	地上2階	118.44
旧消防団第7分団	八幡町3-6-2-0	昭和41年度	地上2階	123.94
消防団第7分団	関前3-11-7	平成19年度	地上2階	118.50
消防団第8分団	境3-1-7-1-1	昭和53年度	地上2階	130.11
消防団第9分団	桜堤2-1-2-1	平成9年度	地上2階	126.80
消防団第10分団	境南町2-1-9-1-3	昭和48年度	地上2階	126.20
関前被災者一時収容施設	関前3-2-1-2	昭和58年度	地上2階	52.80
市庁舎東棟・南棟	緑町2-2-2-8	昭和55年度	地下2階地上8階	22,207.81
市庁舎西棟	緑町2-2-2-8	昭和55年度	地下2階地上8階	上に含む
市庁舎車庫棟	緑町2-2-2-8	昭和55年度	地下2階地上8階	上に含む
市庁舎西棟防災安全センター	緑町2-2-2-8	平成19年度	地上4階~8階	4,486.51
北町災害対策職員住宅	吉祥寺北町1-1-1-7	昭和57年度	地上2階	208.27
東町災害対策職員住宅	吉祥寺東町4-9-4	平成2年度	地上2階	476.18
武蔵野商工会館(3章吉祥寺市政センター,市民会議室のみ)	吉祥寺本町1-1-0-7	平成13年度	地下1階地上8階	3,416.82
武蔵野市政センター	境2-1-0-2-7	平成元年度	地上2階	342.82
中央市政センター	中町1-2-8	平成2年度	地上2階	371.76
ミカレット三鷹	中町1-1-4	昭和45年度	地上1階	26.62
ミカレットさかいみなみ	境南町2-3-2-4	昭和63年度	地上1階	32.68
ミカレット桜堤	桜堤2-1-1-8	平成3年度	地上1階	42.00
クリーンセンター(事務室棟)	緑町3-1-5	昭和59年度	地下2階地上5階	2,677.61
テンミリオンハウス川路さんち	西久保1-3-4-2	昭和30年度	地上1階	91.58
くぬぎ園	桜堤1-9-7	昭和51年度	地上5階	3,102.38
シルバー人材センター	中町3-5-1-6	昭和56年度	地上2階	835.58
テンミリオンハウス関三倶楽部(関前南子どもクラブを含む)	-	-	-	-
テンミリオンハウス月見路(北町職員住宅を含む)	-	-	-	-
北町高齢者センター	吉祥寺北町4-1-1-6	平成2年度	地下1階地上2階	730.83
高齢者総合センター	緑町2-4-1	平成5年度	地下1階地上5階	3,260.40
吉祥寺ナーシングホーム	吉祥寺北町2-9-2	平成6年度	地下1階地上2階	2,277.94
桜堤ケアハウス	桜堤1-9-9	平成7年度	地上4階	1,812.93
テンミリオンハウスそーらの家	吉祥寺南町5-6-1-6	平成11年度	地上1階	159.31
吉祥寺本町在宅介護支援センター	吉祥寺本町4-2-0-1-3	平成17年度	地上1階	275.11

※区分所有している場合には、所有分の延床面積を記載

※賃借している場合には、賃借分の延床面積を記載

第2章 市の財政状況と保有する資産の状況

用途別実態把握(3章)の対象施設

施設名(棟別)	所在地	竣工年度	建物階数	延べ面積(㎡)
桜はうす今泉	桜堤1-6-32	昭和55年度	地上1階	42.26
障害者福祉センター	八幡町4-28-13	昭和55年度	地下1階地上3階	1,612.98
なごみの家	八幡町4-28-18	昭和63年度	地上1階	66.25
保健センター	吉祥寺北町4-8-10	昭和62年度	地下1階地上4階	4,472.38
0123吉祥寺	吉祥寺東町2-29-2	平成4年度	地下1階地上2階	522.76
0123はらっぱ	八幡町1-3-24	平成12年度	地上2階	889.08
一小子どもクラブ(第1小学校に含む)	-	-	-	-
三小子どもクラブ	吉祥寺南町2-35-6	昭和51年度	地上2階	194.32
本宿子どもクラブ	吉祥寺東町4-8-13	昭和56年度	地上2階	233.26
千川子どもクラブ(千川小に含む)	-	-	-	-
関前南子どもクラブ	関前3-37-24	昭和58年度	地上2階	157.92
桜野子どもクラブ	桜堤1-8-21	平成4年度	地上1階	115.93
桜野子どもクラブ増築棟	桜堤1-8-21	平成7年度	地上1階	44.72
境南子どもクラブ(境南コミセンに含む)	-	-	-	-
桜堤児童館	桜堤2-1-29	昭和57年度	地上2階	610.44
少年自然の村	長野県南佐久郡川上村大字川端下547-1	昭和58年度	地上2階	995.76
少年自然の村天体観望施設	長野県南佐久郡川上村大字川端下547-1	平成15年度	地上2階	76.14
千川保育園	八幡町1-4-13	昭和49年度	地上2階	830.15
南保育園	吉祥寺南町3-6-15	昭和43年度	地上2階	830.50
桜堤保育園	桜堤2-1-27	昭和57年度	地上2階	873.20
境保育園	境4-11-6	平成8年度	地下1階地上2階	1,044.60
東保育園	吉祥寺東町3-28-3	昭和45年度	地上2階	573.20
境南保育園	境南町5-1-1	昭和47年度	地上2階	805.88
北町保育園	吉祥寺北町1-23-17	昭和50年度	地上2階	830.87
境南第2保育園	境南町2-20-7	昭和52年度	地上2階	768.00
吉祥寺保育園	吉祥寺北町5-11-51	昭和60年度	地上2階	826.49
武蔵境開発事務所	境2-12-2	平成2年度	地上2階	383.04
北町第1住宅	吉祥寺北町5-4-8	平成19年度	地上3階	909.37
桜堤住宅	桜堤2-8-31	平成21年度	地上3階	1,776.71
関前住宅	関前3-16-5	昭和46年度	地上3階	1,439.94
北町第2住宅1号館(北棟)	吉祥寺北町5-6-14	昭和51年度	地上3階	1,238.76
北町第2住宅2号館(南棟)	吉祥寺北町5-6-14	昭和52年度	地上3階	1,238.76
道路課資材置き場倉庫	八幡町2-6	昭和62年度	地上2階	193.91
三鷹駅北口エレベータ	中町1-14	平成16年度	-	143.95
第一小学校校舎棟	吉祥寺本町4-17-16	昭和43年度	地上4階	4,369.20
第一小学校体育館棟	吉祥寺本町4-17-16	昭和44年度	地下1階地上2階	791.28
一小子どもクラブ棟	吉祥寺本町4-17-16	平成12年度	地上2階	295.00
第二小学校西校舎棟	境4-2-5	昭和42年度	地上4階	5,030.00
第二小学校東校舎棟	境4-2-5	昭和42年度	地上4階	上に含む
第二小学校体育館棟	境4-2-5	昭和42年度	地下1階地上2階	776.86
第三小学校校舎棟	吉祥寺南町2-35-9	昭和44年度	地上4階	4,656.42
第三小学校北校舎棟	吉祥寺南町2-35-9	昭和49年度	地下1階地上2階	551.78
第三小学校体育館棟	吉祥寺南町2-35-9	昭和42年度	地下1階地上2階	869.50
第三小学校第2体育館棟	吉祥寺南町2-27-1	昭和62年度	地下1階地上2階	830.33
第四小学校西校舎棟	吉祥寺北町2-4-5	昭和47年度	地下1階地上4階	5,263.50
第四小学校東校舎棟	吉祥寺北町2-4-5	昭和47年度	地下1階地上4階	上に含む
第四小学校南校舎棟	吉祥寺北町2-4-5	昭和53年度	地上2階	1,105.85
第四小学校体育館棟	吉祥寺北町2-4-5	昭和43年度	地下1階地上2階	771.03
第五小学校北校舎棟	関前3-2-20	昭和35年度	地下1階地上3階	2,522.91
第五小学校西校舎棟	関前3-2-20	昭和47年度	地下1階地上3階	2,710.21
第五小学校体育館棟	関前3-2-20	昭和46年度	地上3階	1,541.06
大野田小学校校舎・特別教室棟	吉祥寺北町4-11-37	平成16年度	地下1階地上5階	12,150.31
大野田小学校体育館棟・他	吉祥寺北町4-11-37	昭和54年度	地下1階地上2階	1,400.55
境南小学校東校舎棟	境南町2-27-27	昭和46年度	地上4階	2,504.62
境南小学校西校舎棟	境南町2-27-27	昭和50年度	地下1階地上4階	5,162.55
境南小学校体育館棟	境南町2-27-27	昭和51年度	地上2階	789.39
境南小学校給食調理場棟	境南町2-27-27	昭和50年度	地上1階	360.54
本宿小学校校舎棟	吉祥寺東町4-1-9	昭和53年度	地下1階地上4階	6,660.86
本宿小学校体育館棟	吉祥寺東町4-1-9	昭和53年度	地上2階	794.45
本宿小学校給食調理場棟	吉祥寺東町4-1-9	昭和53年度	地上1階	354.41
千川小学校校舎棟	八幡町3-5-25	平成8年度	地下1階地上4階	10,141.52
千川小学校体育館棟	八幡町3-5-25	平成8年度	地下1階地上4階	上に含む
千川子どもクラブ棟	八幡町3-5-25	平成8年度	地上2階	108.00
井之頭小学校校舎棟	吉祥寺本町3-27-19	昭和49年度	地下1階地上4階	5,444.50
井之頭小学校体育館棟	吉祥寺本町3-27-19	昭和61年度	地下1階地上2階	2,252.99

※区分所有している場合には、所有分の延床面積を記載

※賃借している場合には、賃借分の延床面積を記載

用途別実態把握(3章)の対象施設

施設名(棟別)	所在地	竣工年度	建物階数	延べ面積(m ²)
関前南小学校校舎棟	関前3-37-26	昭和46年度	地上4階	3,631.46
関前南小学校体育館棟	関前3-37-26	昭和46年度	地上2階	751.88
桜野小学校校舎棟	桜堤1-8-19	昭和52年度	地上4階	5,134.13
桜野小学校体育館棟	桜堤1-8-19	平成13年度	地上4階	2,945.04
桜野小増築(平成22年度竣工)	桜堤1-8-19	平成22年度	地上3階	1,483.30
第一中学校西校舎棟	中町3-9-5	昭和38年度	地上4階	6,012.65
第一中学校東校舎棟	中町3-9-5	昭和38年度	地上4階	上に含む
第一中学校体育館棟	中町3-9-5	昭和57年度	地下1階地上4階	3,419.12
第一中学校西校舎増築棟	中町3-9-5	昭和58年度	地上2階	372.12
第一中学校音楽室棟	中町3-9-5	昭和63年度	地下1階地上1階	338.76
第二中学校西校舎棟	桜堤1-7-31	昭和42年度	地下1階地上4階	6,180.60
第二中学校東校舎棟	桜堤1-7-31	昭和42年度	地下1階地上4階	上に含む
第二中学校体育館棟	桜堤1-7-31	昭和59年度	地下1階地上3階	3,010.96
第二中学校東校舎増築棟	桜堤1-7-31	平成4年度	地上2階	264.32
第三中学校校舎棟	吉祥寺東町1-23-8	昭和46年度	地上4階	4,040.80
第三中学校体育館棟	吉祥寺東町1-23-8	昭和57年度	地下1階地上4階	4,754.95
第四中学校校舎棟	吉祥寺北町5-11-41	昭和49年度	地下1階地上4階	8,518.82
第四中学校体育館棟	吉祥寺北町5-11-41	平成4年度	地下2階地上3階	6,892.31
第四中学校いぶき学級棟	吉祥寺北町5-11-41	平成2年度	地上2階	450.89
第五中学校北校舎棟	関前2-10-20	昭和36年度	地上3階	4,746.96
第五中学校南校舎棟	関前2-10-20	昭和36年度	地上3階	上に含む
第五中学校体育館棟	関前2-10-20	昭和38年度	地上2階	1,408.30
第五中学校北校舎増築棟	関前2-10-20	昭和49年度	地上2階	427.35
第五中学校プール更衣室棟	関前2-10-20	昭和59年度	地上1階	106.50
第五中学校音楽室棟	関前2-10-20	昭和61年度	地上2階	263.50
第五中学校プール上屋	関前2-10-20	昭和62年度	地上1階	672.00
第六中学校西校舎棟	境3-20-10	昭和46年度	地下1階地上4階	4,686.26
第六中学校東校舎棟	境3-20-10	昭和55年度	地上3階	2,132.35
第六中学校体育館棟	境3-20-10	昭和47年度	地下1階地上2階	1,153.10
旧桜堤小学校東校舎棟	桜堤1-7-25	昭和41年度	地上4階	3,685.18
旧桜堤小学校西校舎棟	桜堤1-7-25	昭和33年度	地上3階	1,209.48
旧桜堤小学校体育館棟	桜堤1-7-25	昭和42年度	地下1階地上2階	801.39
境幼稚園	境4-11-6	昭和47年度	地上3階	1,144.83
武蔵野総合体育館	吉祥寺北町5-11-20	平成元年度	地下1階地上4階	14,680.04
武蔵野温水プール	吉祥寺北町5-11-33	昭和56年度	地下1階地上2階	3,168.91
クラブハウス	緑町3-1	昭和61年度	地上2階	270.99
武蔵野市民会館	境2-3-7	昭和59年度	地下1階地上2階	2,245.09
文化財収蔵庫	関前4-16-10	平成2年度	地上1階	115.93
学校給食北町調理場	吉祥寺北町4-11-30	昭和47年度	地上3階	1,284.57
学校給食桜堤調理場	桜堤1-7-23	昭和42年度	地上2階	766.64
中央図書館	吉祥寺北町4-8-3	平成6年度	地下2階地上4階	7,529.23
吉祥寺図書館(駐輪場を含む)	吉祥寺本町1-21-13	昭和62年度	地下1階地上2階	1,672.16
西部図書館	境5-15-5	昭和56年度	地上3階	999.26
武蔵野プレイス(平成23年度開館)	境南町2-3-18	平成22年度	地下3階地上4階	9,809.76

※区分所有している場合には、所有分の延床面積を記載

※賃借している場合には、賃借分の延床面積を記載

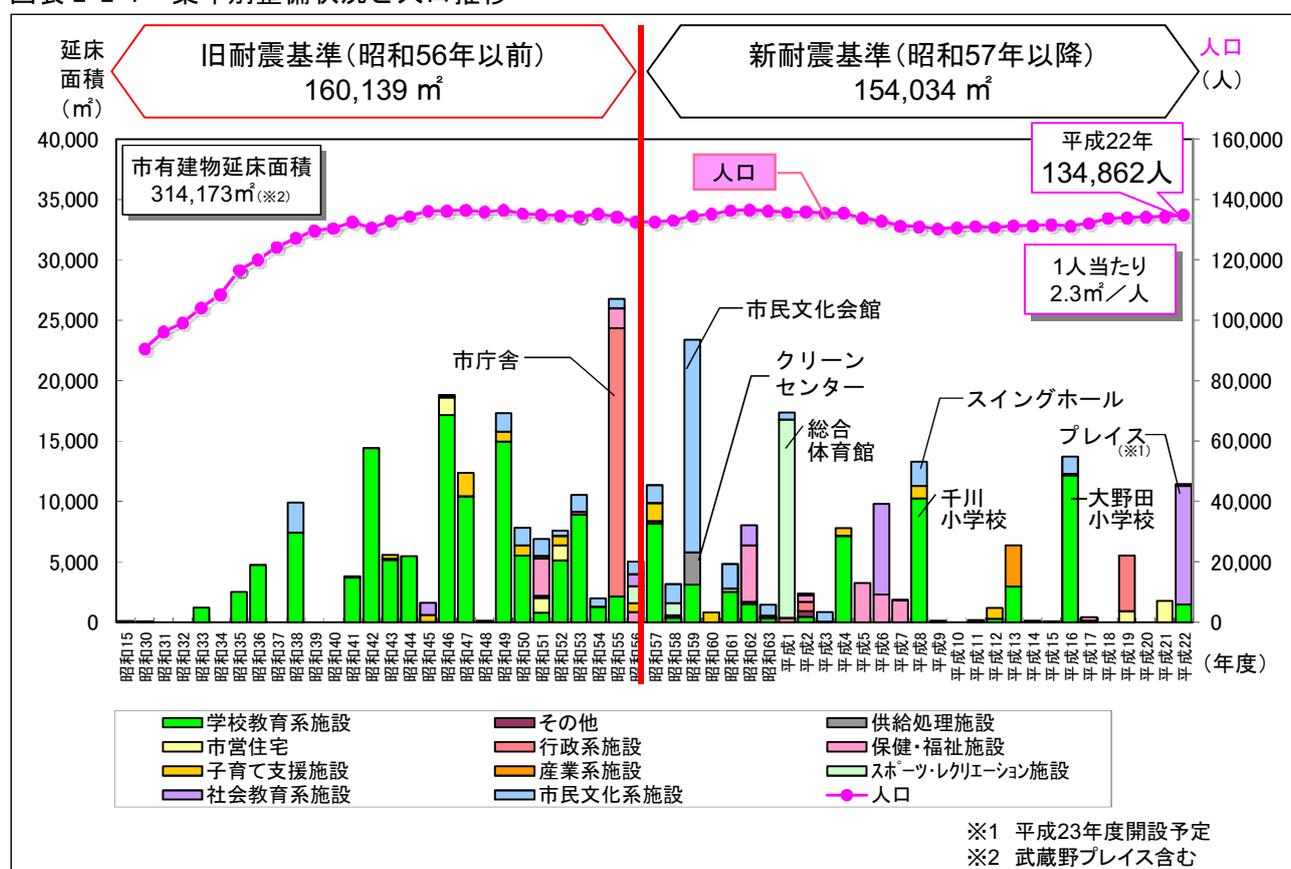
(5) 保有する施設の築年別整備状況

昭和56年の耐震基準の改正前後で比較すると、公共施設の約50%は旧耐震基準の時代に建設されています。しかし、重点的に耐震化を進めた結果、平成21年度には保育園や学校の耐震化が完了し、平成22年度までに市内対象施設の耐震化が完了しました。

保有する公共施設を用途別にみると、学校施設の床面積が大きいことがわかります。学校施設は、昭和40～50年代に建設が集中しており、近年は建替えが始まっていることがわかります。残りの学校についても建替えの検討時期が近づいています。

昭和55年頃から学校建設と入れ替わるように市庁舎、文化会館など、行政施設、文化施設の建設が進んでいます。

図表 2-2-7 築年別整備状況と人口推移



出典：(人口) 平成21年度版武蔵野市地域生活環境指標 (建物延床面積) 施設課総合台帳

3. 今後の施設整備にかかるコスト試算

平成 17～21 年度（過去5年間）の公共施設にかけた投資的経費は、年平均で約 31.4 億円です。

公共施設のうち約 50%の施設は築 30 年を迎えており、老朽化が進んでいます。これらの公共施設を現状の規模のまま維持するためには、図表 2-2-8 今後かかるコスト試算によれば、今後 40 年間で 2,026 億円、年平均で約 51 億円の費用が必要となり、過去 5 年間の年平均 31.4 億円に対して、約 1.6 倍となっています。

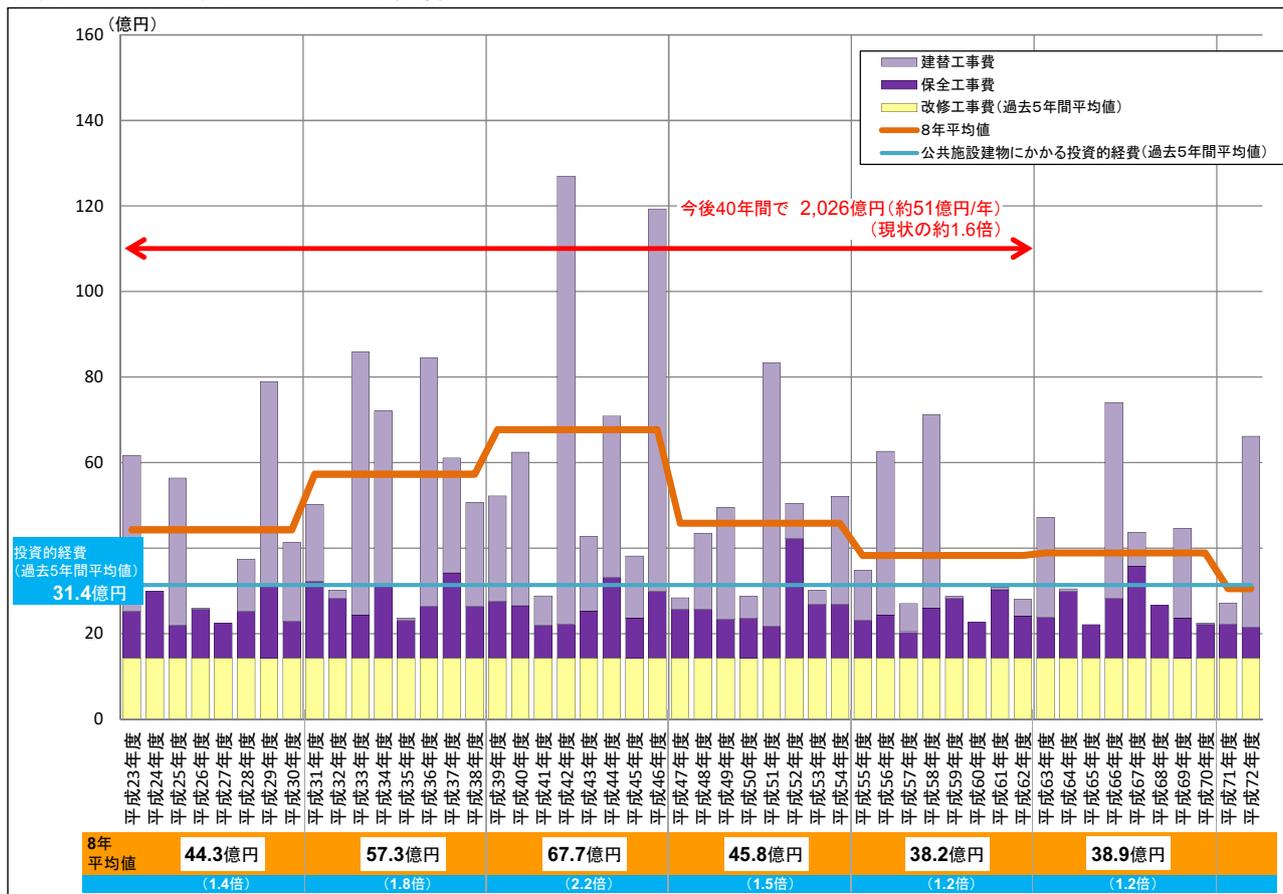
市の基本構想・長期計画の策定のスパンである 8 年ごとの平均値をみると、特に昭和 40～50 年代の建設が集中した時期の建物が建替え時期を迎える平成 39～46 年度の 8 年間は、年平均 67.7 億円、現状の約 2.2 倍の費用が必要となる試算となっており、更新時期が集中する時期を見据えた計画的な施設整備が必要です。

これら公共施設の維持・更新のほか、都市インフラの更新にかかる費用は平成 21 年度からの 20 年間の総額で 840 億円程度※と試算されており、新たな行政ニーズに対応するための新規投資を現状規模で行えば、大幅な財源不足となることも想定され、公共施設を資産として、できる限り有効活用しながら持続可能な都市を維持していくことが求められます。

※今後 20 年間に見込まれる大型投資等の現時点における推計費用としては、武蔵境、吉祥寺駅周辺整備費用約 130 億円、道路改良、新設費用約 240 億円、下水道再構築費用約 389 億円（下水道総合計画案による）、クリーンセンター建替え費用約 80 億円などが見込まれる。水道事業会計分は除いている。

出典：第三次武蔵野市行財政改革を推進するための基本方針（平成 21～24 年度）

図表 2-2-8 今後かかるコスト試算



<試算条件>

- 建替工事費：鉄筋コンクリート造等は築50年、木造・軽量鉄骨造等は築22年が経過した施設の建替え費用。単価は右表のとおり。
- 保全工事費：長期修繕計画による修繕費
- 改修工事費：維持補修費の直近5年間の平均値

※武蔵野スイングホール及びかたらいの道市民スペースは、民間との区分所有のため、修繕積立金、管理費、店舗占用料等の50年間試算がなく、計上していません。

<単価出典>

「地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書」
財団法人自治総合センター（平成23年3月）

図表 2-2-9 施設別建替え㎡当たりの単価

施設用途	建替え単価(千円)
市民文化系施設	400
社会教育系施設	400
スポーツ・レクリエーション系施設	360
産業系施設	400
学校教育系施設	330
子育て支援施設	330
保健・福祉施設	360
行政系施設	400
市営住宅	280
供給処理施設	360
その他	360

第3章 用途別実態把握

1.コスト情報とストック情報の把握

2.公共施設の配置状況

3.主な施設の実態把握

(1) 市庁舎等施設

(2) 文化・集会施設

(3) コミュニティセンター

(4) 学校教育施設

(5) 子育て支援施設

(6) スポーツ施設

(7) 健康・福祉施設

第3章 用途別実態把握

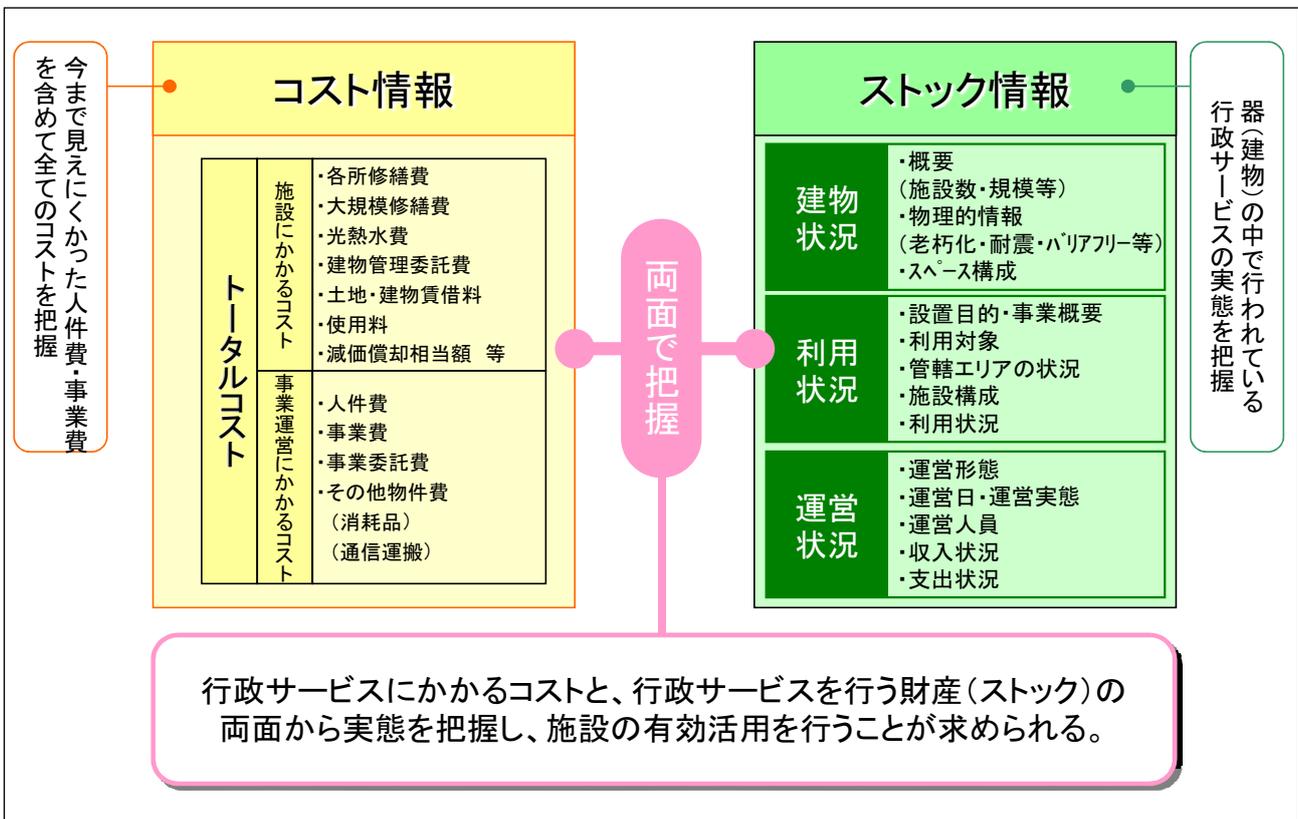
1. コスト情報とストック情報の把握

行政コストを削減しながら公共サービスの充実を図るためには、市の保有する公共施設を有効活用していくことが重要です。そのためには公共施設の現状を的確に把握し、コスト情報とストック情報の両面から実態を把握する必要があります。

そこで本白書では、コスト情報の面からは、行政コスト計算書等を活用し、建物全体及びそで行われている行政サービスに掛かる人件費や事業費も含め、全体でいくらかかっているかを把握し、ストック情報の面からは、土地・建物の老朽化状況などの物理的な状況に加え、利用実態、運営実態も合わせて把握しました。

コスト情報、ストック情報の両面から公共施設及びそで行われている行政サービスを把握することで公共施設の有効活用の検討資料とします。

図表 3-1-1 コスト情報とストック情報の把握



2. 公共施設の配置状況

公共施設配置状況をみるため、公共施設を対象として、横軸をコミュニティ地区、縦軸を三層構造別、施設用途別に整理し、地域実態マップ（P.27,28）を作成しました。

武蔵野市では、コミュニティレベル、三圏域レベル、全市レベル各々の生活空間において必要な施設を配置する三層構造の考え方を基本に、公共施設を配置しています。

コミュニティレベルは、地域区分の最小単位であり、地域生活単位として、市民のコミュニティづくりのために必要な施設（コミュニティセンター・学校施設等）を配置しています。

三圏域レベルは、JR 駅勢圏を中心とした日常生活圏であり、図書館等を配置しています。

全市レベルは、市域全体からの利用を想定した広域的な範囲であり、文化施設等が配置されています。

上記に分類できない施設として市役所等があります。

3. 主な施設の実態把握

第3章では、「利用状況」「運営状況」「コスト状況」の視点から実態把握を行なうため、公共施設のうち「直接的な市民サービス及びこれを提供する施設」を対象とします。行政事務を主とする施設（市庁舎、水道部庁舎等）、プラント施設（浄水場、クリーンセンター等）、小規模施設（倉庫、公衆便所等）、駐輪場等は対象としません。

複合施設については、利用状況、コスト状況は対象用途分を抽出し、ハード状況は切り分けられないため、建物全体で把握します。

対象施設

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 市庁舎等施設（市政センター・市役所市民課） (2) 文化・集会施設（図書館、文化・集会施設） (3) コミュニティセンター (4) 学校教育施設（小学校・中学校、あそべえ、こどもクラブ） (5) 子育て支援施設（保育園・幼稚園、児童館、0123 施設） (6) スポーツ施設 (7) 健康・福祉施設 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

実態把握の方法

■建物状況

①老朽化状況

老朽化状況は、財務省の『減価償却資産の耐用年数等に関する省令』に規定される耐用年数を準用し、鉄筋コンクリート造、鉄骨造建築の耐用年数を50年、軽量鉄骨、木造建築の耐用年数を22年としました。各施設の建設後の経過年数と対比して状況を把握しています。

②耐震化状況

耐震化状況は、建築基準法で求められている耐震性能に適合しているかどうかで状況を把握しています。

③バリアフリー状況

バリアフリー状況は、『高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律（ハートビル法）』及び『高齢者、身体障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例（ハートビル条例）』の規定への適合状況で把握しています。適合を求められる項目は用途、規模、階数等によって異なるため、本書では対象建物が求められている項目に対して適合している割合を把握しています。

④環境負荷状況

環境負荷状況は、東京都の地球温暖化対策報告書制度に基づく報告書より、施設ごとにガス等の燃料、電力、水道及び公共下水道の使用量から熱量を算出し、原油換算した値、CO₂排出量換算した値で状況把握しています。

■利用状況

利用状況は、各サービスの内容により、利用件数・利用人数などを、施設ごと、曜日ごと、部屋ごとなど、それぞれ適した内容で把握しています。

■運営状況

運営状況は、各サービスの内容により、運営人員（施設の配置人数）、運営体制（時間帯ごとのサービス業務にあたる人数）、運営日、運営時間など、それぞれ適した方法で状況把握しています。

■コスト状況

コスト状況は、修繕費、光熱水費、管理委託費及び減価償却費などの施設に係るコストと、人件費、事業費、委託費、消耗品費など事業運営に係るコストの合計をトータルコストとして状況把握しています。

■利用状況・運営状況とコスト状況の関係

上記の各状況を把握した上で、「利用者一人当たりのコスト」「利用一件当たりのコスト」「単位面積当たりのコスト」など、そのサービス内容に適した尺度で状況を把握しています。

図表 3-2-1
武蔵野地域実態マップ

人口密度凡例

150人/ha以上
130人/ha~150人/ha未満
120人/ha~130人/ha未満
100人/ha~120人/ha未満
100人/ha未満

人口：平成22年4月現在

武蔵境地区

中央地区

吉祥寺地区

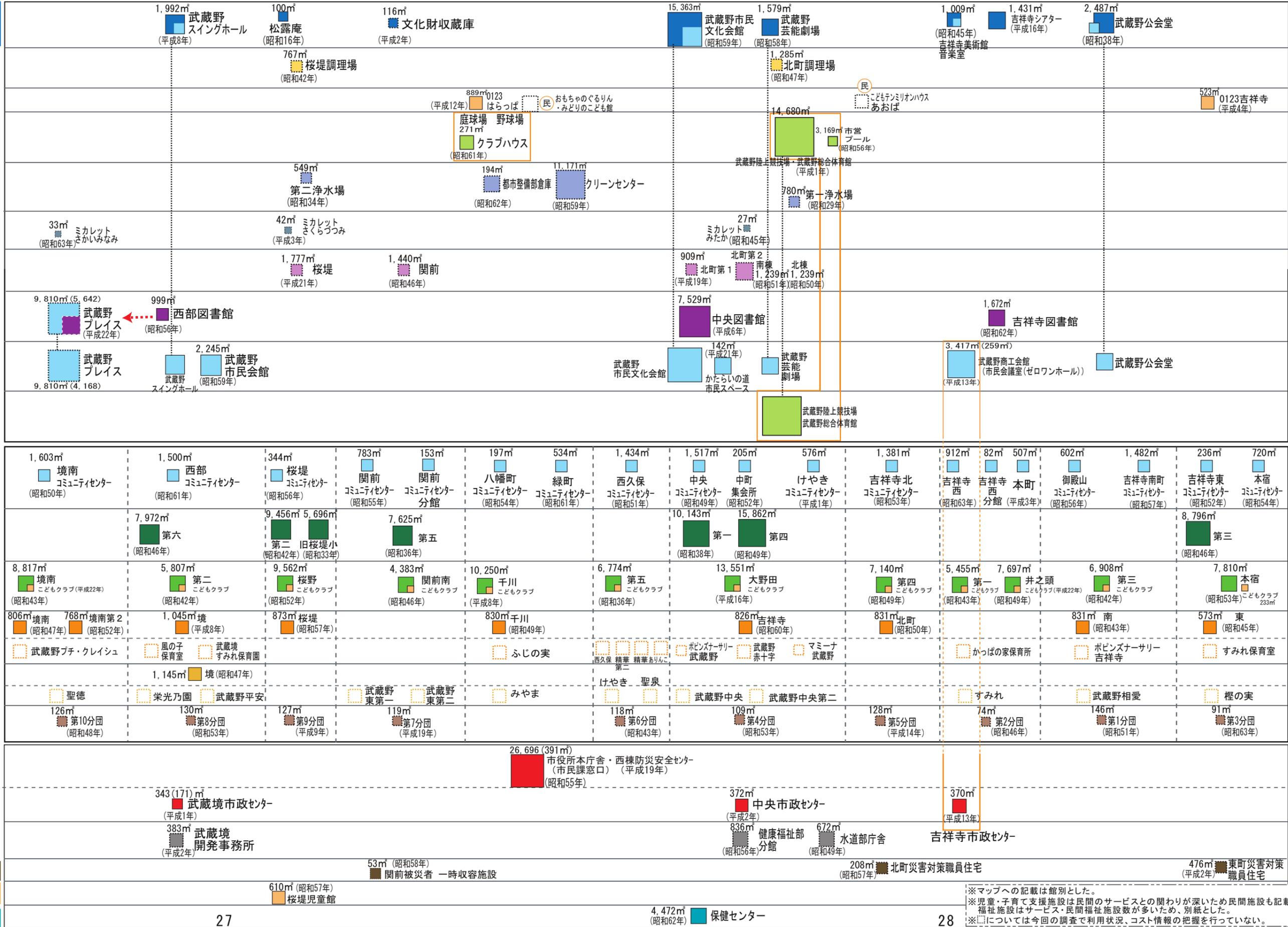
境南	境	桜堤	関前	中央北	西久保	中央東	吉祥寺北	吉祥寺西	吉祥寺南	吉祥寺東
人口：13,700人 面積：103ha 人口密度：133人/ha	人口：14,800人 面積：115ha 人口密度：129人/ha	人口：6,600人 面積：59ha 人口密度：112人/ha	人口：8,800人 面積：108ha 人口密度：81人/ha	人口：12,600人 面積：107ha 人口密度：120人/ha	人口：11,000人 面積：64ha 人口密度：171人/ha	人口：19,500人 面積：144ha 人口密度：135人/ha	人口：9,600人 面積：78ha 人口密度：123人/ha	人口：11,200人 面積：84ha 人口密度：133人/ha	人口：14,400人 面積：116.5ha 人口密度：124人/ha	人口：12,700人 面積：94.5ha 人口密度：134人/ha

全市レベル施設

三圏域レベル施設

コミュニティレベル施設

その他施設



※マップへの記載は館別とした。
 ※児童・子育て支援施設は民間のサービスとの関わりが深いため民間施設も記載し、福祉施設はサービス・民間福祉施設数が多いため、別紙とした。
 ※については今回の調査で利用状況、コスト情報の把握を行っていない。

図表3-2-2 武蔵野市地域実態マップ(福祉サービス)

福祉サービス			境南	境	桜堤	関前	八幡町	緑町	西久保	中町	吉祥寺北町	吉祥寺本町	御殿山	吉祥寺南町	吉祥寺東町		
高齢者支援	高年齢総合センター	・60歳以上の住民を対象 ・健康の増進、教養の向上、レクリエーション及び各種相談等を行う	指定管理						高齢者総合センター								
		・60歳以上の住民を対象 ・ミニデイサービスなど	民営	花時計													
	在宅介護支援センター	・高齢者及びその家族を対象 ・高齢者福祉の地域窓口 ・総合相談、介護保険外サービス	業務委託	武蔵野赤十字	きんもくせい	桜堤ケアハウス	関三倶楽部		川路さんち	くるみの木	吉祥寺ナーシングホーム	月見路	吉祥寺本町在宅介護支援センター	そ〜らの家	ゆとりえ		
	通所	デイサービス	・昼食、軽体操、入浴、趣味、生きがい活動	指定管理	ぐっどういる境南							北町高齢者センター					
		リハビリテーション	・介護老人保健施設、病院などの施設で行われるリハビリテーション	民営													岡田さんち
	入所	小規模サービスハウス	・60歳以上の高齢者で身の回りのことが自分でできる方 ・経費は自己負担	指定管理													
		介護老人保健施設	・在宅介護を行う前に、リハビリや看護などの医療ケアや介護を受けながら、一時的に入所して生活する	民営													
		経費老人ホーム	・60歳以上の高齢者で身の回りのことが自分でできる方 ・経費は全額自己負担	指定管理		あんず苑				ハウスグリーンパーク							
		ショートステイ	・在宅介護の方が、一時的に介護を受けられなくなった際に短期的に介護サービスを受ける	民営													
		特別養護老人ホーム	・在宅で介護を受けることが困難な人 ・入浴、排泄、食事などの介護 ・日常生活の世話 ・機能訓練、健康管理	民営(社団法人)													
認知症高齢者グループホーム		・認知症高齢者が専門スタッフの援助を受けながら、共同生活をする。	民営	ケアコート武蔵野													
障害者(児)福祉	障害者福祉センター	・広域的な相談窓口 ・身体、知的、精神障害者の福祉増進 ・日常訓練、リハビリテーションなど	直営														
	地域生活支援センター等	・地域の相談窓口 ・身体障害のある人及び家族の相談	民営														
	障害者就労支援センター	・就労が困難な障害のある人の職業相談、就職準備支援等の就労支援	民営	武蔵境ワーキングセンター	障害者就労支援センターあいる				ひまわり作業所(H22年度から閉所)	いずみ作業所(H22年度から閉所)							
	小規模作業所	・心身障害者及び精神障害者の方 ・作業指導、生活指導など	民営														
	地域ディグループ	・心身障害者の方 ・創作活動、機能訓練など	民営														
	ワークセンター	・仕事の提供	民営	Unodos	おたまじゃくし造形教室												
	生活介護	・入浴、排せつ及び食事等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供	民営														
	障害児通所	・児童デイサービス ・障害児の親支援	指定管理者														
	ショートステイ	・在宅障害者の一時的な入所	民営														
	グループホーム	・共同生活による介護	民営	境南葵寮	天の臺寮	ミューのいえ	桜はうす今泉	関前桜寮	ひまわりハウス	なごみの家	REN GA	やはたハウス	友愛寮			井の頭はうす	

※ (介) は、要介護等認定が必要です。
 ※ 通所(デイサービス)は、市関連施設のみ掲載しています。

(1) 市庁舎等施設（市政センター・市役所市民課）

1) 施設概要

① 施設一覧

武蔵野市では、市役所市民課のほか市内3か所の市政センターで、住民票、戸籍の証明書等の発行を行っています。

武蔵境市政センターはJR高架下への移設を検討しています。

図表 3-(1)-1 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	窓口 機能	複合施設/ 単一目的施設
1 市役所市民課	緑町2-2-28	391.0	昭和55	●	複合(武蔵野市役所)
2 吉祥寺市政センター	吉祥寺本町1-10-7	370.5	平成13	●	複合(武蔵野商工会館)
3 中央市政センター	中町1-2-8	300.8	平成2	●	複合 (歴史資料館開設準備担当)
4 武蔵境市政センター	境2-10-27	171.4	平成元	●	複合 (むさしのヒューマン・ネットワークセンター)
合計	—	1,233.7	—	—	—
自動交付機	(市内4か所)	—	—	●	

※市役所市民課の延床面積は、執務スペースと、隣接窓口と面積案分した待合スペースを合計した面積

※中央市政センターの延床面積は、執務スペース及び待合スペースと、2階歴史資料館開設準備担当と面積案分した共用スペース分を合計した面積

※吉祥寺市政センター及び武蔵境市政センターの延床面積は、平成21年度財産に関する調書による

運営日、運営時間

窓口業務は 8:30~17:00 までとなっています。中央市政センターでは、基本の窓口業務に加え、夜間は 20:00 まで、第 2・第 4 日曜日は 9:00~16:00 まで開館しています。

図表 3-(1)-2 市民課・市政センター 運営日・運営時間一覧

	平日	夜間	第2・4日曜日	運営日数 (平成21年度)
	8:30~17:00	17:00~20:00	9:00~16:00	
市役所市民課	●	—	—	249
吉祥寺市政センター	●	—	—	242
中央市政センター	●	●	●	242(23)
武蔵境市政センター	●	—	—	242

※ () 内は日曜日の運営日数で、外数

窓口のほかに自動交付機を 4 か所に設置しており、夜間も含め、駅周辺で証明書等を取得できます。設置場所及び利用時間は下表のとおりです。

図表 3-(1)-3 自動交付機設置場所・利用時間一覧

設置場所	稼働時間
武蔵野市役所 東棟1階(市民課横) ※	平日午前8時30分~午後5時15分
武蔵野市役所 西棟1階(宿直室前)	毎日午前8時30分~午後9時
武蔵野商工会館1階	毎日午前8時30分~午後9時
イトーヨーカドー武蔵境店東館1階	毎日午前10時~午後9時 (店舗の休業日を除く)

※平成 22 年度に、かたらいの道 市民スペース (武蔵野 Towers 1 階) へ移設し、施設の休館日を除き、午前 9 時~午後 9 時に稼働

② 業務内容の整理

市政センターでは、戸籍や住民登録に関する異動処理業務と証明書交付のほか、母子健康手帳の交付、体育施設使用申請、各種情報提供（市報むさしの・防災マップ等）、その他市民相談の取次等を行っています。市役所の市民課窓口では、戸籍や住民登録に関する異動処理業務と証明書交付、母子健康手帳の交付のほか、電子証明書、外国人登録事務、住民基本台帳・住居表示台帳の閲覧を行っています。

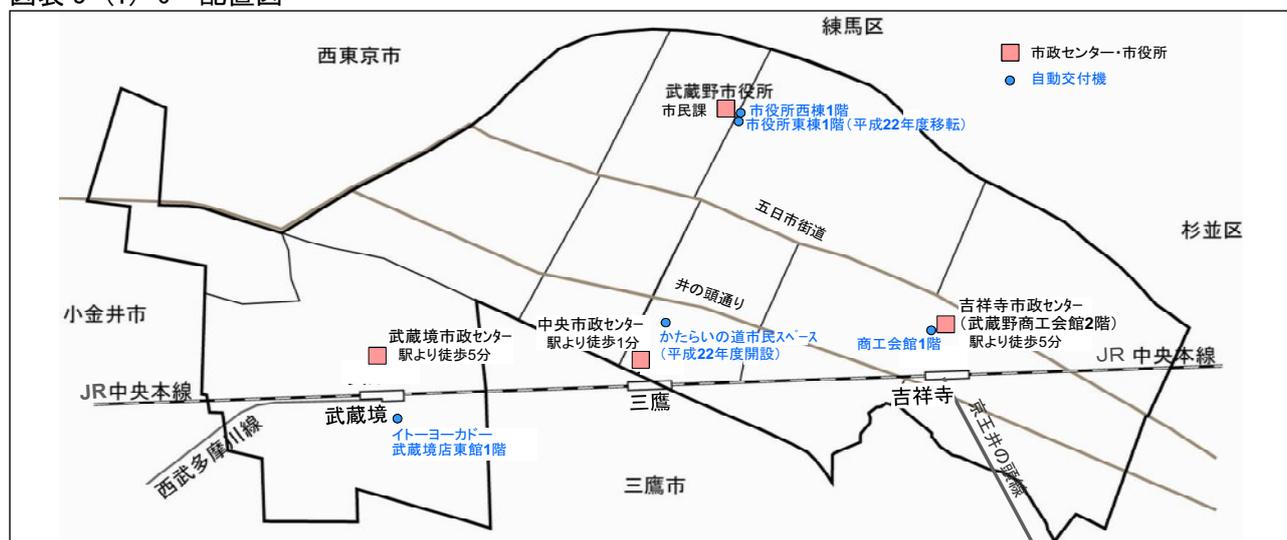
図表 3-(1)-4 市政センターの取扱業務

- 住民登録・印鑑登録（住民異動届、住民票の写し、住民票記載事項証明等）
- 戸籍（戸籍届出、全部事項証明、不在籍証明等）
- 国民健康保険・国民年金（国民健康保険の届出、出産育児一時金支給申請、国民年金届等）
- 長寿医療制度（長寿医療証再交付申請、高額療養費支給申請、葬祭費支給申請等）
- 子ども（乳幼児医療費助成制度医療証申請、保育所入所申込書配布等）
- 福祉（健康手帳交付、母子健康手帳交付、介護保険被保険者証再交付の申請等）
- 税務（市・都民税納税・課税・非課税証明、評価証明、固定資産税課税証明等）
- 納付できるもの（市民税・都民税、固定資産税、法人市民税、国民健康保険税等）
- 文化施設・体育施設（(財)武蔵野文化事業団主催事業チケット販売・施設貸出予約等）
- 情報提供（市報むさしの、わたしの便利帳配布、防災マップ配布、市内案内図販売等）
- その他（家庭用消火器購入補助金申請、犬の登録関係届、転入学届、市民相談の取次等）

図表 3-(1)-5 施設別業務内容

	市民課 窓口	市政センター		
		吉祥寺市政 センター	中央市政 センター	武蔵境市政 センター
交 証 明 書 等	住民登録・印鑑登録	●	●	●
	戸籍に関する証明書	●	●	●
	電子証明書	●		
	外国人登録・外国人に係る戸籍の届出	●		
収 納 そ の 他 業 務	市税等の収納		●	●
	住民基本台帳カードの交付	●	●	●
	国民健康保険・国民年金関連業務		●	●
	長寿医療制度		●	●
	子ども関連業務		●	●
	住民基本台帳の閲覧・住居表示台帳の閲覧	●		

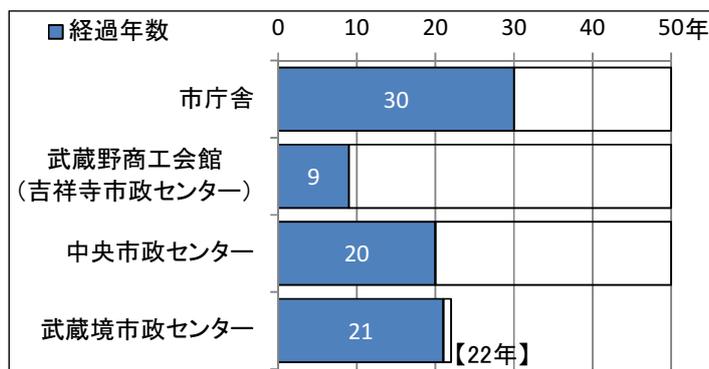
図表 3-(1)-6 配置図



2) 実態把握

① 建物状況

図表 3-(1)-7 老朽化状況【基準耐用年数：築 50 年 (RC)・築 22 年 (軽 S)】



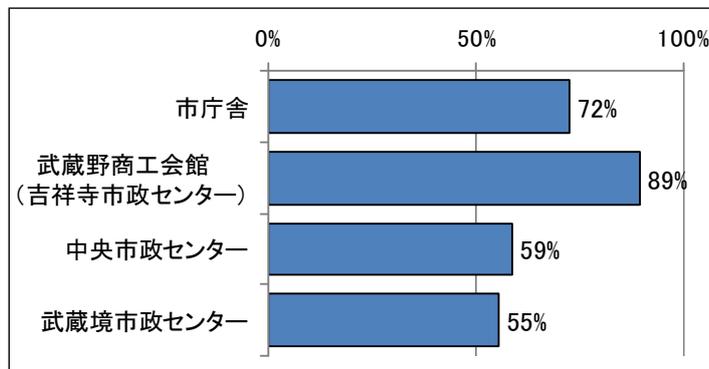
武蔵境市政センターは築 21 年を経過しており、基準耐用年数が近づいています。

図表 3-(1)-8 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

市庁舎	耐震基準に適合
武蔵野商工会館 (吉祥寺市政センター)	耐震基準に適合
中央市政センター	耐震基準に適合
武蔵境市政センター	耐震基準に適合

市庁舎及び市政センターは、全施設とも、耐震基準に適合しています。

図表 3-(1)-9 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



市庁舎及び市政センターの適合率は、55%～89%となっています。武蔵境市政センターには「だれでもトイレ」がありません。

図表 3-(1)-10 環境負荷状況【把握基準：1 次エネルギー消費量 (熱量・原油換算)・CO₂ 排出量】

		熱量合計 (MJ)	原油換算 合計 (KI)	CO ₂ 排出量 換算合計 (t)
市庁舎	合計	28,570,949	737	1156
	単位床面積当たり	1,070.3	0.028	0.043
武蔵野商工会館 (吉祥寺市政センター)	合計	532,808	14	21
	単位床面積当たり	1,438.3	0.037	0.056
中央市政センター	合計	315,921	8	12
	単位床面積当たり	1,050.3	0.027	0.040
武蔵境市政センター	合計	221,860	5	8
	単位床面積当たり	1,294.4	0.032	0.050
単位床面積当たり平均値 (A)		1,213.3	0.031	0.047

市庁舎及び市政センターの単位床面積当たり熱量は、年間約 1,050MJ/m²～約 1,438MJ/m²、単位床面積当たり CO₂ 排出量は、約 0.04 t/m²～約 0.06 t/m²となっています。

【その他】

武蔵境市政センターは建築基準法上の仮設建築物です。

② 利用状況

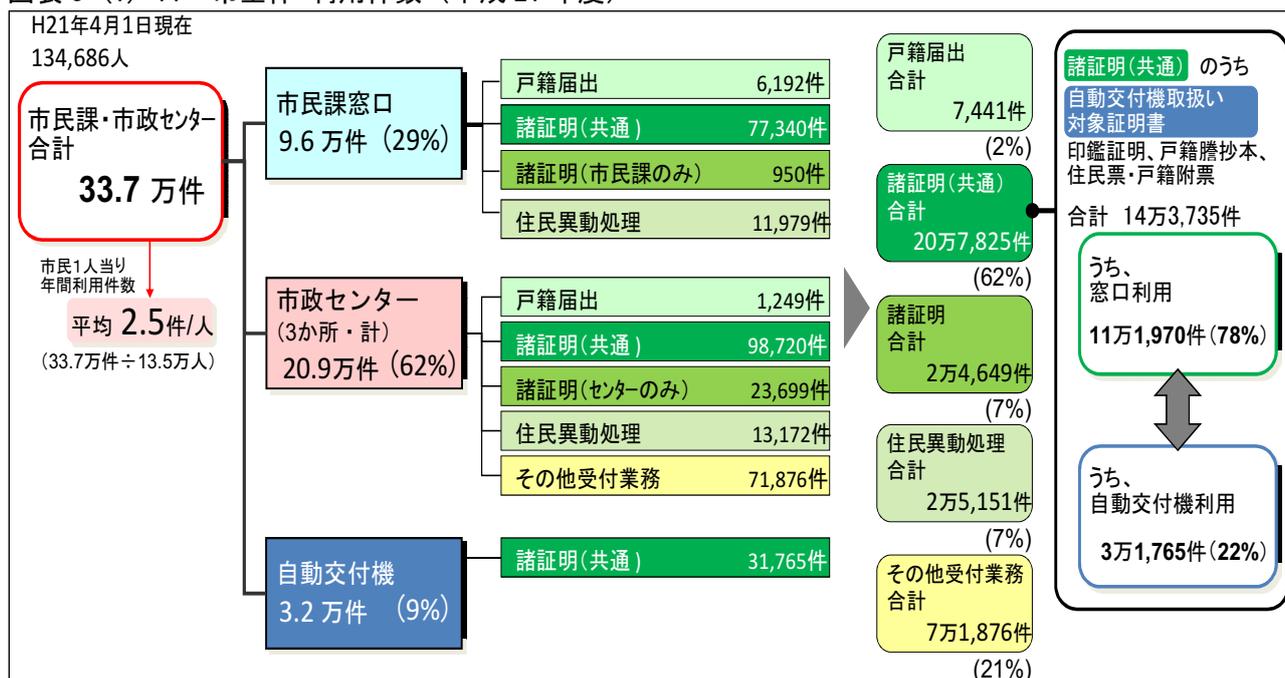
■ 全体の利用件数

平成 21 年度の市全体の窓口利用件数は約 33.7 万件です。1 施設平日 1 日当たりの利用件数は、市民課窓口 387 件、市政センターは平均 269 件です。諸証明の利用が全体の約 69%を占めています。

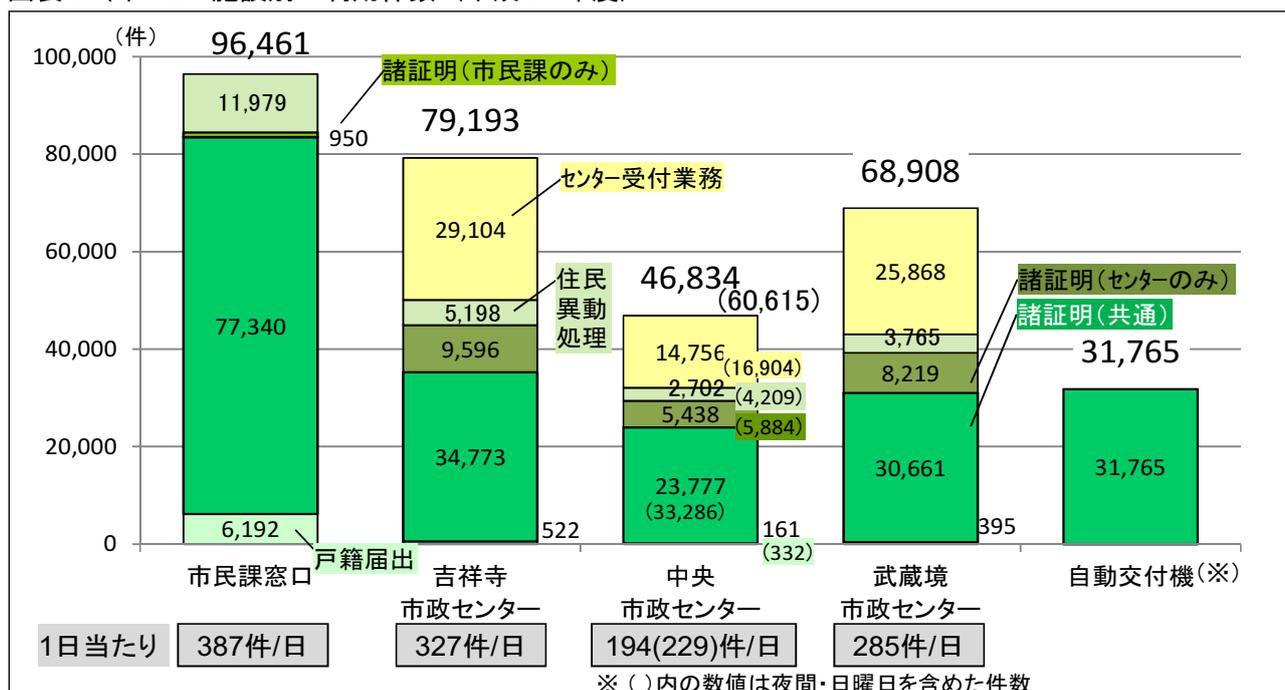
■ 施設別 利用件数

施設別利用件数では、市民課窓口は年間 9.6 万件、市政センターでは 4.7 万件から 7.9 万件です。中央市政センターの利用件数が他のセンターに比べ少なくなっています。

図表 3-(1)-11 市全体 利用件数 (平成 21 年度)



図表 3-(1)-12 施設別 利用件数 (平成 21 年度)

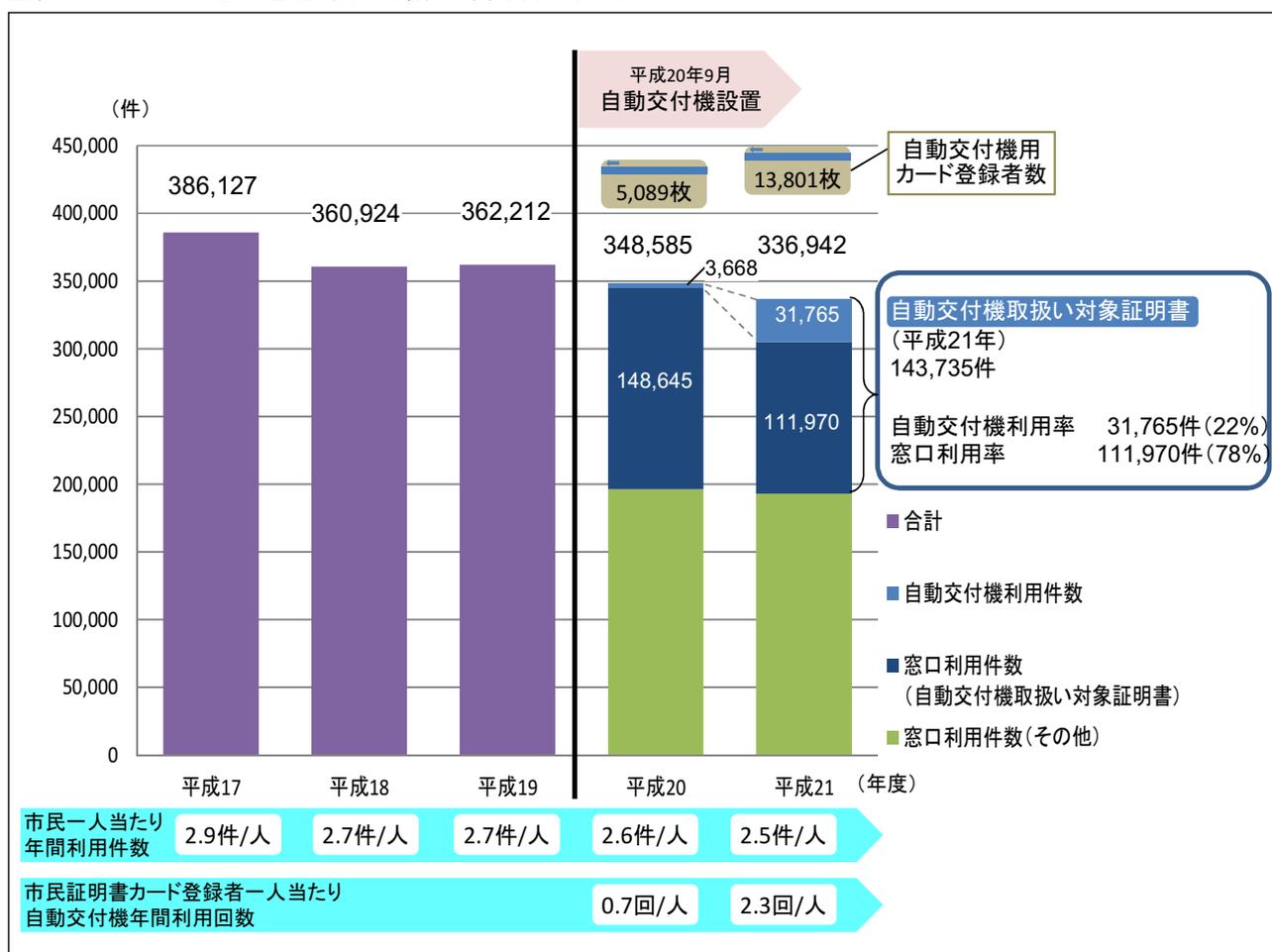


※ () 内の数値は夜間・日曜日を含めた件数

■ 自動交付機 年間利用状況

平成 20 年 9 月に市内に 4 か所の自動交付機が設置されました。自動交付機で取り扱う発行証明書は、印鑑証明書、戸籍謄抄本、住民票、戸籍の附票です。平成 21 年度における、これらの証明書発行取扱件数 14 万 3,735 件のうち、自動交付機によるものは 31,765 件となっています。

図表 3-(1)-13 窓口と自動交付機の年間利用状況



※人口は市勢統計より (各年 4 月 1 日現在)

■ 中央市政センター 平日昼間/夜間/日曜日別年間利用状況

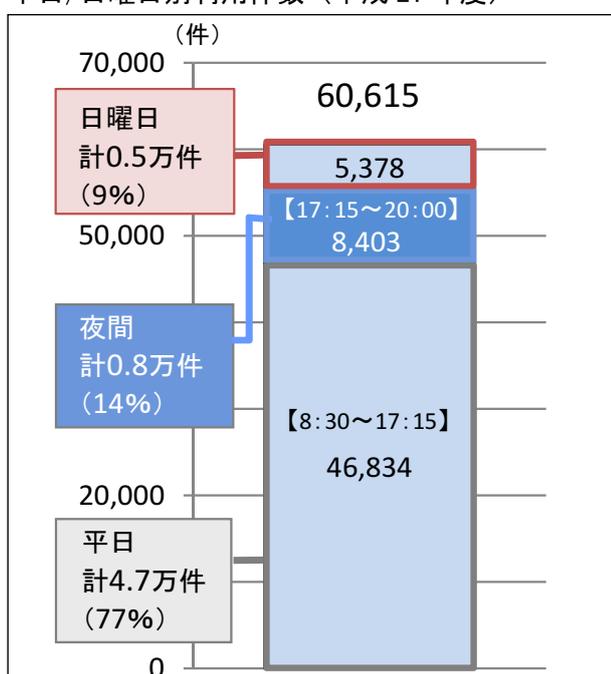
日曜日も業務を行っている中央市政センターについて、平日/日曜日別の1日当たり利用件数を比較すると、平日は228件、日曜日は234件です。

通常執務時間と夜間での利用状況を見ると、通常執務時間の平日は年間4.7万件・1日当たり194件、日曜日は年間0.5万件・1日当たり234件の利用があり、夜間は年間0.8万件・1日当たり35件となっています。

1時間当たりの利用件数では、通常執務時間では平日は23件、日曜日は33件、夜間は12件となっており、夜間は通常執務時間の2分の1程度だということが分かります。

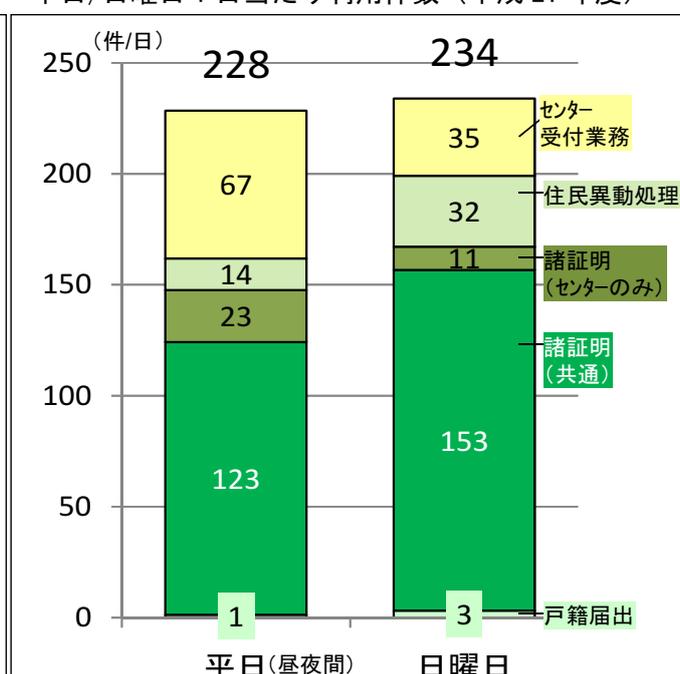
図表 3-(1)-14

平日/日曜日別利用件数 (平成21年度)

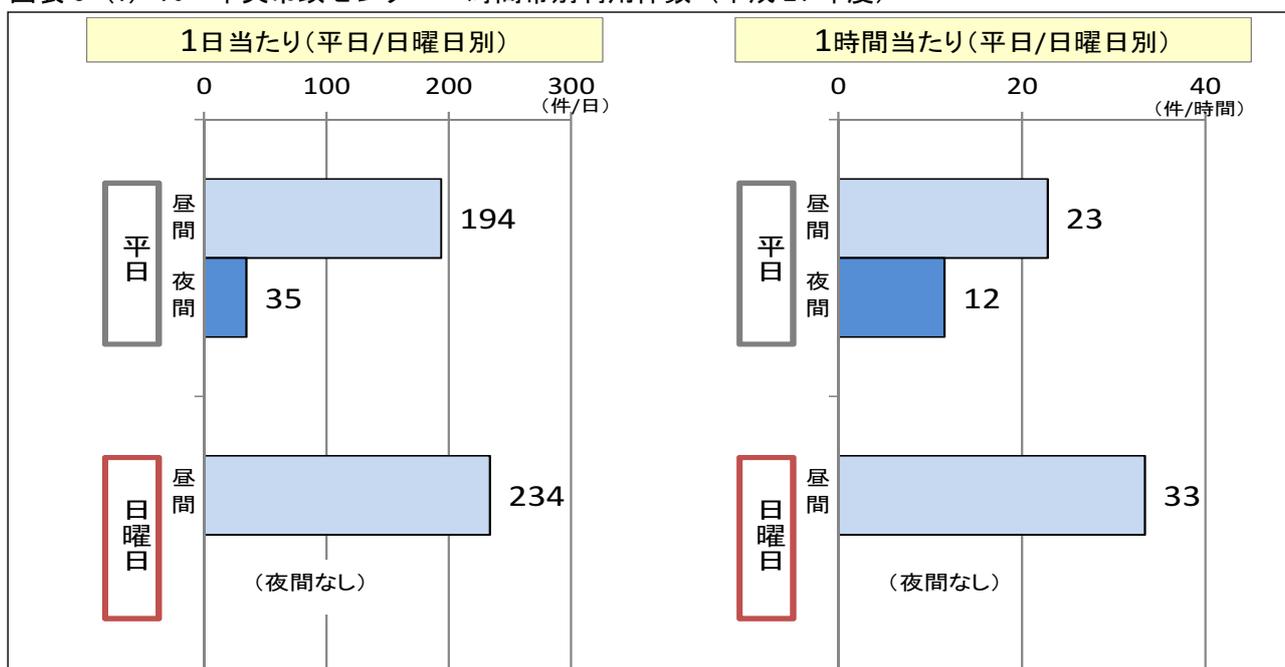


図表 3-(1)-15

平日/日曜日1日当たり利用件数 (平成21年度)



図表 3-(1)-16 中央市政センター 時間帯別利用件数 (平成21年度)



③ 運営状況

窓口業務を行う4施設の総職員数は43人で、1施設当たり11人程度の職員が従事しています。中央市政センターの夜間、日曜日は、市民課及び市政センター職員がローテーションで従事しています。

図表3-(1)-17 運営体制

		8:30	17:00	20:00
市民課窓口	平日(月～金) の運営体制 13人	職員 8人 嘱託 3人・再任用2人		
	日曜日 の運営体制	(運営なし)		
		8:30	17:00	20:00
吉祥寺 市政センター	平日(月～金) の運営体制 10人	職員 9人 再任用 1人		
	日曜日 の運営体制	(運営なし)		
		8:30 9:00	16:00 17:00	20:00
中央 市政センター	平日(月～金) の運営体制 10人	職員 6人 嘱託 2人・再任用2人	市民課及び 市政センター職員 3人	
	日曜日(第2・第4) の運営体制 8～10人	職員・再任用・嘱託 8～10人		
		8:30	17:00	20:00
武蔵境 市政センター	平日(月～金) の運営体制 10人	職員 8人 嘱託 2人		
	日曜日 の運営体制	(運営なし)		

図表3-(1)-18 運営人員

	市民課窓口	吉祥寺 市政センター	中央 市政センター	武蔵境 市政センター	合計
市職員	8	9	6	8	31
再任用	2	1	2	0	5
嘱託	3	0	2	2	7
合計	13	10	10	10	43

④ コスト状況

市役所市民課及び市政センター3施設の年間トータルコストは、3億6,550万円です。

トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は2,011万円（6%）、事業運営にかかるコスト（人件費・その他物件費等）は3億3,812万円（93%）、減価償却相当額が726万円となっています。

職員・嘱託・再任用・臨時職員の人件費を合わせると、人件費が合計3億1,320万円、トータルコストの約86%を占めています。

なお、自動交付機全4台の年間ランニングコストは、合計約2,703万円、1台当たり約676万円となっています。

図表 3-(1)-19 施設別行政コスト計算書（平成21年度）

(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		市役所市民課	吉祥寺市政センター	中央市政センター	武蔵境市政センター	合計
施設にかかるコスト	各所修繕費	618	0	15	0	633
	大規模修繕費（※）	155	0	1,105	265	1,525
	光熱水費	1,512	866	914	563	3,855
	建物管理委託費	2,950	4,948	1,406	917	10,221
	土地・建物以外賃借料	75	1,141	1,213	1,200	3,629
	使用料	0	61	51	61	173
	車両・備品購入費	43	0	0	16	59
	市債利息償還金	18	0	0	0	18
施設にかかるコスト計		5,371	7,016	4,704	3,022	20,113
事業運営にかかるコスト	職員人件費	70,280	83,458	52,710	70,280	276,728
	嘱託職員人件費	8,040	0	5,360	5,360	18,760
	再任用職員	7,084	3,542	7,084	0	17,710
	その他委託費(施設外)	23	7,200	7,200	7,200	21,623
	その他物件費	89	1,231	994	989	3,303
	事業運営にかかるコスト計		85,516	95,431	73,348	83,829
現金収支を伴うコスト 計		90,887	102,447	78,052	86,851	358,237

【収入の部】

手数料収入	23,940	23,190	14,722	14,957	76,808	
その他使用料	0	443	610	497	1,550	
収入の合計		23,940	23,633	15,331	15,454	78,359

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却相当額	1,349	4,015	1,598	298	7,260
---------	-------	-------	-------	-----	-------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	92,236	106,462	79,650	87,149	365,497
収支差額(ネットコスト)	68,296	82,829	64,319	71,694	287,138

※大規模修繕費は、過去5年間の平均額を計上しています。

※中央市政センターの日曜日、夜間の超過勤務分の人件費は計上していません。

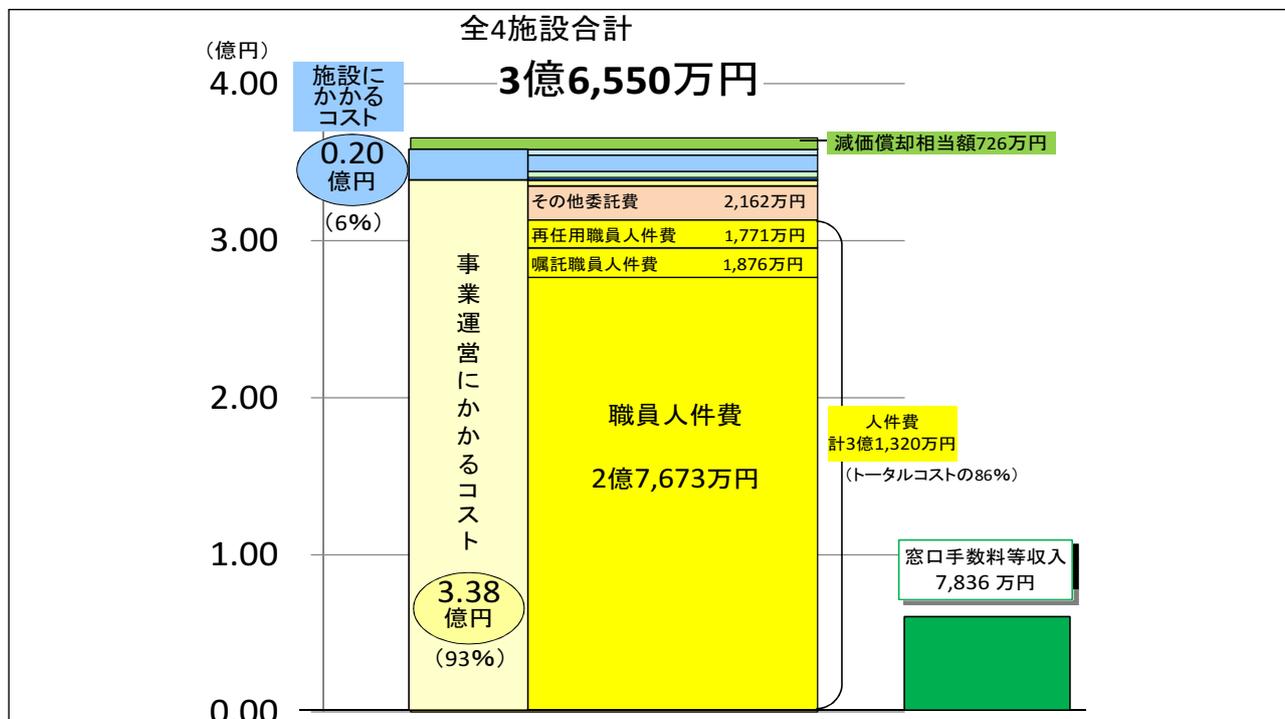
(参考)

	全台数	1台当たり	(千円)
自動交付機年間ランニングコスト	27,035	6,759	
イニシャルコスト	48,377	12,094	

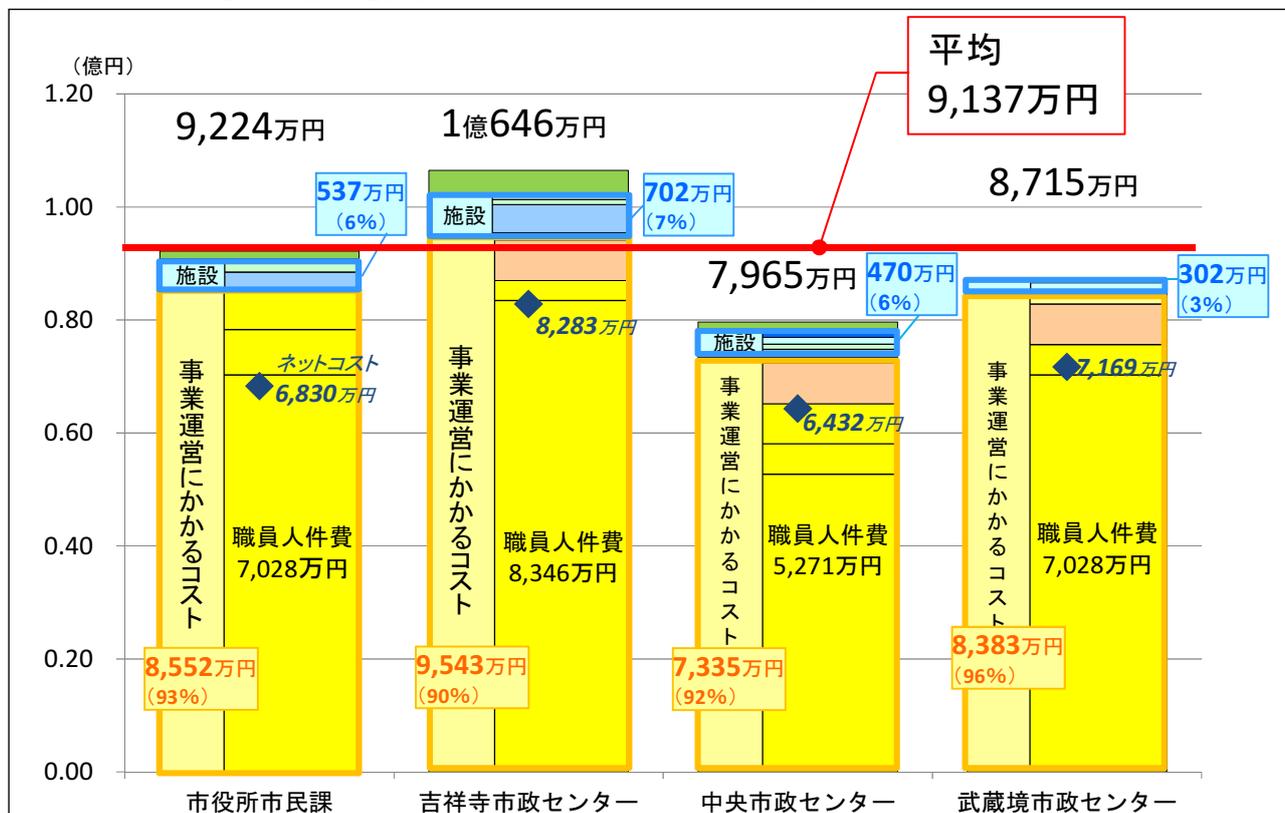
年間の窓口手数料等収入は 7,836 万円で、全体のコストの 21%に充当します。

施設別トータルコストでは、市民課窓口は 9,224 万円、市政センターは中央市政センターの 7,965 万円～吉祥寺市政センターの 1 億 646 万円で、市政センターの 1 施設平均は 9,108 万円です。

図表 3-(1)-20 窓口業務 全施設トータルコスト (平成 21 年度)



図表 3-(1)-21 窓口業務 施設別トータルコスト (平成 21 年度)



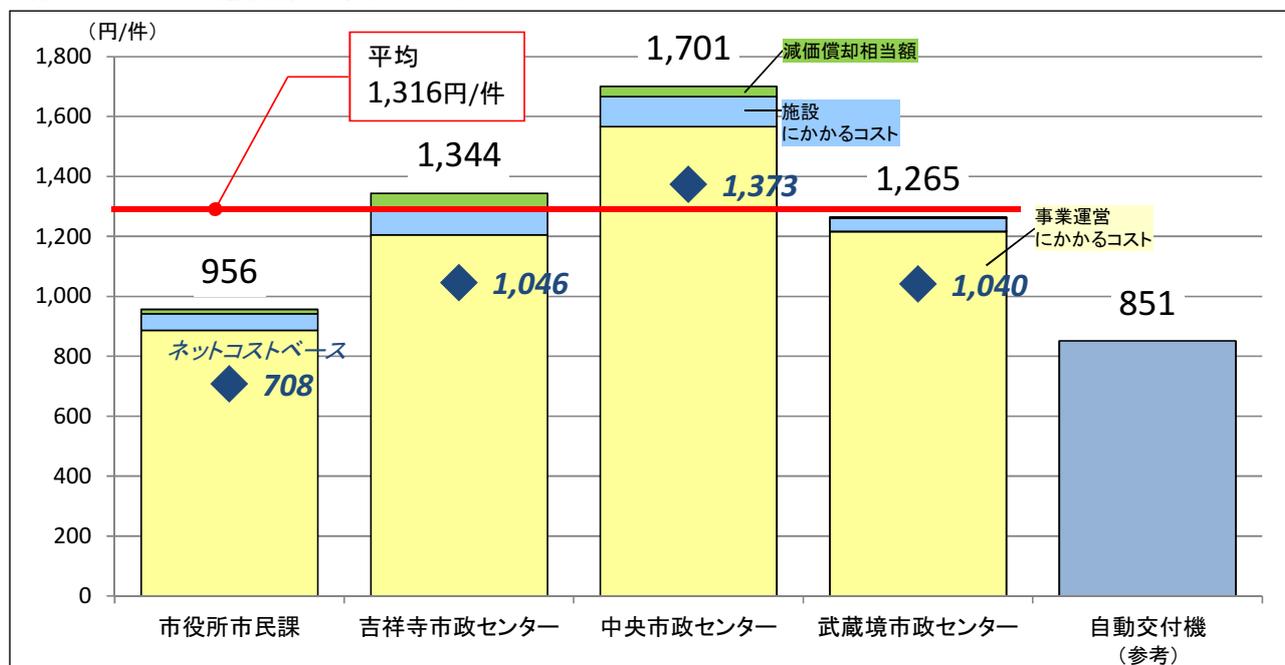
※中央市政センターの日曜日、夜間の超過勤務分の人件費は計上していません。

3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 利用件数とトータルコストの関係 (利用1件当たりコスト)

年間利用件数とトータルコストより利用1件当たりにかかるコストを算出すると、市役所市民課が956円と最も低く、中央市政センターの1,701円が最も高くなっています。平均は1,316円/件です。

図表 3-(1)-22 施設別 利用1件当たりコスト

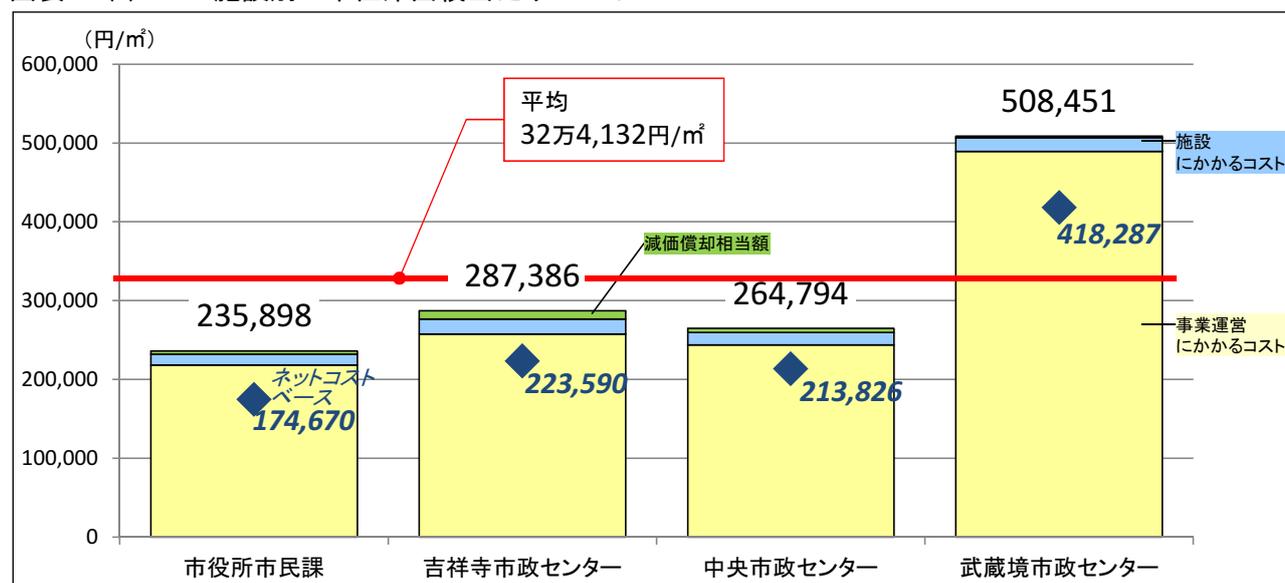


※中央市政センターは平日昼間のみの利用件数及びコスト

■ 延床面積とトータルコストの関係 (単位床面積当たりコスト)

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、市役所市民課が23万5,898円と最も低く、武蔵境市政センターの50万8,451円が最も高くなっています。平均は32万4,132円/㎡です。

図表 3-(1)-23 施設別 単位床面積当たりコスト

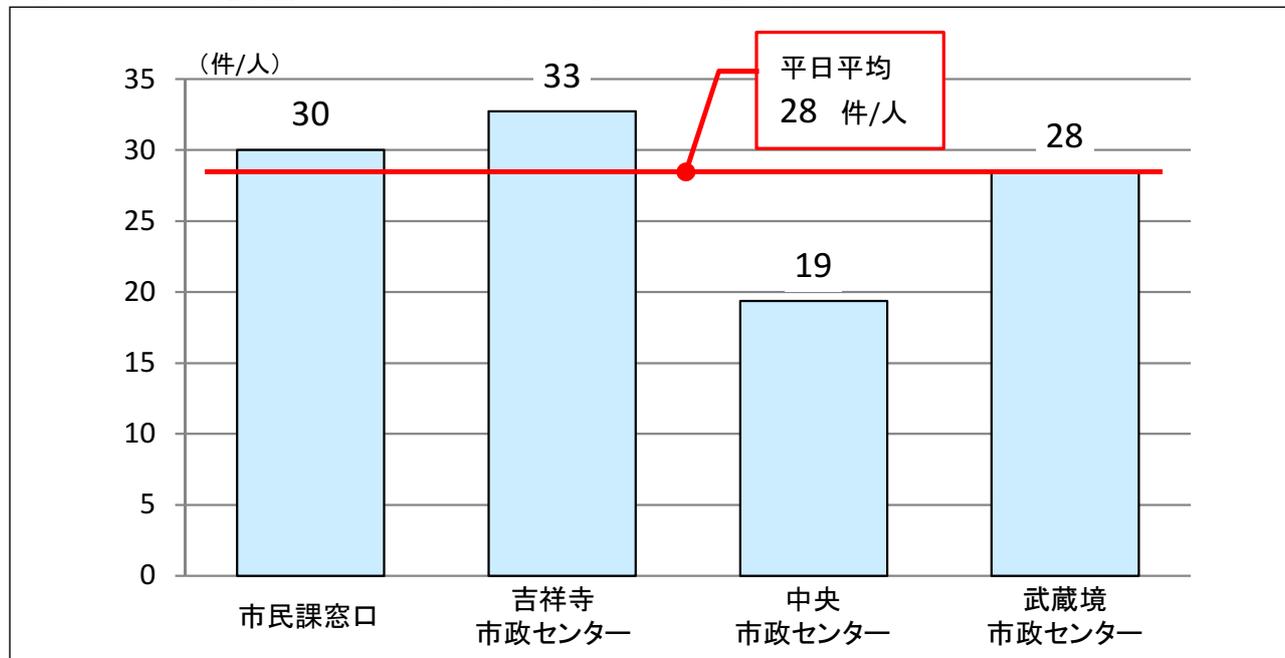


※中央市政センターは平日昼間のみのコスト

■ 職員 1 人当たりの処理件数

運営人員と利用件数より 1 日当たりの職員 1 人当たり処理件数を算出すると、中央市政センターの 19 件/人が最も少なく、吉祥寺市政センターが 33 件/人と最も多くなっています。平日の平均は 28 件/人です。

図表 3-(1)-24 施設別 1 日当たり職員 1 人当たりの処理件数



※中央市政センターは平日昼間のみの利用件数

(2) 文化・集会施設

ア. 図書館

1) 施設概要

① 施設一覧

武蔵野市では、昭和60年の第二期長期計画・第一次調整計画において、市内三圏域に図書館を1館ずつ配置する3館構想が示され、平成21年度現在、中央図書館、吉祥寺図書館、西部図書館の3館を運営しています。しかし、西部図書館の規模が小さいことや施設立地が偏っていることなどから、当初目指した3館構想を実現するには至っていません。そのため、図書館機能を中心とした複合機能施設である「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス（以下、武蔵野プレイス）」を建設し、平成23年7月から指定管理者により運営を行います。西部図書館は平成23年3月末に閉館し、その規模を拡充した武蔵野プレイスの開設に伴い、3館構想が実現します。

図書館は、現在、図書、記録等を収集、整理、保存して、一般公衆の利用に供することで、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として、貸出サービスや視聴覚サービスのほか、主催事業等を行っています。平成21年度現在、3館の延床面積は合計10,185㎡となっています。また、武蔵野プレイスの開設後には合計14,827㎡となります。（武蔵野プレイスの図書館面積については、図書館機能の床面積に、面積按分した事務室・共用部等の床面積を合算し、5,642㎡を計上しました。）

図表 3-(2)ア-1 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	主催事業							
				おはなし会 ・映画会	こどもまつり	どっきんど どようび	講座・講演	乳幼児向け おはなし会	児童サー ビス講演 会等	文庫連講 演会	朗読講座
1 中央図書館	吉祥寺北町4-8-3	7,529.2	平成6	●	●	●	●	●	●	●	●
2 西部図書館	境5-15-5	999.3	昭和56	●	●	●	●	—	—	—	—
3 吉祥寺図書館	吉祥寺本町1-21-13	1,656.0	昭和62	●	●	●	●	—	—	—	—
合計	—	10,184.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 武蔵野プレイス	境南町2-3	9,809.8	平成22								

※ 西部図書館は、平成23年3月末に閉館し、武蔵野プレイスに移転

※ 武蔵野プレイスは、平成23年度運営開始

② 開館日、開館時間

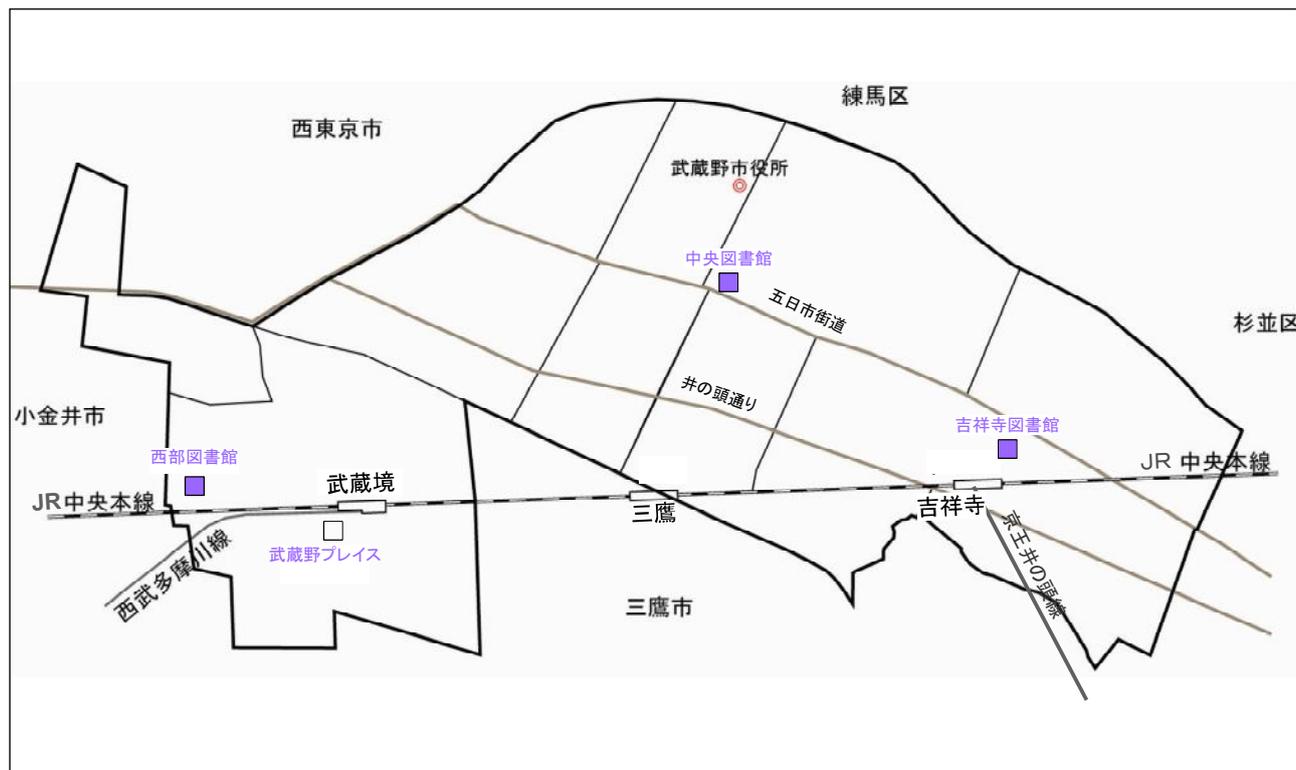
開館時間は、基本的に午前 9 時半～午後 8 時となっていますが、西部図書館のみ午後 7 時までとなっています。

平成 21 年度の開館日数は、平日は 184～187 日、土日祝日 103 日で、合計 287 日～290 日でした。

図表 3-(2)ア-2

名称	開館時間	休館日
中央図書館	月～木：午前 9 時半～午後 8 時 土日祝日：午前 9 時半～午後 5 時	毎週金曜日、館内整理日（毎月第 1 水曜日）、年末年始、特別整理期間
西部図書館	火・水：午前 9 時半～午後 7 時 月・木・土日祝日：午前 9 時半～午後 5 時	
吉祥寺図書館	月～木：午前 9 時半～午後 8 時 土日祝日：午前 9 時半～午後 5 時	

図表 3-(2)ア-3 図書館配置図



③ スペース構成

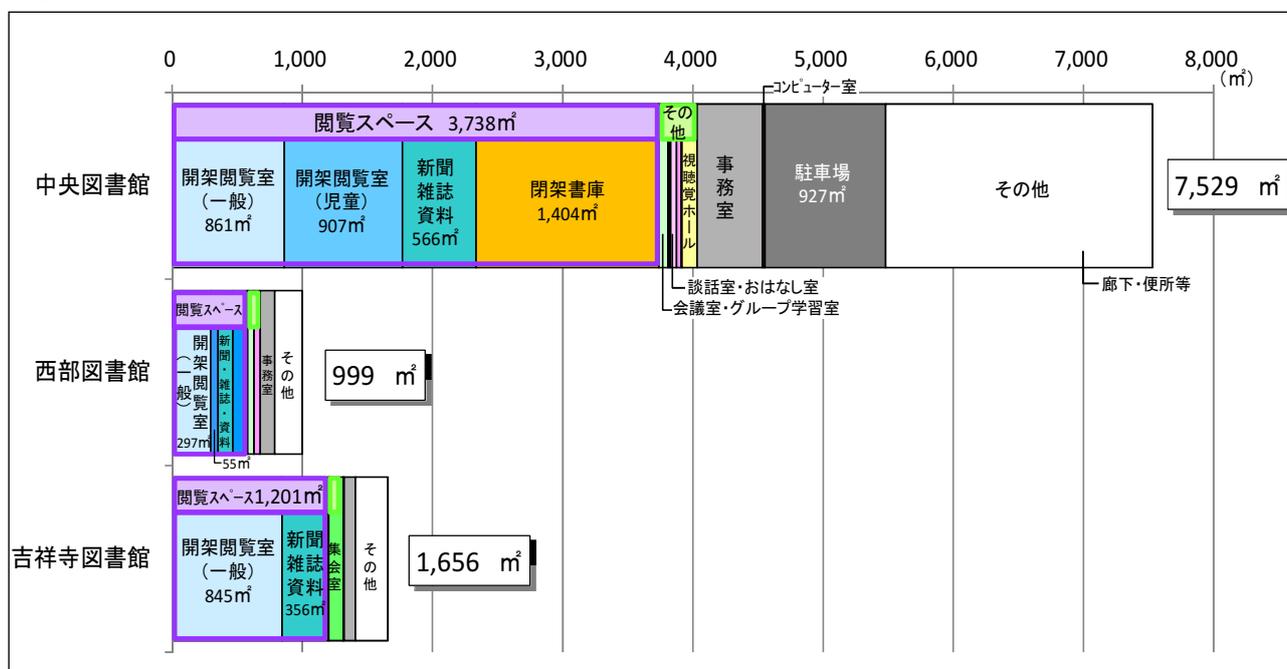
図書館の規模は、中央図書館が 7,529 m²、西部図書館が 999 m²、吉祥寺図書館が 1,656 m² となっています。

保有する主な機能は、閲覧スペース（開架閲覧室（一般・児童）新聞・雑誌・資料閲覧室等）とその他諸室（会議室、集会室、視聴覚ホール、対面朗読室等）、事務室、駐車場等を保有しています。

施設によって、保有する諸室の機能が異なっており、例として、吉祥寺図書館のみに集会室が設置されていることや、中央図書館のみに視聴覚ホールが設置されていることなどがあります。

閲覧スペースの割合は中央図書館が 50%、西部図書館が 58%、吉祥寺図書館が 73%となっており、中央図書館は、閉架書庫、グループ学習室や視聴覚ホール、駐車場などが充実しているため他の施設より閲覧スペースの割合が低くなっています。

図表 3-(2)ア-4 スペース構成



④ 蔵書数

平成 21 年度の図書館の総蔵書数は 76 万 846 冊で、内訳は中央図書館が 56.6 万冊、西部図書館が 9.1 万冊、吉祥寺図書館が 10.4 万冊となっています。

蔵書の内訳は、図書資料が 69.7 万冊 (91.6%)、視聴覚資料が 2.5 万タイトル (3.2%)、その他資料 (新聞、雑誌、マイクロフィルム) が 4.0 万件タイトル (5.2%) となっており、大半が図書資料であることがわかります。

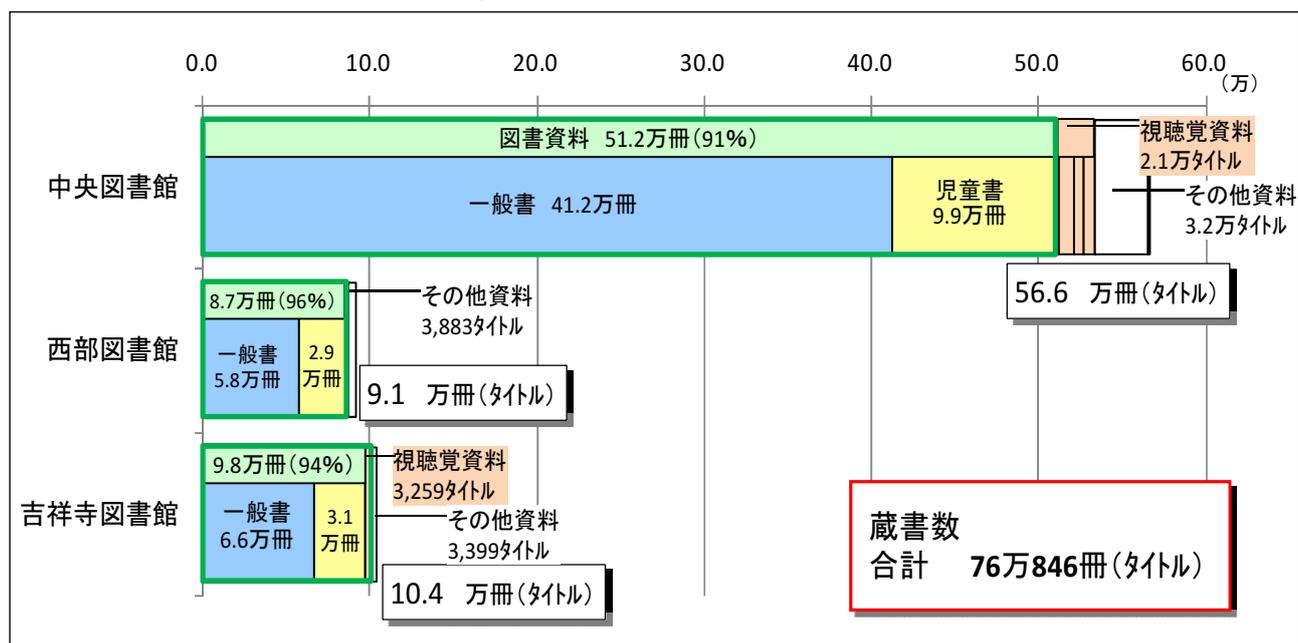
西部図書館には視聴覚資料がありません。

図書資料の内訳は、一般書が 53.6 万冊 (77.0%) と全体の過半数を占め、児童書が 15.8 万冊 (22.7%)、大活字本が 2 千冊 (0.3%) となっています。

図表 3-(2)ア-5 施設別蔵書数 (平成 21 年度)

		中央図書館	西部図書館	吉祥寺図書館	合計
図書資料	一般書	412,045	57,892	66,422	536,359
	うち外国語図書	6,387	0	0	
	児童書+YA+マンガ	98,726	28,661	30,807	158,194
	うち外国語図書	837	280	448	
	大活字本	1,115	534	371	2,020
	図書資料合計	511,886	87,087	97,600	696,573
視聴覚資料	CD	8,737	0	2,960	11,697
	カセット	0	0	299	299
	DVD	1,481	0	0	1,481
	ビデオ	3,465	0	0	3,465
	レーザーディスク	1,212	0	0	1,212
	録音図書(所蔵テープ)	6,405	0	0	6,405
	視聴覚資料合計	21,300	0	3,259	24,559
その他資料	新聞	44	0	22	66
	雑誌	31,539	3,883	3,377	38,799
	マイクロフィルム	849	0	0	849
	視聴覚資料合計	32,432	3,883	3,399	39,714
合計		565,618	90,970	104,258	760,846

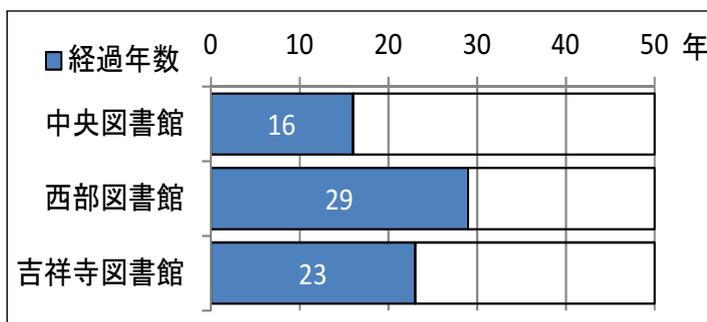
図表 3-(2)ア-6 蔵書数 (平成 21 年度)



2) 実態把握

① 建物状況

図表 3-(2)ア-7 老朽化状況【基準耐用年数：築50年(RC造)】



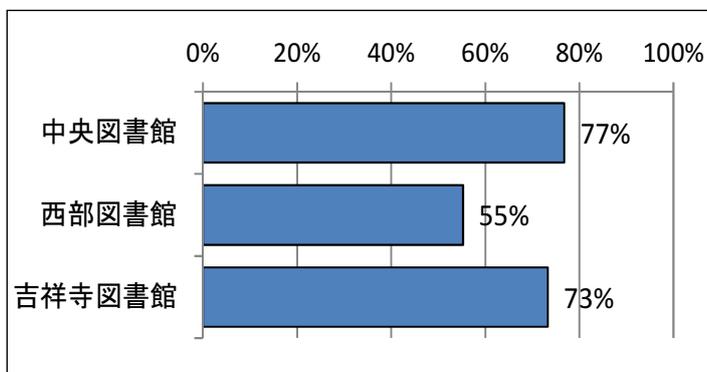
西部図書館は築29年を経過していますが、平成23年3月末に閉館しています。

図表 3-(2)ア-8 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

中央図書館	耐震基準に適合
西部図書館	平成23年度耐震診断実施
吉祥寺図書館	耐震基準に適合

図書館は、西部図書館を除き、耐震基準に適合しています。西部図書館は東京都の所有で、平成23年度に耐震診断を実施します。

図表 3-(2)ア-9 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



図書館のバリアフリー適合率は、55%～77%となっています。西部図書館にはエレベーターがなく他の施設に比べ適合率が低くなっています。

図表 3-(2)ア-10 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

	熱量合計 (MJ)	原油換算合計 (kl)	CO ₂ 排出量換算合計 (t)
中央図書館	合計	7,221,185.6	186.000
	単位床面積当たり	959.1	0.025
西部図書館	合計	1,033,109.8	26.000
	単位床面積当たり	1,033.9	0.026
吉祥寺図書館	合計	1,844,532.6	47.000
	単位床面積当たり	1,113.9	0.028
単位床面積当たり平均値 (A)		1,035.6	0.026

図書館の単位床面積当たり熱量は、年間約959MJ/m²～約1,114MJ/m²、単位床面積当たりCO₂排出量は、約0.04t/m²となっています。3館とも、ほぼ同程度の負荷状況となっています。

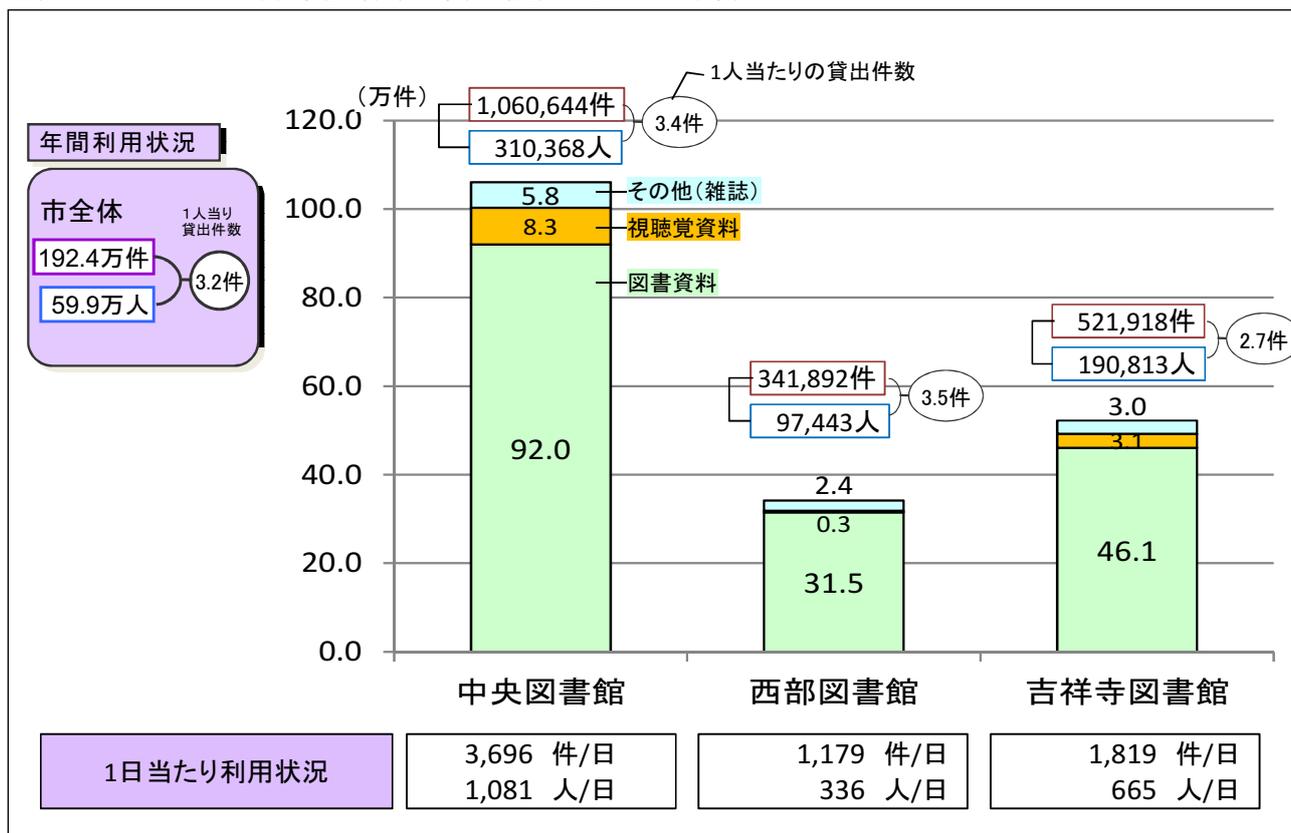
② 利用状況

■ 年間貸出者数・年間貸出件数

貸出件数は、年間約 192.4 万件で、1 館当たり 1 日平均約 2,231 件です。貸出者数は、年間約 59.9 万人です。中央図書館の貸出件数は、約 106.1 万件で市全体の約 55%を占めています。

貸出者数を館別にみると、中央図書館が約 31.0 万人(52%)、西部図書館が 9.7 万人(16%)、吉祥寺図書館が 19.1 万人 (32%) となっています。1 館当りの開館日 1 日の平均貸出者数は、中央図書館が約 1,081 人、西部図書館が約 336 人、吉祥寺図書館が 665 人です。

図表 3-(2)ア-11 年間貸出件数・貸出者数 (平成 21 年度)



■ 推移

貸出件数の推移は、平成17年度約161.6万件から平成21年度約192.4万件と1.2倍の増加傾向となっています。また、貸出者数は、平成17年度約41.6万人から平成21年度約59.9万人と1.4倍の増加傾向となっています。

施設別では、貸出者数の場合、特に西部図書館は1.5倍、吉祥寺図書館は1.8倍と増加しています。

貸出者1人当たりの貸出件数は、平成17年度から平成21年度まで1人当たり平均3件～4件程度となっています。

図表 3-(2)ア-12 貸出件数、貸出者数の推移

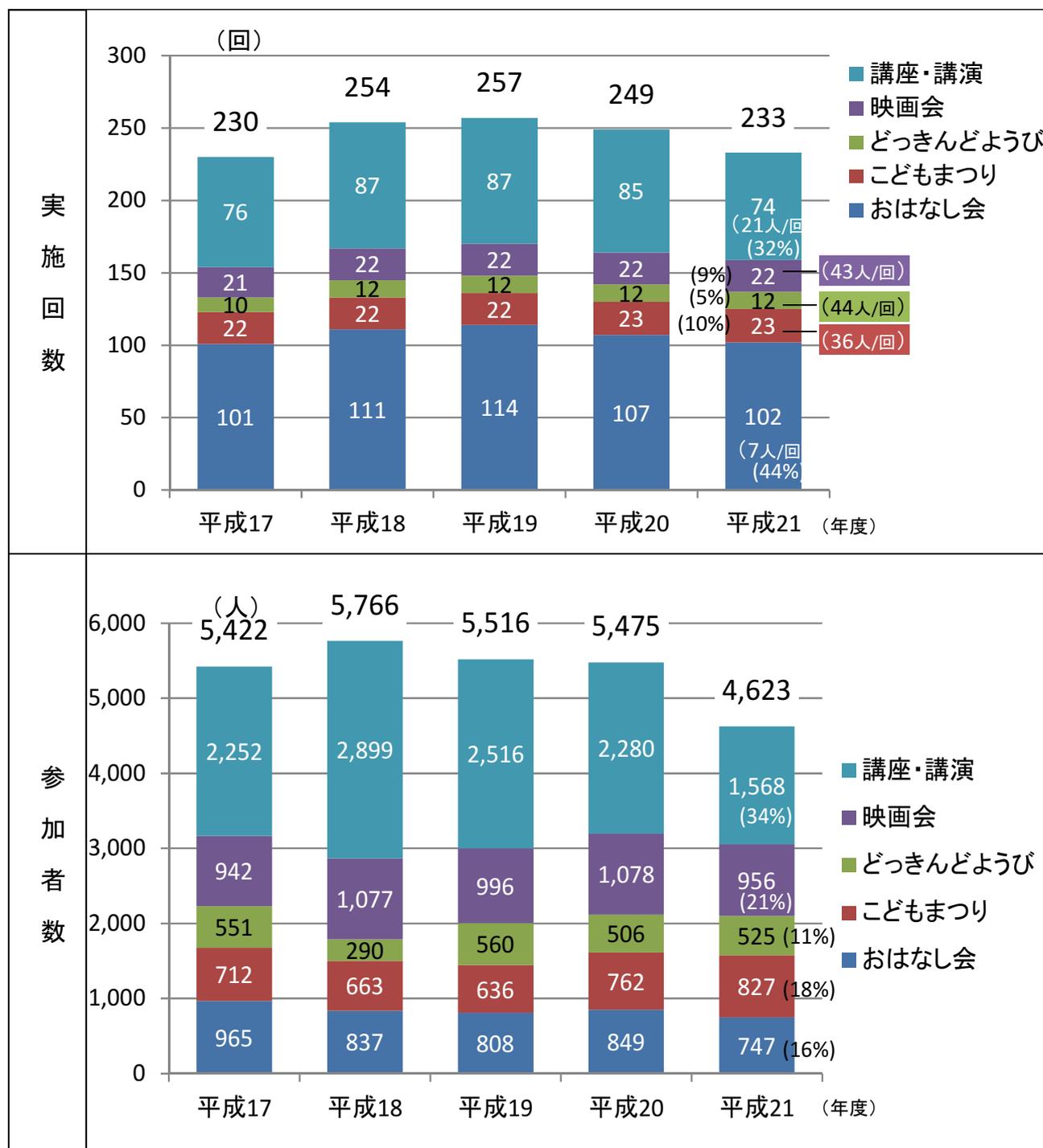


■ 主催事業の状況（年間延数）

主催事業の実施回数の推移は、平成17年度230回から平成21年度233回と240回前後で推移しています。また、参加者数は、平成17年度5,422人から5,500人前後で推移していましたが、平成21年度は4,623人と約15%減少しています。

内訳をみると、おはなし会の実施回数が最も多く全体の約44%を占めていますが、参加者数の割合をみると各年とも講座・講演会の参加者数が多く、全体の34%～50%を占めています。映画会・どっきんどようび・こどもまつりは、実施回数・参加者数ともほぼ同程度で推移しています。

図表 3-(2)ア-13 全施設 実施回数と参加者数（平成21年度）



■ 貸出利用登録者数（全館累計）

本市の図書館登録者数は、全館累計で8万8,423人です。そのうち、武蔵野市民の登録が5万1,552人で58%、その他在勤・在学や近隣市区在住者の登録が3万6,871人で42%となっています。

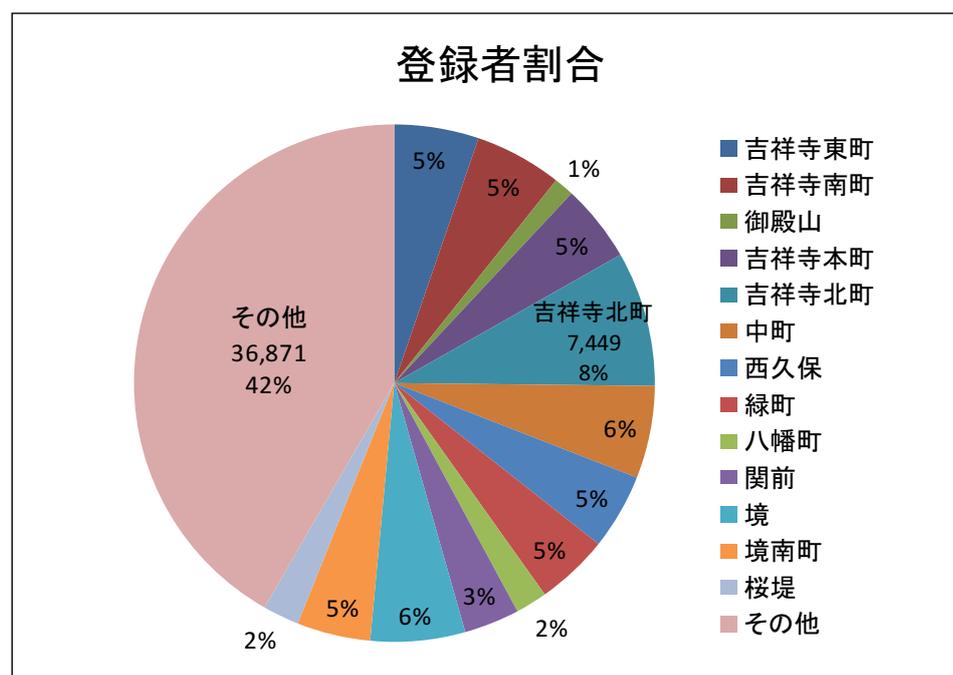
町別の登録率では、中央図書館近傍の吉祥寺北町・中町・緑町・八幡町の登録率が40%以上であり、市内の登録率と比較しても高い登録率となっています。吉祥寺図書館、西部図書館近傍の町の登録者は特段、高い登録率になっていません。

図表 3-(2)ア-14 町別 登録者数（平成22年3月31日現在）

町名	一般	児童	合計	人口	登録率
吉祥寺東町	3,953	685	4,638	11,946	38.8%
吉祥寺南町	3,975	827	4,802	13,423	35.8%
御殿山	931	159	1,090	3,460	31.5%
吉祥寺本町	3,704	568	4,272	11,230	38.0%
吉祥寺北町	5,870	1,579	7,449	15,871	46.9%
中町	4,340	772	5,112	11,643	43.9%
西久保	3,543	634	4,177	10,983	38.0%
緑町	2,934	1,061	3,995	8,401	47.6%
八幡町	1,281	462	1,743	4,305	40.5%
関前	2,352	691	3,043	8,706	35.0%
境	4,060	1,138	5,198	14,835	35.0%
境南町	3,220	817	4,037	13,647	29.6%
桜堤	1,532	464	1,996	6,615	30.2%
市内小計	41,695	9,857	51,552	135,065	38.2%
その他	32,626	4,245	36,871	—	—
合計	74,321	14,102	88,423	—	—

出典：武蔵野市の図書館平成21年度

図表 3-(2)ア-15 登録者割合



③ 運営状況

図書館は市が直営で行っており、全3館の運営人員は、延べ79人です。内訳は、職員が34人、嘱託職員が30人、パート・アルバイトが15人となっています。平成23年度開設予定の武蔵野プレイスは公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団が指定管理者となり運営されます。

館別では、中央図書館は職員21人（うち4人は3館をとりまとめた管理業務を担当）、嘱託22人、パート・アルバイト3人で計46人と最も多く、西部図書館は12人、吉祥寺図書館は21人となっています。

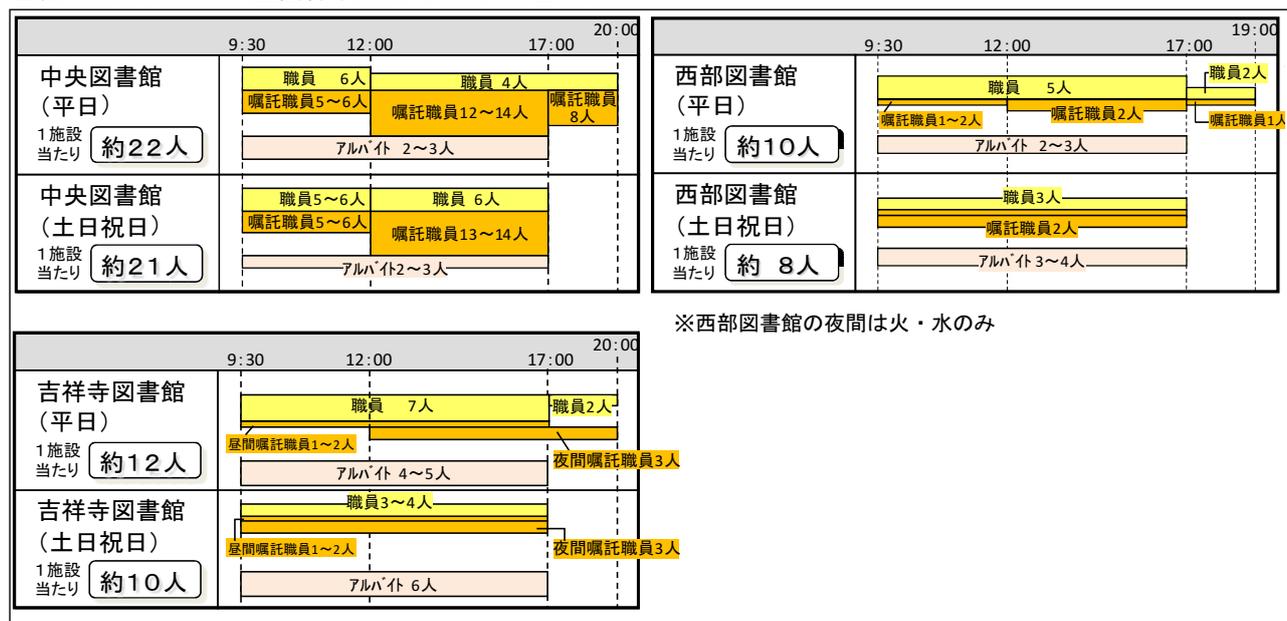
図書館主催の事業としては、おはなし会、映画会、講演会、講習会を実施しており、このうち講演会、講習会は本館である中央図書館のみで実施しています。

図表 3-(2)ア-16 運営人員（平成21年度）

業務内容	職階	中央図書館	西部図書館	吉祥寺図書館	合計
図書館管理係 (館長含む)	市職員	※ 4	—	—	4
	嘱託職員	—	—	—	—
その他	市職員	17	6	7	30
	嘱託職員	22	2	6	30
	パート・アルバイト	3	4	8	15
	小計	42	12	21	75
合計	市職員	21	6	7	34
	嘱託職員	22	2	6	30
	パート・アルバイト	3	4	8	15
	合計	46	12	21	79

※図書館管理係は、3館にまたがる業務をまとめて行っています。

図表 3-(2)ア-17 運営体制（カウンター窓口）



④ コスト状況

図書館3施設の年間トータルコストは、8億8,240万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は1億8,911万円(21%)、事業運営にかかるコスト(人件費・図書購入費・その他物件費等)は5億9,703万円(68%)、減価償却相当額は9,626万円(11%)です。

図表 3-(2)ア-18 施設別行政コスト計算書(平成21年度)

(千円)

I. 現金収支を伴うもの		中央 図書館	西部 図書館	吉祥寺 図書館	合計
【コストの部】					
施設 にか かる コ ス ト	各所修繕費	973	177	219	1,370
	大規模修繕費(※)	11,809	5,177	1,695	18,680
	光熱水費	12,880	2,735	4,081	19,696
	建物管理委託費	78,515	3,363	10,802	92,680
	使用料	13,945	2,164	2,302	18,411
	車両・備品購入費	794	116	48	958
	市債利息償還金	37,313	0	0	37,313
	施設にかかるコスト計	156,229	13,732	19,147	189,108
事業 運 営	職員人件費	175,211	52,710	66,502	294,423
	嘱託職員人件費	58,960	5,360	16,080	80,400
	臨時職員人件費	3,801	5,068	10,136	19,005
	負担金補助及び交付金	190	0	0	190
	図書購入費	38,656	16,267	17,152	72,076
	その他物件費	81,822	21,236	27,881	130,939
	事業運営にかかるコスト計	358,640	100,641	137,751	597,032
	現金収支を伴うコスト 計	514,869	114,373	156,898	786,140
【収益の部】					
その他使用料(駐車場使用料)	1,250	0	0	1,250	
諸収入	1,970	197	56	2,223	
現金収支を伴う収益 計	3,220	197	56	3,473	

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却相当額	83,655	0	12,605	96,260
---------	--------	---	--------	--------

III. 総括

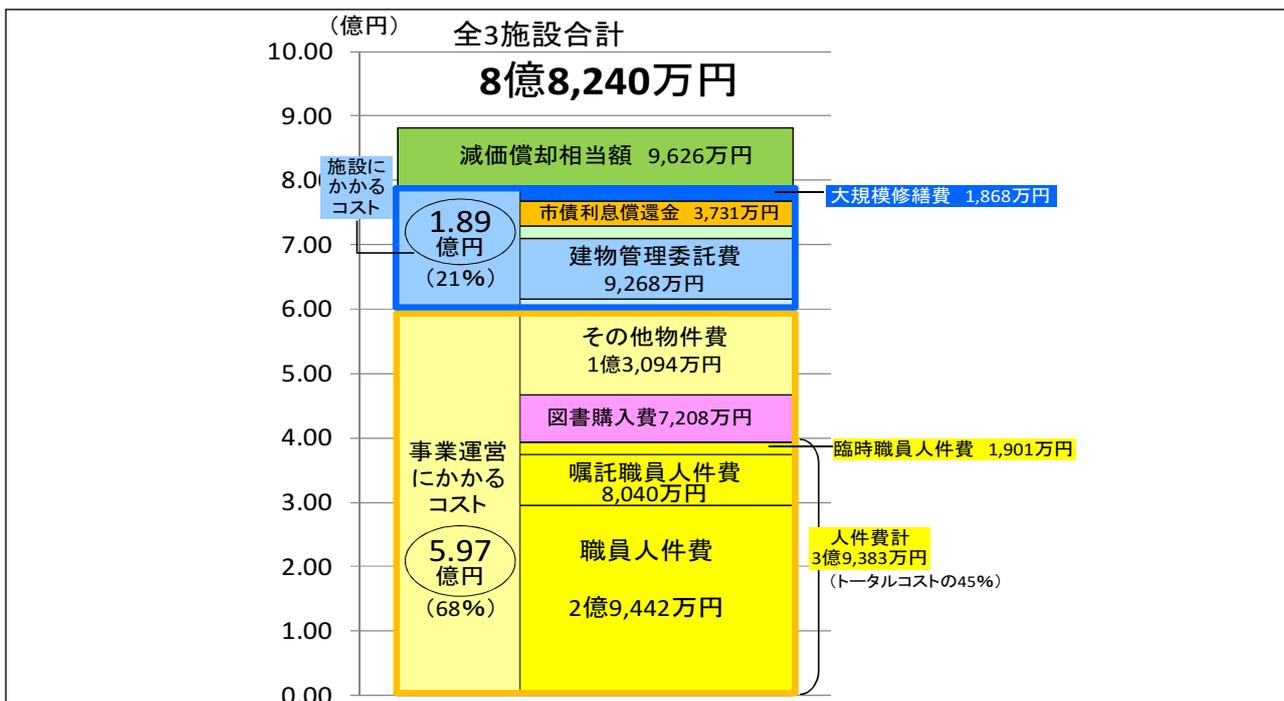
コストの部合計(トータルコスト)	598,524	114,373	169,503	882,400
収支差額(ネットコスト)	595,304	114,177	169,447	878,927

※大規模修繕費は、過去5年間の平均額を計上しています。

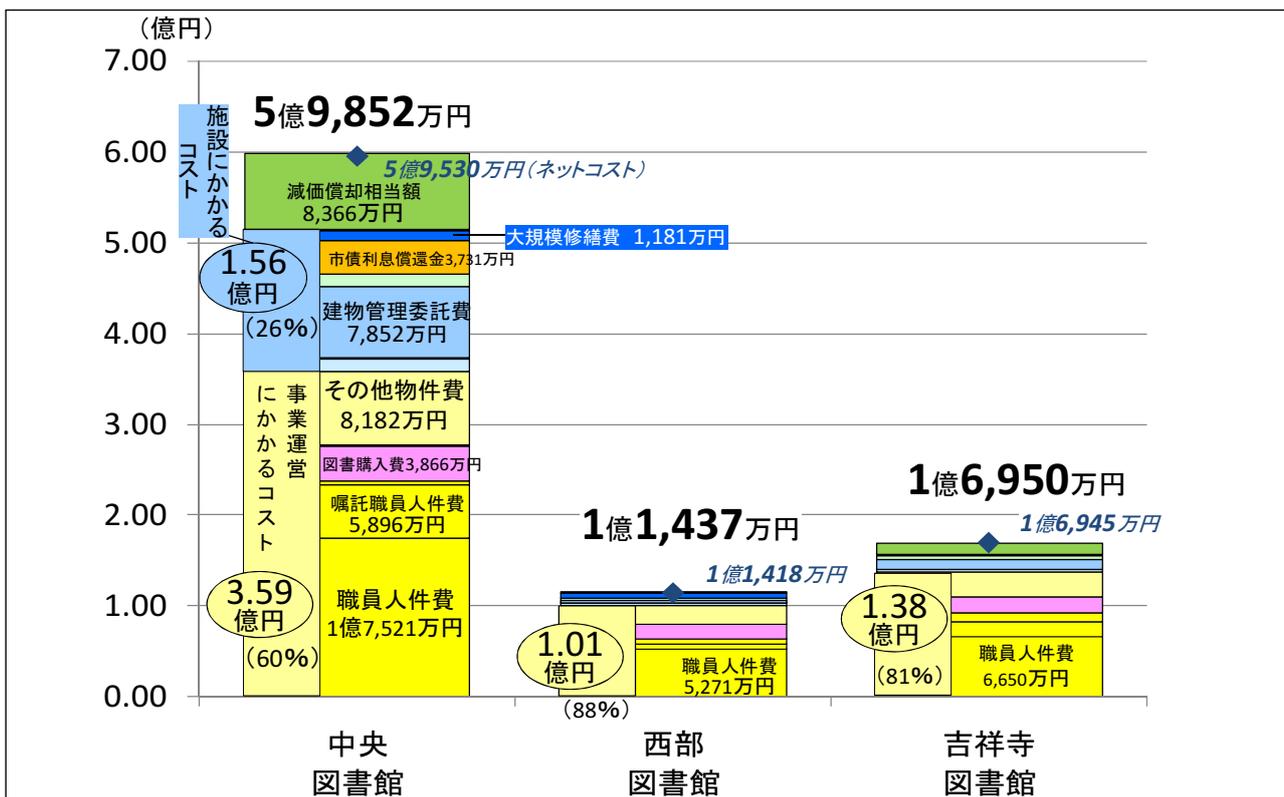
職員・嘱託・臨時職員人件費を合わせると、人件費が合計 3.9 億円、トータルコストの約 45% を占めています。

施設別トータルコストでは、中央図書館は 5 億 9,852 万円で全施設トータルコストの約 68% を占めています。西部図書館は 1 億 1,437 万円、吉祥寺図書館は 1 億 6,950 万円となっています。閉架書庫があるのは中央図書館のみであり、他の図書館に比べて 5～7 倍の蔵書を管理しているため、コストが大きくなっています。

図表 3-(2)ア-19 図書館 全施設トータルコスト（平成 21 年度）



図表 3-(2)ア-20 図書館 施設別トータルコスト（平成 21 年度）

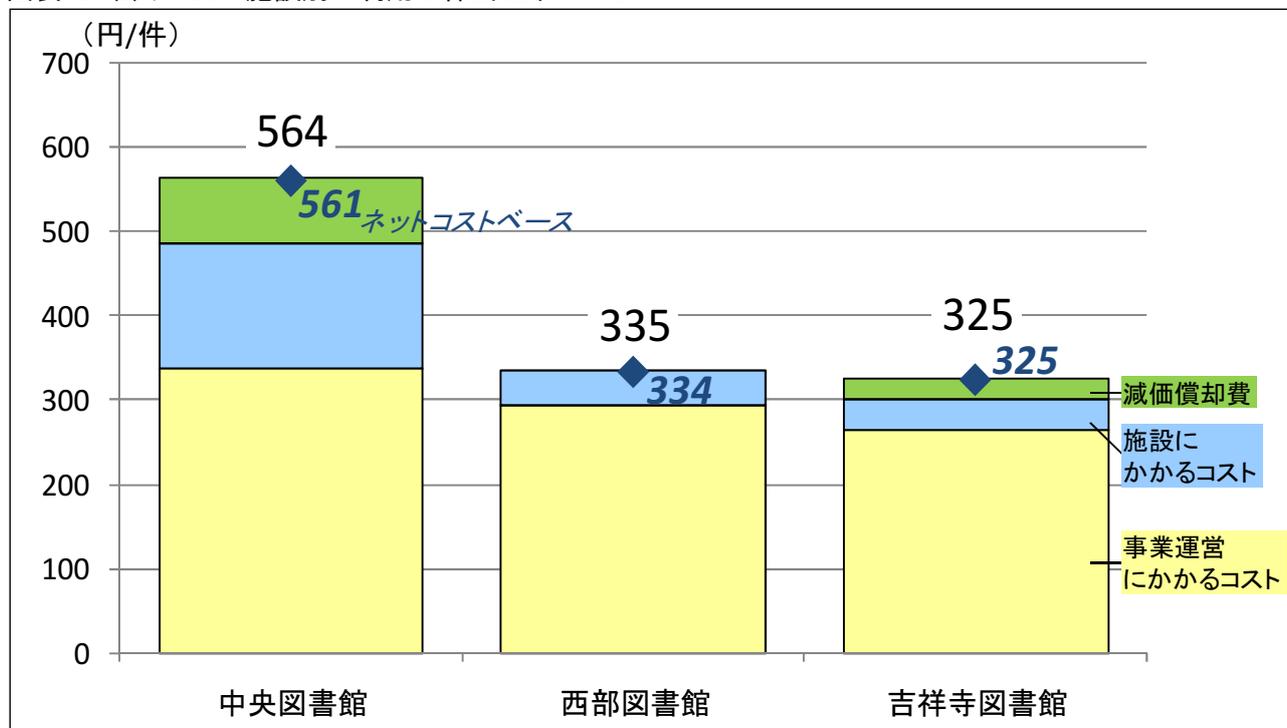


3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 貸出件数とトータルコストの関係（利用1件当たりコスト）

年間貸出件数とトータルコストより貸出1件当たりにかかるコストを算出すると、吉祥寺図書館の325円が最も低く、次いで西部図書館335円、中央図書館564円となっています。

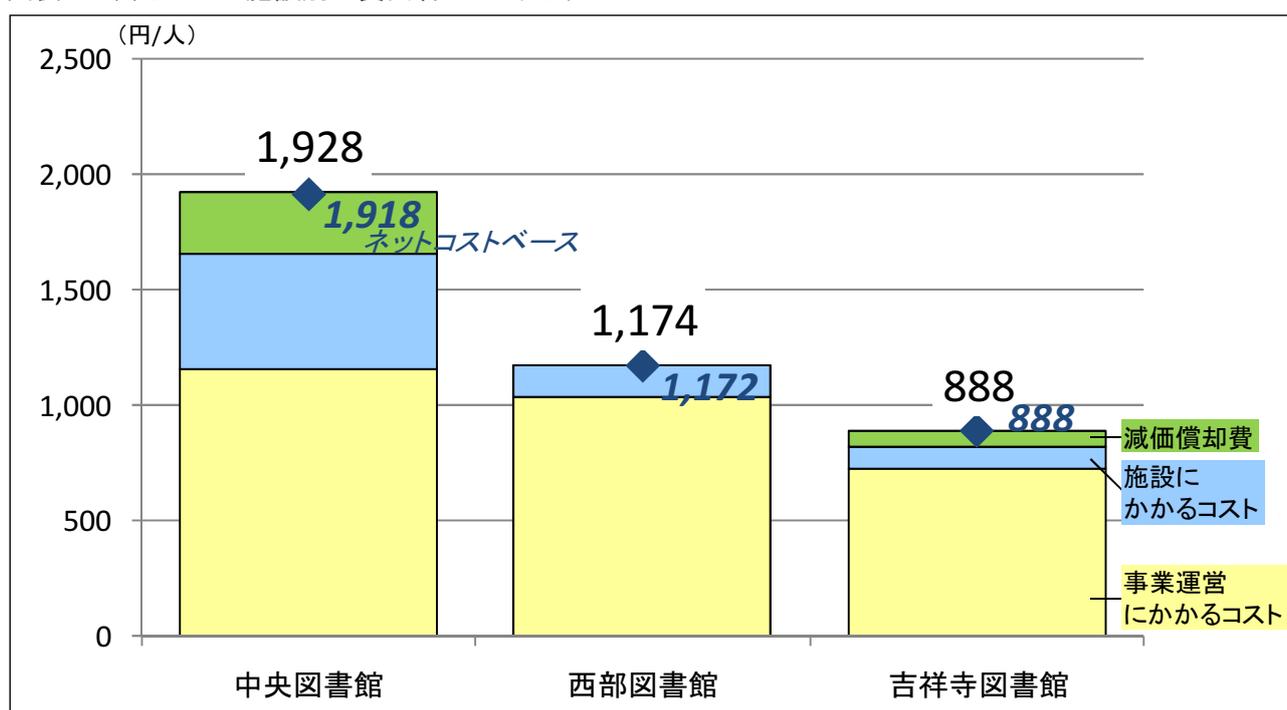
図表 3-(2)ア-21 施設別 利用1件当たりコスト



■ 貸出者数とトータルコストの関係（貸出者1人当たりコスト）

年間貸出者数とトータルコストより貸出者1人当たりにかかるコストを算出すると、吉祥寺図書館が888円と最も低く、次いで西部図書館1,174円、中央図書館1,928円となっています。

図表 3-(2)ア-22 施設別 貸出者1人当たりコスト

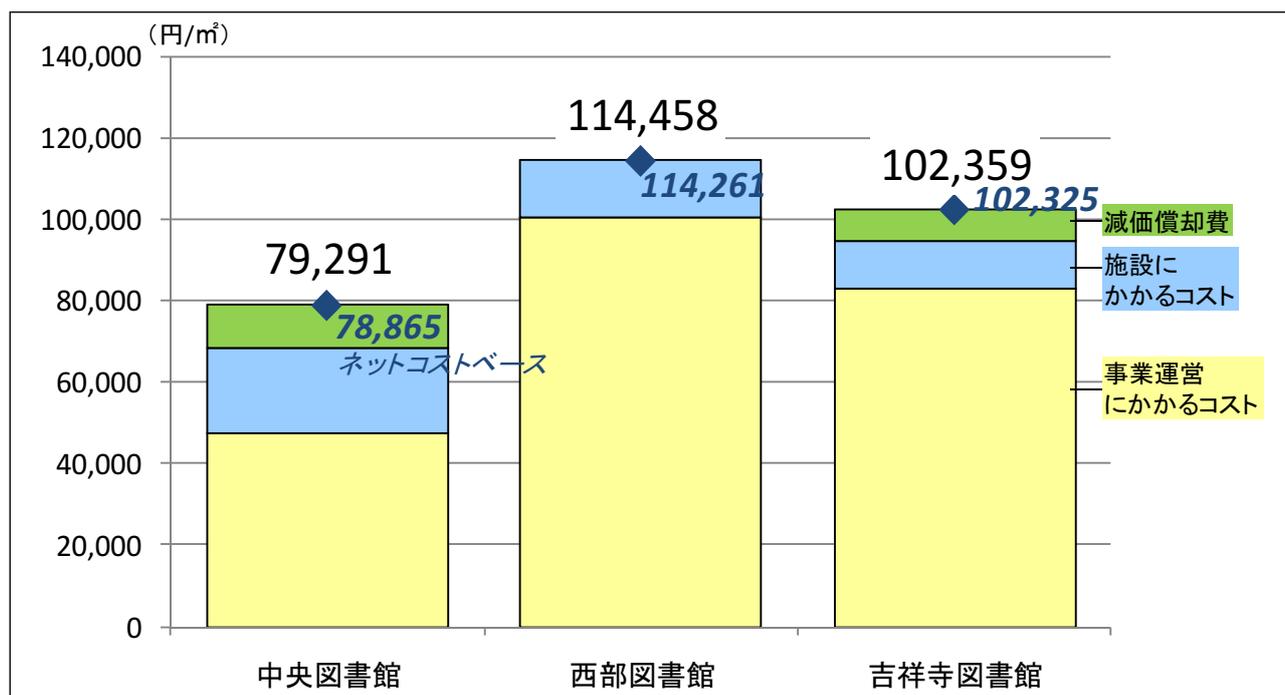


■ 延床面積とトータルコストの関係（単位床面積当たりコスト）

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、中央図書館の7万9,291円が最も低く、次いで吉祥寺図書館10万2,359円、西部図書館の11万4,458円となっています。

中央図書館には3館の管理事務機能があるほか、中央図書館のみ書庫を持ち、床面積が大きい
ため、単位床面積当たりのコストは小さくなっています。

図表 3-(2)ア-23 施設別 単位床面積当たりコスト



イ. 文化・集会施設

1) 施設概要

① 施設一覧

武蔵野市は文化・集会施設を平成21年度現在で9施設、平成23年度現在で11施設を保有しています。

主に演奏会・講演会等に利用される施設として、武蔵野市民文化会館・武蔵野公会堂・武蔵野スイングホール（会議室「スカイルーム」、「レインボーサロン」を含む）があります。主に演劇・ダンス・古典芸能に利用される施設として、武蔵野芸能劇場・吉祥寺シアターがあります。展示室や会議室（多目的ルーム・和室等）や音楽室・図書館機能等を複合的に保有する施設としては、吉祥寺美術館・武蔵野市民会館・武蔵野プレイス（平成23年度開設）があります。会議室のみを有する施設として、市民会議室（ゼロワンホール）、かたらいの道市民スペース（平成22年度開設）があります。茶室のみを有する施設として、古瀬公園内の旧古瀬邸を改修した松露庵があります。

複合施設は、4施設で、武蔵野スイングホールはスイングビル内、吉祥寺美術館はFFビル内、市民会議室は武蔵野商工会館内、かたらいの道市民スペースは武蔵野タワーズ内にあります。

図表 3-(2)イ-1 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	複合施設/ 単一目的施設
1 武蔵野市民文化会館	中町3-9-11	15,362.6	昭和59	単一目的
2 武蔵野芸能劇場	中町1-15-10	1,578.6	昭和58	単一目的
3 武蔵野公会堂	吉祥寺南町1-6-22	2,486.6	昭和38	単一目的
4 武蔵野スイングホール	境2-14-1	1,992.3	平成8	複合(スイングビル)
5 吉祥寺美術館	吉祥寺本町1-8-16	1,009.0	昭和45	複合(FFビルコピス)
6 松露庵	桜堤1-4-22	99.9	昭和15	単一目的
7 吉祥寺シアター	吉祥寺本町1-33-20	1,431.5	平成16	単一目的
8 武蔵野プレイス(平成23年度開設)	境南町2-3	9,809.8	平成22	単一目的
9 市民会議室(ゼロワンホール)	吉祥寺本町1-10-7	259.0	平成13	複合(商工会館)
10 武蔵野市民会館	境2-3-7	2,245.09	昭和59	単一目的
11 かたらいの道 市民スペース(平成22年度開設)	中町1-11-16	141.78	平成22	複合(武蔵野タワーズ)
—	—	36,416.1	—	—

図表 3-(2)イ-2 保有機能一覧

おおよその規模	ホール・劇場			練習室/ リハール室	音楽室	展示室/ ギャラリー	会議・集会室		レセプション ホール	喫茶室	茶室	図書機能
	大規模 1,500人	中規模 300 ~500人	小規模 100 ~200人				小規模 150 ~200人	洋室				
武蔵野市民文化会館	● (1,354席)	● (474席)		●		●	●	●			●	
武蔵野公会堂		● (350席)					●	●				
武蔵野スイングホール			● (180席)				●		●			
武蔵野芸能劇場			● (100人)	● (154席)								
吉祥寺シアター				● (197席)								
吉祥寺美術館					●	●						
武蔵野プレイス (平成23年度開設)					●	●	●			●		●
武蔵野市民会館					●		●	●				●
市民会議室 (ゼロワンホール)							● (190㎡)					
かたらいの道 市民スペース (平成22年度開設)							●					
松露庵											●	

② 運営日、運営時間（平成 21 年度）

利用時間区分は、吉祥寺美術館、武蔵野プレイスのスタジオを除き、午前・午後・夜間の3区分となっています。

各施設の休館日は、下表のとおりです。

図表 3-(2)イ-3 運営時間・休館日一覧

	利用区分				休館日
	午前	午後	夜間	全日	
武蔵野市民文化会館	9時～12時	13時～17時	18時～22時	○	水曜日、年末年始
武蔵野公会堂	9時～12時	13時～17時	18時～22時	○	月曜日、年末年始
武蔵野スイングホール	9時～12時	13時～17時	18時～22時	○	月曜日、年末年始
武蔵野芸能劇場	10時～12時	13時～17時	18時～23時	○	水曜日、年末年始
吉祥寺シアター	9時～12時	13時～17時	18時～22時半	○	毎月最終火曜日、年末年始
吉祥寺美術館 : 美術館	10時～19時半			—	毎月最終水曜日、年末年始
: 音楽室	9時～12時	13時～16時半	17時半～21時	○	
武蔵野プレイス : フォーラム、スペース、 (平成23年度開設) ギャラリー	9時半～12時半	13時～17時	18時～22時	○	水曜日、年末年始
: 各種スタジオ	9時半～12時	12時～14時半 14時半～17時	17時～19時半 19時半～22時	—	
武蔵野市民会館	9時～12時	13時～17時	18時～22時	○	木曜日、年末年始
市民会議室(ゼロワンホール)	9時～12時	13時～17時	18時～22時	○	火曜日、年末年始
かたらいの道市民スペース(平成22年度開設)	9時～12時	13時～17時	18時～22時	○	水曜日、年末年始
松露庵	9時～12時	13時～17時		○	水曜日、年末年始

図表 3-(2)イ-4 配置図



③ 設置目的及び事業内容

ホール・劇場系機能を中心とした武蔵野市民文化会館、武蔵野公会堂、武蔵野スイングホール、武蔵野芸能劇場、吉祥寺シアターは、主に市民文化創造の拠点あるいは文化活動の場の提供等を目的として設置されており、全施設で主催事業・貸館事業を実施しています。

吉祥寺美術館、武蔵野プレイス、武蔵野市民会館、設置目的も様々となっており、主催事業・貸館事業を実施しています。

市民会議室（ゼロワンホール）、かたらいの道市民スペースは、市民活動の場として設置されており、貸館事業のみを行っています。

松露庵は、市民が茶会等の日本の伝統文化に親しむ場として設置されており、茶会等の伝統的文化の振興のため実施する主催事業及び貸館事業を実施しています。

図表 3-(2)イ-5 設置目的・事業内容一覧

	設置目的	事業内容	
		主催事業	貸館事業
武蔵野市民文化会館	市民文化創造の拠点として、多目的の大ホールと音楽専用の小ホールをもち、展示室、会議室、茶室、和室を備える総合文化施設を設置する。	主催事業	貸館事業
武蔵野公会堂	市民および地域社会の福祉の増進と文化の向上に寄与するため、多目的ホール、大会議室、茶道用水屋のある和室を備える公会堂を設置する。	主催事業	貸館事業
武蔵野スイングホール	市民の創造性あふれる文化活動の場を提供するとともに、芸術文化の振興を図るため、完全防音構造のホールを有するスイングホールを設置する。	主催事業	貸館事業
武蔵野芸能劇場	郷土の古典芸能の保存、育成及び芸術文化の振興を図るため設置する。	主催事業	貸館事業
吉祥寺シアター	芸術文化の振興を図るため、演劇その他舞台芸術の創造、普及及び発信の拠点として設置する。	主催事業	貸館事業
吉祥寺美術館	市民が美術その他の芸術文化を享受することに寄与し、その創造及び発展に資するため設置する。	主催事業	貸館事業
武蔵野プレイス	図書館を中心として、「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」等の機能を併せ持った施設として設置する。	(主催事業) (平成23年度開設)	(貸館事業) (平成23年度開設)
武蔵野市民会館	社会教育の振興を図るとともに、市民及び地域社会の文化の向上と福祉の増進に寄与するため、設置する。	主催事業	貸館事業
市民会議室(ゼロワンホール)	会議、講演会その他の催しの場を提供することにより、市民の活動、交流等を促進するために設置する。	—	貸館事業
かたらいの道市民スペース	市民の活動、交流等を促進することにより、市民文化の振興を図るため設置する。	—	(貸館事業) (平成22年度開設)
松露庵	市民が茶会等の日本の伝統的文化に親しむ場として、設置する。	主催事業	貸館事業

④ スペース構成

文化・集会施設では、武蔵野市民文化会館が15,363㎡で最も規模が大きい施設です。定員1,350人の大ホールや定員500人の中ホールを中心として、練習室、会議室、和室、展示室等を保有しています。

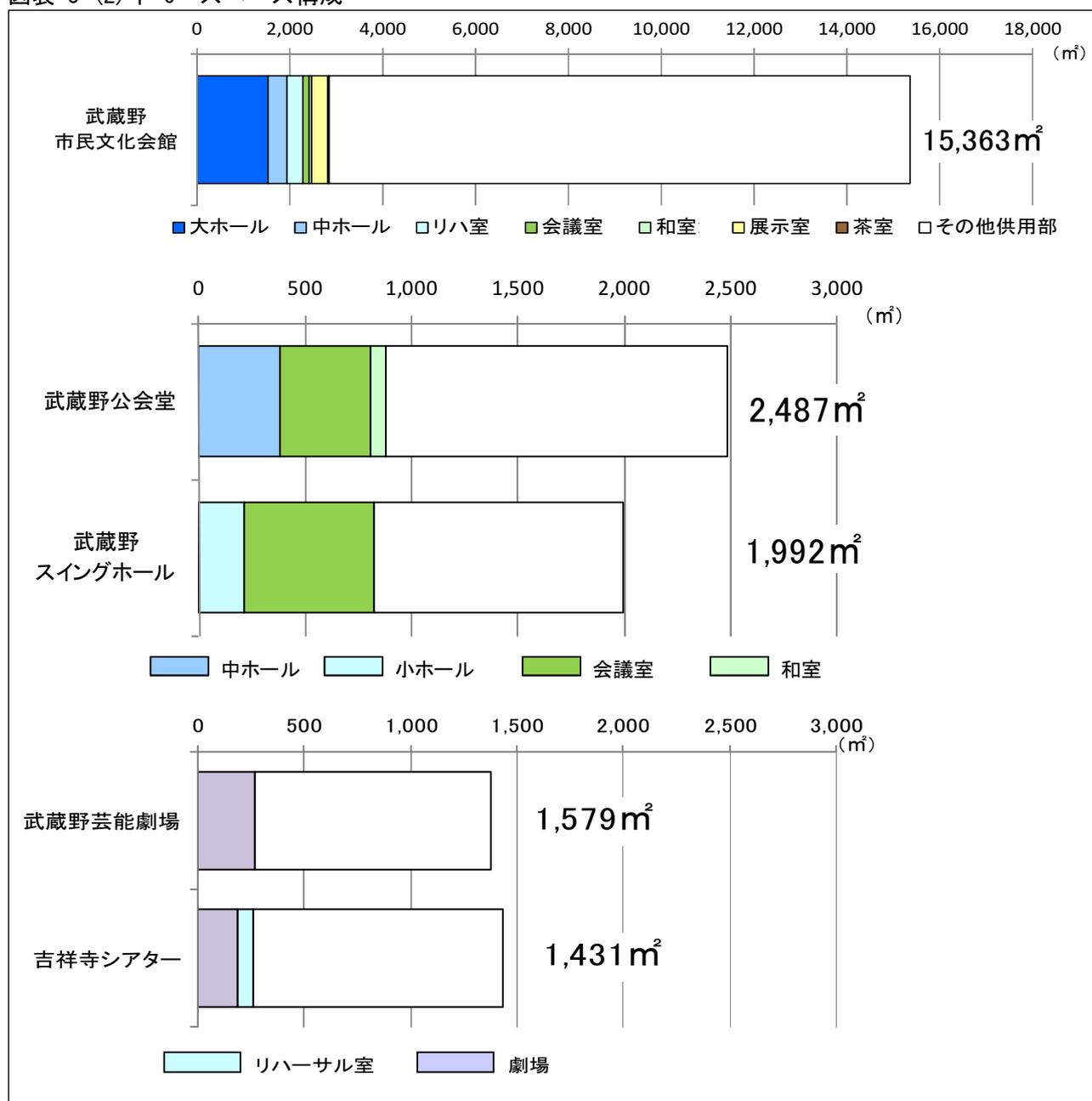
武蔵野芸能劇場、吉祥寺シアターは、それぞれ150～200席の段床式の客席がある劇場を中心としたスペース構成となっています。

図書館機能を中心とした武蔵野プレイスは、会議室、学習室、展示室（ギャラリー）、音楽室等を保有しています。

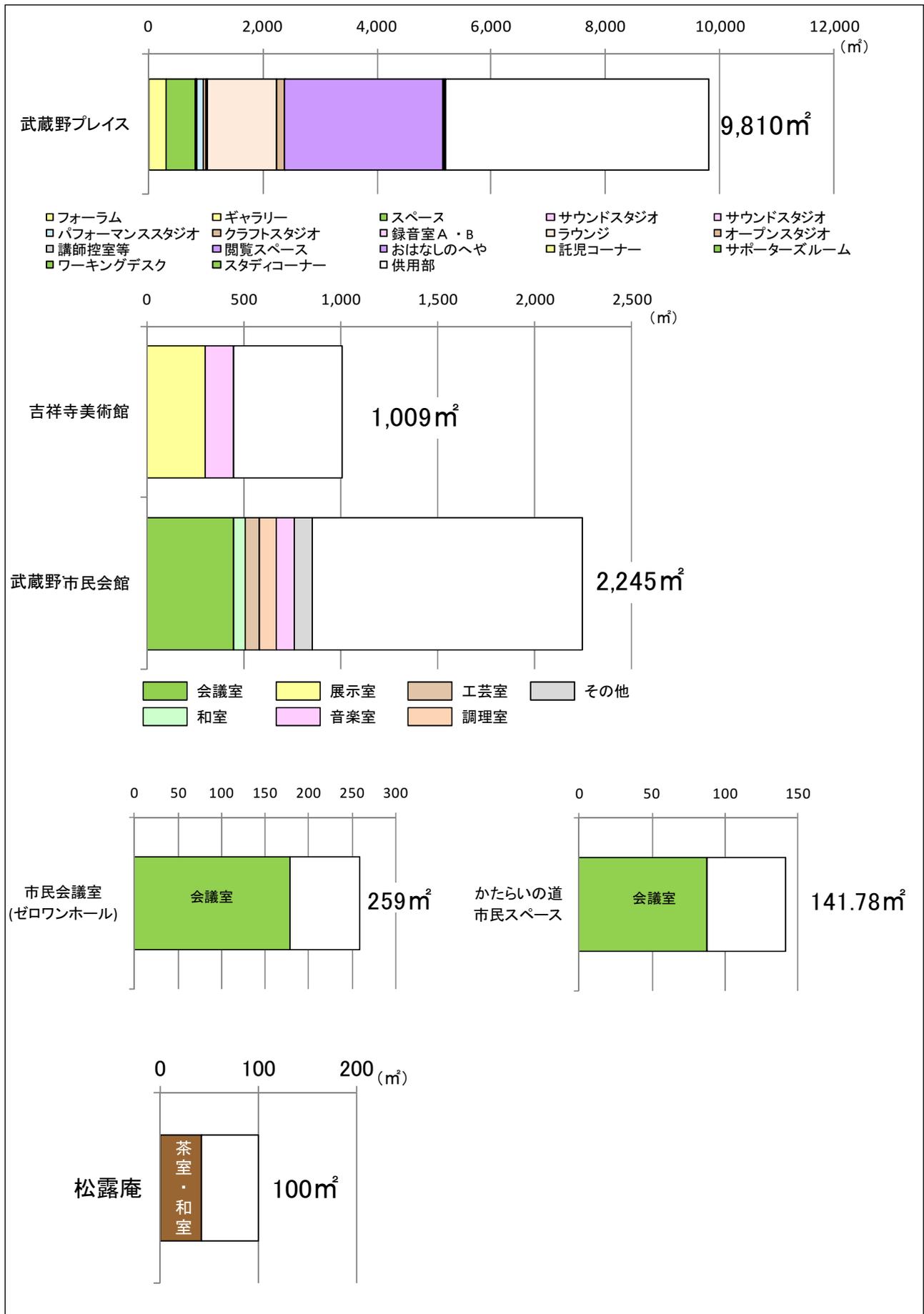
市民会議室は、会議、研修等に利用できる大会議室178㎡を保有する施設です。

松露庵は、にじり口を持つ三畳台目の小間のほか、水屋を兼ねた六畳間及び八畳間からなる和室で構成されています。

図表 3-(2)イ-6 スペース構成



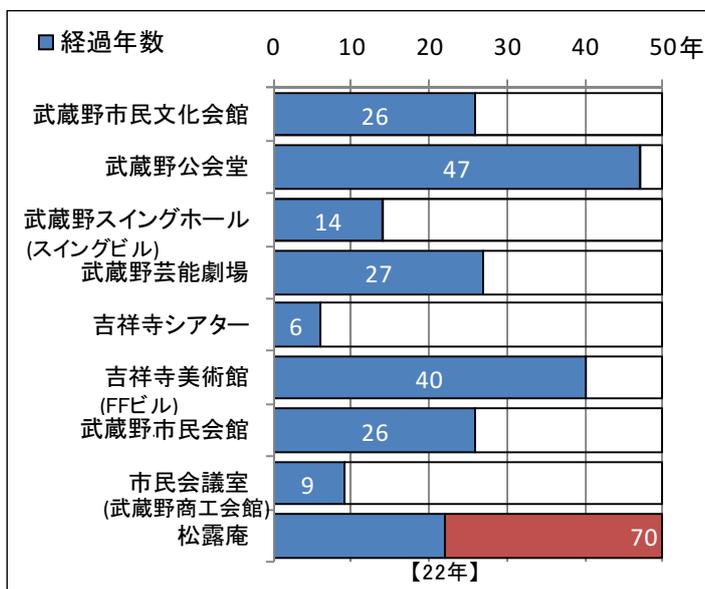
(2) イ文化・集会施設



2) 実態把握

① 建物評価

図表 3-(2)イ-7 老朽化状況【基準耐用年数：築50年(RC造)・築22年(木造)】



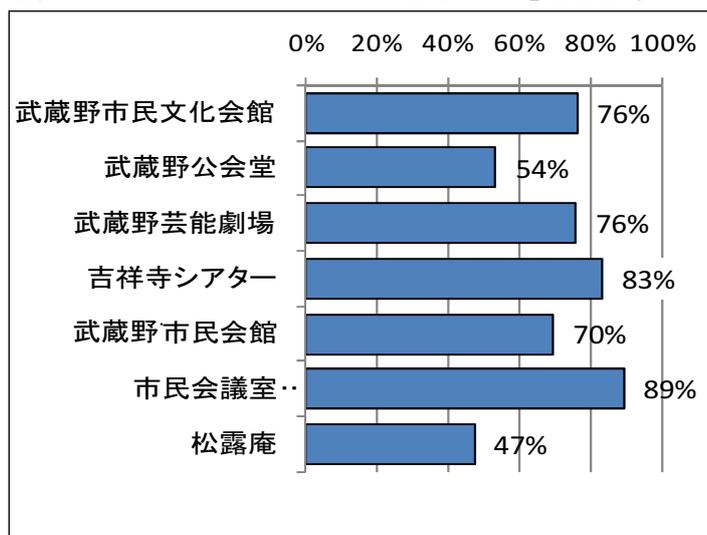
武蔵野公会堂は基準耐用年数まで3年に迫っていて建替えの検討が必要です。松露庵は、旧古瀬邸を改修した茶室で、基準耐用年数を3倍以上経過しています。

図表 3-(2)イ-8 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

武蔵野市民文化会館	耐震基準に適合
武蔵野公会堂	耐震基準に適合
武蔵野公会堂会議室棟	耐震基準に適合
武蔵野スイングホール(スイングビル)	耐震基準に適合
武蔵野芸能劇場	耐震基準に適合
吉祥寺シアター	耐震基準に適合
吉祥寺美術館(FFビル)	耐震基準に適合
武蔵野市民会館	耐震基準に適合
市民会議室(武蔵野商工会館)	耐震基準に適合
松露庵	耐震基準に適合

文化・集会施設は、全施設とも、耐震基準に適合しています。

図表 3-(2)イ-9 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



文化・集会施設7施設のバリアフリー適合率は、47%～89%となっています。武蔵野公会堂はエレベーターがなく上下階への移動に支障をきたしています。松露庵は和風伝統家屋特有の段差などがあり適合率が低くなっています。

吉祥寺美術館は民間施設を賃借、武蔵野スイングホールは区分所有しており、市単独で保有する施設ではないため、除いています。

図表 3-(2)イ-10 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

施設名	区分	熱量合計	原油換算	CO ₂ 排出量
		(MJ)	合計 (kl)	換算合計 (t)
武蔵野市民文化会館	合計	14,126,402.5	364.000	582.000
	単位床面積当たり	919.5	0.024	0.038
武蔵野公会堂	合計	4,232,687.9	109.000	187.000
	単位床面積当たり	1,702.2	0.044	0.075
武蔵野スイングホール(スイングビル)	合計	3,136,950.0	80.000	129.000
	単位床面積当たり	1,574.5	0.040	0.065
武蔵野芸能劇場	合計	2,288,488.6	59.000	96.000
	単位床面積当たり	1,449.7	0.037	0.061
吉祥寺シアター	合計	2,536,593.2	65.000	100.000
	単位床面積当たり	1,772.0	0.045	0.070
吉祥寺美術館(FFビル)	合計	855,317.6	22.000	33.000
	単位床面積当たり	847.7	0.022	0.033
武蔵野市民会館	合計	2,147,653.8	55.000	92.000
	単位床面積当たり	956.6	0.024	0.041
市民会議室(武蔵野商工会館)	合計	372,462.0	9.488	14.584
	単位床面積当たり	1,438.1	0.037	0.056
松露庵	合計	67,763.7	1.000	2.000
	単位床面積当たり	678.3	0.010	0.020
単位床面積当たり平均値(A)		1,259.9	0.031	0.051

文化・集会施設の単位床面積当たり熱量は、年間約678MJ/m²～約1,772MJ/m²、単位床面積当たりCO₂排出量は、約0.02 t/m²～約0.08 t/m²となっています。(複合施設で対象施設のみで把握できない場合には、複合施設全体の熱量を面積案分し算出しています。)

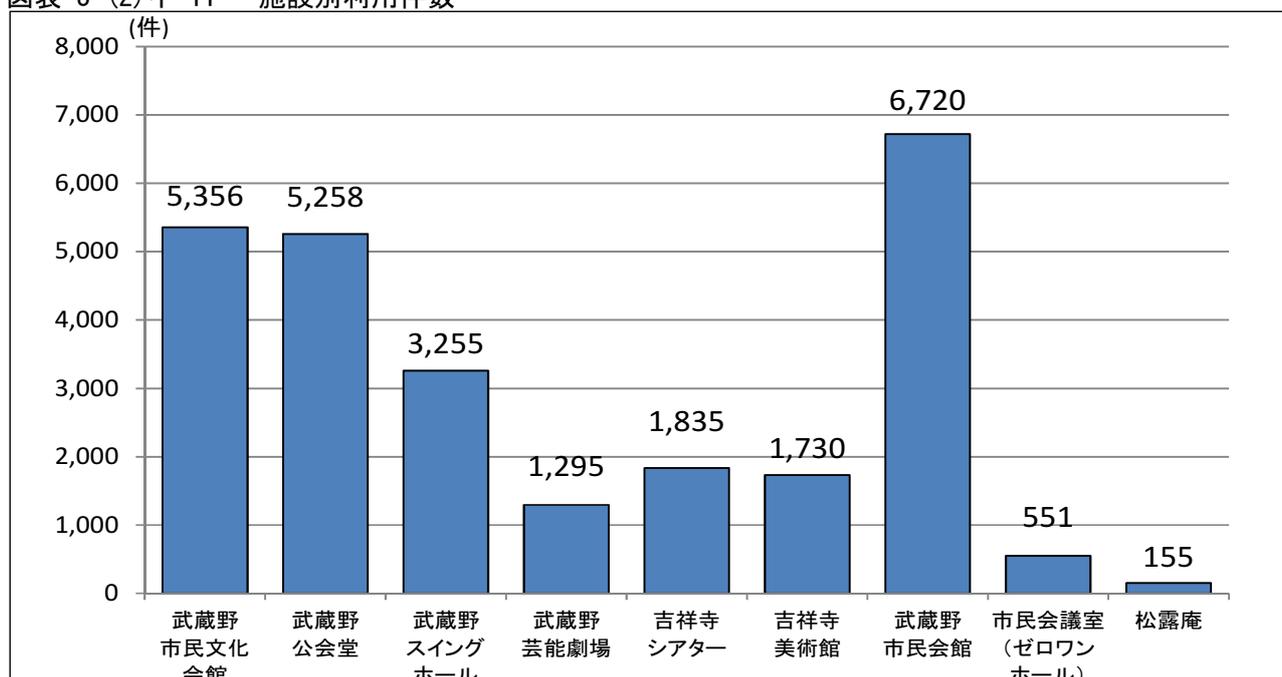
② 利用状況

■ 施設別年間利用件数・利用者数

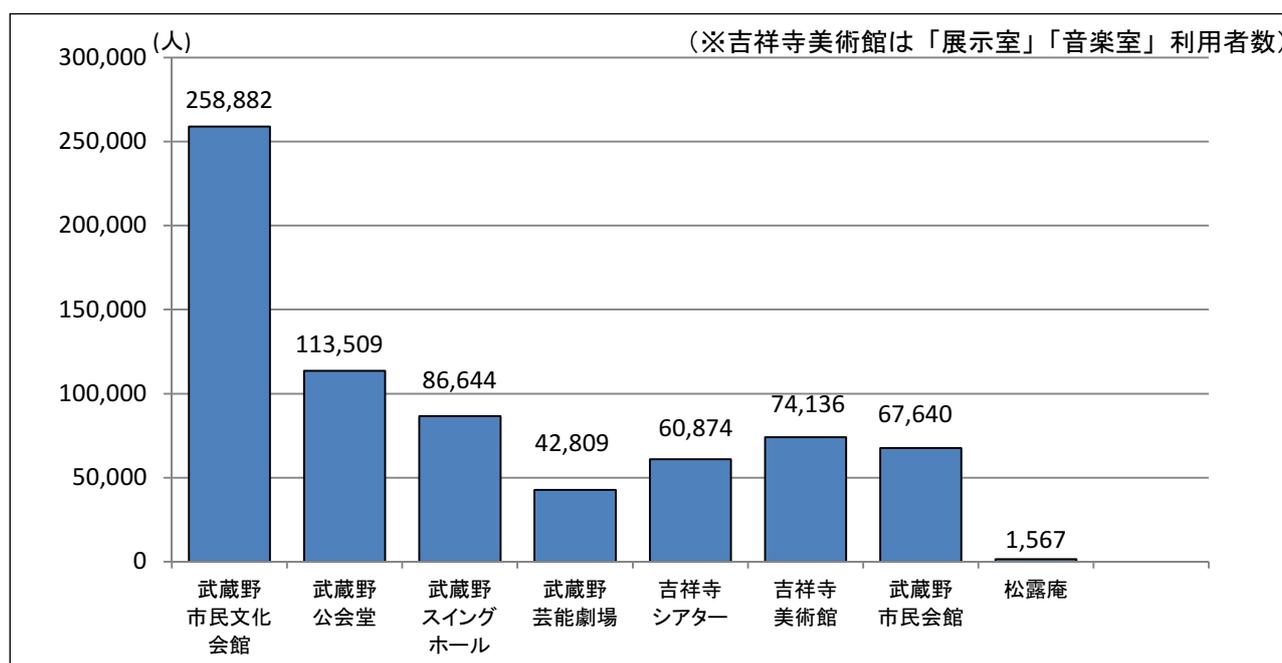
文化・集会施設 9 施設の年間利用件数は、松露庵の 155 件から、武蔵野市民会館の 6,720 件となっています。ホールまたは劇場を有する施設は、約 1,300 件～5,000 件の利用であり、単一機能の施設は規模も小さいため、利用件数も約 100～500 件と少なくなっています。

年間利用者数は、松露庵の 1,567 人から、武蔵野市民文化会館の 25 万 8,882 人となっています。ホール又は劇場を有する施設は、武蔵野市民文化会館を除けば、約 4.3 万人～11.4 万人が利用しています。吉祥寺美術館は約 7.4 万人、武蔵野市民会館は約 6.8 万人です。

図表 3-(2)イ-11 施設別利用件数



図表 3-(2)イ-12 施設別利用者数

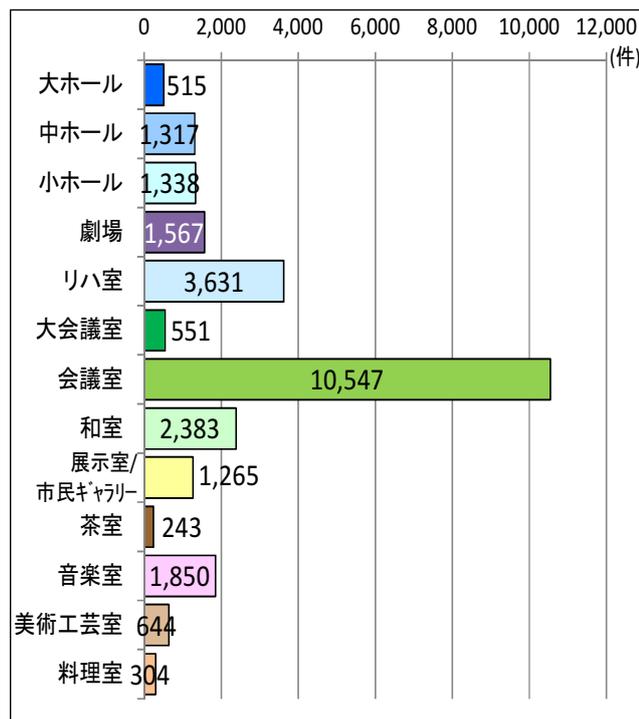


■ 部屋別 利用状況

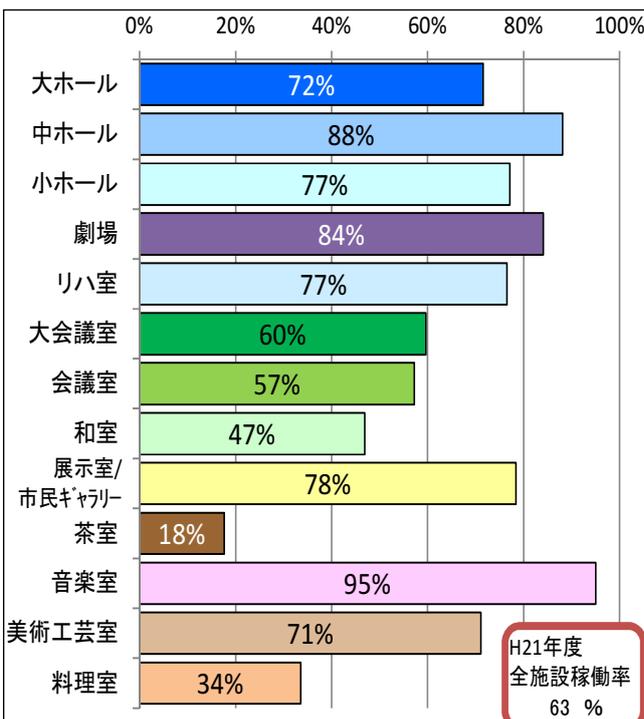
文化・集会施設の稼働率を把握している諸室について部屋別の利用状況をみると、会議室・学習室等の利用が10,547件で全体の約40%を占めています。ついで、リハーサル室3,631件、和室2,383件、音楽室1,850件となっています。

諸室別の稼働率では、音楽室が約95%と最も高く、その他、ホールは72%~88%、劇場は84%、リハーサル室は77%と高く、一方で茶室は18%と低い状況です。

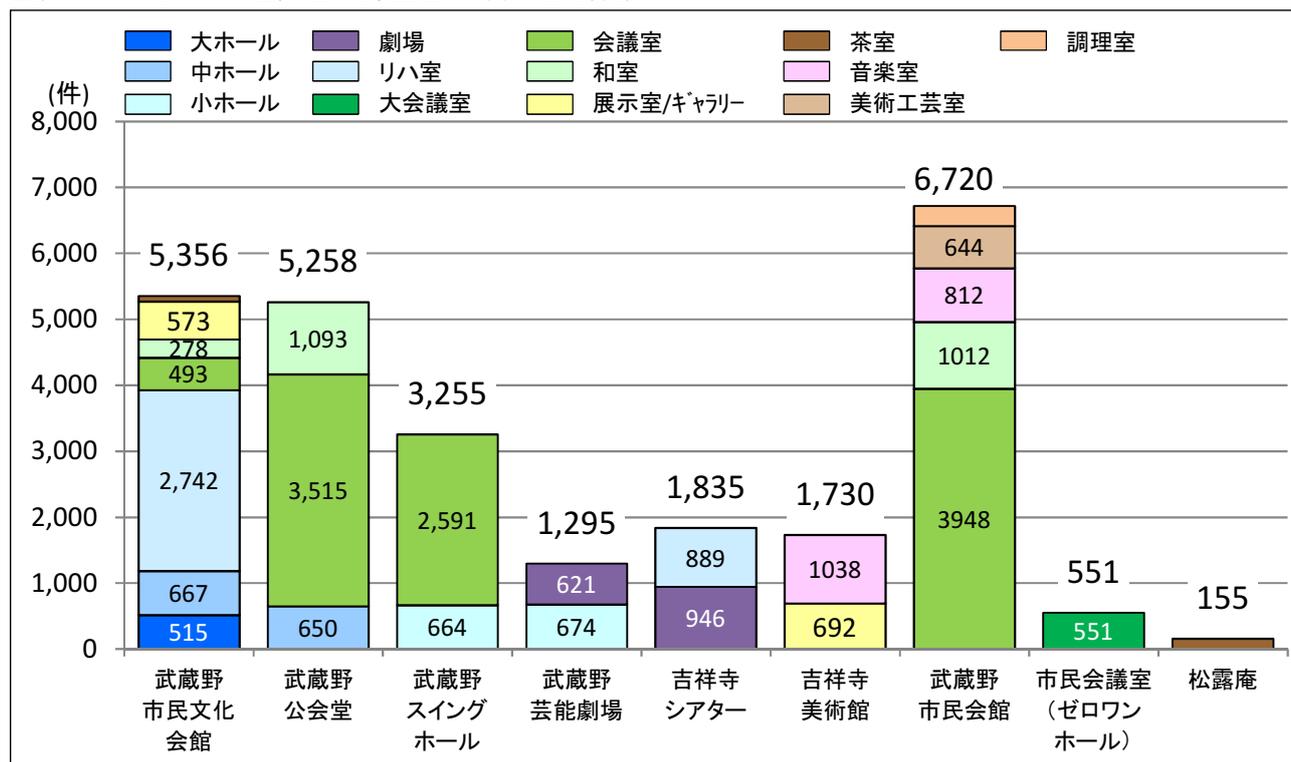
図表 3-(2)イ-13 部屋別年間利用件数



図表 3-(2)イ-14 部屋別年間稼働率



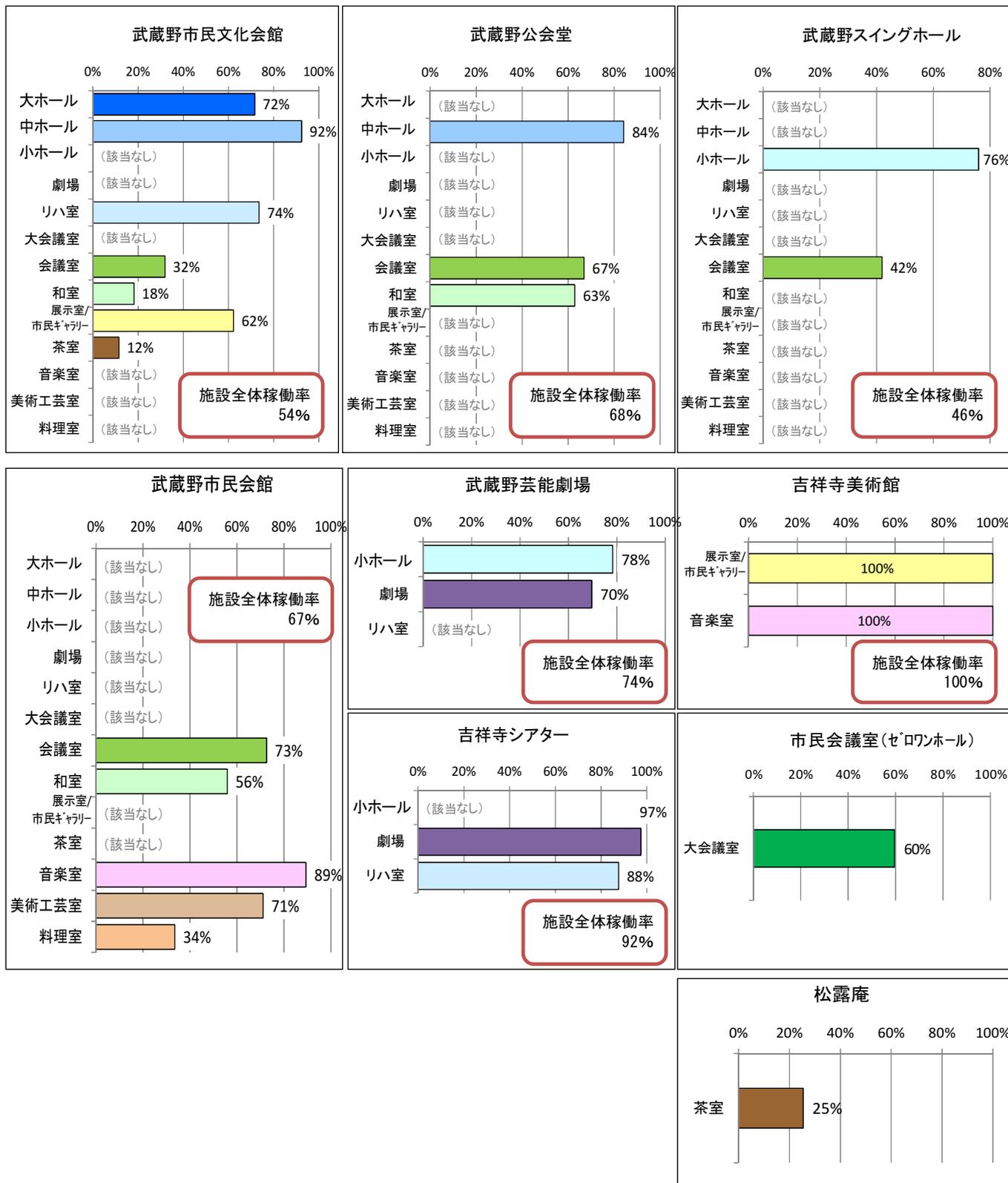
図表 3-(2)イ-15 施設別・部屋別 年間利用件数



■ 施設別・部屋別 稼働率

施設別の稼働率は、武蔵野市民文化会館が54%、武蔵野公会堂が68%、武蔵野スイングホールが46%、武蔵野市民会館が67%、武蔵野芸能劇場が74%、吉祥寺シアターが92%、吉祥寺美術館が100%、市民会議室が60%、松露庵が25%となっています。

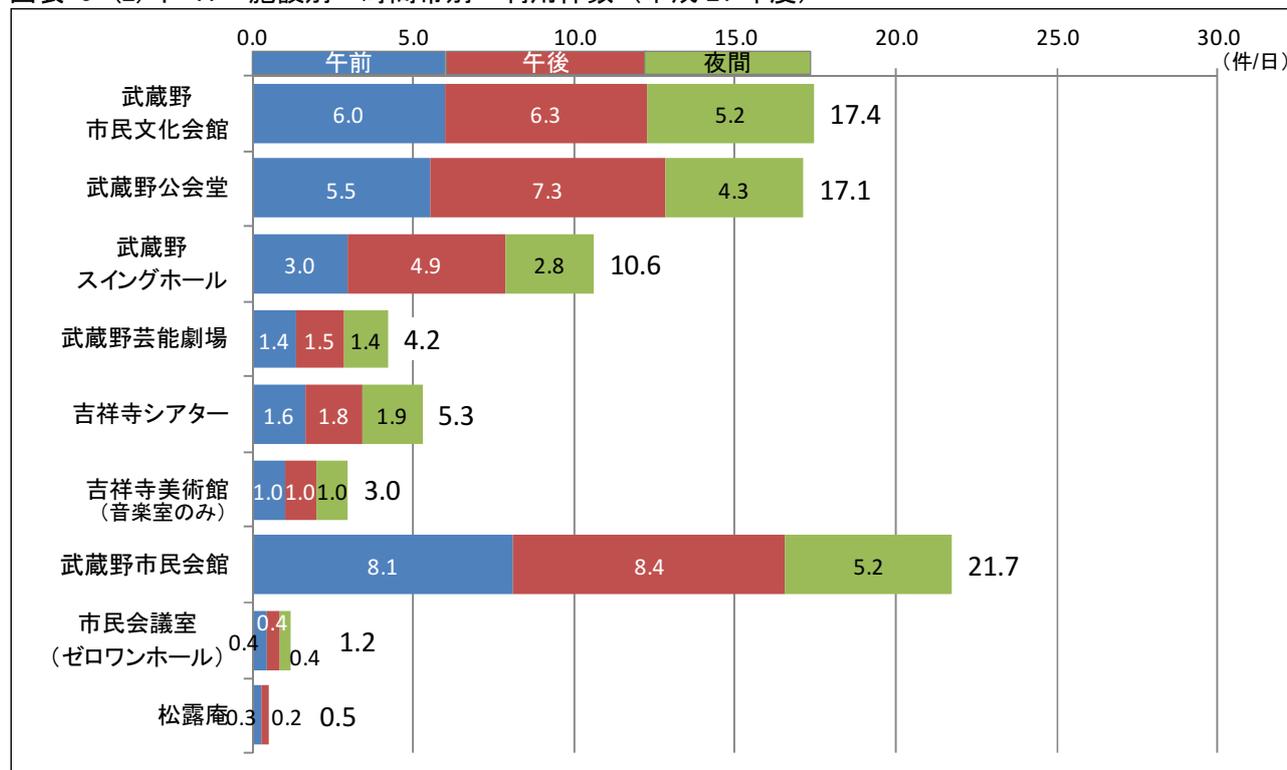
図表 3-(2)イ-16 施設別・部屋別 年間稼働率



■ 施設別・時間帯別 利用件数

時間帯別利用件数をみると、午後の利用が多くなっています。

図表 3-(2)イ-17 施設別・時間帯別 利用件数 (平成 21 年度)

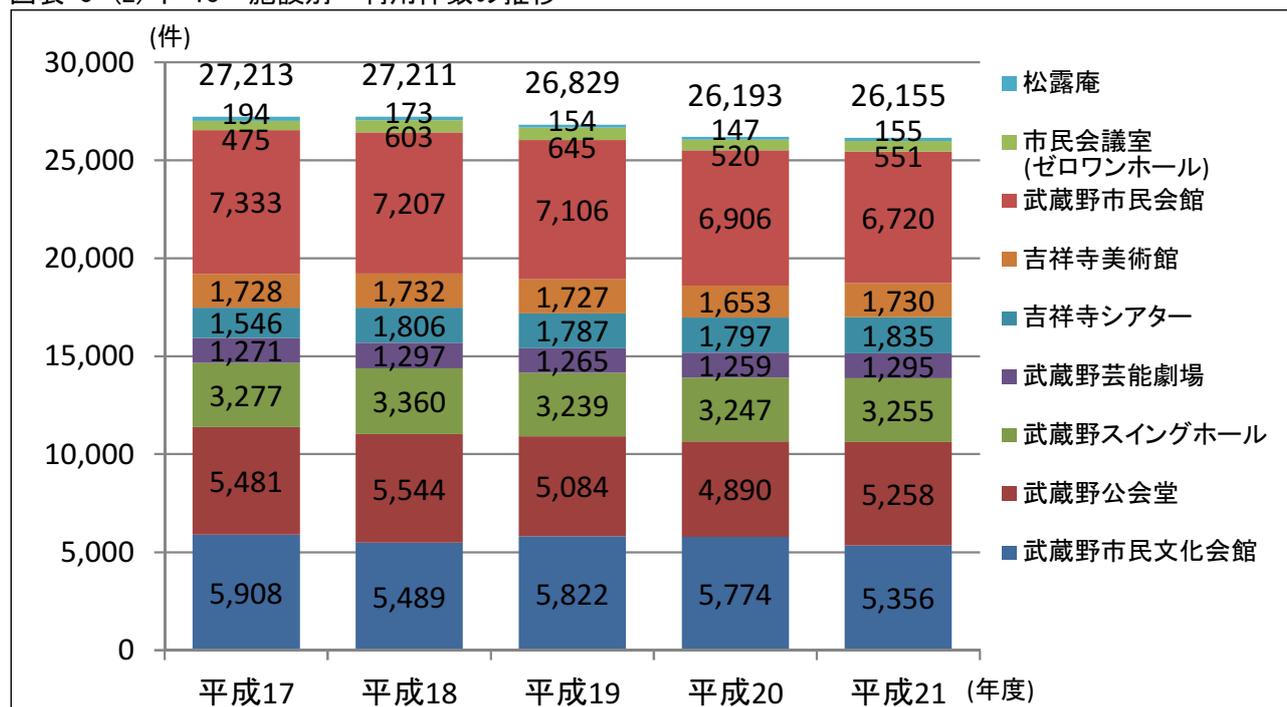


■ 推移

文化・集会施設 9 施設の利用件数の推移は、平成 17 年度約 2.7 万件から平成 21 年度約 2.6 万件と微減しています。

施設別では、武蔵野市民文化会館と武蔵野市民会館の利用件数は直近の 5 年間で約 8~9%減少していますが、その他 6 施設は、横ばいまたは微増傾向となっています。

図表 3-(2)イ-18 施設別 利用件数の推移



③ 運営状況

■ 運営形態

文化・集会施設 11 施設のうち、10 施設を指定管理者により運営し、そのうちの8施設を公益財団法人武蔵野文化事業団が運営しています。また、武蔵野市民会館のみ直営で運営しています。

図表 3-(2)イ-19 運営形態

	直営	指定管理者
武蔵野市民文化会館		公益財団法人武蔵野文化事業団
武蔵野公会堂		公益財団法人武蔵野文化事業団
武蔵野スイングホール		公益財団法人武蔵野文化事業団
武蔵野芸能劇場		公益財団法人武蔵野文化事業団
吉祥寺シアター		公益財団法人武蔵野文化事業団
吉祥寺美術館		公益財団法人武蔵野文化事業団
武蔵野プレイス(平成23年度開設)		公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団
武蔵野市民会館	●	
市民会議室(ゼロワンホール)		武蔵野商工会議所
かたらいの道市民スペース(平成22年度開設)		公益財団法人武蔵野文化事業団
松露庵		公益財団法人武蔵野文化事業団

■ 運営人員

直営の武蔵野市民会館の運営人員は、15 人です。

内訳は、市職員 3 人、再任用職員 1 人、嘱託職員 7 人(うち 6 名は夜間及び日祝日のみの変則)、アルバイト 4 人となっています。

業務内容による内訳は、施設管理業務に 3 人。イベント等の企画・開催に 3 人、施設利用に関する受付・案内に 5 人、その他として図書室の貸し出し業務にアルバイトが 4 人従事しています。

図表 3-(2)イ-20 武蔵野市民会館の運営人員

		市民会館 (人)	
施設管理業務	市職員	1	計 3
	再任用	1	
	嘱託	1	
イベント等の企画・開催	市職員	1	計 3
	再任用	-	
	嘱託	2	
施設利用に関する受付・案内	市職員	1	計 5
	再任用	-	
	嘱託	4	
その他	アルバイト	4	4
合計	市職員	3	計 15
	再任用	1	
	嘱託	7	
	アルバイト	4	

④ コスト状況

武蔵野市民会館を除く 8 施設は、指定管理者による管理・運営を行っているため、トータルコストの 36%~75%を指定管理委託料が占めています。

武蔵野市民会館は、直営施設のため指定管理委託料のかわりに人件費が生じており、人件費は 4,557 万円で、トータルコストの約 41%を占めています。

図表 3-(2)イ-21 施設別行政コスト計算書 (平成 21 年度)

(千円)

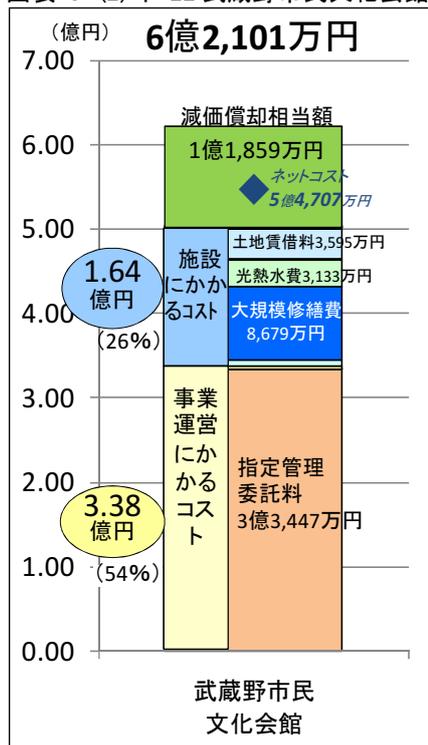
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		武蔵野市民 文化会館	武蔵野 公会堂	武蔵野 スイング ホール	武蔵野 芸能劇場	吉祥寺 シアター	吉祥寺 美術館	武蔵野 市民会館	市民会議室 (ゼロワン ホール)	松露庵
施設に かかる コスト	各所修繕費	5,980	2,283	1,505	1,705	251	0	0	0	0
	大規模修繕費	86,788	13,399	843	9,369	111	1,022	5,605	0	1,566
	光熱水費	31,333	8,411	5,694	5,961	5,928	1,253	4,870	605	198
	建物管理委託費	1,985	0	41,625	239	0	0	12,008	3,331	0
	土地賃借料	35,945	0	0	0	15	13	26,701	1,588	0
	土地・建物以外賃借料	1,602	185	125	138	239	205	615	0	0
	使用料	0	15	5	0	0	0	0	0	0
	建物賃借料	3	0	0	0	0	42,191	0	0	0
	車両・備品購入費	523	0	73	1,368	563	1,535	124	0	0
	市債利息償還金					5,577				
施設にかかるコスト計	164,158	24,292	49,871	18,781	12,685	46,219	49,923	5,524	1,764	
事業 運営に かかる コスト	職員人件費	0	0	0	0	0	0	26,355	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0	9,913	0	0
	再任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	3,542	0	0
	臨時職員人件費	0	0	0	0	0	0	5,758	0	0
	指定管理委託料	334,472	64,643	68,257	52,044	79,970	94,396	0	9,850	7,957
	その他委託費(施設外)	247	147	0	137	131	4,481	1,724	0	1,229
	図書購入費	0	0	0	0	0	0	849	0	0
	その他物件費	3,542	884	42,677	973	1,006	706	4,477	104	412
	事業運営にかかるコスト計	338,260	65,674	110,934	53,153	81,107	99,584	52,618	9,954	9,598
現金収支を伴うコスト 計	502,418	89,966	160,805	71,934	93,792	145,802	102,541	15,478	11,362	
【収益の部】										
利用料収入	71,989	27,872	32,196	18,912	28,702	6,720	4,910	5,584	410	
その他使用料(総務使用料)	1,946	1,390	0	0	315	0	0	0	0	
諸収入	0	0	0	0	0	5,842	379	0	0	
現金収支を伴う収益 計	73,934	29,262	32,196	18,912	29,017	12,562	5,289	5,584	410	
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】										
減価償却相当額	118,588	0	31,154	11,132	12,377	0	9,455	1,014	0	
III. 総括										
コストの部合計(トータルコスト)	621,006	89,966	191,959	83,066	106,169	145,802	111,996	16,492	11,362	
収支差額(ネットコスト)	547,072	60,704	159,763	64,154	77,152	133,240	106,706	10,908	10,952	

※大規模修繕費は、過去 5 年間の平均額を計上しています。

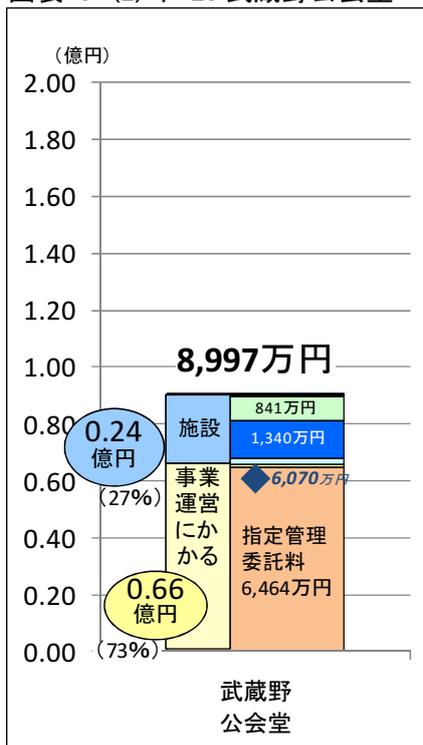
【ホール・劇場系文化施設】

トータルコストのうち、施設にかかるコストは12%~27%、事業運営にかかるコストは54%~76%となっています。事業運営にかかるコストのうち、指定管理委託料の占める割合は、武蔵野市民文化会館が57%、武蔵野公会堂が78%、武蔵野スイングホールが36%、武蔵野芸能劇場が71%、吉祥寺シアターが75%となっており、事業運営にかかるコストの大半を占める傾向があります。

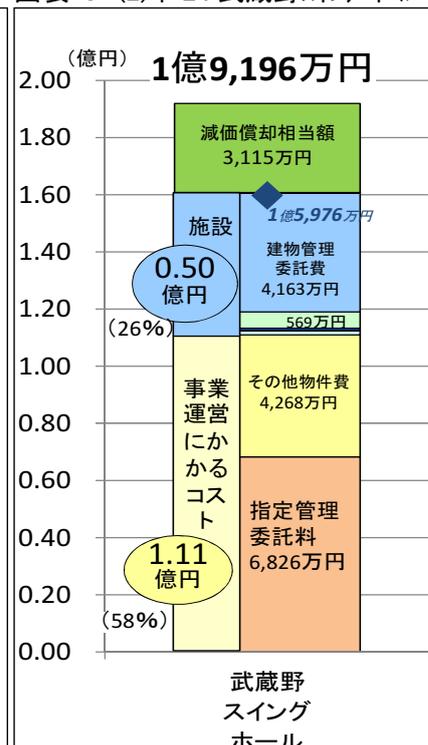
図表 3-(2) イ-22 武蔵野市民文化会館



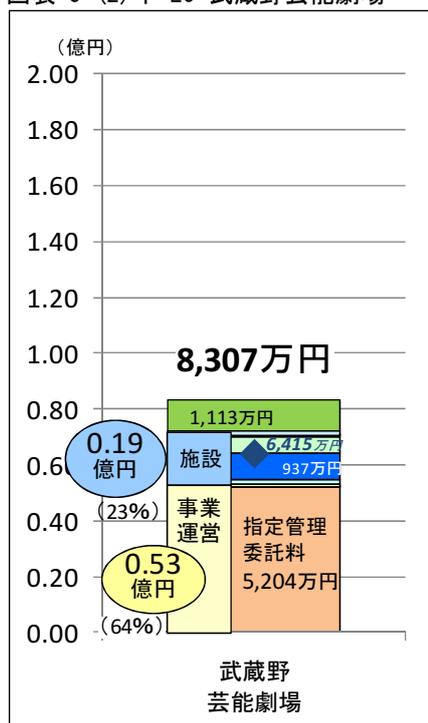
図表 3-(2) イ-23 武蔵野公会堂



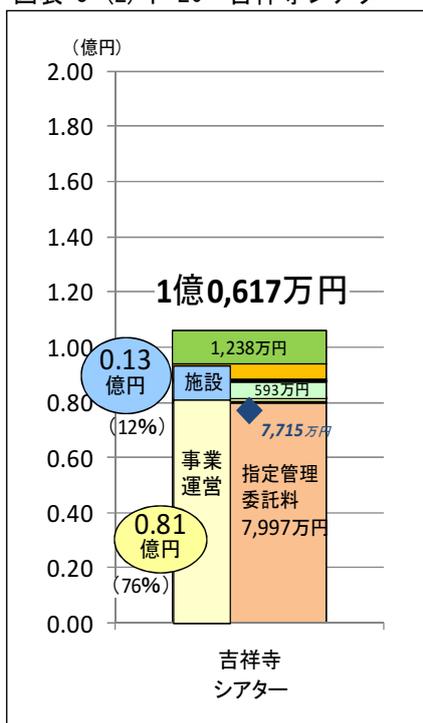
図表 3-(2) イ-24 武蔵野スイングホール



図表 3-(2) イ-25 武蔵野芸能劇場



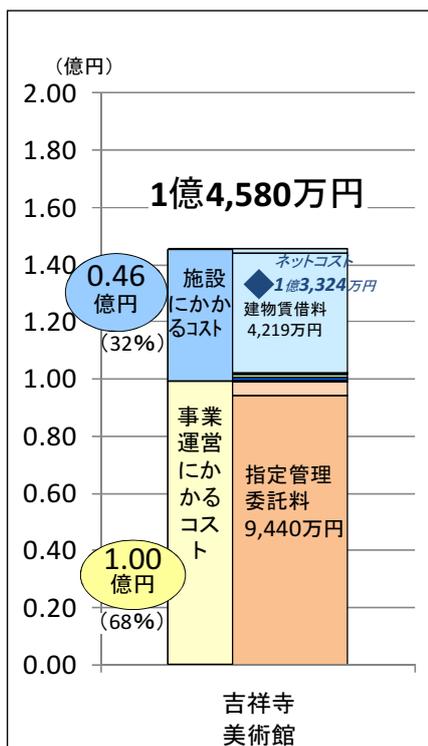
図表 3-(2) イ-26 吉祥寺シアター



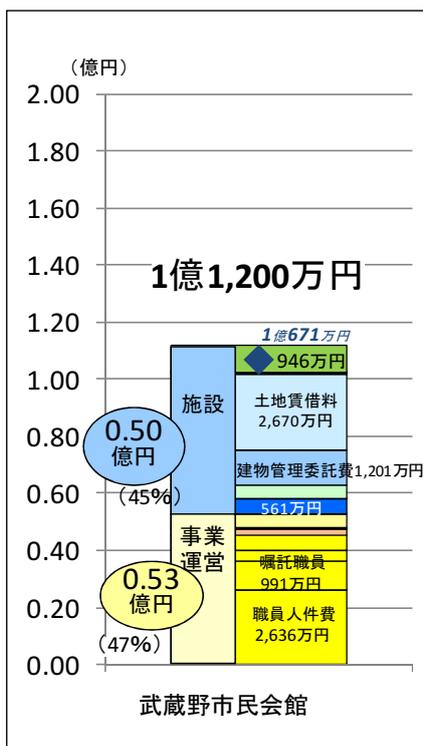
【美術・生涯学習系文化施設】【会議室】【文化財系施設】

トータルコストのうち、施設にかかるコストは16%~45%、事業運営にかかるコストは47%~84%となっています。事業運営にかかるコストのうち、指定管理委託料の占める割合は、吉祥寺美術館が65%、市民会議室が64%、松露庵が70%で、直営の武蔵野市民会館では人件費の割合が41%となっています。

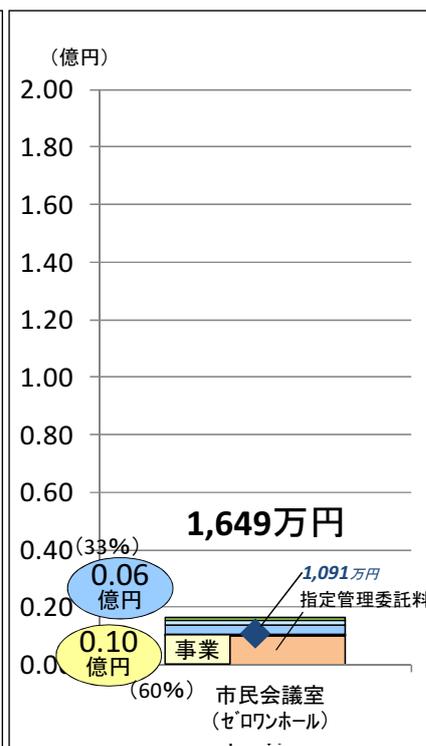
図表 3-(2)イ-27 吉祥寺美術館



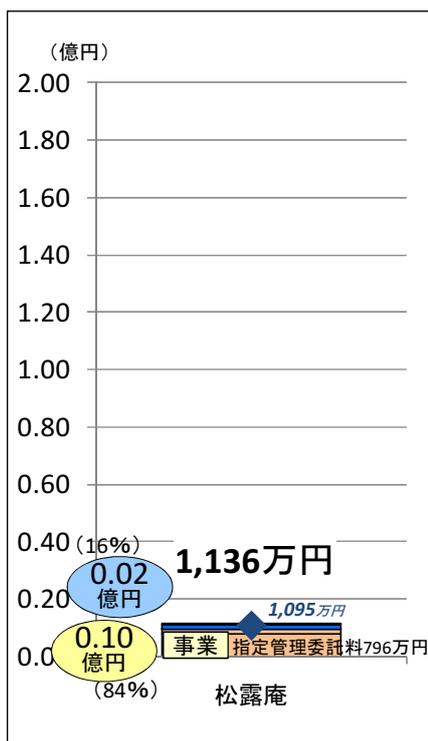
図表 3-(2)イ-28 武蔵野市民会館



図表 3-(2)イ-29 市民会議室



図表 3-(2)イ-30 松露庵

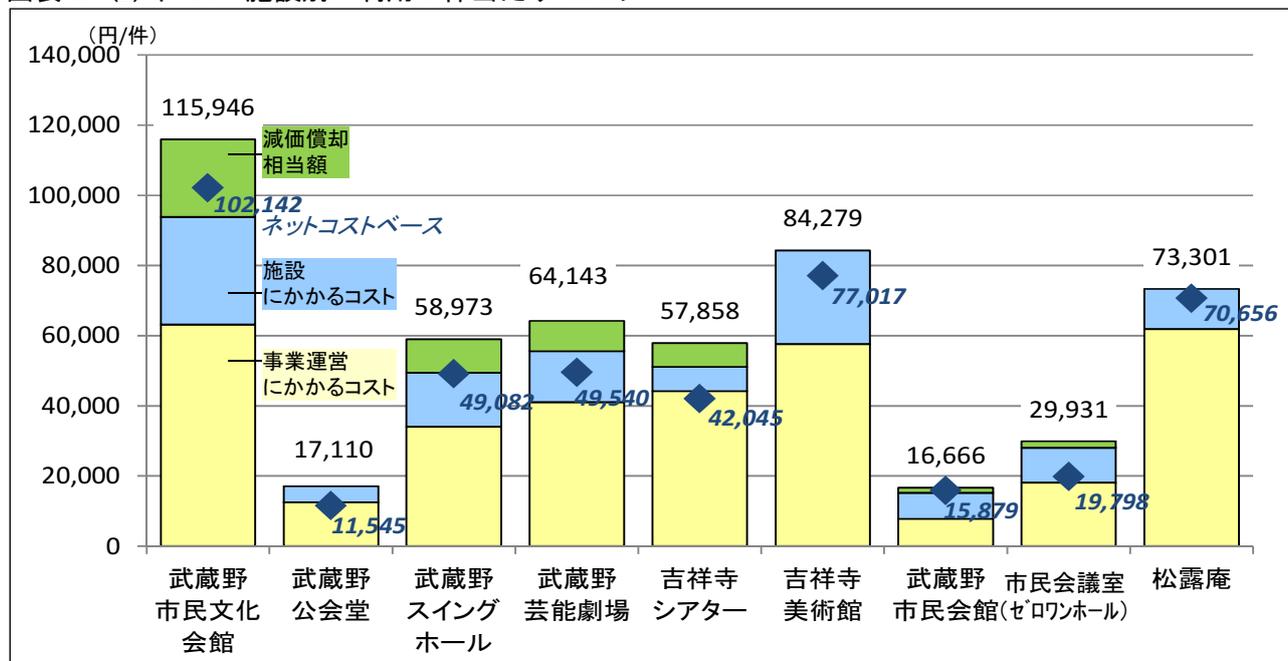


3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 利用件数とトータルコストの関係 (利用1件当たりコスト)

年間利用件数とトータルコストより利用1件当たりにかかるコストを算出すると、武蔵野市民文化会館が1万6,666円と最も低く、武蔵野市民文化会館が11万5,946円と最も高い状況です。

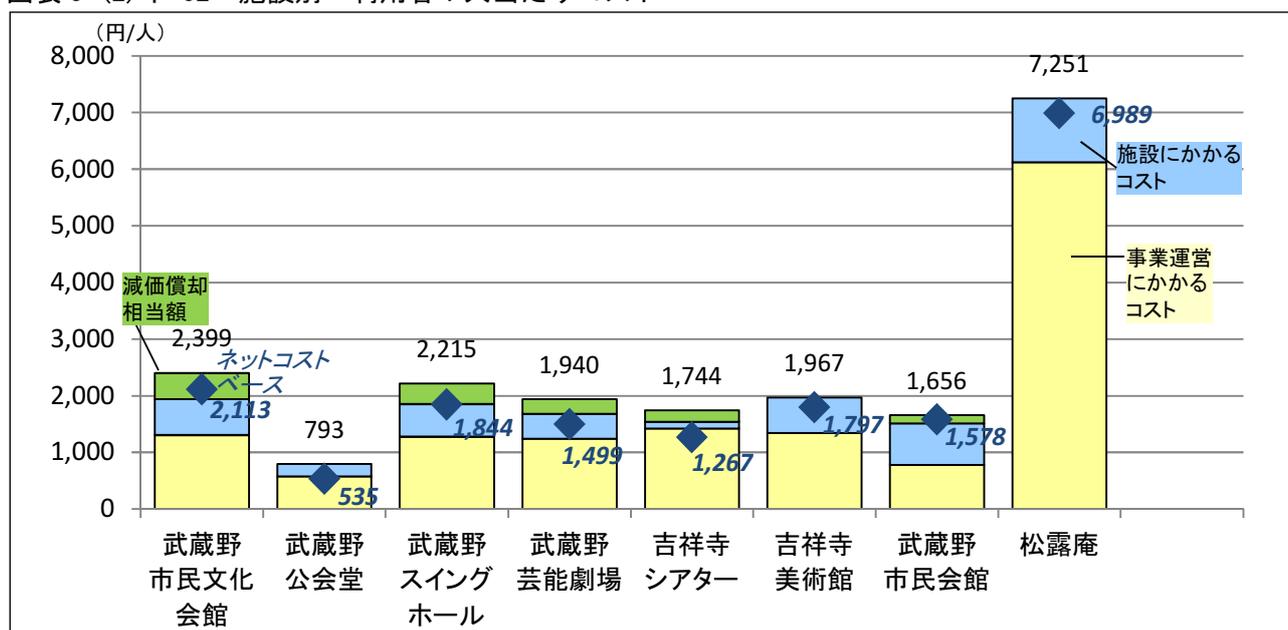
図表 3-(2)イ-31 施設別 利用1件当たりコスト



■ 利用者数とトータルコストの関係 (利用者1人当たりコスト)

年間利用者数とトータルコストより利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、武蔵野公会堂が793円と最も低く、松露庵が7,251円と最も高い状況です。

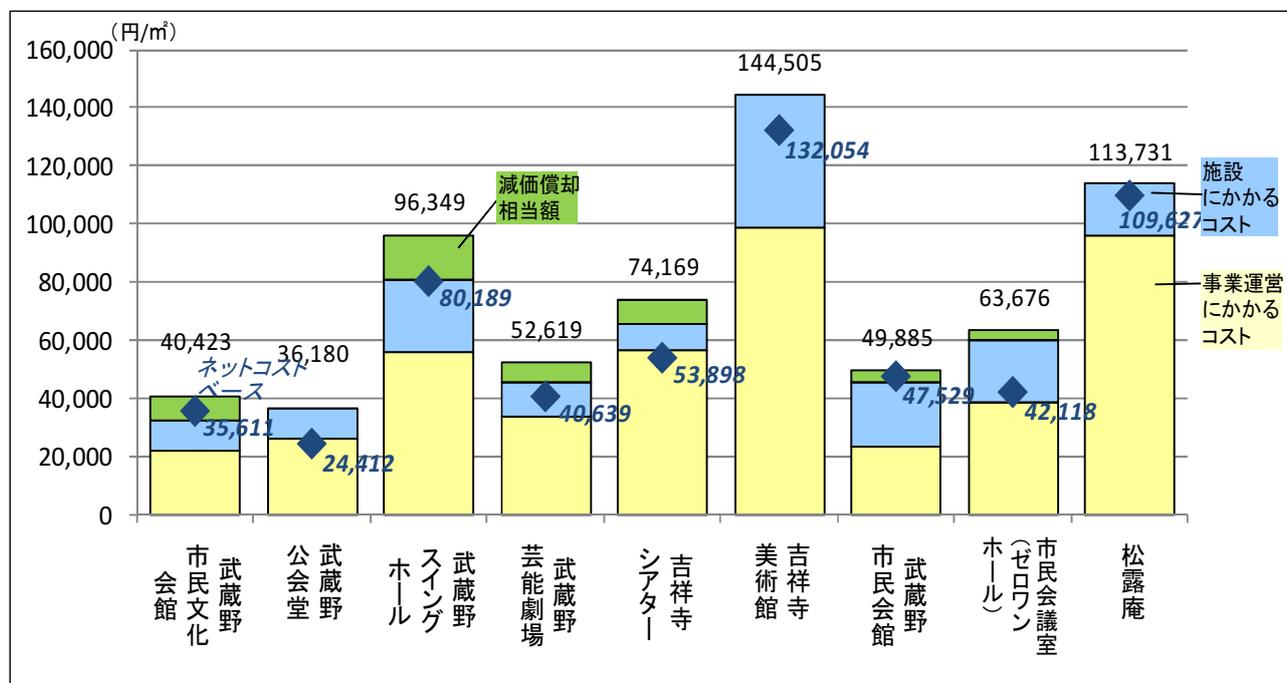
図表 3-(2)イ-32 施設別 利用者1人当たりコスト



■ 延床面積とトータルコストの関係（単位床面積当たりコスト）

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、武蔵野公会堂が3万6,180円と最も低く、吉祥寺美術館が14万4,505円と最も高い状況です。

図表 3-(2) イ-33 施設別 単位床面積当たりコスト



(3) コミュニティセンター

1) 施設概要

① 施設一覧

武蔵野市には、地区のコミュニティづくりの拠点として、公設民営のコミュニティセンターが16館とその分館が3館（武蔵野中央公園北ホールは、市が保有していないため対象としません）あります。管理運営は、市民によって組織されている各地区のコミュニティ協議会が行っています。

コミュニティセンターは、武蔵野方式といわれる「自主三原則」のもとに、市民の手で運営されています。「自主三原則」は、市民の「自主参加、自主企画、自主運営」という武蔵野市のコミュニティづくりの基本理念です。配置や機能の検討もこの基本理念のもとで行われ、地区ごとの特性に応じて、センター方式や散在方式の配置、各施設が保有する機能などの検討が行われています。そのため、会議室・和室の他に、児童室、調理室、茶室、体育室など施設によって保有機能の内容は異なります。

第6期コミュニティ市民委員会の答申を受け、八幡町コミュニティセンターは狭小であり機能面、設備面で改善を図るため、平成24年7月の移転・改築を進めています。

図表 3-(3)-1 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	保有機能				
				会議室 和室	児童室	調理室	茶室	体育室
1 境南コミュニティセンター	境南町3-22-9	1,602.9	昭和50	●	●	●		●
2 西久保コミュニティセンター	西久保1-23-7	1,433.8	昭和51	●	●	●	●	
3 中央コミュニティセンター	中町3-5-17	1,517.3	昭和49	●		●	●	
4 中央コミュニティセンター中町集会所	中町1-28-5	205.4	昭和52	●				
5 吉祥寺東コミュニティセンター	吉祥寺東町1-12-6	236.0	昭和52	●	●	●		
6 吉祥寺北コミュニティセンター	吉祥寺北町1-22-10	1,381.1	昭和53	●		●		●
7 本町コミュニティセンター	吉祥寺本町1-22-2	507.0	昭和54	●				
8 八幡町コミュニティセンター(※)	八幡町4-10-7	196.8	昭和54	●				
9 関前コミュニティセンター	関前2-26-10	782.7	昭和55	●				
10 関前コミュニティセンター分館	関前3-16-6	153.4	昭和46	●				
11 御殿山コミュニティセンター	御殿山1-5-11	601.7	昭和56	●				
12 桜堤コミュニティセンター	桜堤3-3-11	344.4	昭和56	●	●			
13 吉祥寺南町コミュニティセンター	吉祥寺南町3-13-1	1,481.6	昭和57	●	●	●	●	
14 緑町コミュニティセンター	緑町3-1-17	534.5	昭和61	●		●		
15 西部コミュニティセンター	境5-6-20	1,499.7	昭和61	●		●	●	●
16 吉祥寺西コミュニティセンター	吉祥寺本町3-20-17	911.7	昭和63	●			●	
17 吉祥寺西コミュニティセンター分館	吉祥寺本町4-10-7	81.5	平成3	●				
18 けやきコミュニティセンター	吉祥寺北町5-6-19	576.2	平成元	●	●	●		
19 本宿コミュニティセンター	吉祥寺東町3-25-2	720.2	平成3	●	●	●		
—	—	14,767.8	—	19	7	10	5	3

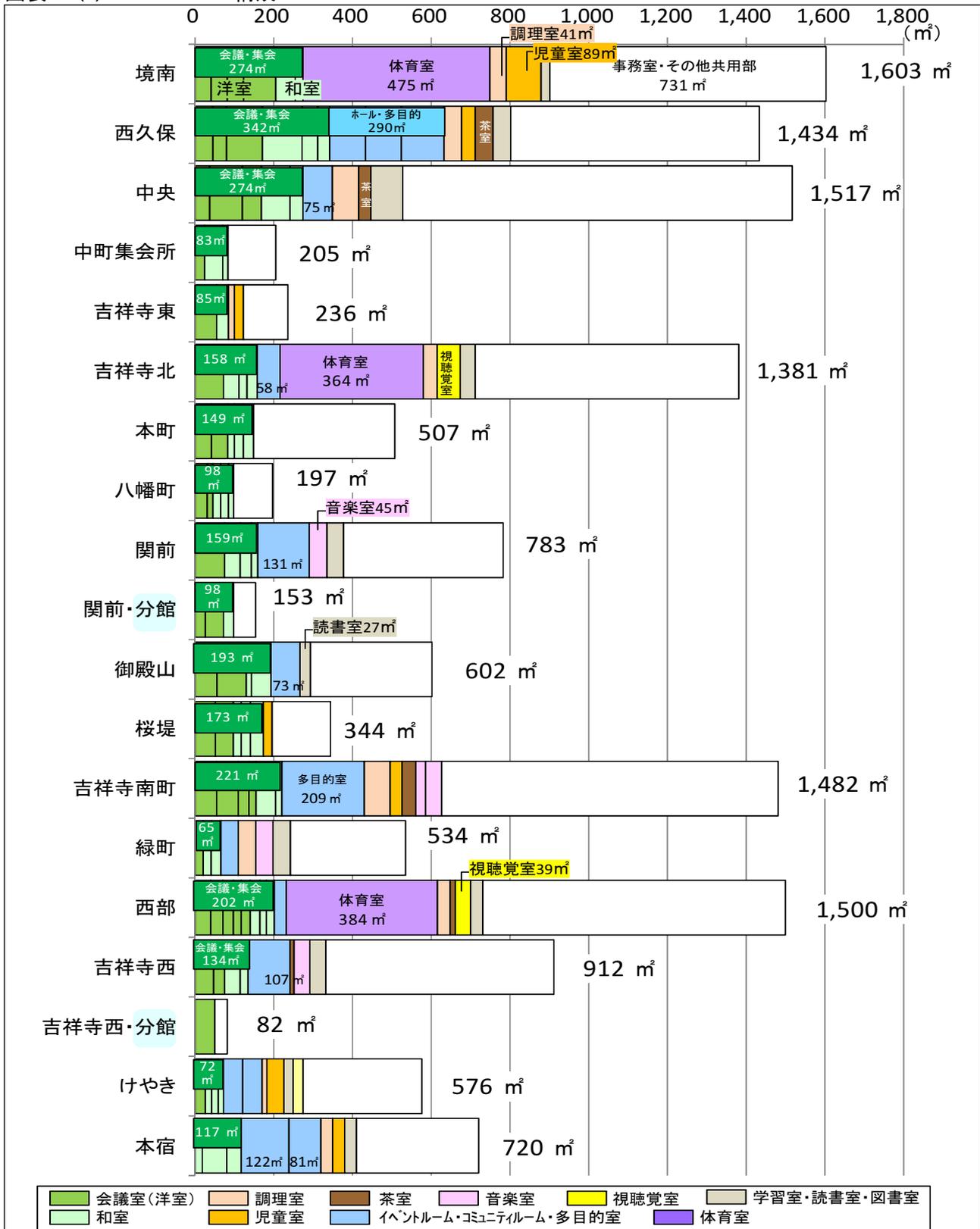
※平成24年7月に移転・改築

⑤ スペース構成

コミュニティセンターの規模は、82㎡～1,603㎡であり、分館を除く16館の1館当たりの平均は約895㎡となっています。

保有スペースは、会議・集会機能としての会議室・和室、多目的室・ホール、体育室、調理室、児童室、茶室、音楽室等を保有しています。

図表 3-(3)-4 スペース構成

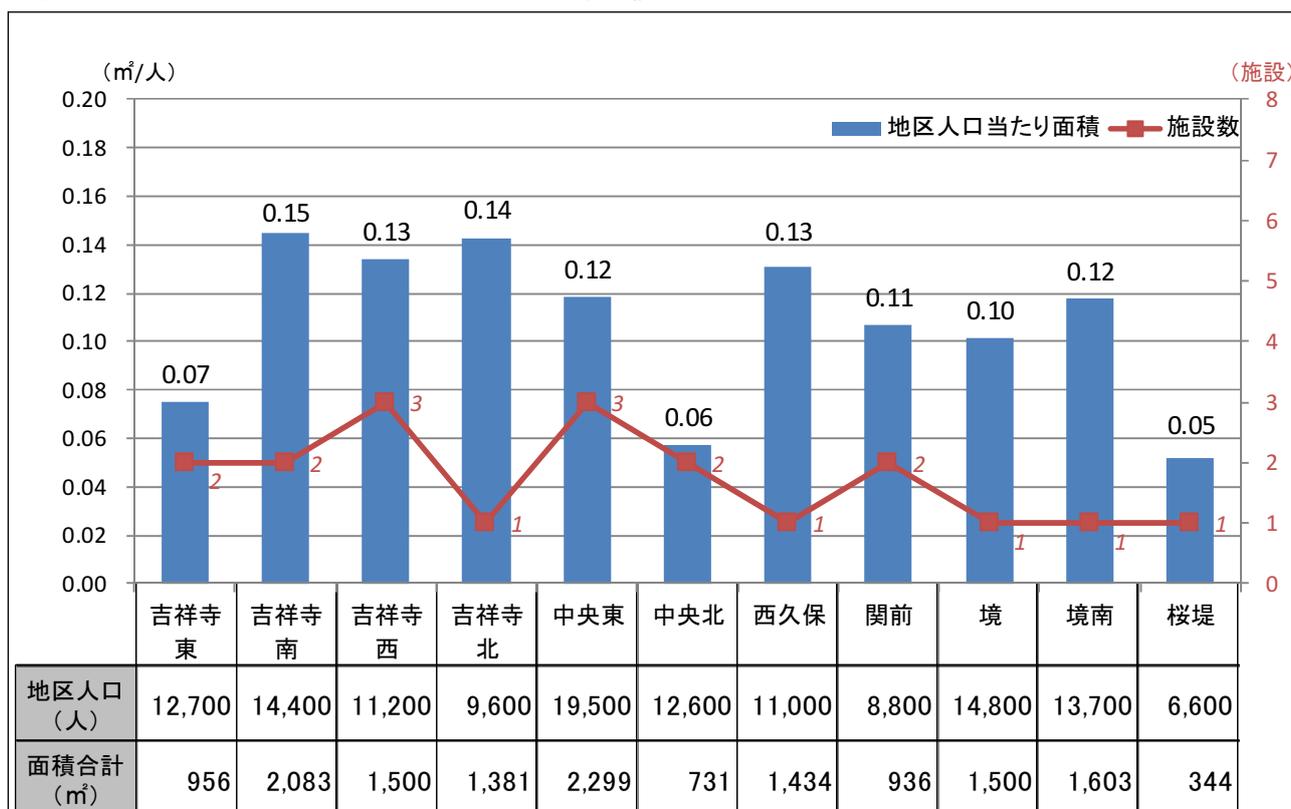


⑥ コミュニティ地区人口当たりの床面積

コミュニティ地区ごとの人口とコミュニティセンターの床面積より、地区人口1人当たりの床面積を把握すると、吉祥寺東・中央北・桜堤の3地区は0.05~0.07 m²/人、その他の8地区は0.10~0.15 m²/人となっています。最も大きい吉祥寺南地区と最も小さい桜堤地区では、約3倍の差があります。

各地区には、コミュニティセンターは1施設から3施設配置されています。

図表 3-(3)-5 コミュニティ地区人口当たりの床面積



※地区人口は第五期コミュニティ市民委員会答申を参考に、平成22年1月1日現在の住民基本台帳人口を100人単位で割振った。

2) 実態把握

① 建物状況

図表 3-(3)-6 老朽化状況【基準耐用年数：築 50 年】



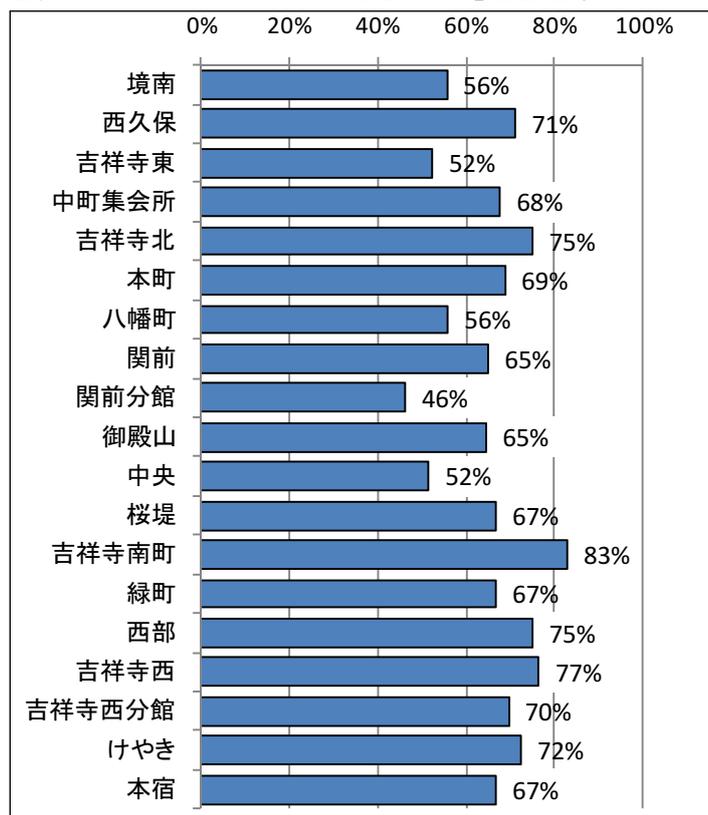
コミュニティセンター19施設のうち、17施設が築20～40年を経過しており、大半の施設が今後老朽化への対応が必要になります。また残り2施設も築19年が経過しており、コミュニティセンターは施設の更新時期が集中しています。

図表 3-(3)-7 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

境南コミュニティセンター	耐震基準に適合
西久保コミュニティセンター	耐震基準に適合
吉祥寺東コミュニティセンター	耐震基準に適合
中町集会所	耐震基準に適合
吉祥寺北コミュニティセンター	耐震基準に適合
本町コミュニティセンター	耐震基準に適合
八幡町コミュニティセンター	耐震基準に適合
関前コミュニティセンター	耐震基準に適合
関前コミュニティセンター分館	耐震基準に適合
御殿山コミュニティセンター	耐震基準に適合
中央コミュニティセンター	耐震基準に適合
桜堤コミュニティセンター	耐震基準に適合
吉祥寺南町コミュニティセンター	耐震基準に適合
緑町コミュニティセンター	耐震基準に適合
西部コミュニティセンター	耐震基準に適合
吉祥寺西コミュニティセンター	耐震基準に適合
吉祥寺西コミュニティセンター分館	耐震基準に適合
けやきコミュニティセンター	耐震基準に適合
本宿コミュニティセンター	耐震基準に適合

コミュニティセンターは、全施設とも、耐震基準に適合しています。

図表 3-(3)-8 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



コミュニティセンターのバリアフリー適合率は、46%～83%となっています。

八幡町・中央・境南・吉祥寺東・関前分館の各コミュニティセンターが、やや低くなっています

図表 3-(3)-9 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

センター名	項目	熱量合計 (MJ)	原油換算合計 (KL)	CO ₂ 排出量換算合計 (t)
境南	合計	1,712,122.1	44.000	67.000
	単位床面積当たり	1,068.2	0.027	0.042
西久保	合計	1,570,992.9	40.000	61.000
	単位床面積当たり	1,095.7	0.028	0.043
吉祥寺東	合計	263,486.6	6.000	10.000
	単位床面積当たり	1,116.5	0.025	0.042
中町集会所	合計	173,158.2	4.000	6.000
	単位床面積当たり	842.9	0.019	0.029
吉祥寺北	合計	1,184,687.6	30.000	46.000
	単位床面積当たり	857.8	0.022	0.033
本町	合計	551,242.8	14.000	24.000
	単位床面積当たり	1,087.2	0.028	0.047
八幡町	合計	180,064.0	4.000	7.000
	単位床面積当たり	915.0	0.020	0.036
関前	合計	588,194.2	15.000	23.000
	単位床面積当たり	751.5	0.019	0.029
関前分館	合計	38,582.4	0.000	1.000
	単位床面積当たり	251.4	0.000	0.007
御殿山	合計	486,997.7	12.000	20.000
	単位床面積当たり	809.4	0.020	0.033
中央	合計	1,066,615.6	27.000	42.000
	単位床面積当たり	703.0	0.018	0.028
桜堤	合計	210,512.7	5.000	8.000
	単位床面積当たり	611.3	0.015	0.023
吉祥寺南町	合計	2,107,776.1	54.000	89.000
	単位床面積当たり	1,422.6	0.036	0.060
緑町	合計	434,829.2	11.000	17.000
	単位床面積当たり	813.6	0.021	0.032
西部	合計	993,382.9	25.000	38.000
	単位床面積当たり	662.4	0.017	0.025
吉祥寺西	合計	954,691.7	24.000	37.000
	単位床面積当たり	1,047.2	0.026	0.041
吉祥寺西分館	合計	57,277.2	1.000	2.000
	単位床面積当たり	702.7	0.012	0.025
けやき	合計	838,152.9	21.000	32.000
	単位床面積当たり	1,454.6	0.036	0.056
本宿	合計	708,535.7	18.000	27.000
	単位床面積当たり	983.8	0.025	0.037
単位床面積当たり平均値 (A)		905.1	0.023	0.035

コミュニティセンターの単位床面積当たり熱量は、年間約 251MJ/m²～約 1,455MJ/m²、単位床面積当たり CO₂ 排出量は、約 0.007 t/m²～約 0.06 t/m²となっています。

吉祥寺南町・けやきコミュニティセンターが、やや高い数値となっています。

分館は他の施設に比べ低い値となっています。

【その他】

中央コミュニティセンターは旧市庁舎を、関前コミュニティセンター分館は旧市民課出張所を転用した施設です。

なお、中央コミュニティセンターでの大規模な改修は、建築基準法上困難な状況です。

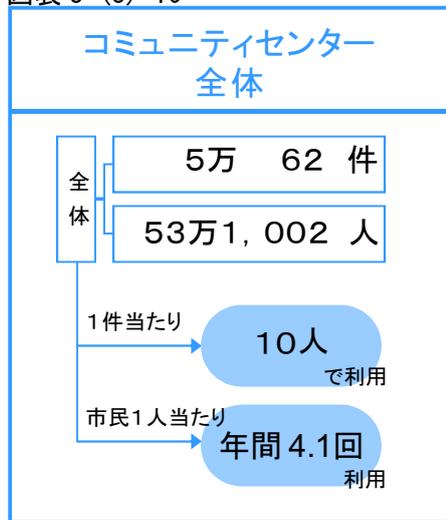
② 利用状況

■ コミュニティセンター 全体の利用状況

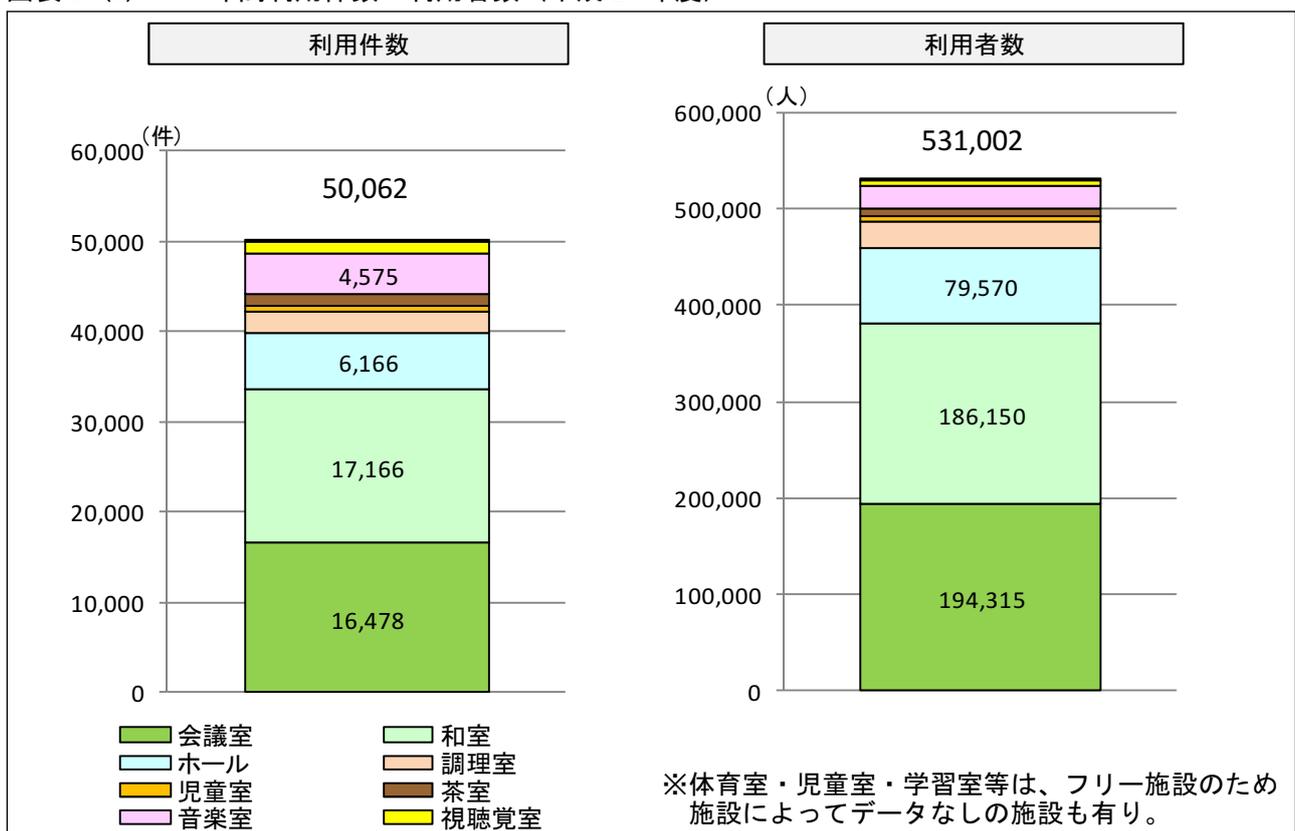
平成 21 年度のコミュニティセンター全体の利用件数は 5 万 62 件、利用者数は 53 万 1,002 人です。1 施設 1 日当たりでは、利用件数は平均 8.5 件、利用者数は平均 90.1 人となっています。

部屋別の年間利用件数をみると、会議室約 1.6 万件、和室約 1.7 万件であり、全体の約 62% を占めています。利用者数も同様に、会議室約 19.4 万人、和室約 18.6 万人で、全体の約 72% を占めており、利用の大半が会議室・和室の利用となっています。

図表 3-(3)-10



図表 3-(3)-11 年間利用件数・利用者数（平成 21 年度）

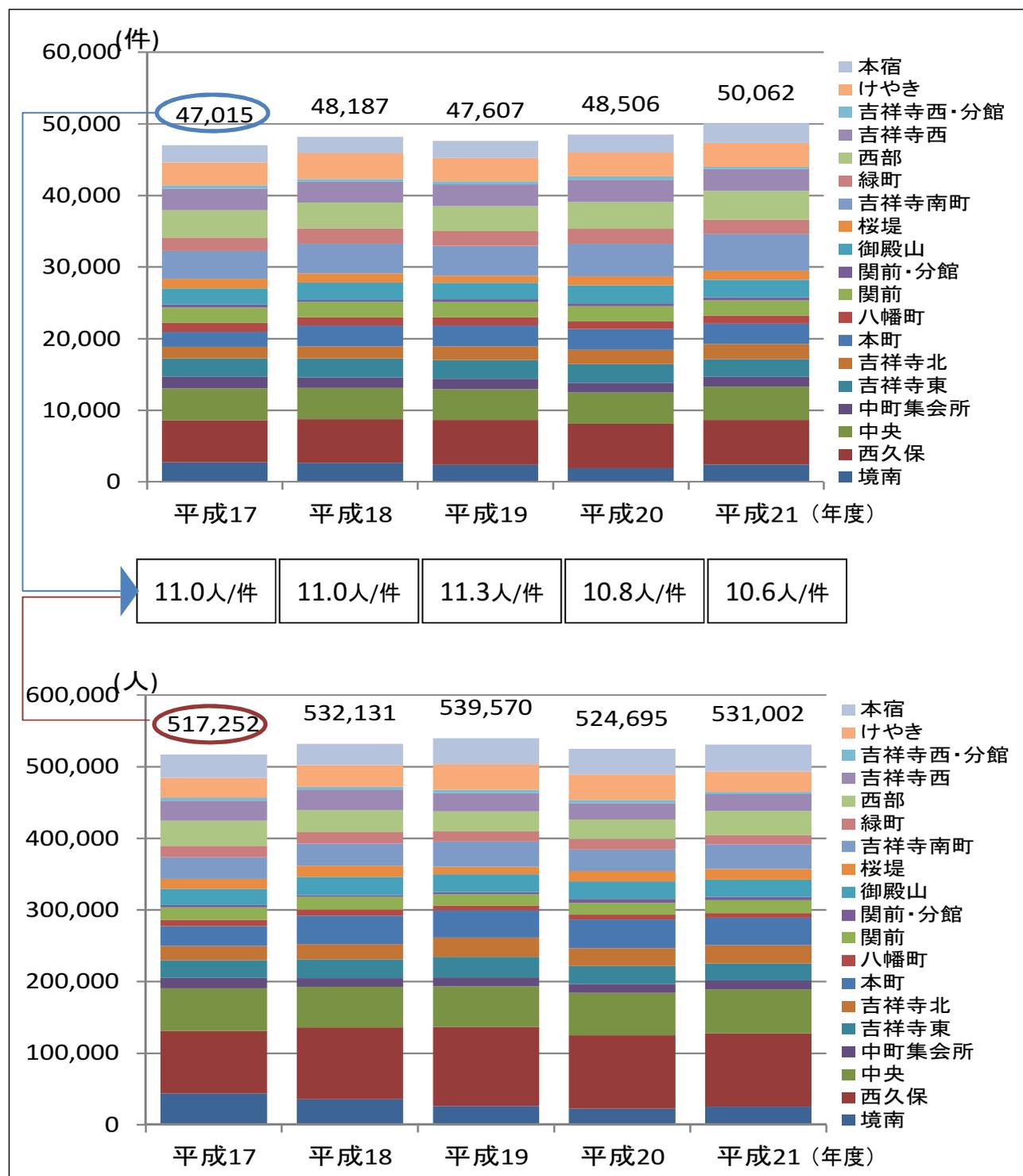


■ 推移

利用件数の推移は、平成 17 年度約 4.7 万件から平成 21 年度約 5.0 万件と若干の増加傾向となっています。また、利用者数は、平成 17 年度約 51.7 万人から平成 21 年度約 53.1 万人と若干の増加傾向となっています。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 17 年度から平成 21 年度まで 1 件当たり平均 11 人程度で利用されています。

図表 3-(3)-12 年間利用件数、利用者数の推移

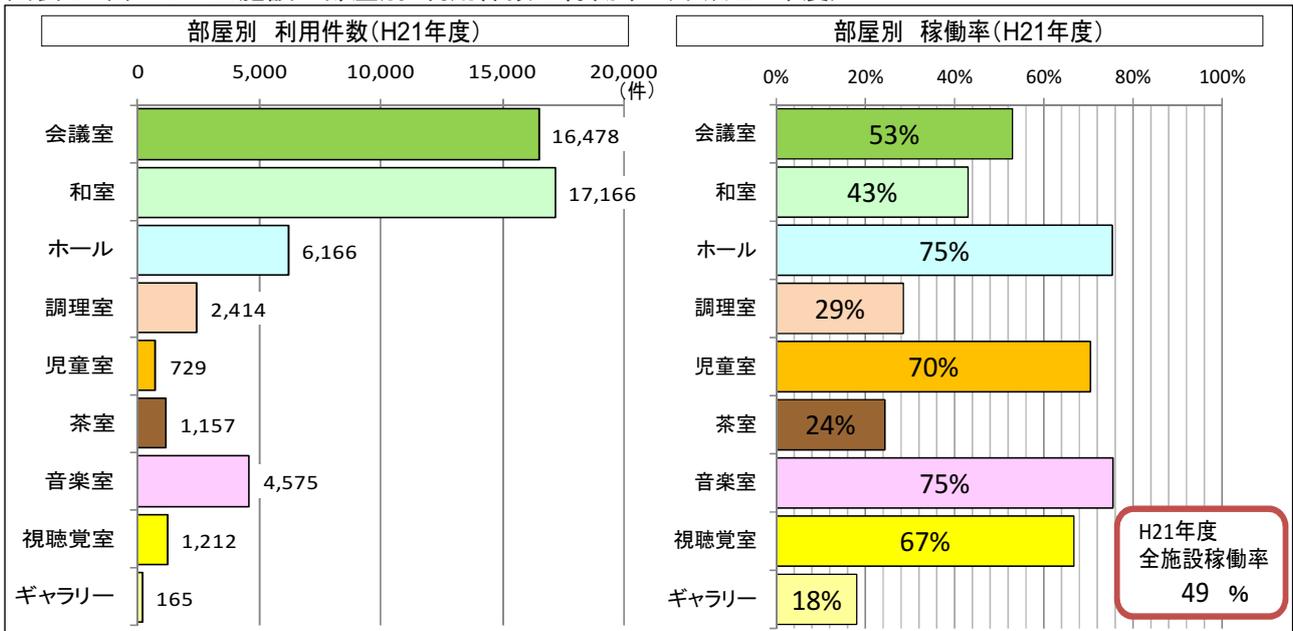


■ 部屋別 利用状況

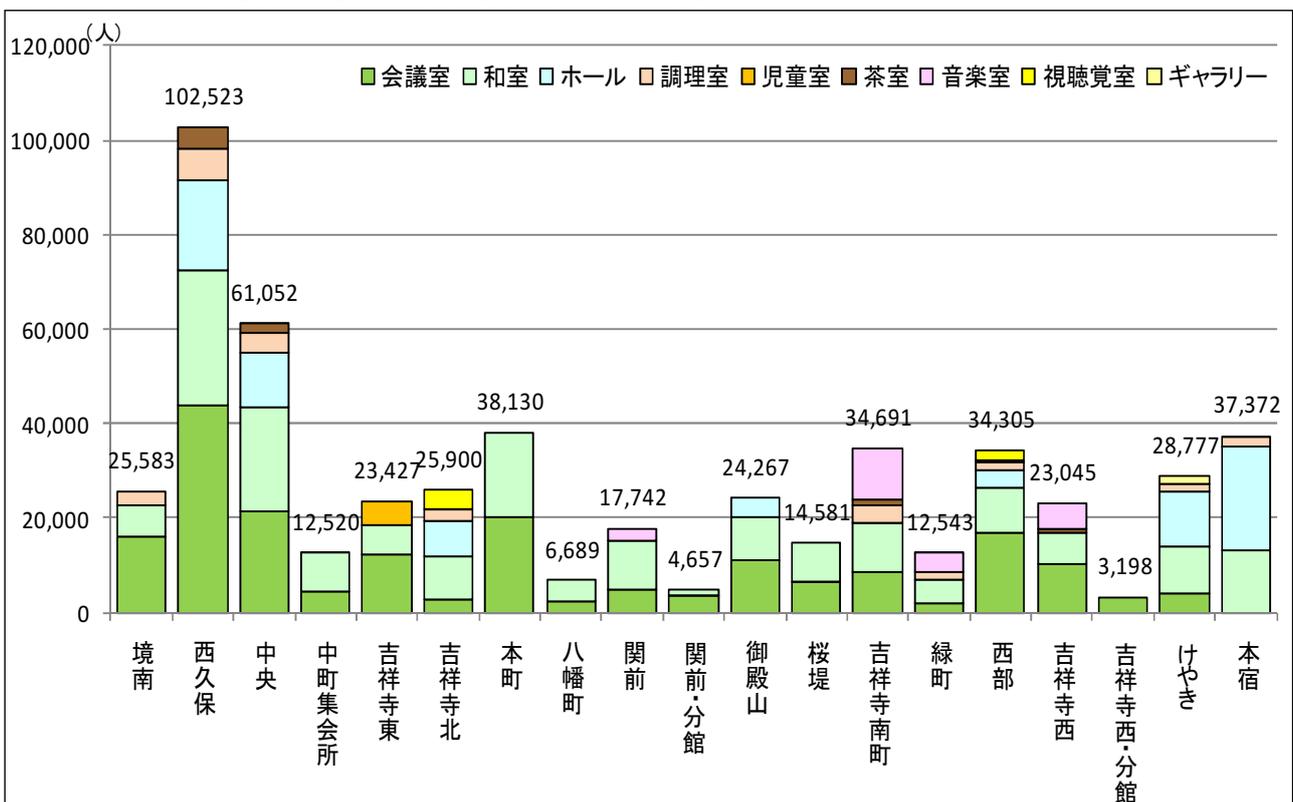
平成 21 年度利用件数 5 万 62 件のうち、和室の利用が 1 万 7,166 件で全体の約 34%、会議室の利用が 1 万 6,478 件で全体の約 33%を占めています。ついで、ホール 6,166 件、音楽室 4,575 件、調理室 2,414 件となっています。

平成 21 年度の全体稼働率は、約 49%です。諸室別では、会議室が約 53%、和室が約 43%で、ホールは約 75%、調理室は約 29%、音楽室は約 75%となっています。茶室・ギャラリー・調理室の利用が少ないようです。

図表 3-(3)-13 全施設 部屋別 利用件数と稼働率 (平成 21 年度)



図表 3-(3)-14 施設別 部屋別 利用者数 (平成 21 年度)

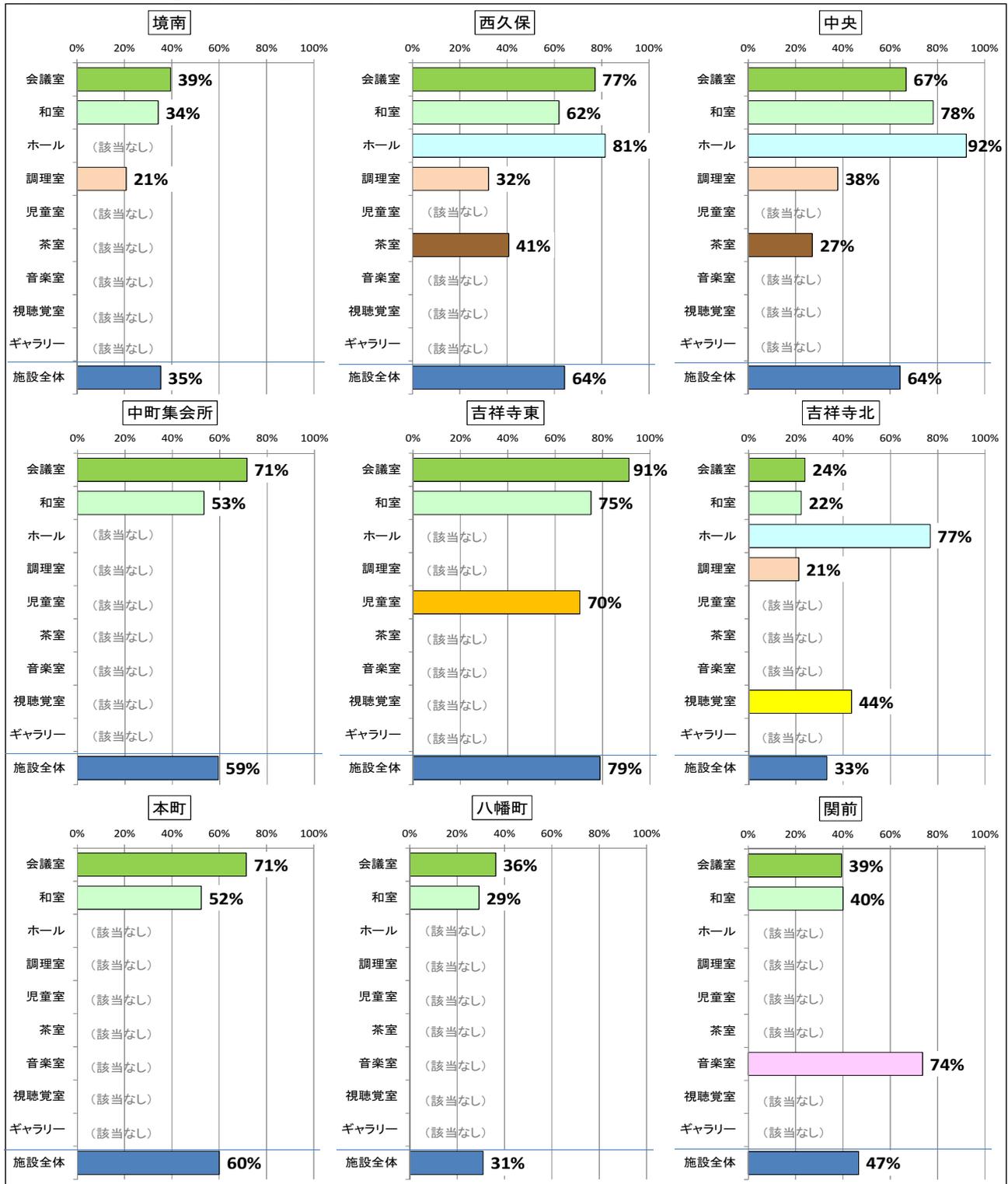


■ 施設別・部屋別 稼働率

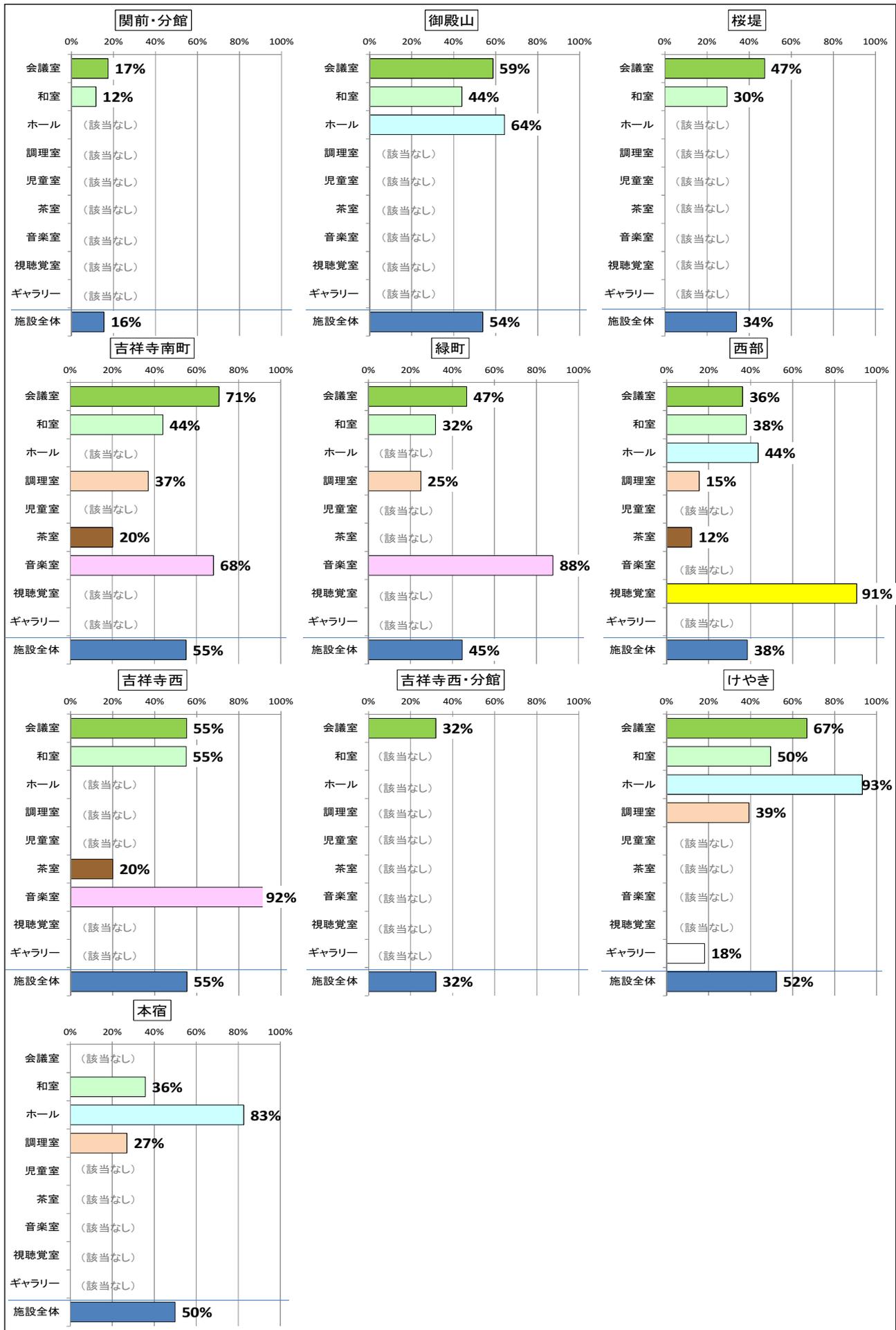
施設別稼働率では、関前コミュニティセンター分館の約16%が最も低く、吉祥寺東コミュニティセンターの約79%が最も高くなっています。

施設別・部屋別稼働率では、会議室・和室の稼働率は関前コミュニティセンター分館の約12%が最も低く、吉祥寺東コミュニティセンターの91%が最も高くなっており、施設全体稼働率と概ね近い値となっています。ホールは44~93%、音楽室は68~92%と全般に高くなっています。一方で、調理室は15~39%、茶室は12~41%と全般的に低くなっています。

図表 3-(3)-15 施設別・部屋別 稼働率（平成21年度）



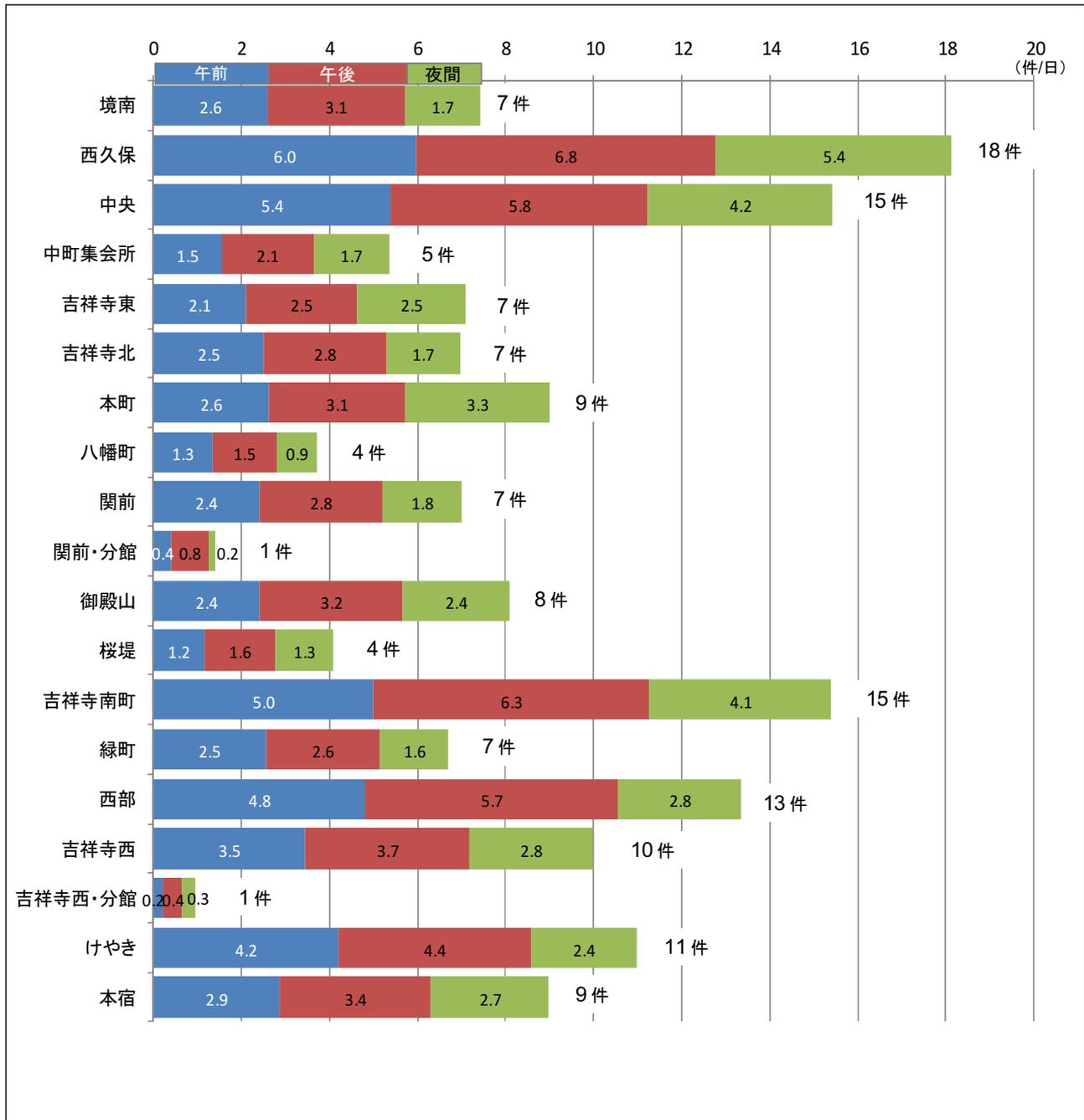
(3) コミュニティセンター



■ 施設別・時間帯別 利用件

施設別の1日当たり利用件数では、西久保コミュニティセンターの18件が最も多く、関前コミュニティセンター分館、吉祥寺西コミュニティセンター分館では1件程度となっています。概ね各施設とも4件～7件/日、多いところでは11件～18件/日となっています。

図表 3-(3)-16 施設別・時間帯別利用件数（平成21年度）



③ 運営状況

コミュニティセンターの管理運営は、「自主三原則（自主参加・自主企画・自主運営）」の理念のもと、住民によって組織される「コミュニティ協議会」が行っています。平成17年4月からは、各コミュニティ協議会を指定管理者とする指定管理者制度が導入されています。

コミュニティ協議会の運営人員は、1施設当たり50人～184人、19施設合計で1,417人となっています。

各コミュニティセンターでは、下表の運営人員が配置されており、その中から1～2名がローテーションで受け付け・案内業務を行っています。

コミュニティ協議会は、各コミュニティセンターで広報紙の発行や行政・地域情報の提供のほか、各種自主事業（学習会・コンサート・季節の行事等）を企画・開催しています。

図表 3-(3)-17 運営人員

(人)

	境南	西久保	中央	中町 集会所	吉祥寺東	吉祥寺北	本町	八幡町	関前	関前 ・分館
施設利用に関する 受付・案内	16	19	23	(23)	24	24	11	10	23	(23)
各種主催事業の 開催・企画	143	31	90	(90)	38	50	44	41	45	(45)
合計	159	50	113	(113)	62	74	55	51	68	(68)

	御殿山	桜堤	吉祥寺南町	緑町	西部	吉祥寺西	吉祥寺西 ・分館	けやき	本宿	計
施設利用に関する 受付・案内	9	17	12	21	28	26	(26)	43	17	323
各種主催事業の 開催・企画	41	36	169	59	30	89	(89)	141	47	1,094
合計	50	53	181	80	58	115	(115)	184	64	1,417

… 2施設合わせた運営人員

図表 3-(3)-18 運営体制

		9:30	12:30	13:00	17:00	21:15
運営体制(例)						
	1施設 当たり 約 2人	ローテーション 当番(1人)	ローテーション 当番(2人)		(2人)	

④ コスト状況

コミュニティセンター19施設の年間トータルコストは、3億6,243万円、1施設当たり平均1,908万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は2億5,077万円(約69%)、事業運営にかかるコスト(負担金補助及び交付金・その他物件費)は4,202万円(約12%)、減価償却相当額は6,964万円(約19%)です。

図表3-(3)-19 施設別行政コスト計算書(平成21年度)

(千円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		境南	西久保	中央	中町集会所	吉祥寺東	吉祥寺北	本町	八幡町	関前	関前・分館
施設にかかるコスト	各所修繕費	4,570	7,544	2,070	4,042	2,474	1,104	1,374	88	179	0
	大規模修繕費	7,235	3,724	5,610	1,401	390	2,126	282	89	70	1,105
	光熱水費	4,011	3,634	2,671	582	864	2,440	1,297	536	1,625	161
	建物管理委託費	11,996	12,409	12,968	1,372	6,077	11,473	7,032	5,182	8,775	1,094
	使用料	41	41	41	41	41	41	41	41	41	0
	市債利息償還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設にかかるコスト計		27,853	27,353	23,360	7,439	9,846	17,185	10,026	5,936	10,690	2,360
運事業	負担金補助及び交付金	2,881	2,421	2,745	0	2,234	2,881	2,092	2,225	2,249	0
	その他物件費	211	216	247	95	182	193	180	200	197	1
	事業運営にかかるコスト計	3,092	2,637	2,992	95	2,416	3,074	2,272	2,425	2,446	1
現金収支を伴うコスト計		30,945	29,990	26,352	7,534	12,262	20,258	12,298	8,361	13,136	2,361
【収益の部】											
その他使用料(総務使用料)		26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴う収益計		26	0	0	0	0	0	0	0	0	0

II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】

減価償却相当額	5,069	4,567	7,166	739	818	4,481	1,984	948	2,919	183
---------	-------	-------	-------	-----	-----	-------	-------	-----	-------	-----

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	36,015	34,557	33,518	8,273	13,080	24,740	14,282	9,310	16,055	2,544
収支差額(ネットコスト)	35,989	34,557	33,518	8,273	13,080	24,740	14,282	9,310	16,055	2,544

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		御殿山	桜堤	吉祥寺南町	緑町	西部	吉祥寺西	吉祥寺西・分館	けやき	本宿	合計
施設にかかるコスト	各所修繕費	1,750	531	2,352	1,108	828	1,417	424	1,938	1,721	35,512
	大規模修繕費	700	1,677	1,858	205	1,319	698	3	1,046	565	30,103
	光熱水費	1,457	898	4,689	1,479	2,589	2,133	225	2,184	1,849	35,325
	建物管理委託費	7,106	5,324	11,207	6,523	10,399	9,569	1,485	8,362	8,153	146,506
	使用料	41	41	41	41	41	41	0	41	41	700
	市債利息償還金	0	0	0	0	0	0	0	65	2,563	2,628
施設にかかるコスト計		11,054	8,471	20,148	9,356	15,176	13,858	2,137	13,635	14,892	250,774
負担金補助及び交付金		2,042	2,180	2,819	2,283	2,737	2,333	0	2,551	2,072	38,745
その他物件費		172	180	260	164	200	200	1	169	205	3,272
事業運営にかかるコスト計		2,214	2,360	3,079	2,447	2,937	2,533	1	2,720	2,277	42,017
現金収支を伴うコスト計		13,268	10,830	23,226	11,804	18,113	16,390	2,138	16,355	17,169	292,791
【収益の部】											
その他使用料(総務使用料)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
現金収支を伴う収益計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	26

II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】

減価償却相当額	2,595	1,276	7,447	2,875	8,105	6,503	1,183	4,174	6,608	69,640
---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

III. 総括

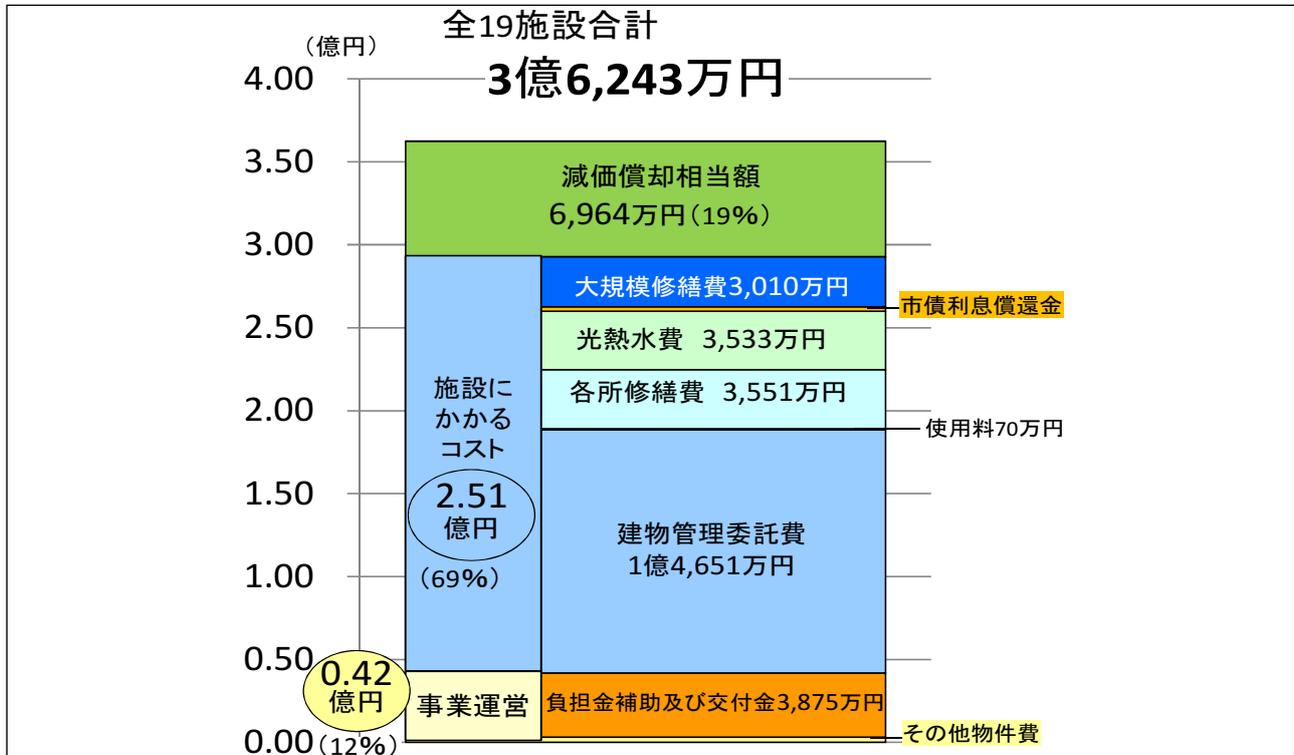
コストの部合計(トータルコスト)	15,863	12,106	30,673	14,679	26,218	22,893	3,321	20,529	23,777	362,431
収支差額(ネットコスト)	15,863	12,106	30,673	14,679	26,218	22,893	3,321	20,529	23,777	362,405

※大規模修繕費は、過去5年間の平均額を計上しています。

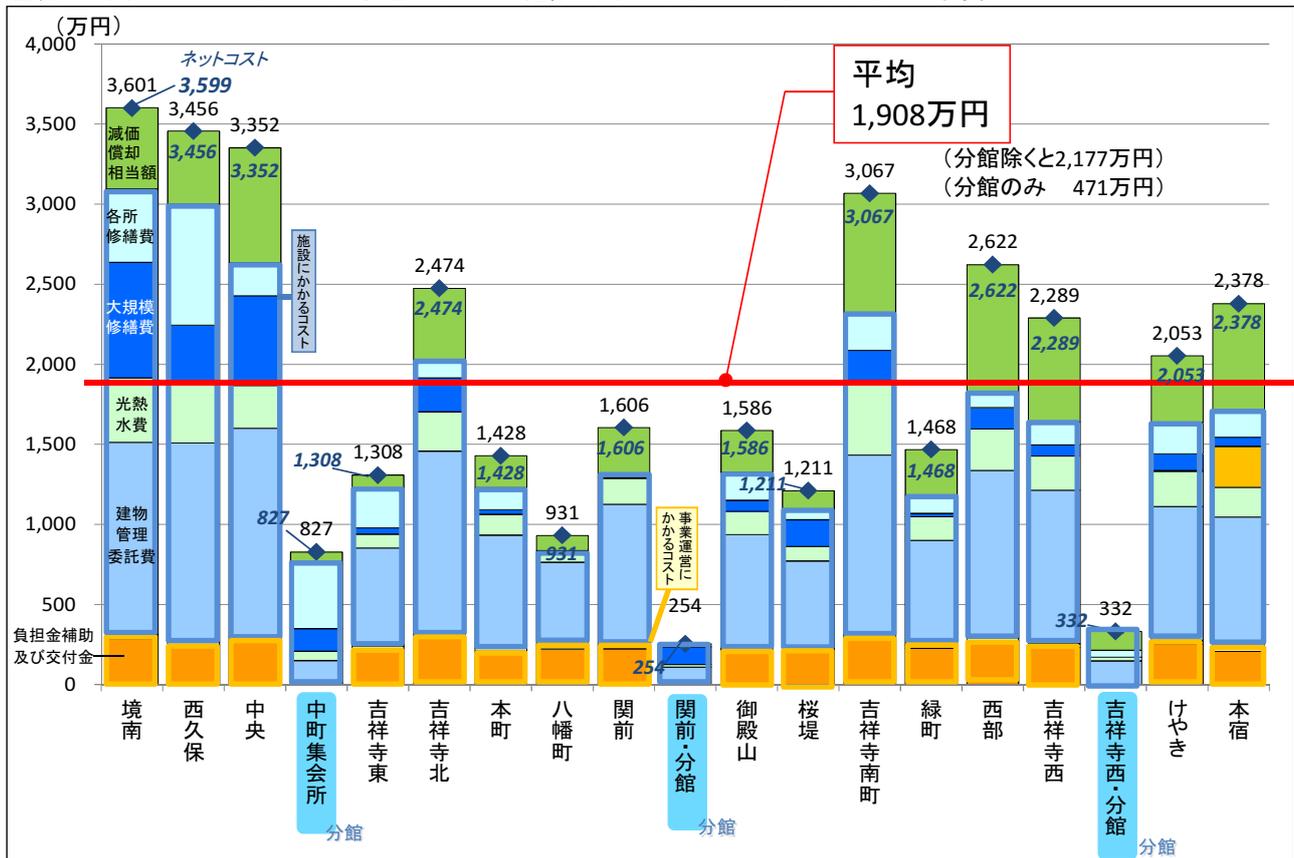
(3) コミュニティセンター

施設別トータルコストでは、1館当たり関前コミュニティセンター分館の約254万円が最も低く、境南コミュニティセンターの約3,601万円が最も高い状況です。事業運営にかかるコストは、分館を除いて各施設とも約250万円とほぼ同額です。

図表 3-(3)-20 コミュニティセンター 全施設トータルコスト (平成 21 年度)



図表 3-(3)-21 コミュニティセンター 施設別トータルコスト (平成 21 年度)

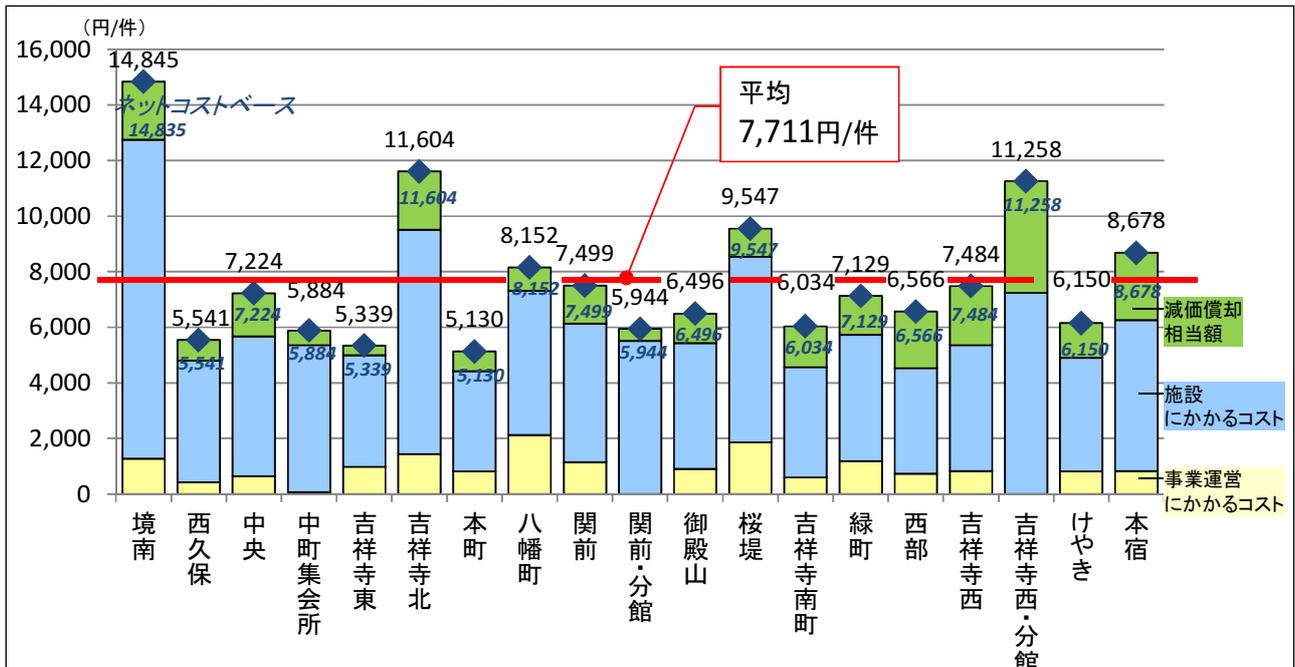


3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 利用件数とトータルコストの関係 (利用1件当たりコスト)

年間利用件数とトータルコストより利用1件当たりにかかるコストを算出すると、本町コミュニティセンターが5,130円と最も低く、境南コミュニティセンターが14,845円と最も高い状況です。なお、コミュニティセンターの平均は7,711円/件となっています。

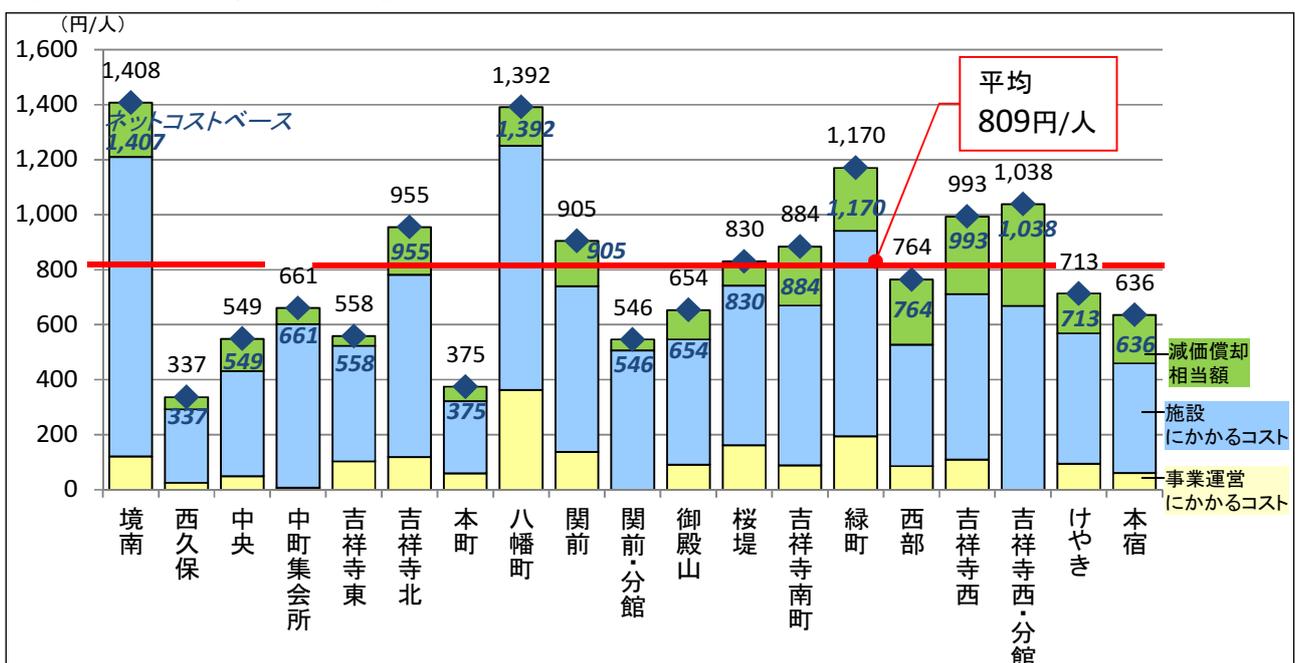
図表 3-(3)-22 施設別 利用1件当たりコスト



■ 利用者数とトータルコストの関係 (利用者1人当たりコスト)

年間利用者数とトータルコストより利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、西久保コミュニティセンターが337円と最も低く、境南コミュニティセンターが1,408円と最も高い状況です。なお、コミュニティセンターの平均は809円/人となっています。

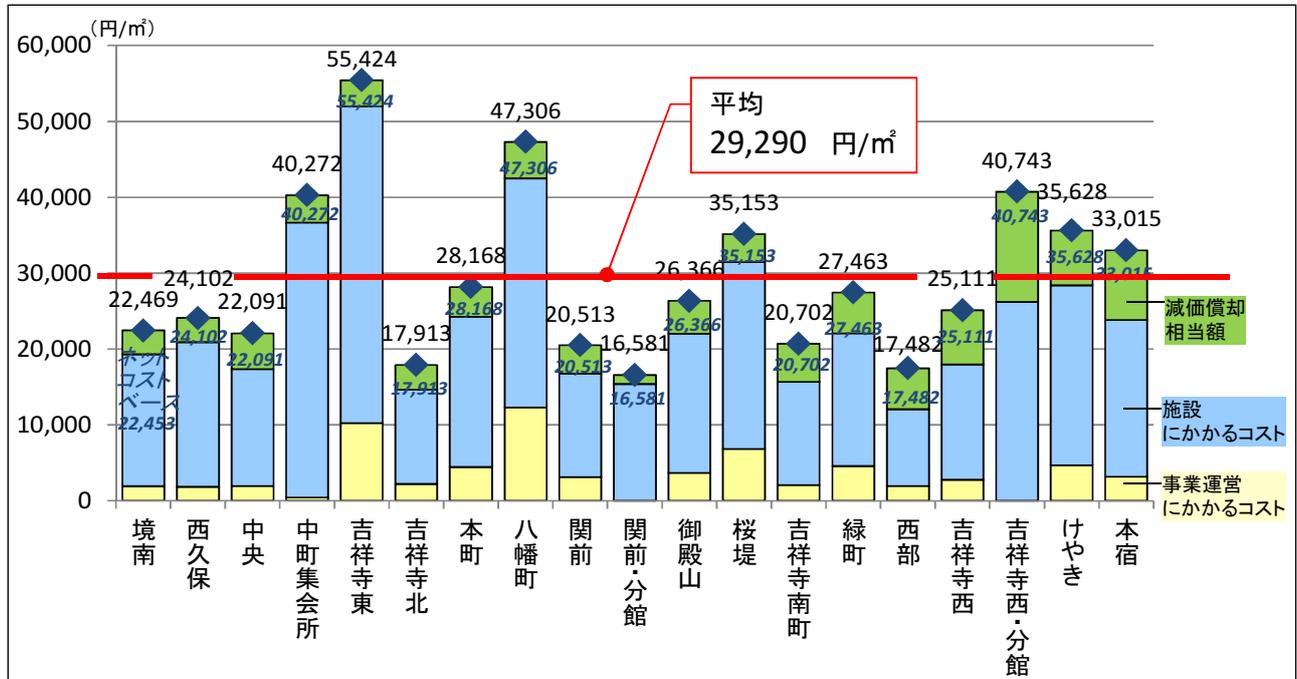
図表 3-(3)-23 施設別 利用者1人当たりコスト



■ 延床面積とトータルコストの関係（単位床面積当たりコスト）

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、関前コミュニティセンター分館が1万6,581円と最も低く、吉祥寺東コミュニティセンターが5万5,424円と最も高い状況です。なお、コミュニティセンターの平均は2万9,290円/㎡となっています。

図表 3-(3)-24 施設別 単位床面積当たりコスト



(4) 学校教育施設

ア. 小学校・中学校

1) 施設概要

① 施設一覧

武蔵野市には、小学校 12 校、中学校 6 校、合計 18 校の市立学校が設置されています。延床面積は、小学校は 4,383~1 万 3,551 m²、中学校は 7,625~1 万 5,862 m²で、合計 15 万 4,008 m²です。

市立学校の児童生徒数（平成 21 年 5 月 1 日現在）は、合計 6,810 人（特別支援学級を含む）、学級数は 238 学級（特別支援学級を含む）で、そのうち小学校の児童数は 4,961 人、学級数は 175 学級、中学校の生徒数は 1,849 人、学級数は 63 学級となっています。通常学級の 1 学級当りの平均児童生徒数は小学校が約 31 人、中学校が約 33 人となっています。

平成 8 年度に旧境北小学校と旧桜堤小学校を統合し、旧境北小学校校舎を使用して、新たに桜野小学校を開校しました。また、千川小学校、大野田小学校は教育環境や安全性の問題から改築を行ない、オープンスクール形式の学校となっています。

図表 3-(4)ア-1 施設一覧

(平成 21 年 5 月 1 日現在)

	施設名	住所	敷地面積 (m ²)	延床面積 (m ²)	建築年度 (年度)	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
						通常学級	特別支援	通常学級	特別支援
小学校	1 第一小学校	吉祥寺本町4-17-16	10,591.0	5,455.5	昭和43	360	—	12	—
	2 第二小学校	境4-2-15	16,423.2	5,807.0	昭和42	441	—	13	—
	3 第三小学校	吉祥寺南町2-35-9	13,090.7	6,908.0	昭和44	469	—	15	—
	4 第四小学校	吉祥寺北町2-4-5	14,779.3	7,140.4	昭和47	383	通級	12	3
	5 第五小学校	関前3-2-20	9,705.3	6,774.2	昭和35	343	—	12	—
	6 大野田小学校	吉祥寺北町4-11-37	15,051.8	13,550.9	平成16	701	22	20	4
	7 境南小学校	境南2-27-27	14,305.5	8,817.1	昭和46	507	21	16	4
	8 本宿小学校	吉祥寺東町4-1-9	11,518.2	7,809.7	昭和53	247	—	9	—
	9 千川小学校	八幡町3-5-25	13,700.0	10,249.5	平成8	375	—	12	—
	10 井之頭小学校	吉祥寺本町3-27-26	9,998.0	7,697.5	昭和49	306	—	12	—
	11 関前南小学校	関前3-37-26	14,778.4	4,383.3	昭和46	285	—	10	—
	12 桜野小学校	桜堤1-8-19	12,176.5	9,562.5	昭和52	501	通級	16	5
小学校 計			156,118	94,156	—	4,918	43	159	16
中学校	1 第一中学校	中町3-9-5	15,335.1	10,142.7	昭和38	269	通級	8	1
	2 第二中学校	桜堤1-7-31	15,024.7	9,455.9	昭和42	290	通級	8	3
	3 第三中学校	吉祥寺東町1-23-8	15,505.0	8,795.8	昭和46	338	—	10	—
	4 第四中学校	吉祥寺北町5-11-41	19,996.2	15,862.0	昭和49	414	20	12	3
	5 第五中学校	関前2-10-20	19,038.0	7,624.6	昭和36	249	—	9	—
	6 第六中学校	境3-20-10	10,392.0	7,971.7	昭和46	267	2	8	1
中学校 計			95,291	59,853	—	1,827	22	55	8
小・中学校 合計			251,409	154,008	—	6,745	65	214	24

※ 「建築年度」「敷地面積」「延床面積」は「総合台帳」より参照

※ 「建築年度」は、校舎棟で最も古い建築年度を記載

※ 施設表記順、児童生徒数、学級数は「武蔵野市の教育（平成 21 年度）」より参照

② 運営日・運営時間

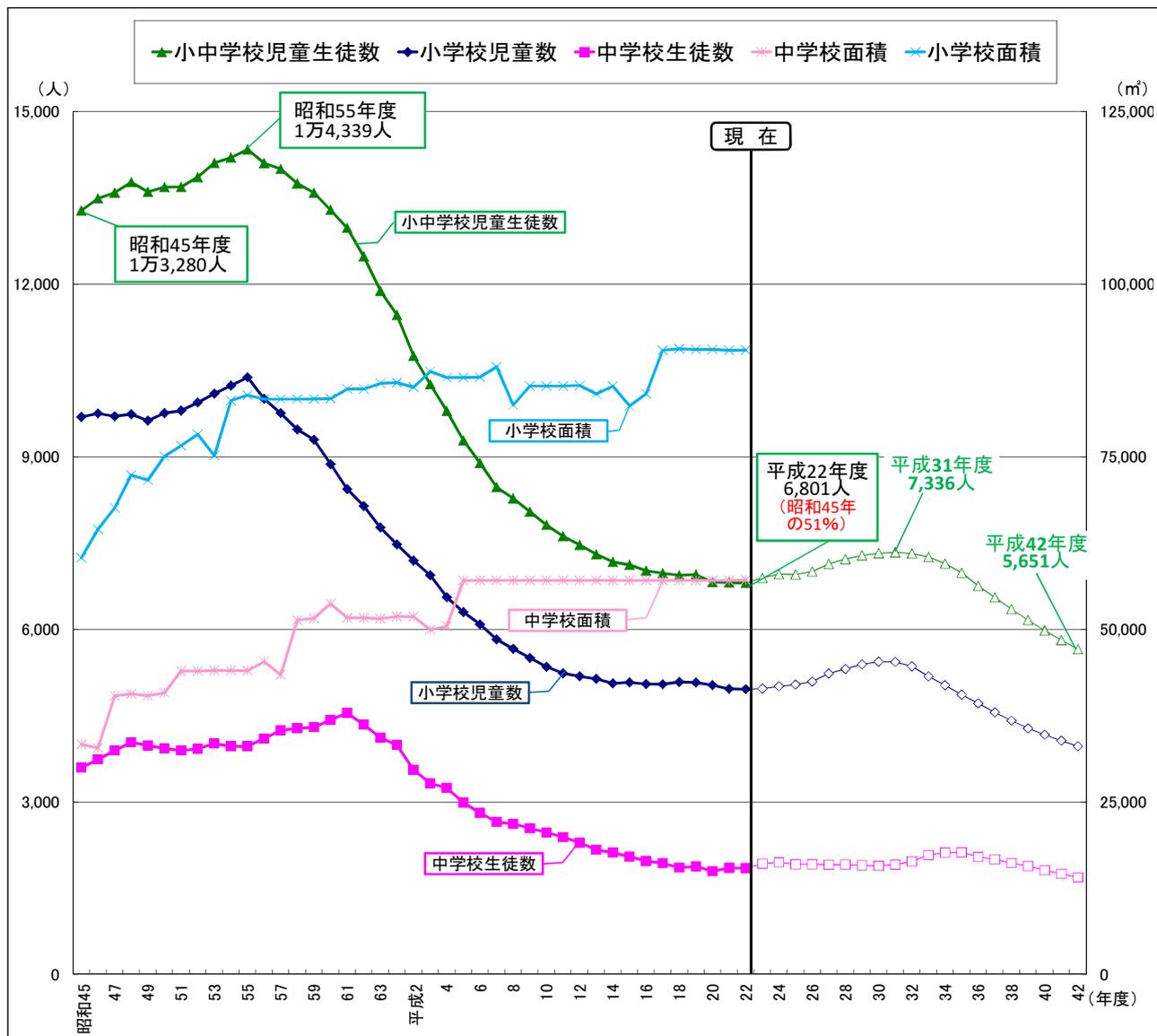
- 基本的には、平日運営しており、運営時間は 8:30~18:00 となっています。
- また、学校教育に支障のない限り、学校施設開放を 9:00~21:00 に行っています。

2) 実態把握

① 児童生徒数及び学級数の状況

小・中学校の児童生徒数は、昭和45年度1万3,280人でした。昭和55年頃までは増加傾向で1万4,339人まで増加しました。その後、減少傾向になり、平成22年1月1日時点では6,801人で、昭和45年の約51%、昭和55年の約47%となっています。平成23年以降の児童生徒数の推計では、平成31年(7,336人)まで微増傾向になると予測されますが、その後減少傾向に転じ、10年後の平成42年には5,651人、平成22年度の約83%になると予測されています。

図表 3-(4)ア-2 児童生徒数の推移



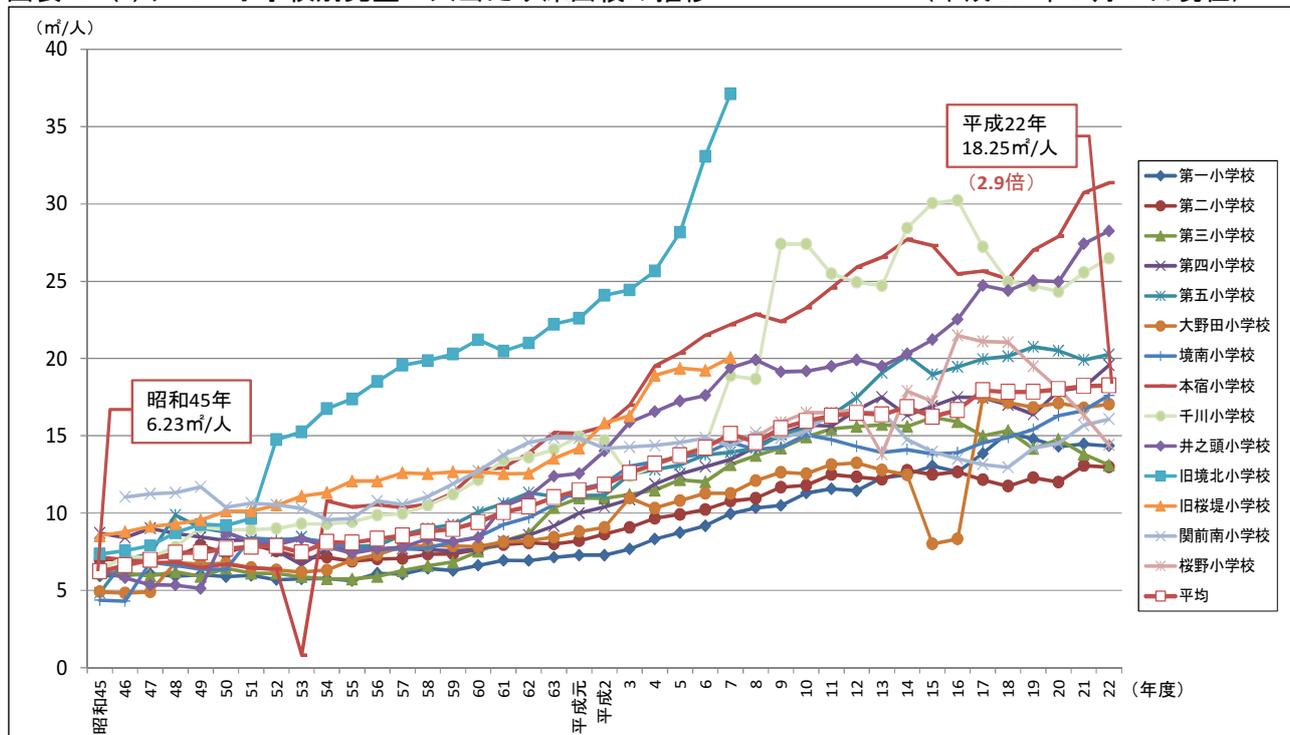
出典：武蔵野市の将来人口推計、市勢統計

(4) ア 小学校・中学校

小・中学校別の児童生徒 1 人当たり床面積の推移をみると、小学校では昭和 45 年時点より約 1.9 倍～4.5 倍増加しており、各校の平均では約 2.9 倍となっています。桜野小学校のみ、開校時点よりほぼ変化のない状況です。

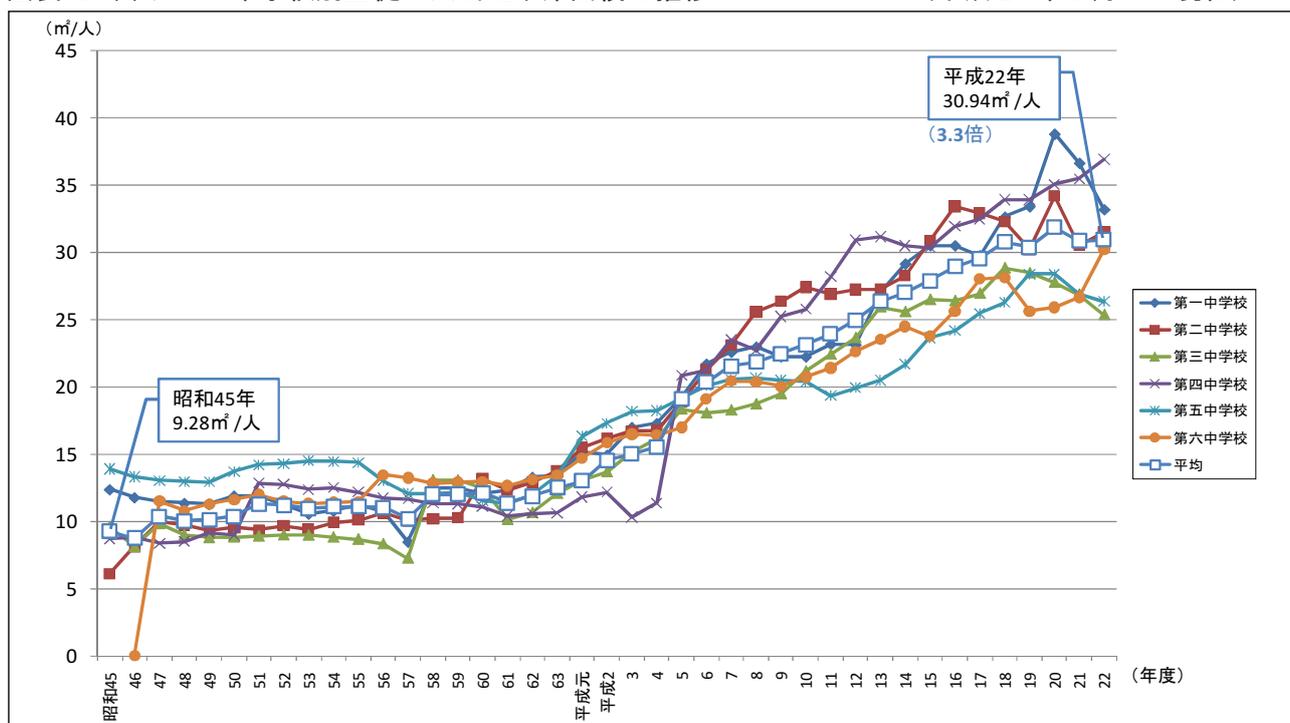
中学校では、昭和 45 年時点より約 1.9 倍～5.2 倍増加しており、各校の平均では約 3.3 倍となっています。特に、第二中は約 5.2 倍と大幅に増加しています。

図表 3-(4)ア-3 小学校別児童 1 人当たり床面積の推移 (平成 21 年 5 月 1 日現在)



出典：市勢統計

図表 3-(4)ア-4 中学校別生徒 1 人当たり床面積の推移 (平成 21 年 5 月 1 日現在)



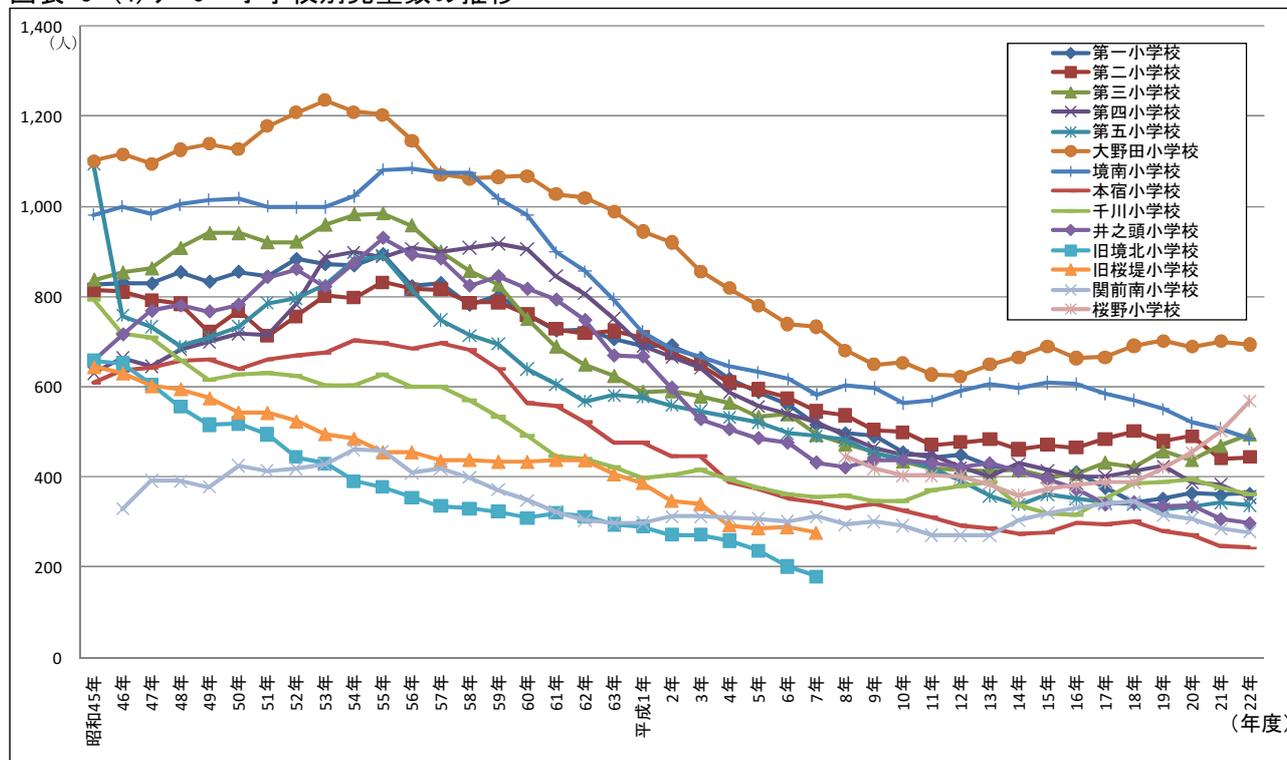
出典：市勢統計

(4) ア 小学校・中学校

小・中学校別の児童生徒数の推移をみると、小学校では現在は各校ともピーク時の31%～60%程度の児童数となっていますが、桜野小学校のみ平成19年度以降増加傾向となっており、開校時の約1.3倍となっています。

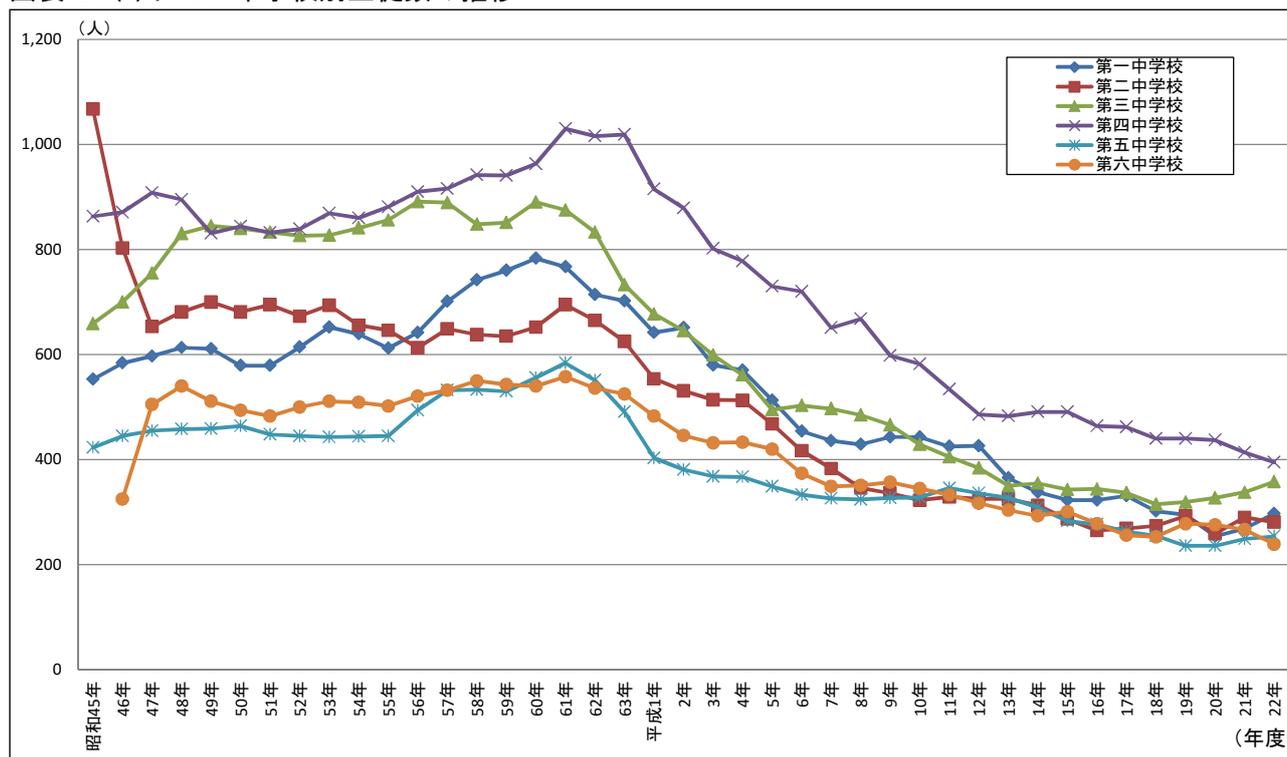
中学校では、現在は各校ともピーク時の26%～43%程度の生徒数となっていますが、第三中学校は近年、微増傾向となっています。

図表 3-(4)ア-5 小学校別児童数の推移



出典：市勢統計

図表 3-(4)ア-6 中学校別生徒数の推移



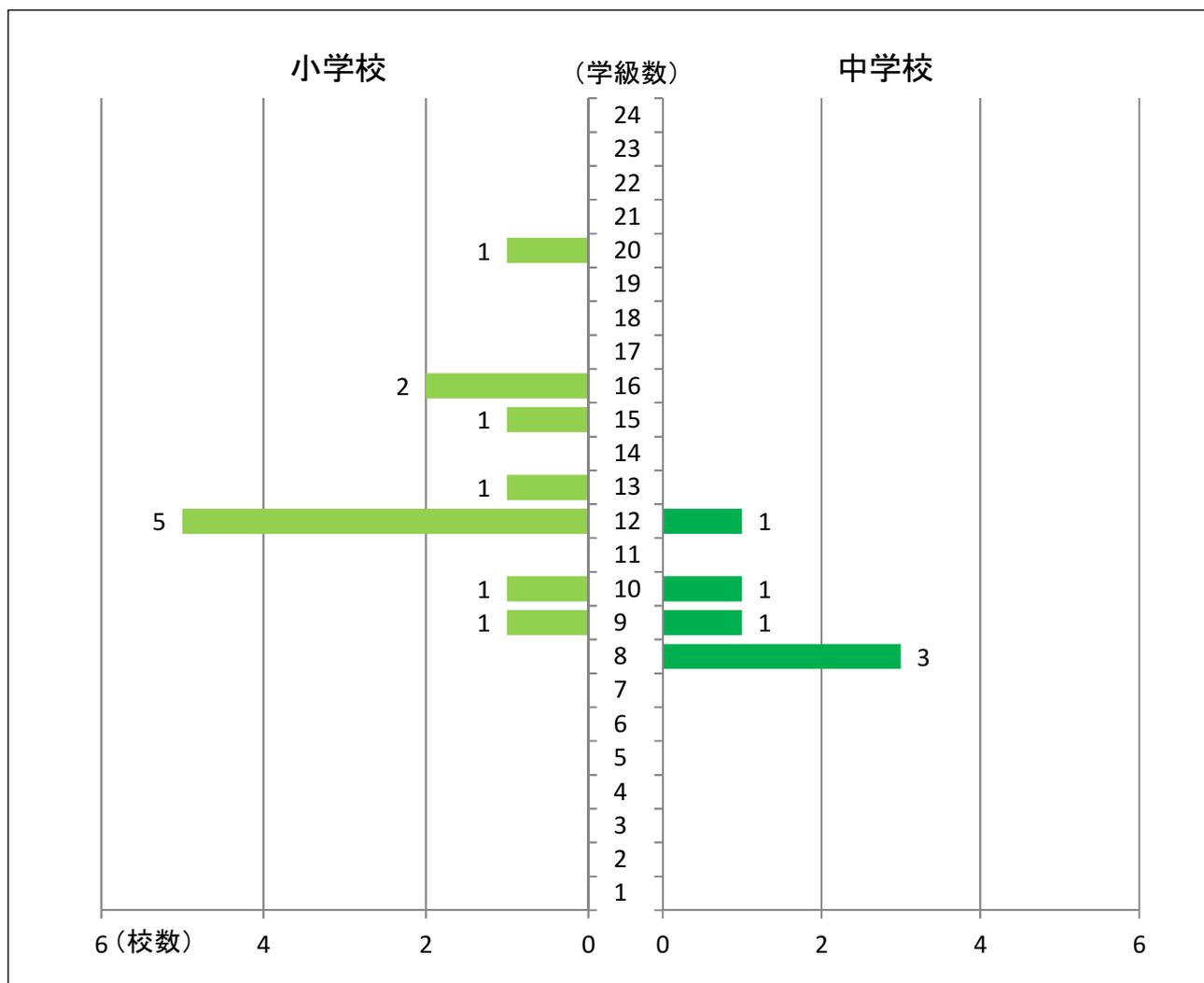
(4) ア 小学校・中学校

学校別の平成 21 年度の普通学級数をみると、小学校では 12 校のうち、12 学級以上の学校は 10 校で、残りの 2 校は 9 学級（本宿小学校）、10 学級（関前南小学校）となっています。12 学級に満たない小学校では、1 学級の学年があり、クラス替えができない状況になっています。

中学校では、8～12 学級で、1 学年当たり概ね 2～4 学級になっています。

図表 3-(4)ア-7 小学校・中学校の普通学級数

(平成 21 年 5 月 1 日現在)



(4) ア 小学校・中学校

学校施設台帳より、普通学級数及び特別教室関係の教室数を整理すると、小学校では普通学級数は9～23学級で、特別教室は9～32教室あり、生活科室・視聴覚室・教育相談室は、学校によって保有していません。特別活動室には学年学習室、多目的室、児童会室、集会室などが含まれ、児童数が増加した際には教室への転用が可能です。

職員室・校長室等の管理諸室を除くその他の諸室は、17～49室あり、会議室、資料室、PTA室など児童数が増加した際には教室への転用が可能な部屋のほか、こどもクラブやあそべえ、防災倉庫など、学校教育以外の用途に転用した部屋があります。特別活動室とその他の諸室の合計は、小学校12校の合計で408教室、1万9,459㎡となっています。

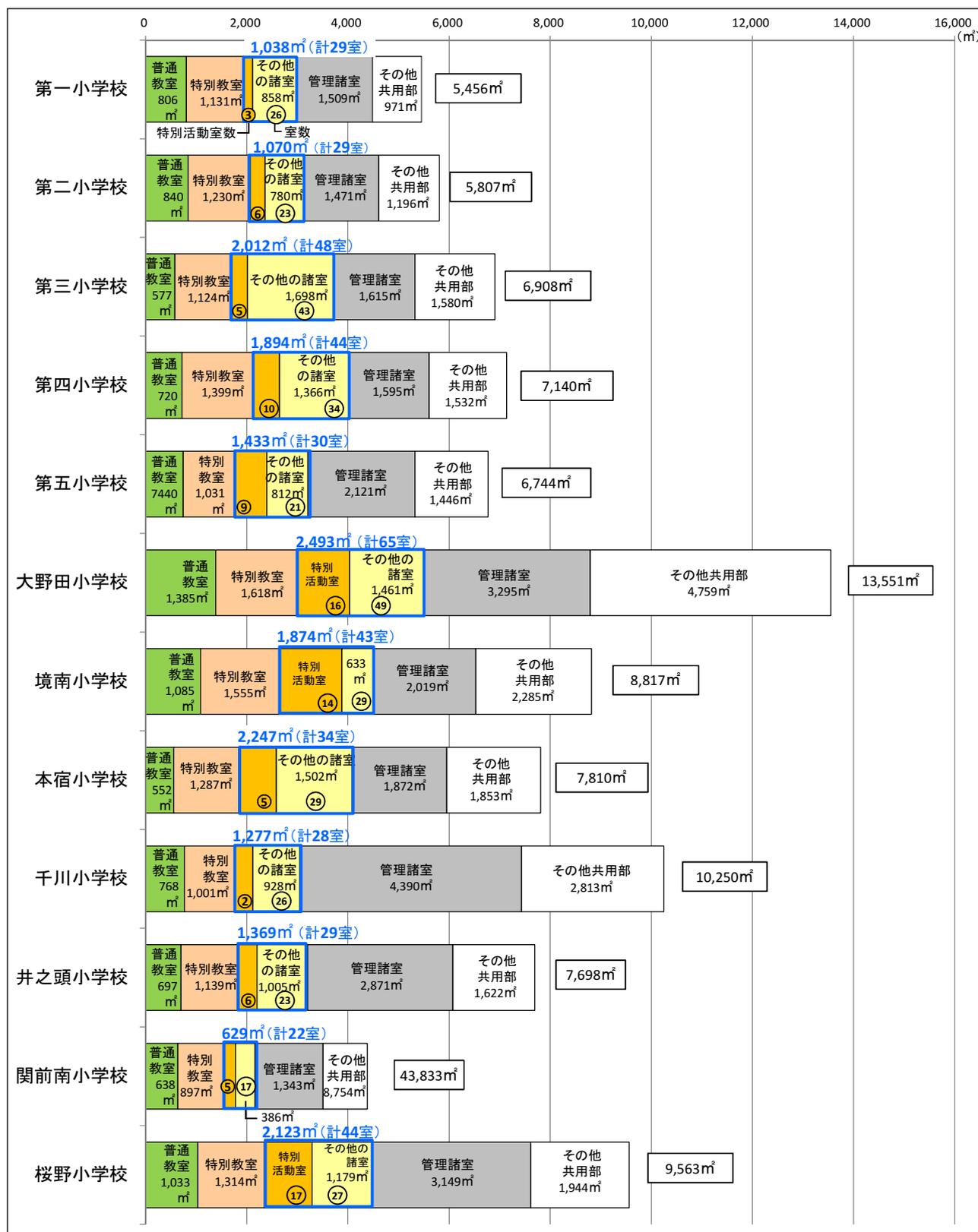
図表 3-(4)ア-8 小学校保有教室の状況（平成23年5月1日）

小学校	総合計	特別教室											その他諸室											
		普通教室	理科室	生活室	音楽室	図工室	家庭科室	視聴覚室	コンピュータ室	図書室	特別活動(室名後の数字は部屋数)	教育相談室	計	会議室	資料室	PTA室	教材室	ロッカー・更衣室	倉庫	特別教室準備室	その他(室名後の数字は部屋数)		計	
第一小学校	52	12	1	0	2	2	2	1	1	1	1	1	1	14	2	2	1	1	3	6	6	薬品庫	楽器室	26
第二小学校	56	14	2	1	2	2	1	1	1	2	1	1	19	1	2	1	1	3	3	7	備蓄倉庫	あそべえ	23	
第三小学校	72	14	2	0	2	1	1	0	1	2	1	1	15	5	0	0	3	6	9	7	ボランティア室	放送調整室	43	
第四小学校	69	12	2	1	2	1	2	1	1	2	1	1	23	1	0	1	4	5	5	7	警備室	あそべえ2	34	
第五小学校	54	12	1	2	2	2	1	0	1	2	1	1	21	1	0	1	1	2	6	6	応接室	第2保健室	21	
大野田小学校	99	23	2	1	2	1	2	0	1	1	1	1	27	5	1	0	0	5	7	6	相談室4	ブレイルーム3	49	
境南小学校	73	17	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	27	1	1	1	4	3	5	6	あそべえ	展示室	29	
本宿小学校	55	9	2	1	2	2	2	0	1	1	1	1	17	2	10	0	0	2	2	6	防災倉庫	暗室	29	
千川小学校	47	12	1	0	2	1	1	0	1	1	0	1	9	3	3	0	0	3	5	4	あそべえ	ワークスペース	26	
井之頭小学校	55	12	2	1	2	2	1	0	2	3	1	1	20	4	1	1	1	1	1	6	あそべえ	児童クラブ	23	
関前南小学校	42	10	1	1	1	2	1	0	1	2	1	1	15	1	1	0	2	2	3	5	放送調整室	楽器室	17	
桜野小学校	76	17	2	3	1	1	2	0	2	1	3	1	32	1	1	1	4	3	3	4	備蓄倉庫	特別支援職員室2	27	

※境南小学校普通教室の院内学級を除く
 ※桜野小学校の特別活動室には特別支援学級11室を含む
 ※出典：平成23年度公立学校施設台帳武蔵野市

その他の諸室は事務室、職員室、校長室、保健室、印刷室、放送室、用務室、配膳室、機械室、便所、給食室、体育館(付属室を含む)の管理諸室を除いた現地調査数

図表 3-(4)ア-9 小学校別スペース構成 (平成 23 年 5 月 1 日)



(4) ア 小学校・中学校

中学校では普通学級数は8～15学級で、特別教室は19～33教室あり、外国語・視聴覚室・進路相談室は、学校によって保有していません。特別活動室には学習室、多目的室、生徒会室、集会室などが含まれ、生徒数が増加した際には教室への転用が可能です。

職員室・校長室等の管理諸室を除くその他の諸室は24～47室あり、会議室、資料室、PTA室など児童数が増加した際には教室への転用が可能な部屋のほか、一部はトレーニング室や卓球室、楽器庫や備蓄倉庫などに転用した部屋があります。特別活動室とその他の諸室の合計は、中学校6校合計で234教室、1万2,469㎡となっています。

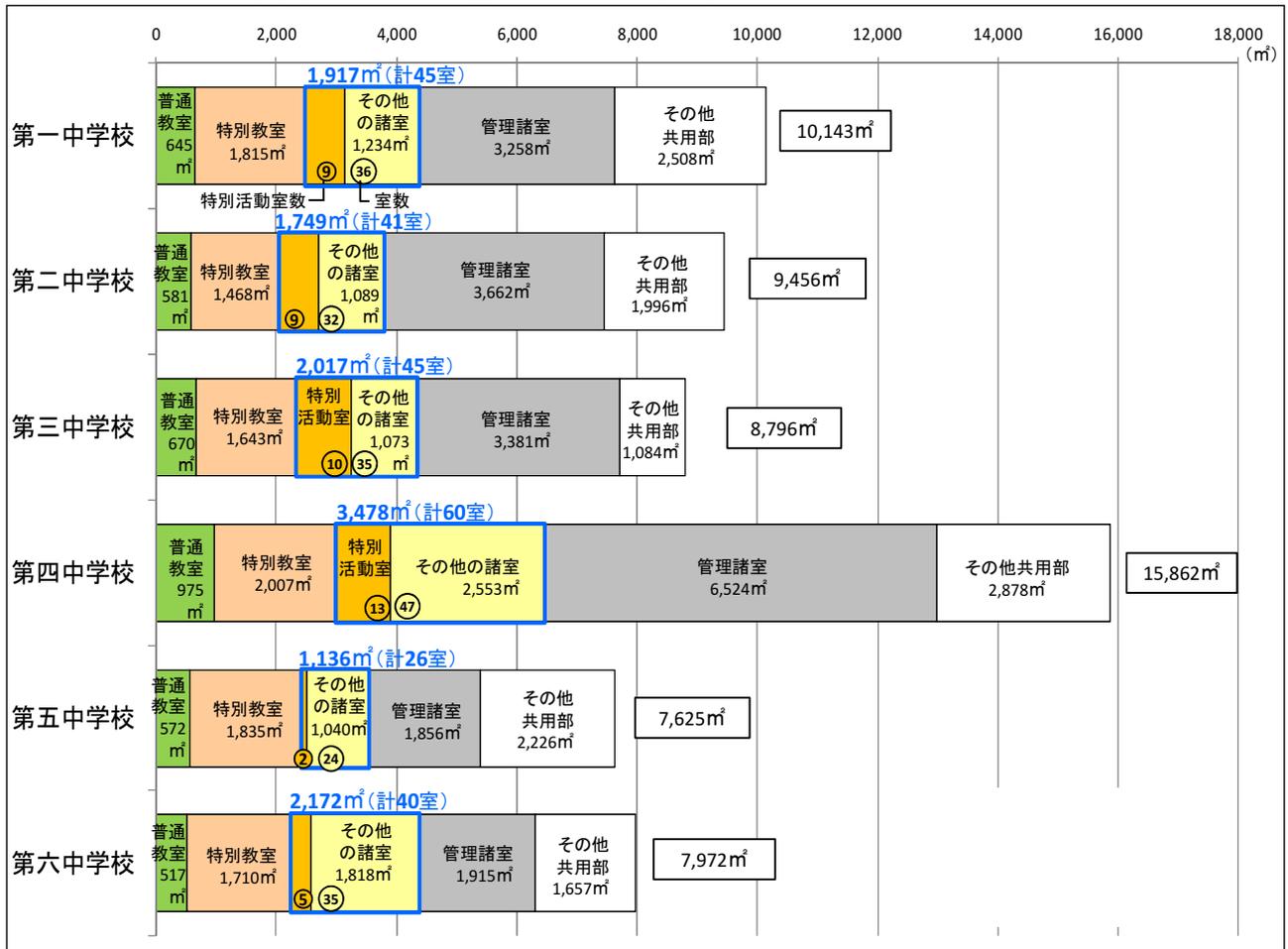
図表 3-(4)ア-10 中学校保有教室の状況（平成23年5月1日）

中学校	総合計	特別教室													その他諸室														
		普通教室	数学教室	理科室	音楽室	美術室	技術室	家庭科室	外国語室	視聴覚室	コンピュータ室	図書室	特別活動(室名後の数字は部屋数)	教育相談室	進路相談室	計	会議室	資料室	PTA室	教材室	ロッカー・更衣室	倉庫	特別教室準備室	その他(室名後の数字は部屋数)	計				
第一中学校	74	9	1	2	3	1	2	2	2	2	1	1	1	1	エコールーム 社会科室 生徒会室2	集会室3 総合室 学習室	3	1	28	2	1	0	0	5	7	9	備蓄倉庫2 警備室2 放送調整室 作業室 第二職員室	楽器庫 応接室 進路指導室 音楽練習室 トレーニング室	36
第二中学校	66	9	0	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	多目的ホール2 生徒会室	学習室6		2	1	25	2	2	1	0	2	6	3	備蓄倉庫 格技室 警備室 研究室7 薬品室	作品保管室 資料分別室 司書室 応接室 暗室	32
第三中学校	71	10	0	2	3	2	2	2	0	1	1	1	1	多目的室 集会室 小人数教室6	生徒会室 生徒会議室	1	1	26	2	3	1	1	5	5	11	備蓄倉庫 相談室2 薬品室	応接室 進路学習室 暗室	35	
第四中学校	95	15	0	3	2	3	3	3	0	0	1	1	1	生活訓練室 社会科室 個別指導コーナー 多目的室4	学習室4 生徒会室 ブレイルーム	3	1	33	2	0	1	1	7	8	10	武道場 シャワー室 OA室 浴室 教育開発室 陶芸室 特別支援職員室2	備蓄倉庫2 応接室 特別支援保健室 研修室 梅園外国人相談室 談話室 学校情報センター	47	
第五中学校	52	8	1	2	2	2	1	2	2	2	1	1	1	生徒会室	国語教室		2	0	19	1	0	1	1	3	3	7	楽器庫 工作室 警備室 応接室 卓球室	和室 作品室 備蓄倉庫 控室 司書室	24
第六中学校	65	8	0	2	2	2	2	2	0	2	1	1	1	生徒会室 学習室3	集会室		3	0	22	1	0	1	0	6	4	10	塗装室 薬品室 研究室3 教員室2 主事室	作品室 暗室 備蓄倉庫 補助運動場 応接室	35

※第四中学校の特別活動室には特別支援学級3室を含む
 ※第六中学校の普通教室に院内学級を含まない
 ※出典：平成23年度公立学校施設台帳武蔵野市

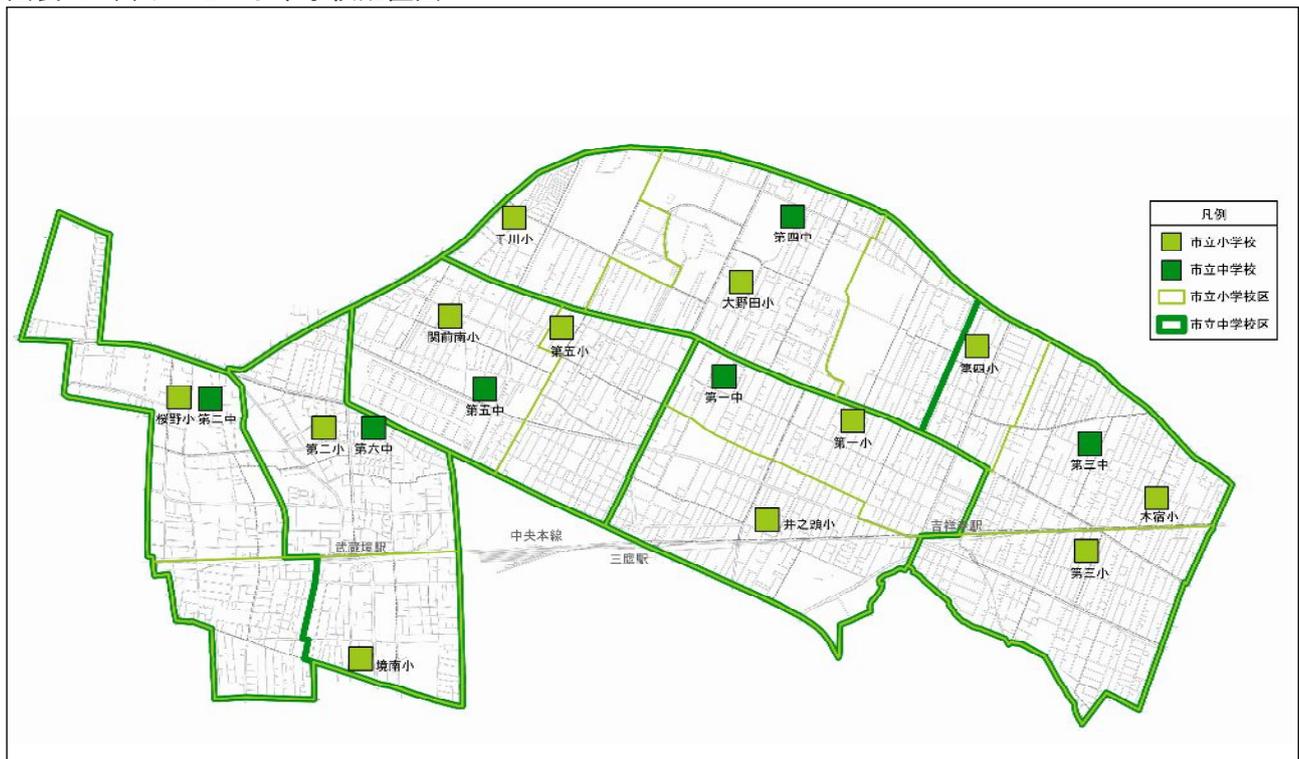
その他の諸室は事務室、職員室、校長室、保健室、印刷室、放送室、用務室、配膳室、機械室、便所、給食室、体育館(付属室を含む)の管理諸室を除いた現地調査数

図表 3-(4)ア-11 中学校別スペース構成 (平成 23 年 5 月 1 日)



■ 小中学校の配置

図表 3-(4)ア-12 小中学校配置図



② 建物状況

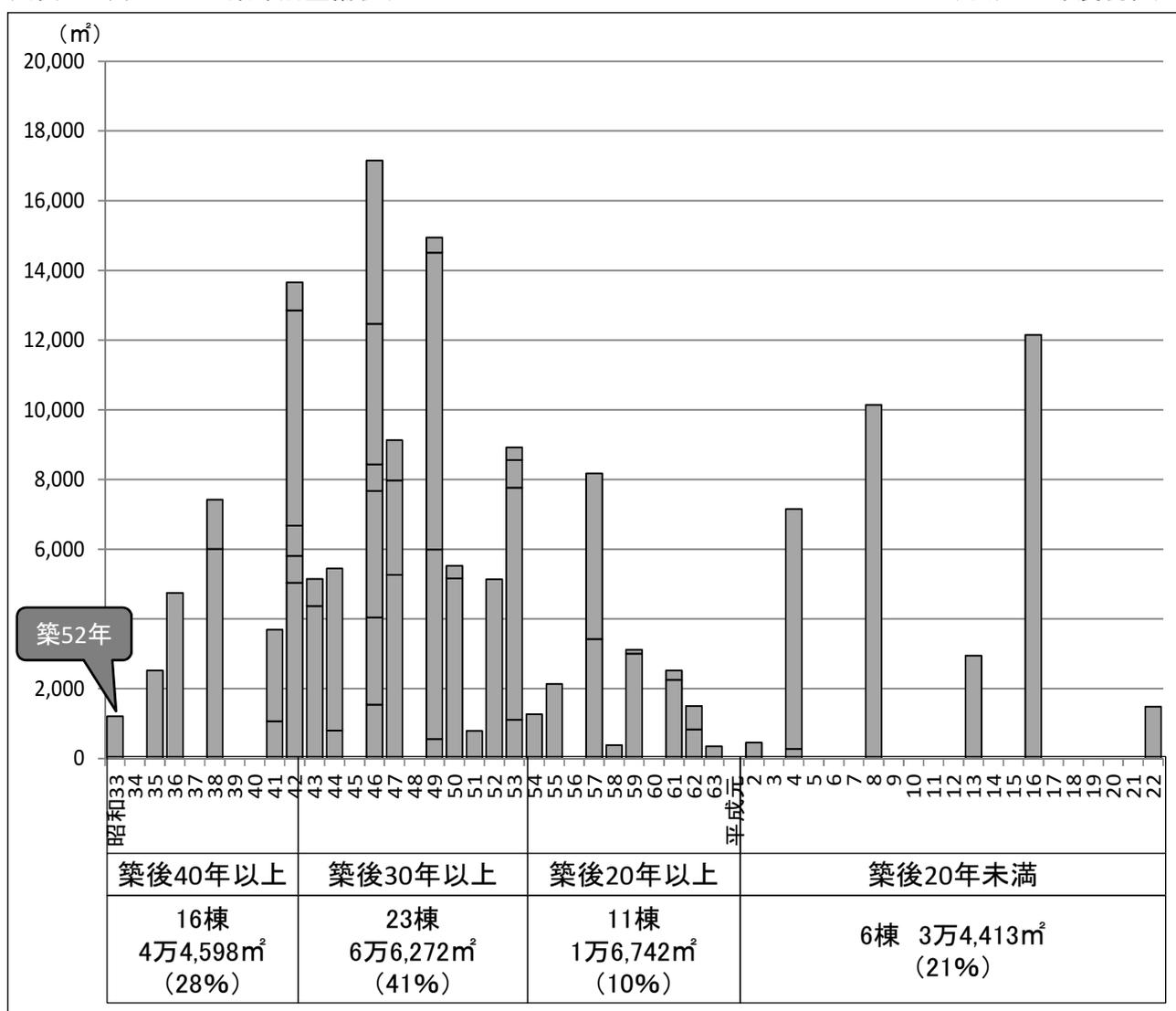
■ 築年別整備状況

小・中学校 18 校中、最も古い校舎は旧桜堤小学校（第二中学校で一部使用）の西校舎棟で、築後 52 年を経過しています。

公共施設全体の床面積のうち、築後 30 年以上となった施設床面積は 50%、築後 40 年以上となった施設床面積は 16%になります。学校施設だけを見ても、前者は 69%、後者は、28%となっており、かなり老朽化した施設ということがわかります。

図表 3-(4)ア-13 築年別整備状況

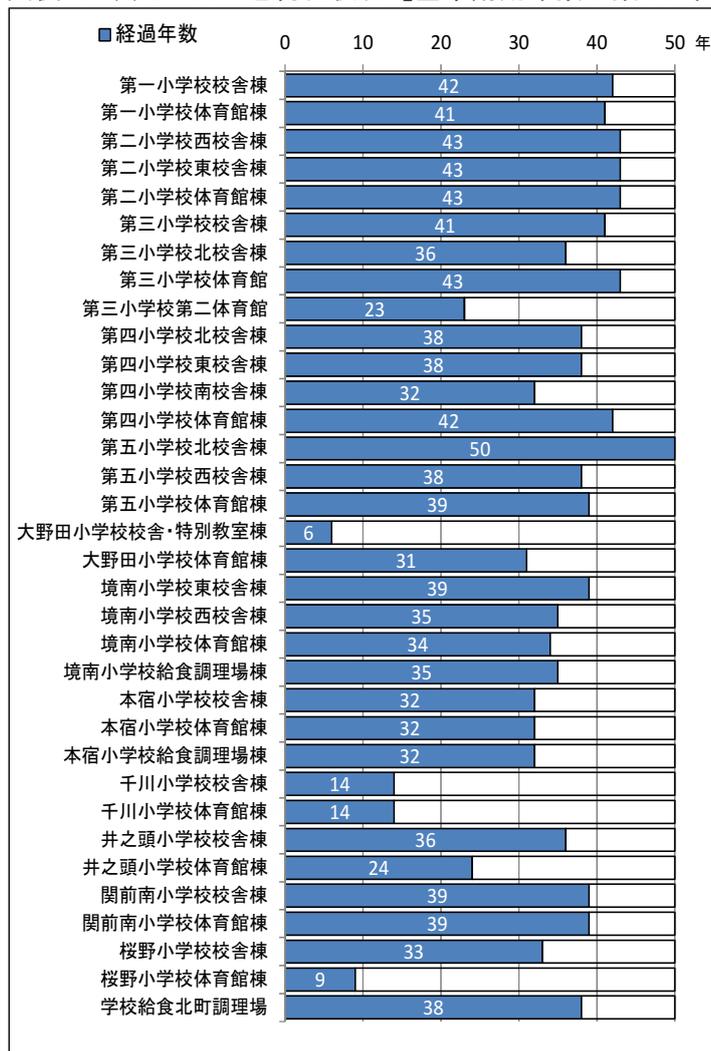
(平成 22 年度現在)



(出典：「総合台帳」より)

■建物評価（小学校）

図表 3-(4)ア-14 老朽化状況【基準耐用年数：築50年（RC造）】



小学校 12 校、33 棟のうち、五小北校舎棟が基準耐用年数を迎えているほか、一小・二小・三小・四小の計 9 棟(約 27%)が築 40 年以上経過しており、建替え・大規模改修等の検討が必要です。

築 30 年以上 40 年未満を経過した施設が 18 棟(約 55%)あり、今後老朽化対策が必要です。

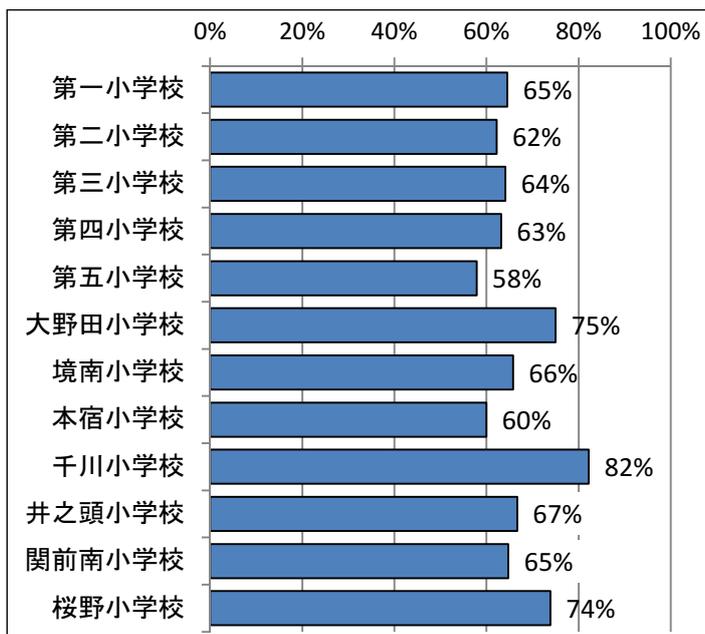
北町調理場は、築 38 年を経過し、今後老朽化への対応が必要です。

図表 3-(4)ア-15 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

第一小学校	耐震基準に適合
第二小学校	耐震基準に適合
第三小学校	耐震基準に適合
第四小学校	耐震基準に適合
第五小学校	耐震基準に適合
大野田小学校	耐震基準に適合
境南小学校	耐震基準に適合
本宿小学校	耐震基準に適合
千川小学校	耐震基準に適合
井之頭小学校	耐震基準に適合
関前南小学校	耐震基準に適合
桜野小学校	耐震基準に適合
学校給食北町調理場	耐震基準に適合

小学校及び北町調理場は、全施設とも、耐震基準に適合しています。

図表 3-(4)ア-16 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



小学校のバリアフリー適合率は、58%～82%となっています。エレベーターが設置されている大野田小・千川小・桜野小は適合率が高くなっています。

図表 3-(4)ア-17 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

	熱量合計 (MJ)	原油換算合計 (kl)	CO ₂ 排出量換算合計 (t)
第一小学校	合計	1,209,836.9	31.000
	単位床面積当たり	221.8	0.006
第二小学校	合計	1,831,053.6	47.000
	単位床面積当たり	315.3	0.008
第三小学校	合計	1,707,005.9	44.000
	単位床面積当たり	247.1	0.006
第四小学校	合計	1,591,908.1	41.000
	単位床面積当たり	222.9	0.006
第五小学校	合計	2,387,793.6	61.000
	単位床面積当たり	352.5	0.009
大野田小学校	合計	6,245,749.2	161.000
	単位床面積当たり	460.9	0.012
境南小学校	合計	3,455,606.1	89.000
	単位床面積当たり	391.9	0.010
本宿小学校	合計	2,684,954.4	69.000
	単位床面積当たり	343.8	0.009
千川小学校	合計	6,532,603.6	168.000
	単位床面積当たり	637.4	0.016
井之頭小学校	合計	1,835,088.2	47.000
	単位床面積当たり	238.4	0.006
関前南小学校	合計	1,214,221.0	31.000
	単位床面積当たり	277.0	0.007
桜野小学校	合計	2,394,325.0	61.000
	単位床面積当たり	250.4	0.006
学校給食北町調理場	合計	5,743,932.1	148.000
	単位床面積当たり	4,471.5	0.115
単位床面積当たり平均値 (A)		681.7	0.018

小学校の単位床面積当たり熱量は、年間約 222MJ/m²～約 637MJ/m²、単位床面積当たり CO₂ 排出量は、約 0.009 t/m²～約 0.025 t/m²となっています。

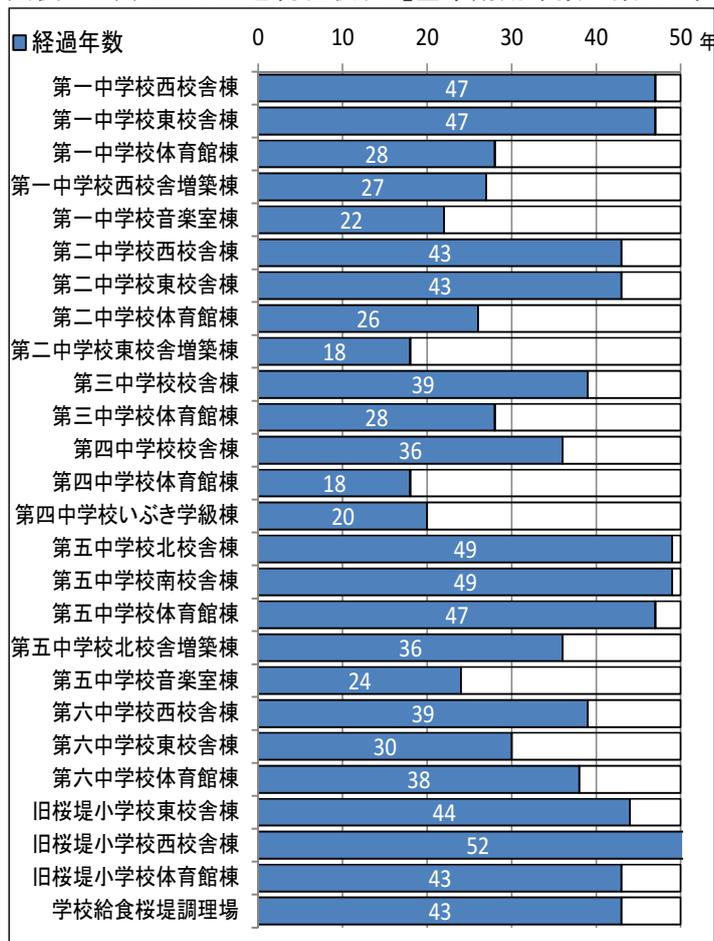
大野田小学校と千川小学校は、全館空調となっているため高い数値となっていますと考えられます。

【その他】

旧桜堤小学校は耐震補強が未実施です。

■建物評価（中学校）

図表 3-(4)ア-18 老朽化状況【基準耐用年数：築50年（RC造）】



中学校 6 校、22 棟のうち、五中校舎は、基準耐用年数まであと 1 年となっているほか、一中・二中・五中の 7 棟（約 29%）が築 40 年以上経過し、建替え・大規模改修等の検討が必要な施設です。

築 30 年以上 40 年未満を経過した施設が 6 棟（27%）あり、今後老朽化対策が必要です。

二中で管理している旧桜堤小の西校舎は、基準耐用年数を超えており、他の校舎も 40 年を超えています。また、中学校給食を作っている桜堤調理場も同様です。

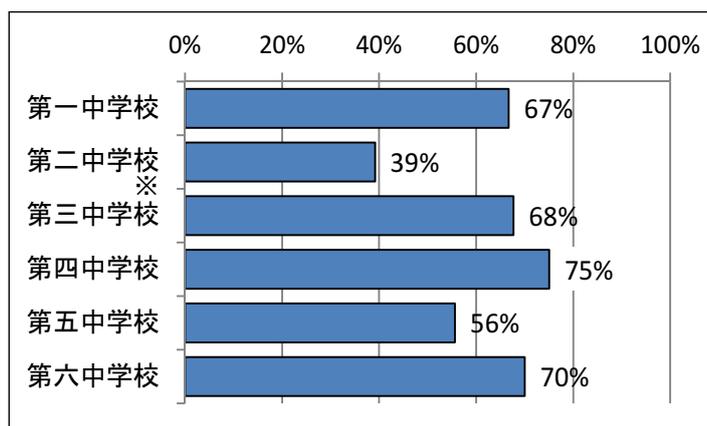
図表 3-(4)ア-19 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

第一中学校	耐震基準に適合
第二中学校 ※	耐震基準に適合
第三中学校	耐震基準に適合
第四中学校	耐震基準に適合
第五中学校	耐震基準に適合
第六中学校	耐震基準に適合
学校給食桜堤調理場	耐震基準に適合
旧桜堤小学校	未補強

※旧桜堤小学校を除く

中学校及び桜堤調理場は、全施設とも、耐震基準に適合しています。

図表 3-(4)ア-20 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



※旧桜堤小学校を除く

中学校のバリアフリー適合率は、39%～75%となっています。平成21年度時点では、二中には多目的トイレが整備されていないため低い数値となっています。

図表 3-(4)ア-21 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

	熱量合計 (MJ)	原油換算合計 (KL)	CO ₂ 排出量換算合計 (t)
第一中学校	合計	2,558,732.7	66.000
	単位床面積当たり	252.2	0.007
第二中学校 ※	合計	2,381,400.4	61.000
	単位床面積当たり	258.7	0.007
第三中学校	合計	2,736,137.9	70.000
	単位床面積当たり	304.4	0.008
第四中学校	合計	5,353,278.2	138.000
	単位床面積当たり	335.5	0.009
第五中学校	合計	1,817,926.2	46.000
	単位床面積当たり	275.6	0.007
第六中学校	合計	1,790,473.9	46.000
	単位床面積当たり	222.6	0.006
学校給食桜堤調理場	合計	5,068,676.4	130.000
	単位床面積当たり	6,232.0	0.160
単位床面積当たり平均値 (A)		1,276.4	0.033

※旧桜堤小学校を除く

中学校の単位床面積当たり熱量は、年間約 223MJ/m²～約 336MJ/m²、単位床面積当たり CO₂ 排出量は、約 0.009 t/m²～約 0.014 t/m²となっています。

6校ともほぼ同じ負荷状況となっています。

【その他】

中学校給食を供給している桜堤調理場は用途地域の関係で現在の場所に改築することはできない状況です。

■ スペース構成の比較

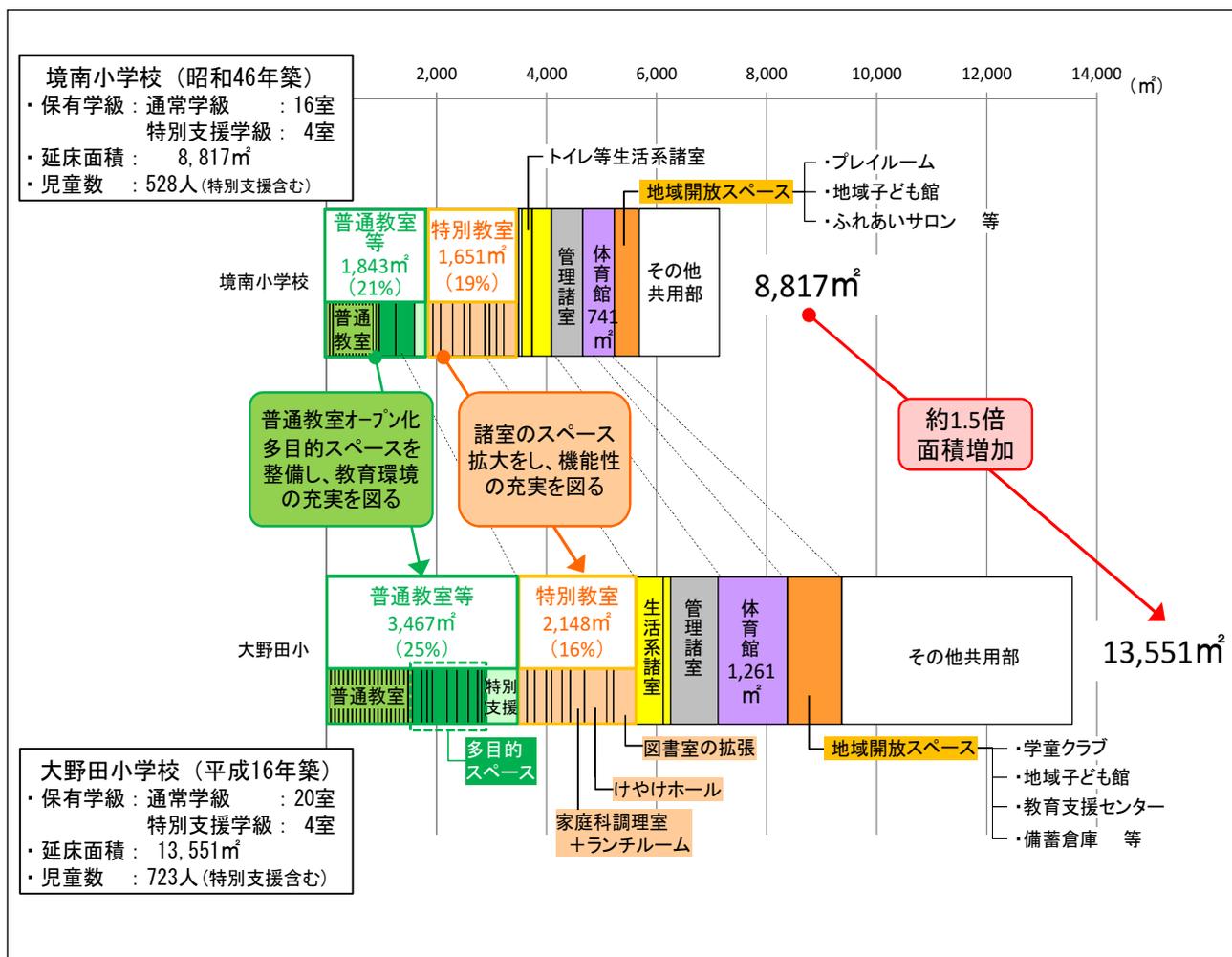
武蔵野市の学校施設は、昭和 40 年代から 50 年代初期に整備された学校施設が多く、それらの規模は、1 校当たり約 7,083 m²です。

図表 3-(4)ア-22 従来校とオープンスクール型の床面積比較表

	従来型の小学校	オープンスクール型： 【例：大野田小学校】
延床面積	平均 約 7,083 m ² (通常学級：平均 13 学級)	約 13,551 m ² (通常学級：24 学級)

また、ほぼ同じ普通学級数を保有している従来型のスペース構成の学校施設(境南小学校)とオープンスクール型の大野田小学校をみると、普通教室のオープン化や、学年ごとの多目的スペースの設置、地域開放スペースを拡張するなど、様々な用途に学校施設を利用しているため、延面積は約 1.5 倍に増加しています。

図表 3-(4)ア-23 スペース構成比較



出典：平成 21 年度学校施設台帳

■ 学校開放・併設状況

武蔵野市では、地域の学習、文化及びスポーツなどの地域活動の場として、小・中学校の校庭、体育館、武道場、テニスコート、特別教室、温水プールを子どもたちやスポーツ団体へ開放しています。

特別教室とは、音楽室等の特別教室、会議室（体育館内の体育室を含む）、練習室、プレイルーム、千川小学校のふれあいホール、大野田小学校のけやきホールなどです。

また、小学校には教育目的以外に子育て支援機能として、学童クラブ（こどもクラブ）、地域子ども館「あそべえ」などが併設されています。

図表 3-(4)ア-24 学校開放・併設状況 （市ホームページに記載内容を参照）

【小学校】

施設名	学校開放 状況						子育て支援施設併設状況	
	校庭	体育館	武道場	テニスコート	特別教室	温水プール	学童クラブ	地域子ども館
1 第一小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
2 第二小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
3 第三小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
4 第四小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
5 第五小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
6 大野田小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
7 境南小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
8 本宿小学校	●	●	—	—	●	—	—	●
9 千川小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
10 井之頭小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
11 関前南小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
12 桜野小学校	●	●	—	—	●	—	●	●
小学校 計	12校	12校	—	—	12校	—	11校	12校

【中学校】

施設名	学校開放 状況					
	校庭	体育館	武道場	テニスコート	特別教室	温水プール
1 第一中学校	●	●	—	●	●	—
2 第二中学校	●	●	●	●	●	—
3 第三中学校	●	●	—	●	●	—
4 第四中学校	●	●	●	●	●	●
5 第五中学校	●	●	—	●	●	—
6 第六中学校	●	●	—	●	●	—
中学校 計	6校	6校	2校	6校	6校	1校

③ 運営状況

市の嘱託職員として学校施設に従事している用務員・事務員は、1校当たり約4人となっています。

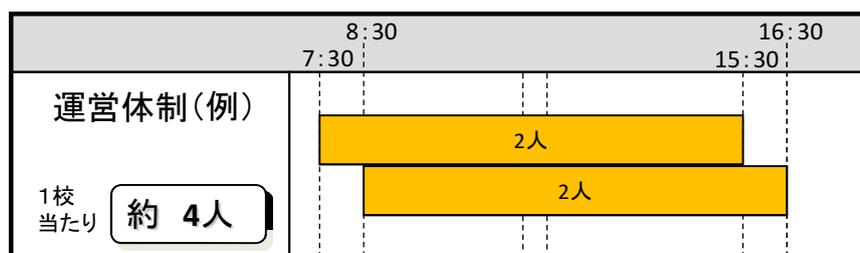
運営体制は、7:30~15:30までと、8:30~16:30までのローテーション勤務となっています。

(都職員の教職員は除いて整理しています)

図表 3-(4)ア-25 1校当たり平均運営人員(用務員・事務員)

市職員	—
嘱託職員	4人
パート・アルバイト	—
計	4人

図表 3-(4)ア-26 1校当たり平均運営体制(用務員・事務員)



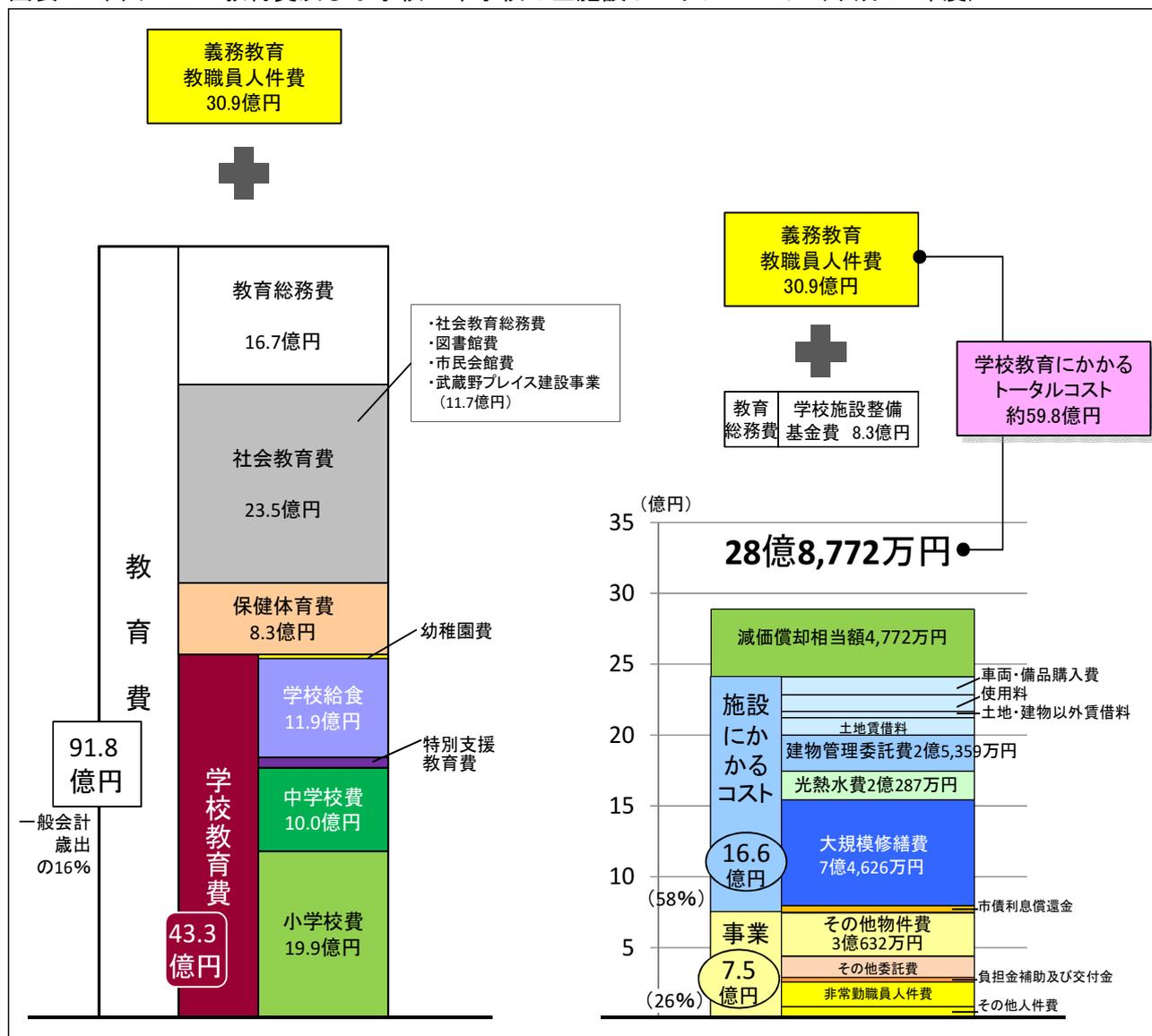
④ コスト状況

■ 教育費

平成 21 年度の教育費は、約 91.8 億円（一般会計歳出の約 16%）です。内訳は、教育総務費約 16.7 億円、社会教育費約 23.5 億円、保健体育費約 8.3 億円、学校教育費約 43.3 億円となっています。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は約 16.6 億円、事業運営にかかるコスト（負担金補助及び交付金・その他物件費等）は約 7.5 億円となっています。また、東京都が負担している義務教育教職員人件費は約 30.9 億円となっており、学校教育にかかるトータルコストは約 59.8 億円となっています。

図表 3-(4)ア-27 教育費及び小学校・中学校の全施設トータルコスト（平成 21 年度）



※教育費は平成 21 年度決算書

※トータルコストは行政コスト計算書 (P. 109, 111) の合計

■ 学校別コストの把握

小学校 12 校の年間トータルコストは、19 億 722 万円、1 施設当たり平均 1 億 5,893 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は 10 億 8,113 万円（約 57%）、事業運営にかかるコスト（負担金補助及び交付金・その他物件費等）は 5 億 1,242 万円（約 27%）、減価償却相当額は 3 億 1,367 万円（約 16%）です。

その他、国庫支出金として年間 4 億 5,409 万円、都支出金として 6,621 万円の収入があります。また、都の財源である教職員人件費は年間 20 億 4,743 万円となっています。

図表 3-(4)ア-28 小学校別行政コスト計算書（平成 21 年度）

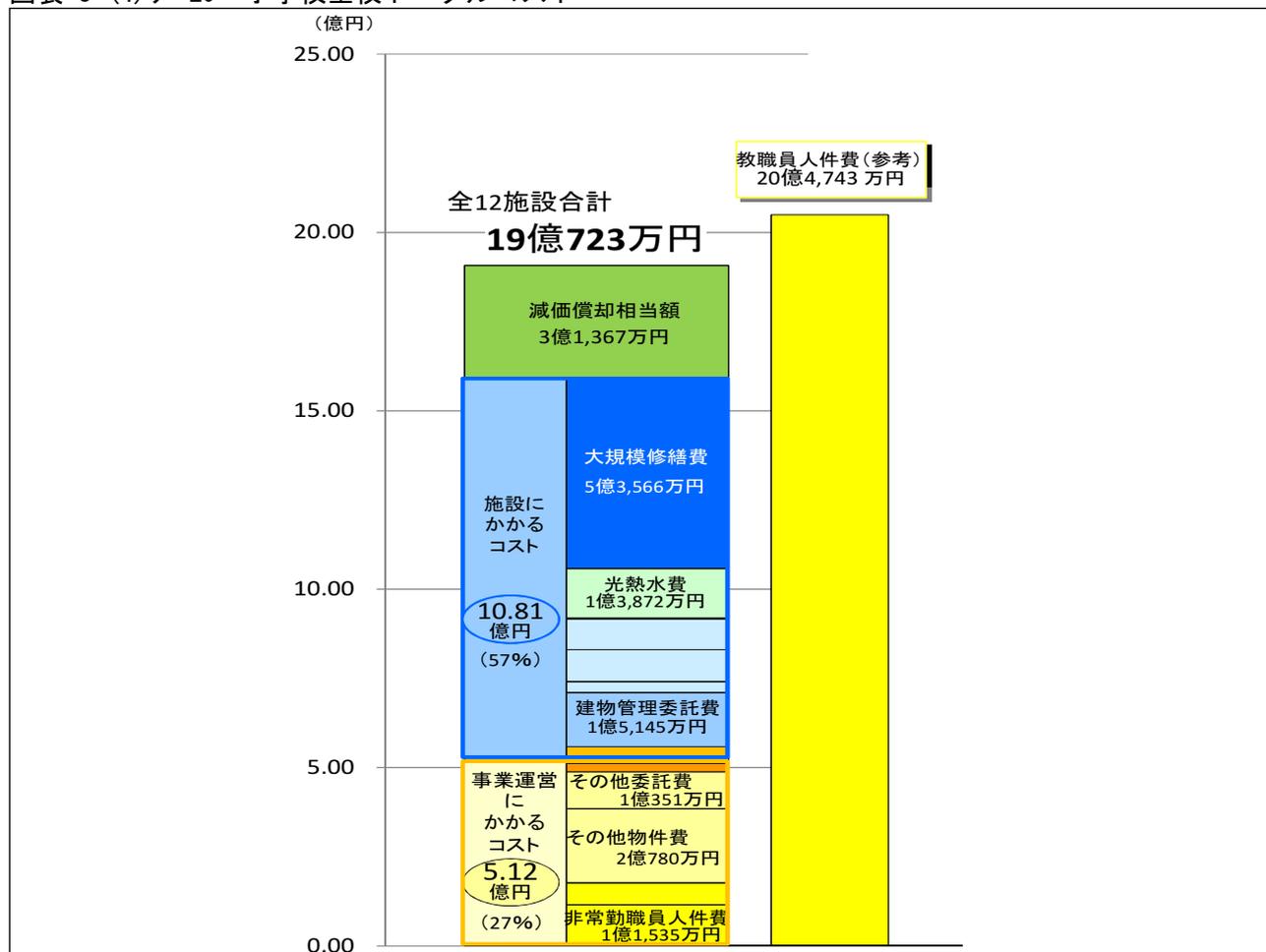
(千円)

I. 現金収支を伴うもの		第一 小学校	第二 小学校	第三 小学校	第四 小学校	第五 小学校	大野田 小学校	境南 小学校	本宿 小学校	千川 小学校	井之頭 小学校	関前南 小学校	桜野 小学校	合計
【コストの部】														
施設 にか か る コ ス ト	各所修繕費	189	232	247	201	180	380	278	130	197	161	150	264	2,609
	大規模修繕費	49,943	42,610	63,269	45,480	45,491	3,673	19,047	47,941	9,485	46,097	15,390	147,230	535,658
	光熱水費	9,132	10,180	11,668	11,249	7,779	21,318	10,124	8,968	14,756	11,276	7,303	14,971	138,723
	建物管理委託費	11,040	9,018	13,748	12,738	12,184	18,725	13,773	9,826	12,861	9,844	6,444	21,248	151,449
	土地・建物以外賃借料	2,191	2,639	2,845	2,400	2,118	4,535	3,177	1,676	2,518	2,020	1,738	3,151	31,008
	使用料	6,411	7,822	8,345	6,896	6,166	12,970	9,433	4,546	6,844	5,561	5,078	8,994	89,066
	車両・備品購入費	6,235	7,480	8,087	6,875	5,074	12,992	7,520	4,184	7,321	5,853	4,948	9,570	86,140
	市債利息償還金	0	772	0	0	389	15,819	1,001	0	25,273	0	886	2,340	46,480
	施設にかかるコスト計	85,142	80,753	108,209	85,841	79,381	90,412	64,353	77,271	79,255	80,812	41,937	207,768	1,081,134
事 業 運 営 に か か る コ ス ト	その他人件費	4,468	5,473	5,820	4,753	4,257	8,972	6,552	3,065	4,654	3,797	3,537	6,217	61,565
	非常勤職員人件費	9,612	9,612	9,612	9,612	9,612	9,612	9,612	9,612	9,612	9,612	9,612	9,612	115,347
	負担金補助及び交付金	1,756	2,149	2,295	1,878	1,674	3,517	2,571	1,208	1,829	1,494	1,392	2,440	24,204
	その他委託費	7,244	8,631	9,382	8,078	6,853	15,268	10,103	5,748	8,812	7,006	5,753	10,628	103,507
	その他物件費	14,795	17,804	19,259	16,389	13,889	30,972	20,670	11,297	17,487	13,976	11,784	19,474	207,795
	事業運営にかかるコスト計	37,875	43,669	46,368	40,710	36,285	68,341	49,508	30,931	42,395	35,886	32,079	48,372	512,418
現金収支を伴うコスト計	123,017	124,422	154,577	126,551	115,666	158,753	113,861	108,202	121,650	116,698	74,015	256,140	1,593,552	
【収益の部】														
諸収入	69	69	69	68	68	1,469	80	68	68	68	68	69	2,234	
現金収支を伴う収益計	69	69	69	68	68	1,469	80	68	68	68	68	69	2,234	
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】														
減価償却相当額	1,521	139	11,809	8,366	4,759	81,911	17,559	20,805	108,499	23,166	3,966	31,164	313,665	
III. 総括														
コストの部合計(トータルコスト)	124,538	124,562	166,386	134,917	120,426	240,664	131,420	129,007	230,148	139,864	77,981	287,304	1,907,217	
収支差額(ネットコスト)	124,469	124,493	166,317	134,848	120,357	239,195	131,340	128,939	230,080	139,796	77,913	287,235	1,904,983	
<参考データ>														
国庫支出金	102,794	1,845	150,841	114,867	71,302	2,597	2,036	1,284	1,654	1,455	1,394	2,019	454,088	
都支出金	9,858	2,514	21,237	10,259	5,562	3,996	2,891	1,470	2,138	1,806	1,625	2,856	66,213	
教職員人件費	145,208	152,468	159,729	174,249	145,208	254,114	246,853	116,166	137,947	145,208	130,687	239,593	2,047,430	

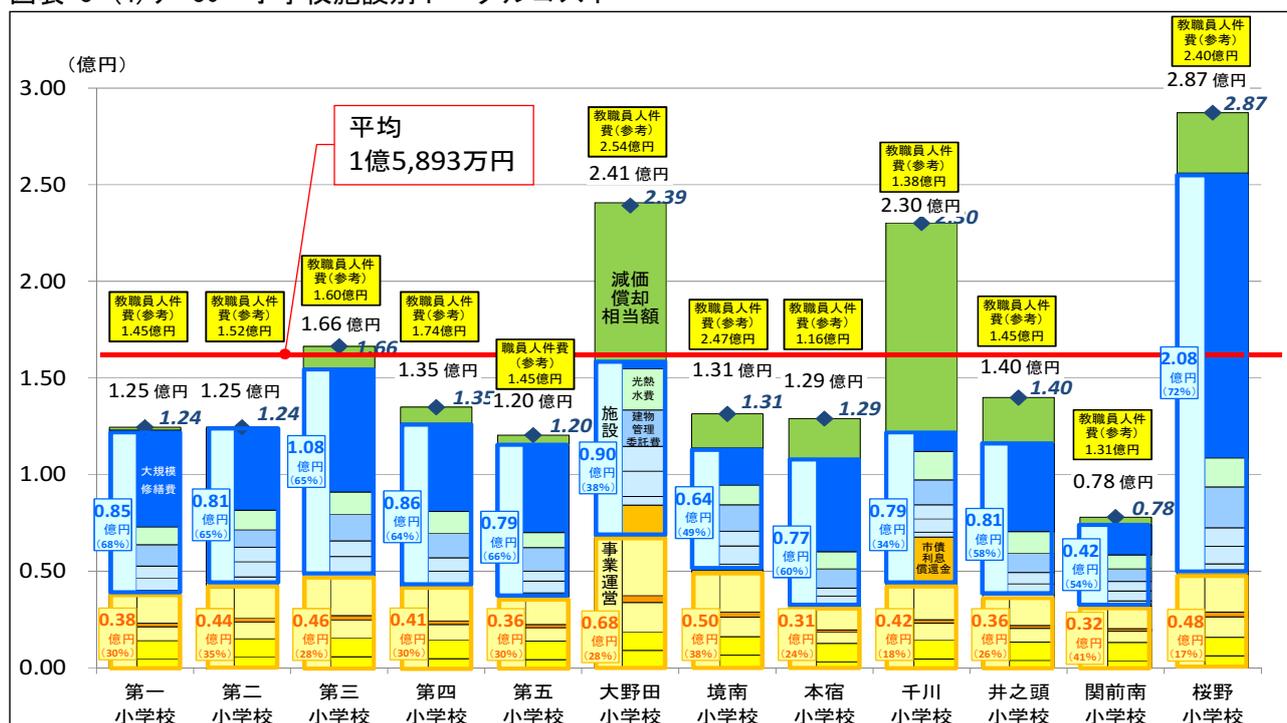
※大規模修繕費は、過去 5 年間の平均額を計上しています。

学校別トータルコストでは、1校当たり関前南小学校の約7,798万円が最も低く、桜野小学校の約2億8,730万円が最も高い状況です。桜野小学校は今後、児童数の増加が見込まれ、平成21年度、平成22年度に増築工事を行ったため、大規模修繕費が大きくなっています。

図表 3-(4)ア-29 小学校全校トータルコスト



図表 3-(4)ア-30 小学校施設別トータルコスト



中学校 6 校の年間トータルコストは、9 億 8,051 万円、1 施設当たり平均 1 億 6,342 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は 5 億 8,269 万円(約 59%)、事業運営にかかるコスト(負担金補助及び交付金・その他物件費等)は 2 億 3,431 万円(約 24%)、減価償却相当額は 1 億 6,351 万円(約 17%)です。

その他、国庫支出金として年間 2 億 7,688 万円、都支出金として 2,641 万円の収入があります。また、都の財源である教職員人件費は年間 10 億 3,824 万円となっています。

図表 3-(4)ア-31 中学校別行政コスト計算書(平成 21 年度)

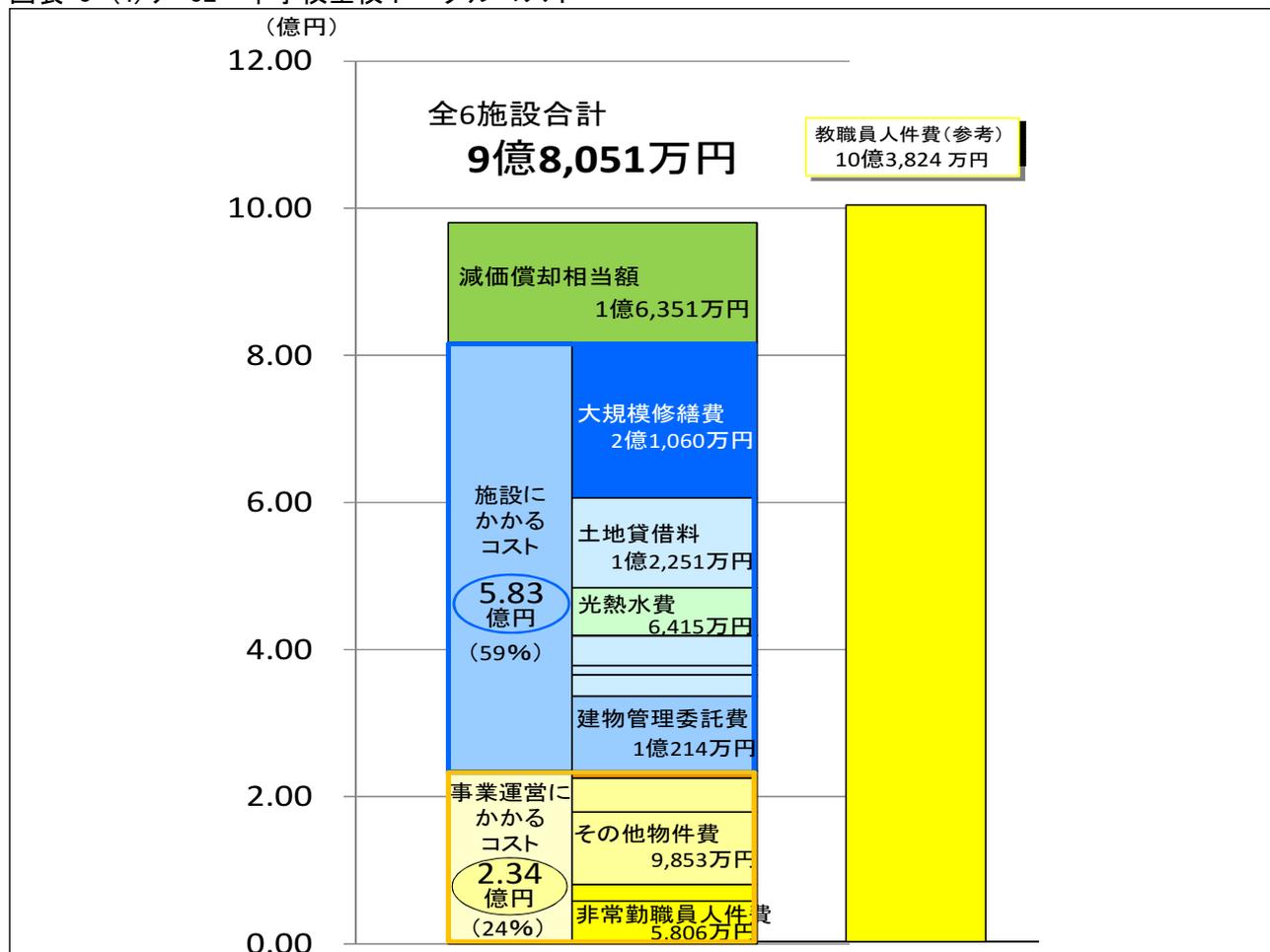
(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		第一 中学校	第二 中学校	第三 中学校	第四 中学校	第五 中学校	第六 中学校	合計
施設にか かる コスト	各所修繕費	141	153	178	228	131	141	973
	大規模修繕費	22,254	24,644	31,966	23,316	35,291	73,128	210,598
	光熱水費	11,104	10,664	10,463	14,014	8,720	9,186	64,151
	建物管理委託費	10,936	6,969	31,829	16,506	29,841	6,061	102,142
	土地賃借料	90,195	0	0	32,310	0	0	122,505
	土地・建物以外賃借料	1,904	1,983	2,207	2,984	1,680	1,802	12,560
	使用料	4,263	4,557	5,252	6,864	3,899	4,206	29,041
	車両・備品購入費	6,297	6,609	7,433	8,176	5,614	6,033	40,161
	市債利息償還金	0	393	0	164	0	0	557
施設にかかるコスト計	147,093	55,971	89,328	104,563	85,176	100,556	582,687	
事業運 営にか かる コスト	その他人件費	3,275	3,531	4,115	5,284	3,032	3,275	22,512
	非常勤職員人件費	9,676	9,676	9,676	9,676	9,676	9,676	58,053
	負担金補助及び交付金	1,353	1,458	1,698	1,557	1,253	1,353	8,673
	その他委託費	7,117	7,469	8,398	10,401	6,345	6,818	46,548
	その他物件費	16,092	16,727	18,809	19,116	12,465	15,317	98,526
	事業運営にかかるコスト計	37,514	38,860	42,696	46,033	32,771	36,438	234,312
現金収支を伴うコスト 計	184,607	94,831	132,023	150,597	117,947	136,995	816,999	
【収益の部】								
諸収入	68	68	68	69	68	68	410	
現金収支を伴う収益 計	68	68	68	69	68	68	410	
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】								
減価償却相当額	19,612	16,282	25,133	84,660	4,339	13,479	163,506	
III. 総括								
コストの部合計(トータルコスト)	204,219	111,113	157,157	235,257	122,286	150,474	980,505	
収支差額(ネットコスト)	204,151	111,045	157,088	235,188	122,218	150,406	980,096	
<参考データ>								
国庫支出金	69,937	1,447	1,586	1,806	1,329	200,779	276,884	
都支出金	10,493	1,715	2,016	2,360	1,481	8,348	26,414	
教職員人件費	166,989	174,249	159,729	225,072	152,468	159,729	1,038,236	

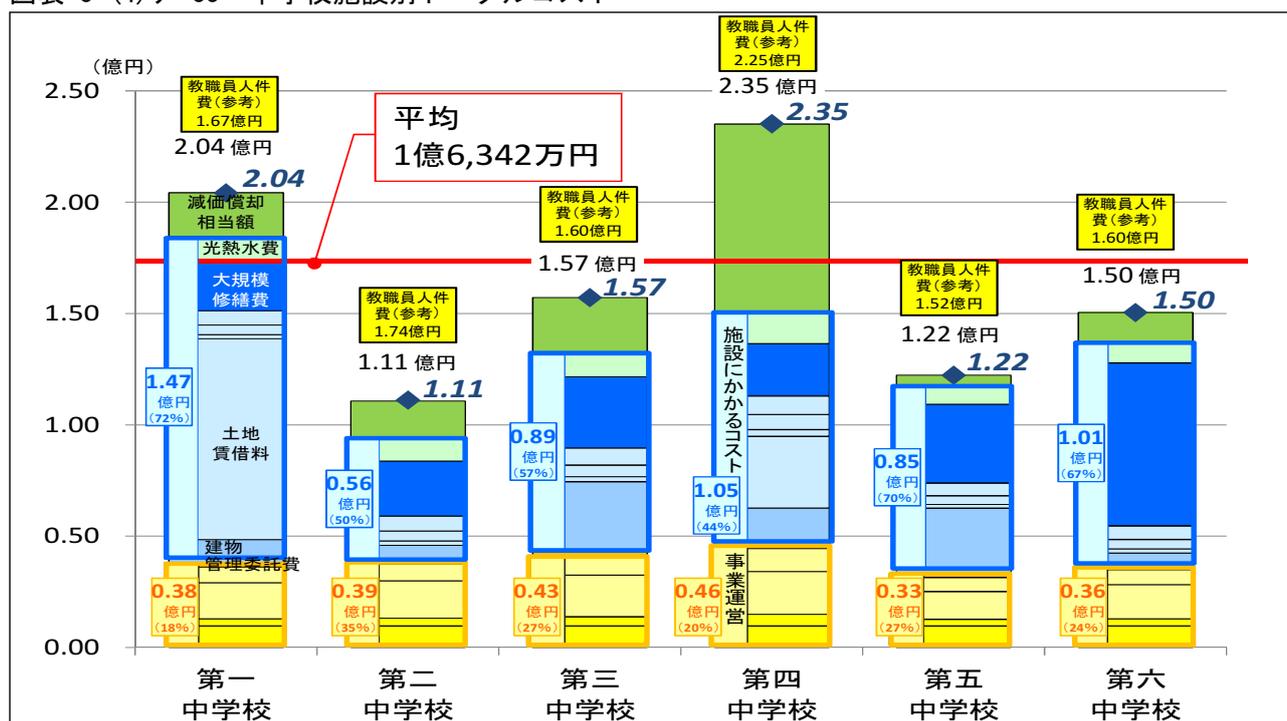
※大規模修繕費は、過去 5 年間の平均額を計上しています。

学校別トータルコストでは、1校当たり第二中学校の約1億1,111万円が最も低く、第四中学校の約2億3,526万円が最も高い状況です。

図表 3-(4)ア-32 中学校全校トータルコスト



図表 3-(4)ア-33 中学校施設別トータルコスト

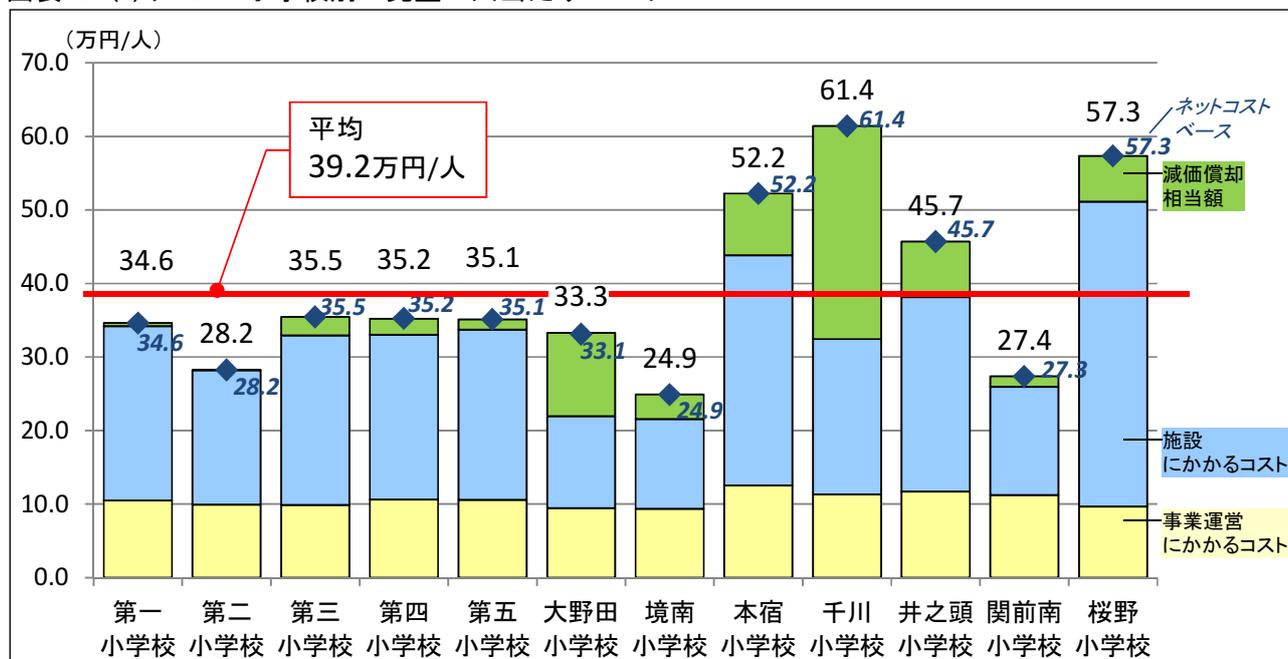


3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 児童数とトータルコストの関係 (児童1人当たりコスト)

児童数とトータルコストより児童1人当たりにかかるコストを算出すると、境南小学校が約24.9万円と最も低く、千川小学校が約61.4万円と最も高い状況です。なお、小学校児童1人当たりの平均は約39.2万円/人となっています。

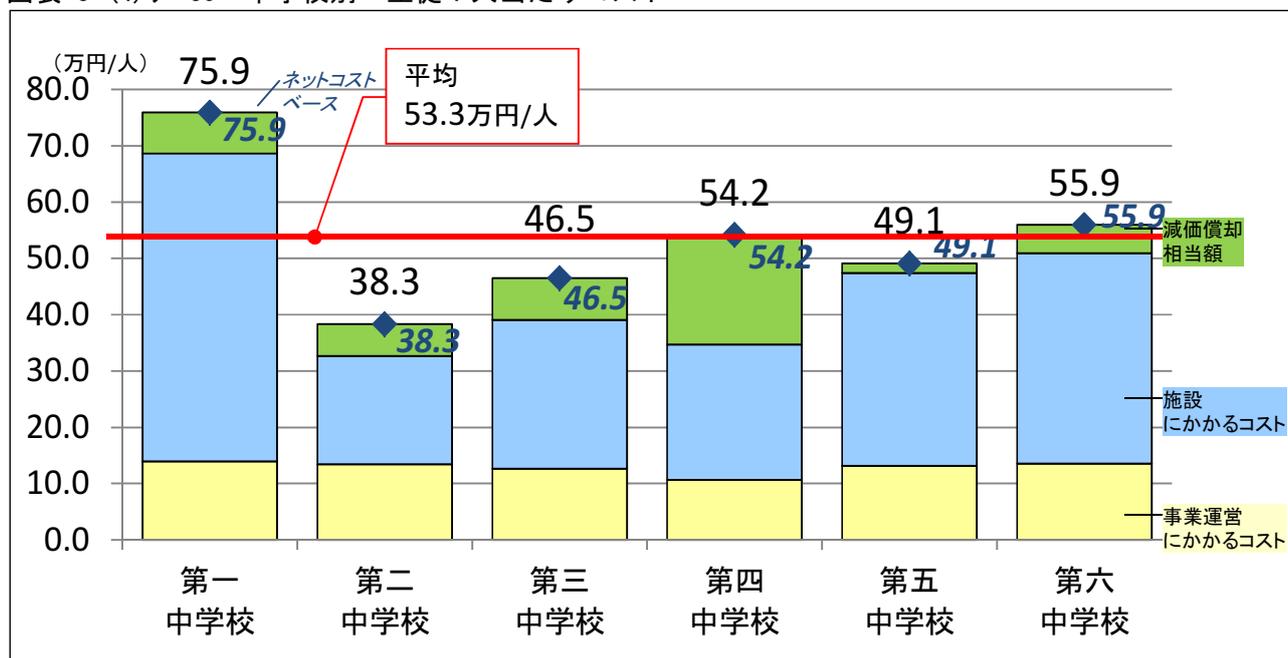
図表 3-(4)ア-34 小学校別 児童1人当たりコスト



■ 生徒数とトータルコストの関係 (生徒1人当たりコスト)

年間利用者数とトータルコストより利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、第二中学校が約38.3万円と最も低く、第一中学校が約75.9万円と最も高い状況です。なお、中学校生徒1人当たりの平均は約53.3万円/人となっています。

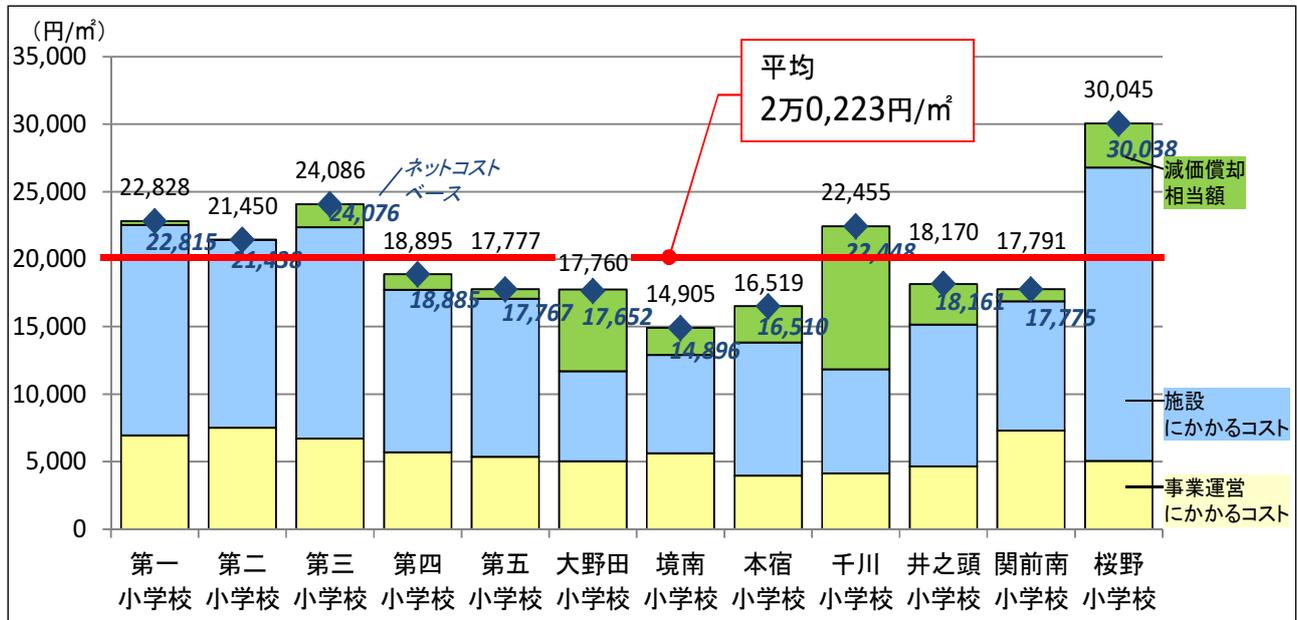
図表 3-(4)ア-35 中学校別 生徒1人当たりコスト



■ 小学校延床面積とトータルコストの関係（単位床面積当たりコスト）

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、境南小学校が1万4,905円と最も低く、桜野小学校が3万45円と最も高い状況です。なお、小学校の平均は2万223円/㎡となっています。

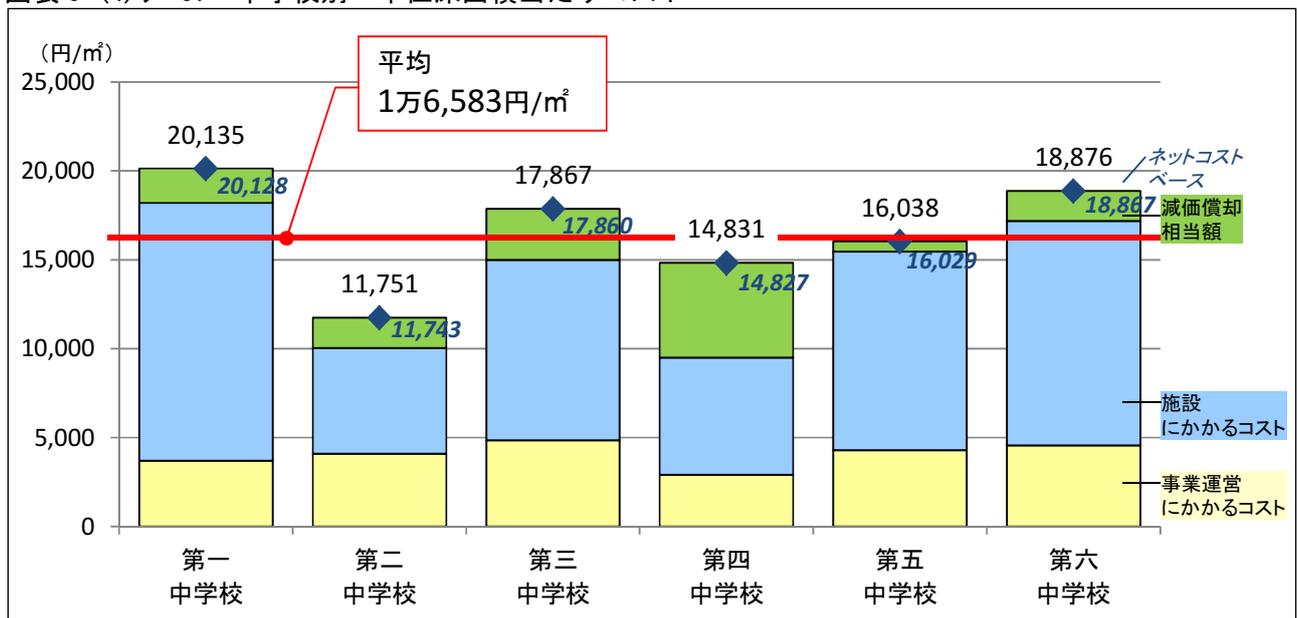
図表 3-(4)ア-36 小学校別 単位床面積当たりコスト



■ 中学校延床面積とトータルコストの関係（単位床面積当たりコスト）

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、第二中学校が1万1,751円と最も低く、第一中学校が2万135円と最も高い状況です。なお、中学校の平均は1万6,583円/㎡となっています。

図表 3-(4)ア-37 中学校別 単位床面積当たりコスト



イ. 地域子ども館 あそべえ

1) 施設概要

① 施設一覧

あそべえは、子どもたちの放課後対策の充実施策の一つとして、学校施設等を利用して子どもたちが自由に集い、自分で遊び・考え、異年齢児童の子ども同士が交流できる安全な居場所、自由来所型の遊び場です。

市立小学校 12 校のすべての小学校で、教室開放、校庭開放、図書室開放を実施しています。

図表 3-(4)イ-1 施設一覧

施設名	住所	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	児童数 (人)	開放場所(㎡)			設置場所	こどもクラブ (㎡)
						教室	図書室	校庭		
1 第一小学校	吉祥寺本町4-17-16	10,591.0	5,455.5	昭和43	360	74	120	6,489	一小校舎内	148
2 第二小学校	境4-2-15	16,423.2	5,807.0	昭和42	441	60	240	4,982	二小校舎内	165
3 第三小学校	吉祥寺南町2-35-9	13,090.7	6,908.0	昭和44	469	84	220	5,450	三小隣接	98
4 第四小学校	吉祥寺北町2-4-5	14,779.3	7,140.4	昭和47	383	94	220	9,160	四小校舎内	116
5 第五小学校	関前3-2-20	9,705.3	6,774.2	昭和35	343	60	170	5,764	五小校舎内	108
6 大野田小学校	吉祥寺北町4-11-37	15,051.8	13,550.9	平成16	701	128	380	9,835	大野田小校舎内	210
7 境南小学校	境南2-27-27	14,305.5	8,817.1	昭和46	507	188	275	8,710	境南小校舎内	166
8 本宿小学校	吉祥寺東町4-1-9	11,518.2	7,809.7	昭和53	247	60	280	7,068	本宿小校舎内	106
9 千川小学校	八幡町3-5-25	13,700.0	10,249.5	平成8	375	144	250	3,290	千川小校舎内	110
10 井之頭小学校	吉祥寺本町3-27-26	9,998.0	7,697.5	昭和49	306	161	220	4,865	井之頭小校舎内	109
11 関前南小学校	関前3-37-26	14,778.4	4,383.3	昭和46	285	71	107	7,510	関前南小校舎内	81
12 桜野小学校	桜堤1-8-19	12,176.5	9,562.5	昭和52	501	56	142	6,189	桜野小校舎内	161
小学校 計		156,118.0	94,155.6	—	4,918	1,180	2,624	79,312	—	—

※ 「建築年度」「敷地面積」「延床面積」は「総合台帳」より参照

※ 「児童数」は通常学級児童数

② 開設日、開設時間

• 学期中

教室開放：月曜日～金曜日の13時～17時、土曜日は9時～17時(18時まで延長あり)

校庭開放：月曜日～金曜日の早朝1時間と放課後から17時

土曜日・日曜日は午前または午後の2～3時間

図書室開放：水曜日の放課後から17時、土曜日の9時～12時・13時～17時

• 長期休業中

教室開放：月曜日～土曜日の9時～17時(18時まで延長あり)

校庭開放：月曜日～土曜日の午前又は午後

図書室開放：水曜日及び土曜日の13時～17時

• 休館日：祝日、年末年始、運動会当日

• 年間運営日数：292日～327日(平成21年度)

※校庭開放については、上記を基本としながらも、実施・未実施を含め各あそべえごとに異なります。

③ 対象・登録方法・費用等

• 対象：開設小学校の在籍児童とその学区に住む小学生(私立・国立等)

• 登録：「あそべえ登録票」を館長へ提出により登録されます。

• 費用：原則として無料

(実施プログラムによっては、材料費やイベント事業の参加費用がかかることがあります。)

図表 3-(4)イ-2 あそべえ配置図



2) 実態把握

① 建物状況

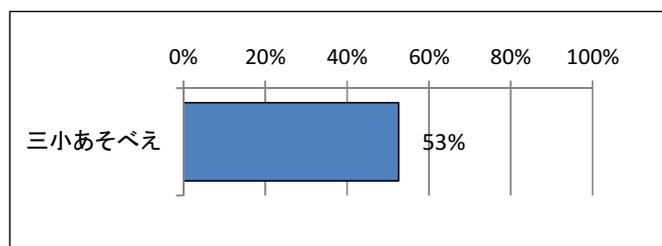
□ 老朽化状況【基準耐用年数：築50年】

小学校（P.101）及びこどもクラブ（P.127）に準じます。

□ 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

小学校（P.101）及びこどもクラブ（P.127）に準じます。

図表 3-(4)イ-3 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



三小あそべえのバリアフリー適合状況は、53%です。

その他のあそべえのバリアフリー適合状況は、小学校（P.102）及びこどもクラブ（P.128）に準じます。

図表 3-(4)イ-4 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量（熱量・原油換算）・CO₂排出量】

		熱量合計 (MJ)
三小あそべえ	合計	17,392.3
	単位床面積当たり	180.6

三小あそべえの単位床面積当たり熱量は、年間約181MJ/m²となっています。

その他のあそべえの環境負荷状況は、小学校（P.102）及びこどもクラブ（P.128）に準じます。

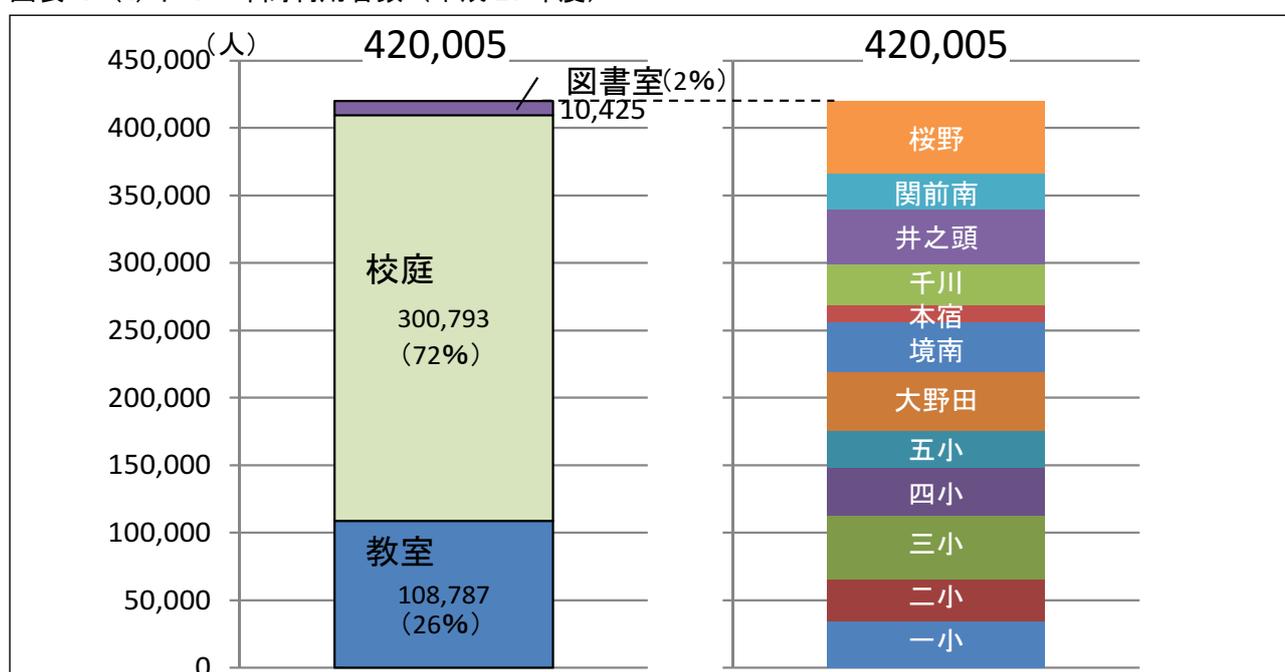
② 利用状況

■ 年間利用者数

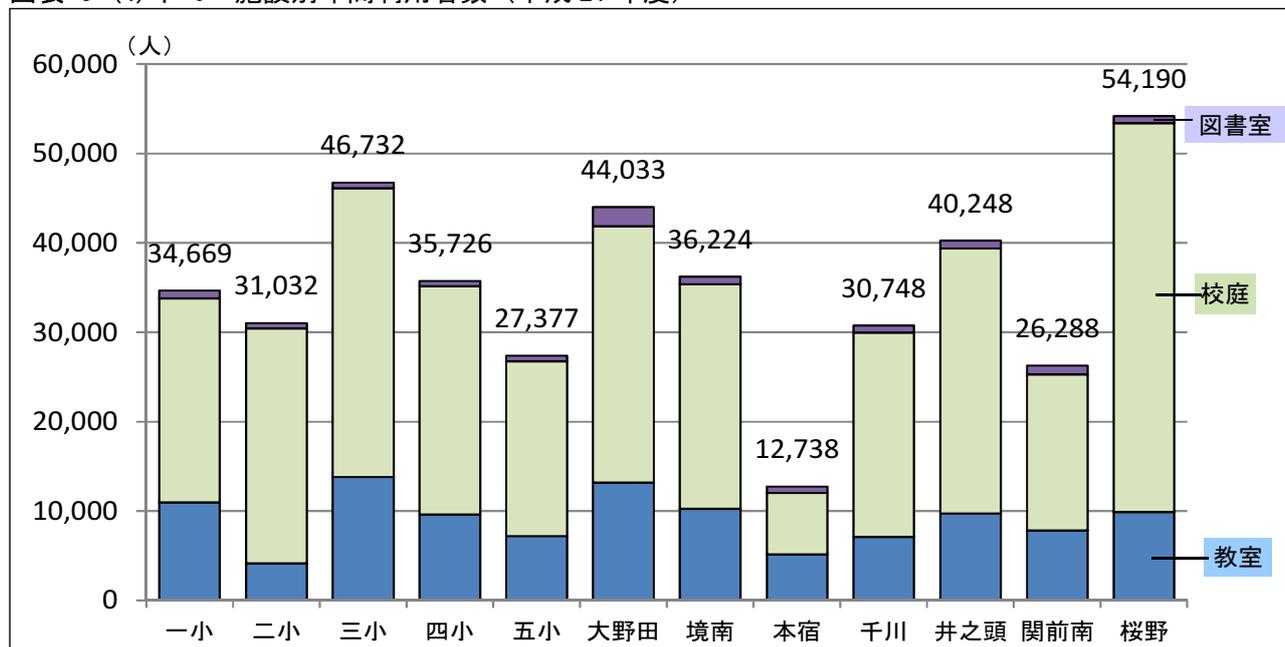
年間利用者数は、12施設合計42万5人です。利用場所による内訳は、教室が10.9万人(26%)、校庭が30.1万人(72%)、図書室が1.0万人(2%)となっています。

施設別年間利用者数では、本宿あそべえの1.3万人が最も少なく、桜野あそべえの5.4万人が最も多くなっています。平成21年度現在では境南小学校、本宿小学校、井之頭小学校はこどもクラブ(学童クラブ)が校外にあるため、あそべえとこどもクラブの行き来が少ないと考えられます(平成22年度に境南小学校、井之頭小学校のこどもクラブは校内に移転)。また、本宿あそべえでは校庭利用が著しく低くなっています。

図表 3-(4)イ-5 年間利用者数(平成21年度)



図表 3-(4)イ-6 施設別年間利用者数(平成21年度)

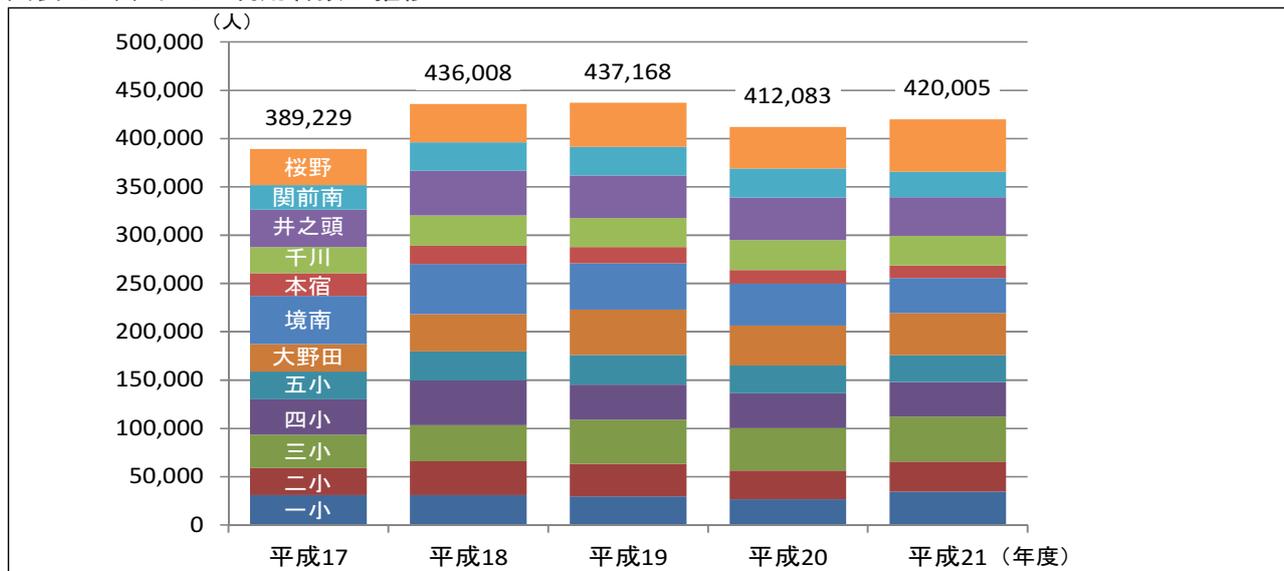


■ 推移

利用者数の推移は、平成 17 年度の約 38.9 万件から平成 19 年度の 43.7 万人のピークを挟んで、平成 21 年度の約 42.0 万件と 5 年間で約 1.08 倍の微増となっています。

施設別では、三小・大野田・桜野の 3 施設は 5 年間で 1.4 倍～1.5 倍に増加しています。一方で、四小・五小・境南・本宿は 5 年間で利用者が減少しており、特に校庭利用の減少から境南あそべえは 27%の減少、本宿あそべえも校庭利用を中心に減少傾向となり 45%の減少となっています。

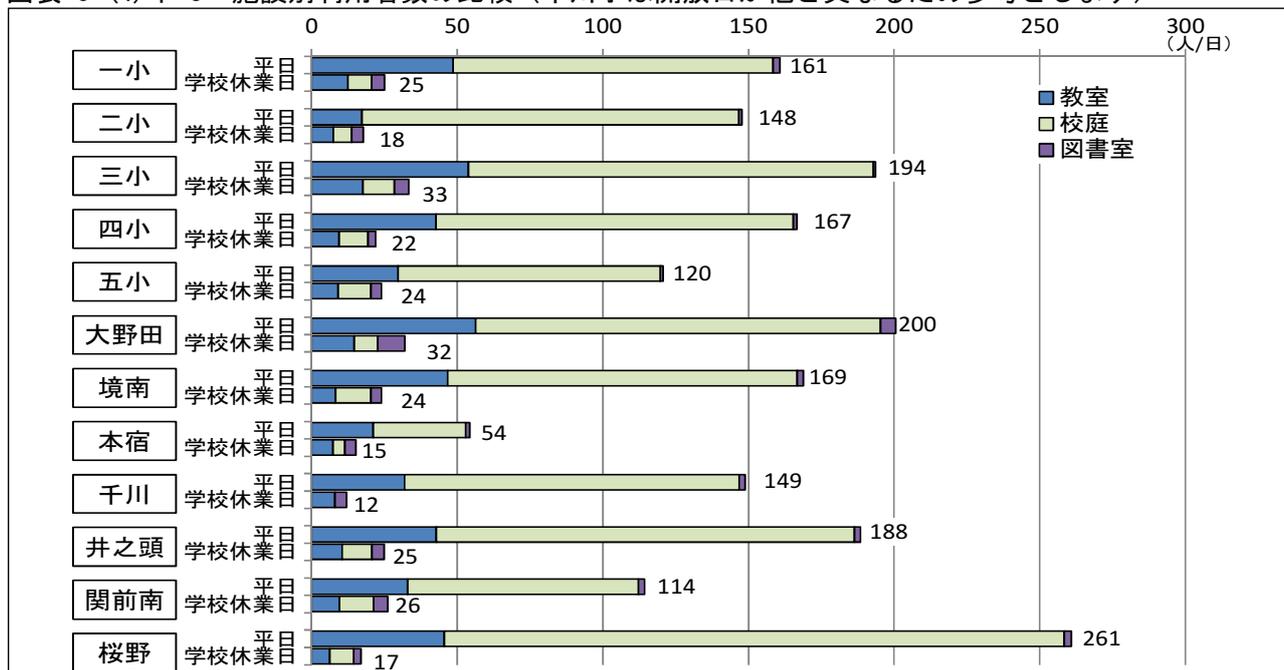
図表 3-(4)イ-7 利用者数の推移



■ 施設別 平日/学校休業日別利用者数（1日当たり）

施設別の平日/学校休業日別の利用者数は、平日は本宿の 54 人が最も少なく、桜野の 261 人が最も多くなっており、約 5 倍となっています。学校休業日は、千川の 12 人が最も少なく三小の 33 人が最も多くなっています。千川は土・日曜日の校庭開放がないため学校休業日の利用者数が少なくなっていると思われます。

図表 3-(4)イ-8 施設別利用者数の比較（千川小は開放日が他と異なるため参考とします）



③ 運営状況

あそべえの管理運営は、嘱託職員の館長、臨時職員のスタッフがいき、各あそべえの運営方針、事業計画、予算の執行等は地域の団体の代表者等で構成される企画運営会議（※）が行っています。

各施設の運営人員は、嘱託職員が1人、臨時職員（アルバイト）が22～40人登録しており、1施設当たり23人～41人となっています。市全体では380人の運営人員が従事しています。

館長は、小学校や幼稚園教諭・保育士の資格のある者、または学童クラブや放課後子ども教室などの児童健全育成施設職務経験者を市の嘱託職員として公募して採用しています。スタッフの平均的な配置は、教室2人、校庭2人、図書室1人です。

図表 3-(4)イ-9 運営人員

	一小 あそべえ	二小 あそべえ	三小 あそべえ	四小 あそべえ	五小 あそべえ	大野田 あそべえ	境南 あそべえ	本宿 あそべえ	千川 あそべえ	井之頭 あそべえ	関前南 あそべえ	桜野 あそべえ	合計
嘱託	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
アルバイト登録	22	30	35	25	30	40	33	26	24	34	33	36	368
	23	31	36	26	31	41	34	27	25	35	34	37	380

（※）企画運営会議は、地域子ども館の運営方針に基づいて、各館ごとの運営方針や年間の事業計画の決定、イベント（自主もしくは共催）事業の企画・実施、付属組織（子ども委員会・ボランティア委員会等）の運営などを行います。また、市からの補助金を各事業において執行します。

④ コスト状況

あそべえ全 12 施設の平成 21 年度のトータルコストは 1 億 2,440 万円です。

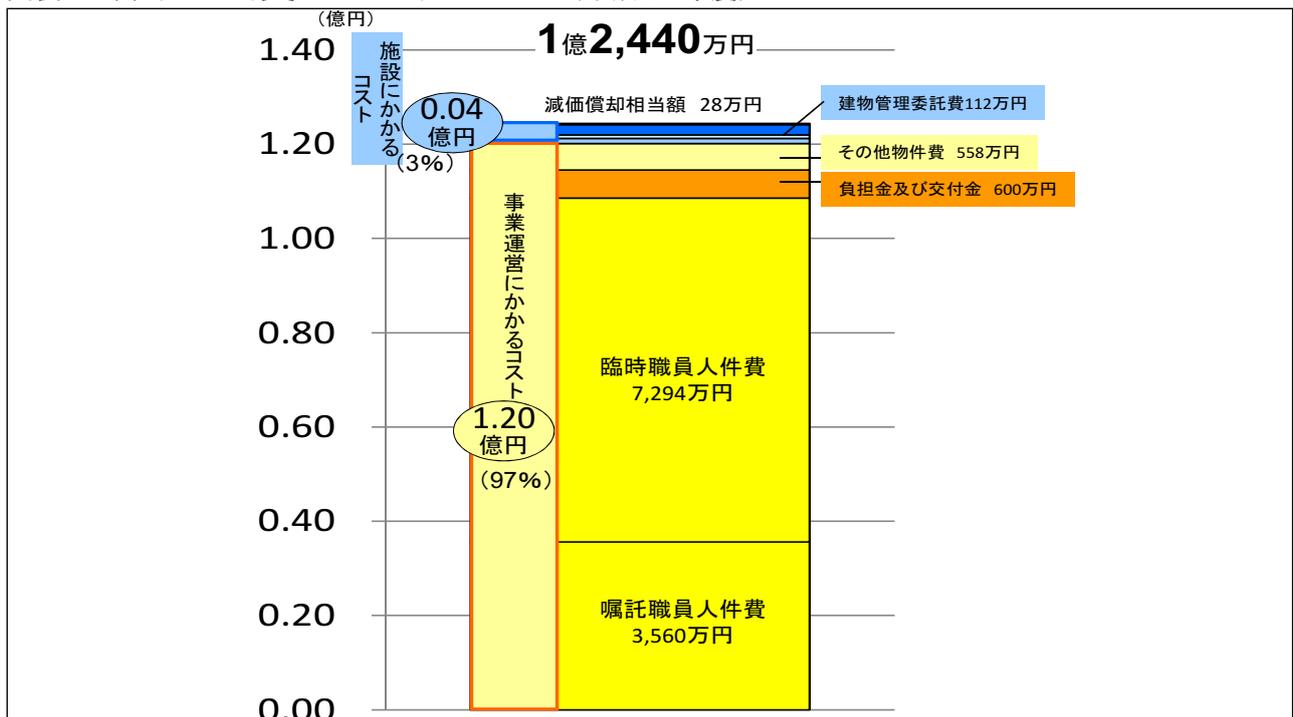
内訳をみると、施設にかかるコスト（修繕費、建物管理委託費等）が 400 万円（全体の 3%）、事業運営にかかるコスト（嘱託職員人件費、臨時職員人件費等）が 1 億 2,012 万円で、全体の 97%を占めています。

図表 3-(4)イ-10 あそべえ行政コスト計算書（平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの		第一 あそべえ	第二 あそべえ	第三 あそべえ	第四 あそべえ	第五 あそべえ	大野田 あそべえ	境南 あそべえ	本宿 あそべえ	千川 あそべえ	井之頭 あそべえ	関前南 あそべえ	桜野 あそべえ	合計
【コストの部】														
施設 にかか る コスト	各所修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大規模修繕費	0	0	0	686	1,449	11	0	0	0	0	5	0	2,151
	光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建物管理委託費	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	1,116
	土地賃借料													0
	車両・備品購入費	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	61	732
	施設にかかるコスト計	154	154	154	840	1,603	165	154	154	154	154	154	154	3,999
事業 運営	職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員人件費	2,967	2,967	2,967	2,967	2,967	2,967	2,967	2,967	2,967	2,967	2,967	2,967	35,602
	臨時職員人件費	5,916	5,624	5,900	5,721	6,303	6,584	6,668	6,201	5,813	6,088	6,158	5,965	72,942
	負担金補助及び交付金	490	510	510	490	480	570	530	460	490	480	470	520	6,000
	その他物件費	465	465	465	465	465	465	465	465	465	465	465	465	5,580
	事業運営にかかるコスト計	9,838	9,566	9,842	9,643	10,215	10,586	10,630	10,093	9,734	10,000	10,060	9,917	120,123
	現金収支を伴うコスト 計	9,992	9,720	9,996	10,483	11,818	10,751	10,784	10,247	9,888	10,154	10,219	10,071	124,122
【収益の部】														
利用料収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現金収支を伴う収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】														
減価償却相当額	0	0	275	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	275
III. 総括														
コストの部合計（トータルコスト）	9,992	9,720	10,271	10,483	11,818	10,751	10,784	10,247	9,888	10,154	10,219	10,071	124,398	
収支差額（ネットコスト）	9,992	9,720	10,271	10,483	11,818	10,751	10,784	10,247	9,888	10,154	10,219	10,071	124,398	

※大規模修繕費は、過去 5 年間の平均額を計上しています。

図表 3-(4)イ-11 あそべえトータルコスト（平成 21 年度）

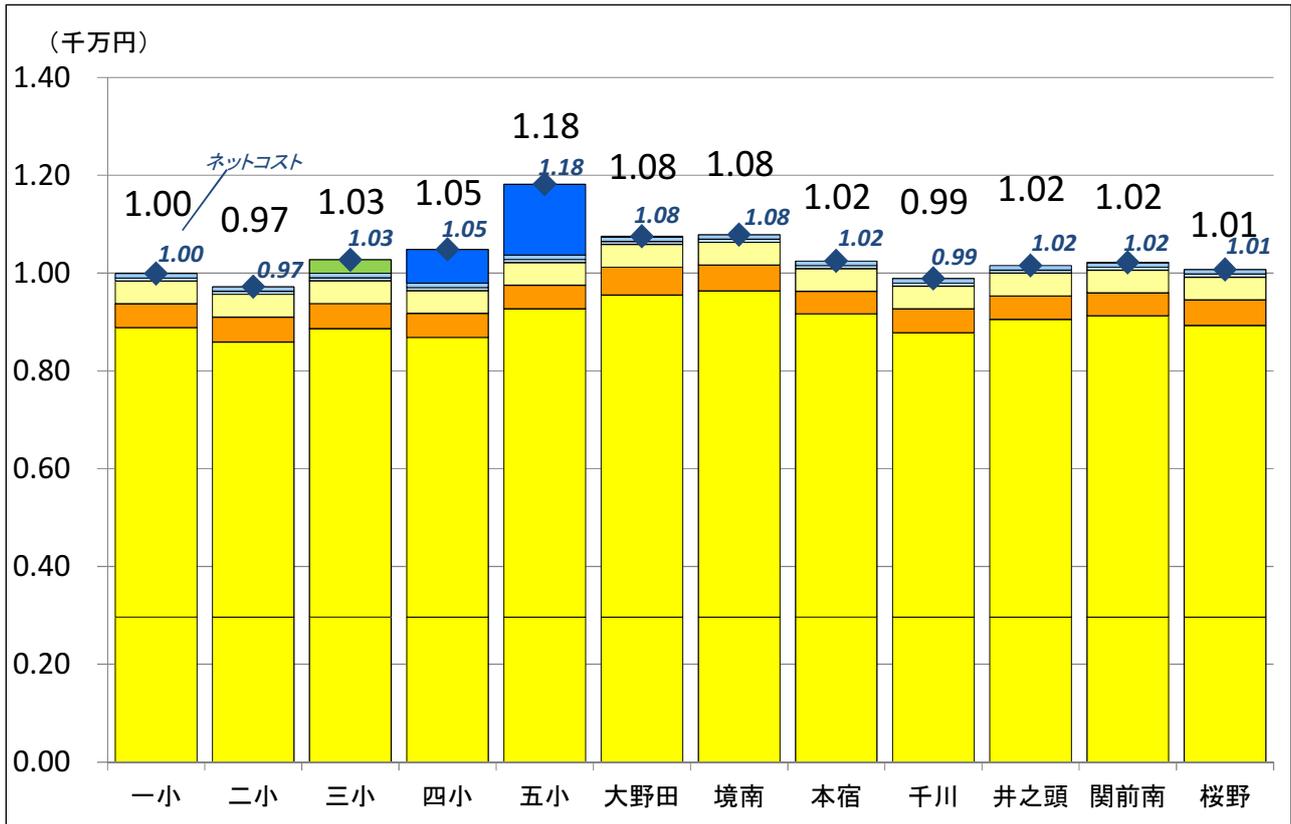


■ 施設別トータルコスト

施設別のトータルコストをみると、972万円（第二小学校）～1,182万円（第五小学校）となっています。

施設別の内訳をみると、一時的な費用である大規模修繕費を除けば、どの施設も事業運営にかかるコスト（主に人件費）が大半を占めています。

図表 3-(4)イ-12 施設別トータルコスト（平成21年度）

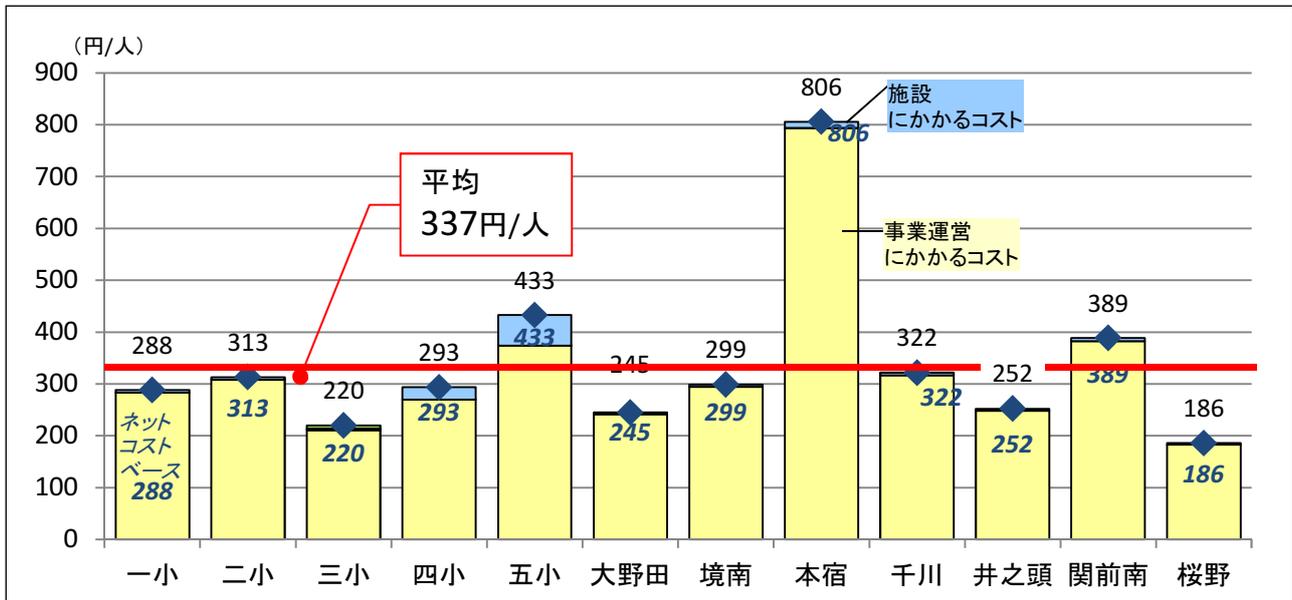


3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 利用者数とトータルコストの関係 (利用者1人当たりコスト)

利用者数とトータルコストより利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、桜野小学校が186円と最も低く、本宿小学校が806円と最も高い状況です。なお、あそべえの平均は337円/人となっています。

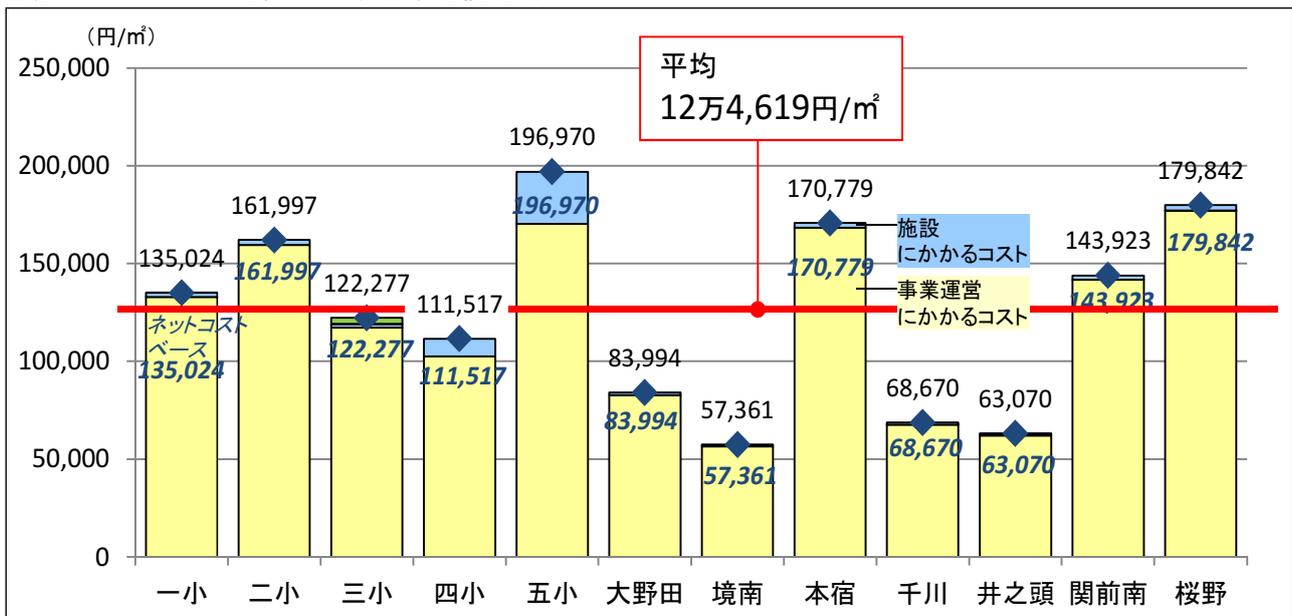
図表 3-(4)イ-13 利用者1人当たりコスト



■ 延床面積とトータルコストの関係 (単位床面積当たりコスト)

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、境南小学校が5万7,361円と最も低く、第五小学校が19万6,970円と最も高い状況です。なお、あそべえの平均は12万4,619円/㎡となっています。

図表 3-(4)イ-14 施設別 単位床面積当たりコスト



※面積は開放教室の面積をもとに算出しました

(4) ウ こどもクラブ (学童クラブ)

ウ. こどもクラブ (学童クラブ)

1) 施設概要

① 施設一覧

保護者の就労や病気などで放課後帰宅しても監護にあたる人がいない児童の安全を確保するとともに、健全な育成を図るため、市立小学校の12の学区ごとに、こどもクラブを設置しています。

設置当初はコミュニティセンターなど地域施設内に併設されていましたが、通所時の安全性などの観点から校内や隣接地への移転を進めています。

平成22年度に境南こどもクラブは校庭内、井之頭こどもクラブは校舎内に移転しました。本宿こどもクラブを除く、11施設が校内や隣接地へ移転しています。

図表 3-(4)ウ-1 施設一覧

施設名	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	児童数 (人)	定員 (人)	登録数 (人)	設置場所
1 一小こどもクラブ	吉祥寺本町4-17-16	147.5	平成12	360	50	36	一小校庭内
2 二小こどもクラブ	境4-2-15	165.2	昭和42	441	60	45	二小校舎内
3 三小こどもクラブ	吉祥寺南町2-35-6	98.0	昭和51	469	70	67	三小隣接
		68.0	昭和48				三小校舎内
4 四小こどもクラブ	吉祥寺北町2-4-5	115.8	昭和47	383	50	43	四小校舎内
5 五小こどもクラブ	関前3-2-20	108.1	昭和35	343	50	48	五小校舎内
6 大野田こどもクラブ	吉祥寺北町4-11-37	209.8	平成16	701	80	75	大野田小校庭内
7 境南こどもクラブ	境南3-22-9	165.6	昭和56	507	70	65	境南コミセン内
8 本宿こどもクラブ	吉祥寺東町4-8-13	106.0	昭和56	247	40	22	本宿小近接
9 千川こどもクラブ	八幡町3-5-25	110.4	平成8	375	50	35	千川小校庭内
10 井之頭こどもクラブ	吉祥寺本町3-27-19	108.7	昭和49	306	40	34	吉祥西コミセン内
11 関前南こどもクラブ	関前3-37-24	81.5	昭和58	285	40	30	関前南小隣接
12 桜野こどもクラブ	桜堤1-8-21	160.6	平成4	501	60	56	桜野小校庭内、校舎内
小学校 計		1,645.1	—	4,918	660	556	—

※ 「児童数」は通常学級児童数

※ 「定員」は武蔵野市学童クラブ条例施行規則より

※ 「登録数」は平成21年4月1日現在

※ 平成22年度に、境南こどもクラブは境南小学校敷地内、井之頭こどもクラブは井之頭小学校校舎内に移転

② 育成時間

- 時間：月曜日～金曜日 下校時～18時（夏休み等の長期休業期間は8時半～18時）
- 休館日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始
- 年間運営日数：242日（平成21年度）

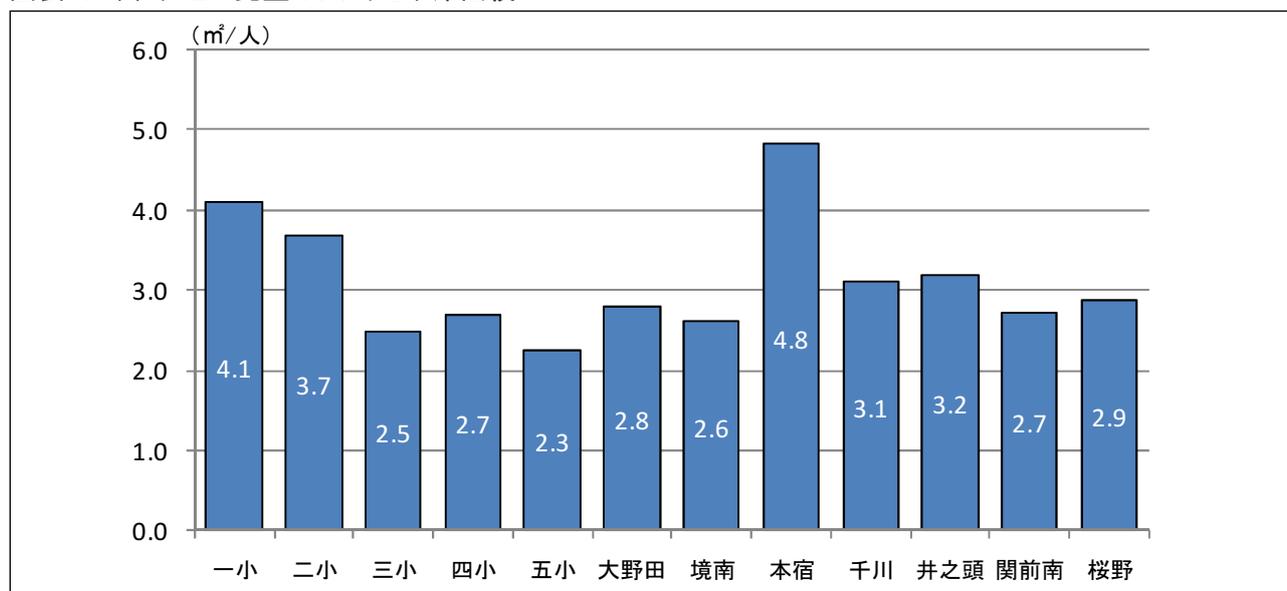
③ 対象・登録方法・費用等

- 対象：下記の1～3を満たす児童が対象となります。
 1. 武蔵野市内在住の小学生（私立・国立等を含む）1～3年生
 2. 保護者の就労、病気などのために放課後の監護を受けられない
 3. 集団生活ができる
- 入会受付：年度の途中でも随時申込みを受付けています。必要書類を児童青少年課へ提出
必要書類：①入会申請書、②就労証明書・就労状況申告書・その他証明書類の中から1つ、
③タイムスケジュール表（該当者のみ）
- 育成料：1人目5,000円、2人目から3,000円（きょうだいで同時に学童クラブに在籍している場合に限る）※減免制度有り

④ 児童1人当たり床面積

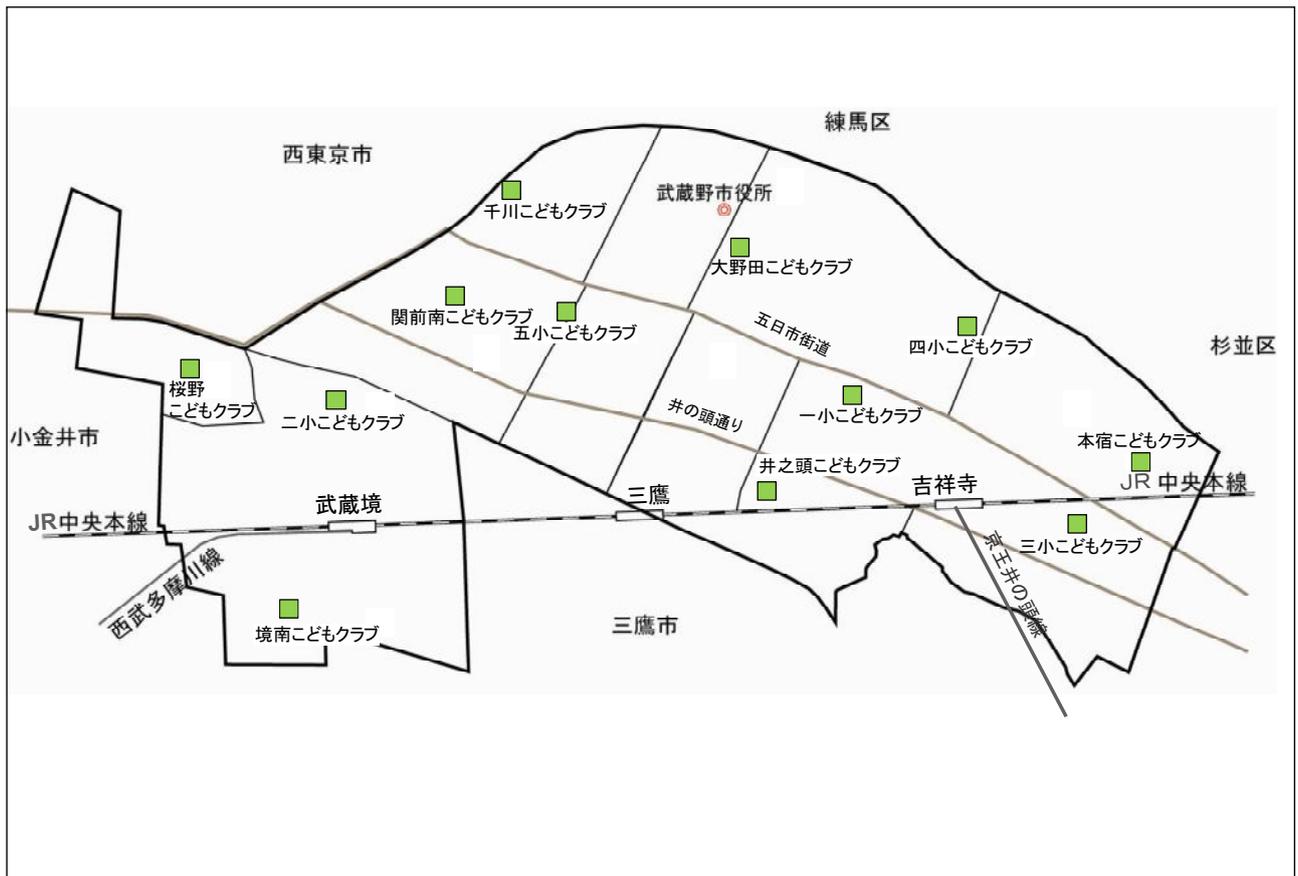
- 登録児童1人当たりの床面積は、五小こどもクラブが約2.3㎡と最も狭く、本宿こどもクラブが約4.8㎡と最も広くなっている。

図表 3-(4)ウ-2 児童1人当たり床面積



(4) ウ こどもクラブ (学童クラブ)

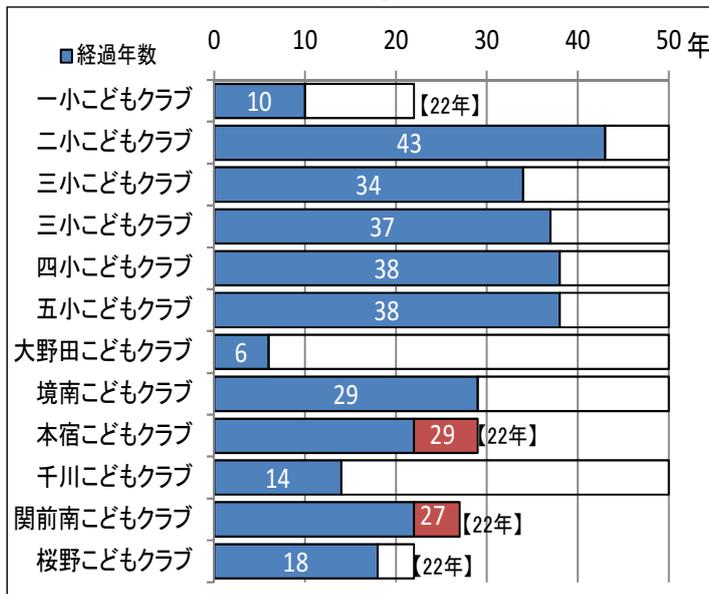
図表 3-(4)ウ-3 こどもクラブ配置図



2) 実態把握

① 建物状況

図表 3-(4) ウ-4 老朽化状況【基準耐用年数：築50年（RC造）・築22年（軽S造）】



軽量鉄骨造である本宿こどもクラブ、関前南こどもクラブは基準耐用年数を超過しています。また学校校舎内にある施設も今後老朽化への対応が必要になります。

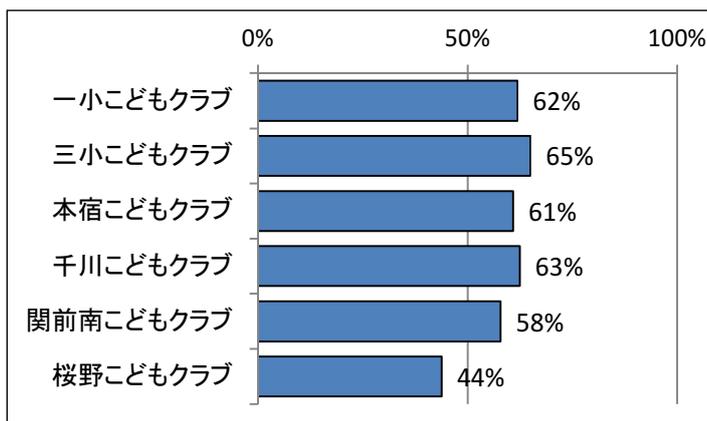
図表 3-(4) ウ-5 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

一小こどもクラブ	耐震基準に適合
二小こどもクラブ	耐震基準に適合
三小こどもクラブ	耐震基準に適合
四小こどもクラブ	耐震基準に適合
五小こどもクラブ	耐震基準に適合
大野田小こどもクラブ	耐震基準に適合
境南こどもクラブ	耐震基準に適合
本宿こどもクラブ	耐震基準に適合
千川こどもクラブ	耐震基準に適合
関前南こどもクラブ	耐震基準に適合
桜野こどもクラブ	耐震基準に適合

こどもクラブは、全施設とも、耐震基準に適合しています。

(4) ウ こどもクラブ (学童クラブ)

図表 3-(4)ウ-6 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



こどもクラブのバリアフリー適合率は、44%~65%となっています。

桜野こどもクラブが、やや低くなっています。

図表 3-(4)ウ-7 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

こどもクラブ		熱量合計	原油換算
		(MJ)	合計 (kl)
一小こどもクラブ	合計	26,791.2	1.000
	単位床面積当たり	181.6	0.007
二小こどもクラブ	合計	52,671.5	1.352
	単位床面積当たり	319.2	0.008
三小こどもクラブ	合計	135,567.3	5.000
	単位床面積当たり	1,383.3	0.051
四小こどもクラブ	合計	25,910.1	0.667
	単位床面積当たり	223.4	0.006
五小こどもクラブ	合計	37,314.7	0.953
	単位床面積当たり	345.5	0.009
大野田小こどもクラブ	合計	96,719.1	2.493
	単位床面積当たり	460.6	0.012
境南こどもクラブ	合計	61,482.4	1.583
	単位床面積当たり	370.4	0.010
本宿こどもクラブ	合計	23,062.9	0.000
	単位床面積当たり	217.5	0.000
千川こどもクラブ	合計	71,960.5	2.000
	単位床面積当たり	651.8	0.018
井之頭こどもクラブ	合計	23,863.6	0.611
	単位床面積当たり	218.9	0.006
関前南こどもクラブ	合計	43,394.4	1.000
	単位床面積当たり	532.6	0.012
桜野こどもクラブ	合計	90,432.4	3.000
	単位床面積当たり	563.0	0.019
単位床面積当たり平均値 (A)		582.5	0.016

こどもクラブの単位床面積当たり熱量は、年間約 182MJ/m²~約 1,383MJ/m²です。

② 利用状況

■ 年間延利用者数

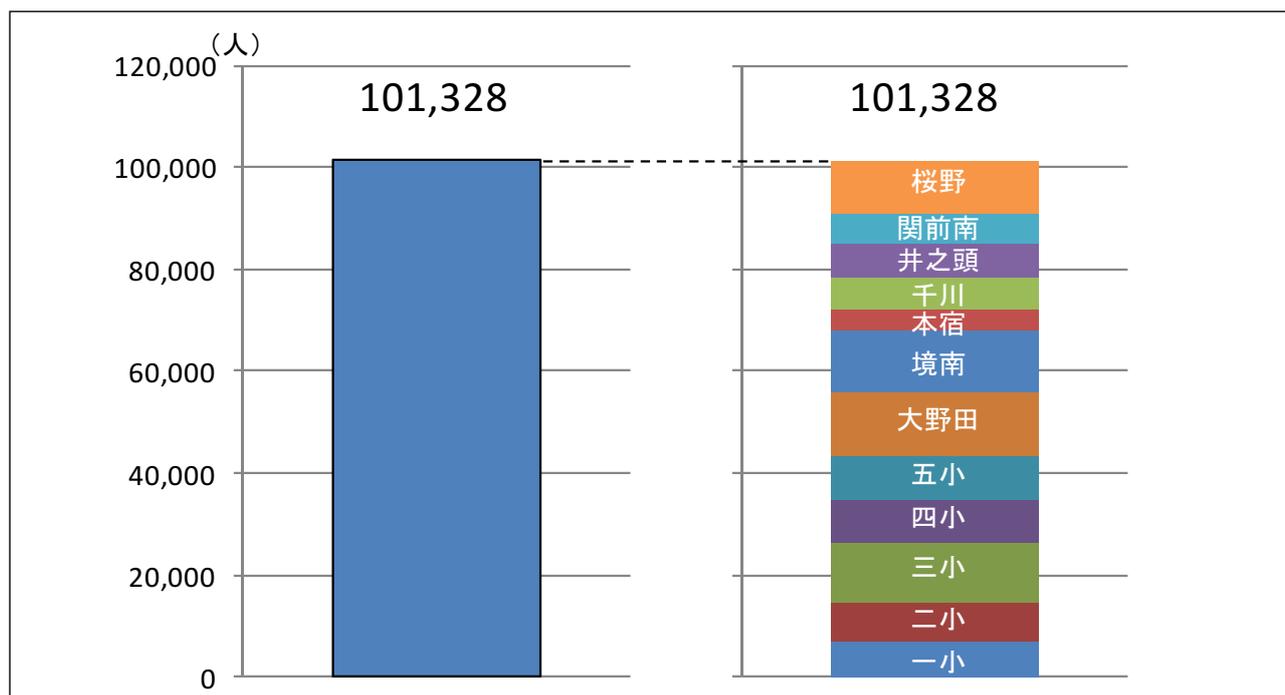
年間延利用者数は、12 施設合計 10 万 1,328 人です。

施設別年間利用者数では、本宿こどもクラブの 4,146 人が最も少なく、大野田こどもクラブの 1 万 2,617 人が最も多く、約 3 倍となっています。

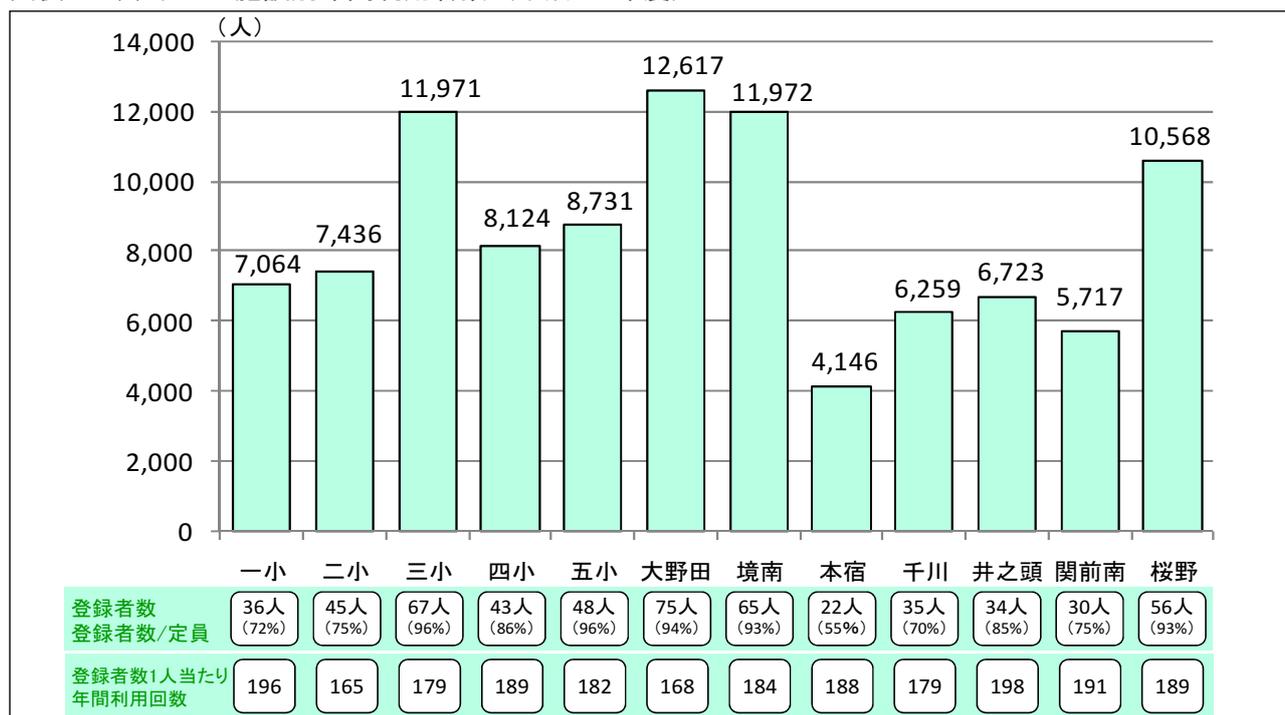
登録者 1 人当たりの利用回数では、二小こどもクラブの 165 人が最も少なく、井之頭こどもクラブの 198 人が最も多く、約 1.2 倍となっています。

本宿こどもクラブの登録者数は、定員に対し 55%にとどまっています。

図表 3-(4)ウ-8 年間利用者数 (平成 21 年度)



図表 3-(4)ウ-9 施設別年間利用者数 (平成 21 年度)



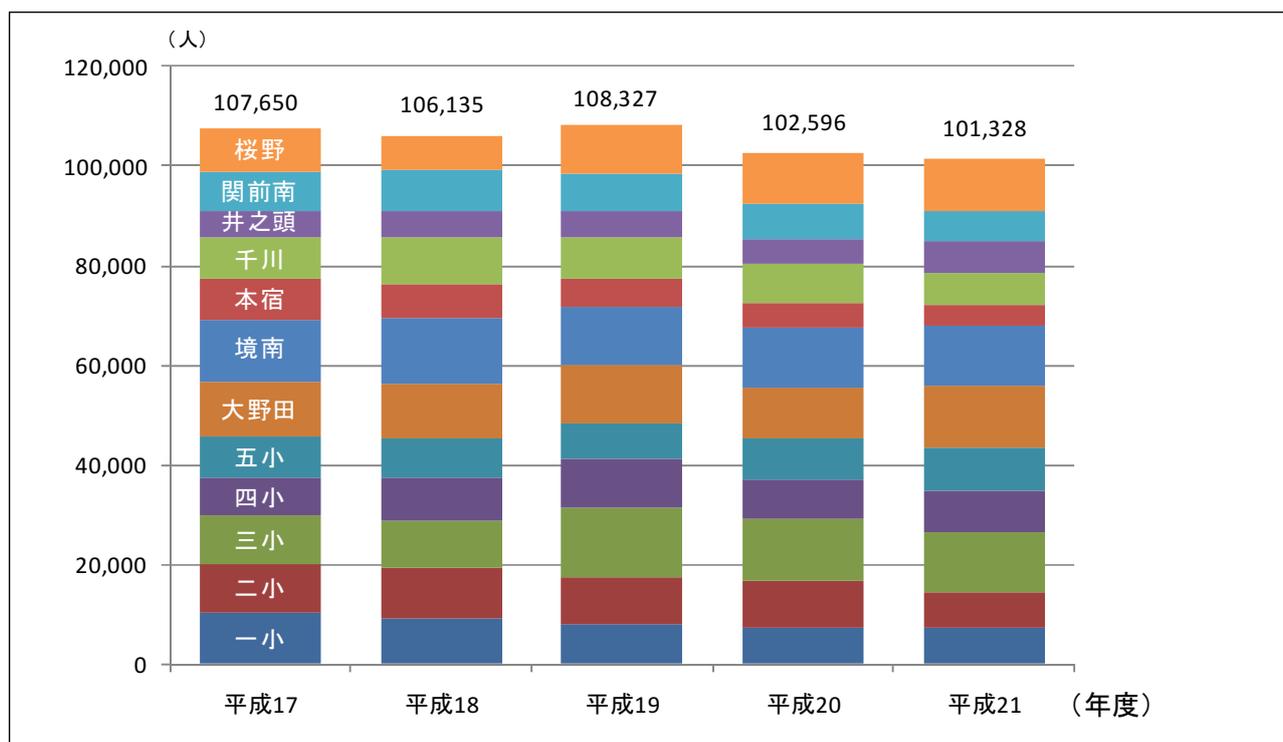
■ 推移

延利用者数の推移は、平成 17 年度約 10.8 万人から、平成 19 年度をピークに平成 21 年度に約 10.1 万人となり、5 年間で 6% の微減となっています。

施設別では、三小・井之頭・桜野こどもクラブの 3 施設は 5 年間で約 1.2 倍に増加しています。一方で、5 年間で本宿こどもクラブは 49%、一小小どもクラブは 31% 減少しています。

全体的には減少傾向ですが、地域によってばらつきがあるようです。

図表 3-(4)ウ-10 推移



③ 運営状況

各施設の運営人員は、嘱託職員が 2 人～4 人、臨時職員（アルバイト）が 0～4 人従事しており、1 施設当たり 2 人～7 人となっています。市全体では 45 人の運営人員が従事しています。

指導員の配置は、「武蔵野市学童クラブ育成指針」に基づいて、1 学童クラブにつき最低 2 人とし、おおむね児童 20 人に対し指導員 1 人、障害児 2 人に対し臨時職員 1 人を配置するなど、各クラブが円滑な育成を行えるよう、適正な人員配置に努めています。

指導員は、児童を指導し、育成するための知識を有する保育士もしくは教員の有資格者又は同等の知識のある者としています。

図表 3-(4)ウ-11 運営人員

	一小	二小	三小	四小	五小	大野田	境南	本宿	千川	井之頭	関前南	桜野	合計
嘱託	2	3	4	3	3	3	4	2	2	2	2	3	33
アルバイト	-	-	-	1	-	4	3	-	-	-	1	3	12
	2	3	4	4	3	7	7	2	2	2	3	6	45

(4) ウ こどもクラブ (学童クラブ)

④ コスト状況

こどもクラブ 12 施設の年間トータルコストは、1 億 6,856 万円、1 施設当たり平均 1,405 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は 2,149 万円（13%）、事業運営にかかるコスト（人件費、負担金補助及び交付金・その他物件費）は 1 億 4,323 万円（85%）、減価償却相当額は 381 万円（2%）です。

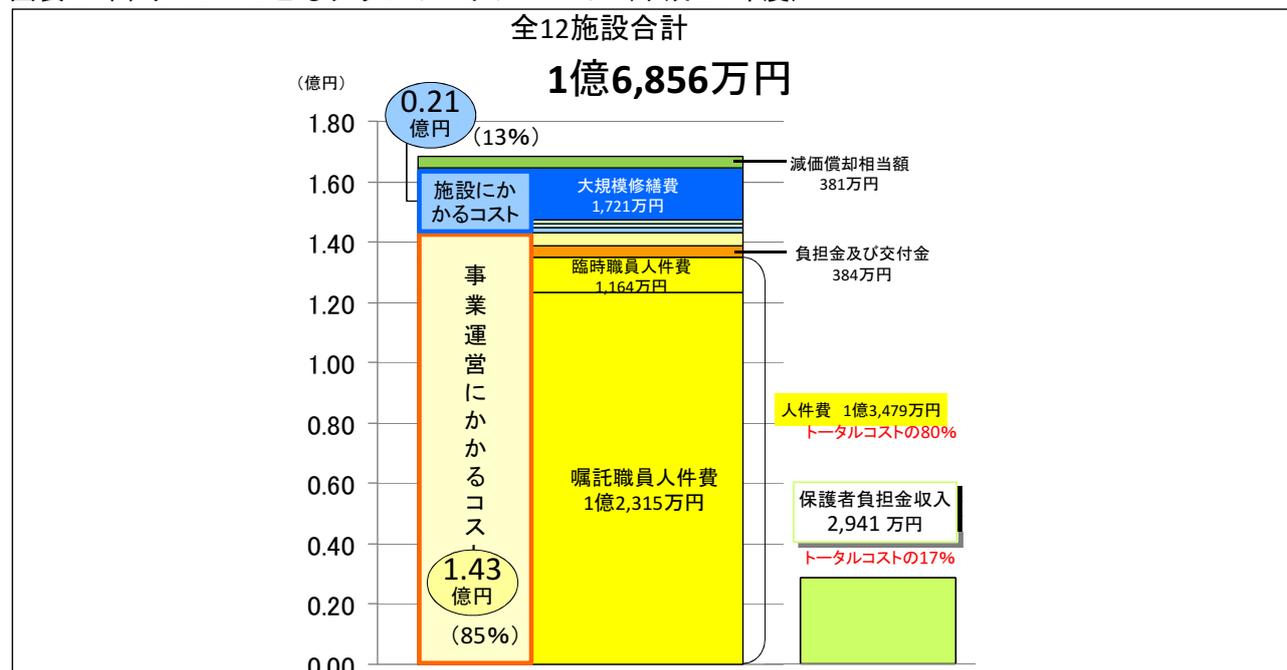
保護者から負担金として、2,941 万円（トータルコストの 17%）の収入があります。

図表 3-(4)ウ-12 こどもクラブ行政コスト計算書(平成 21 年度) (千円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	大野田	境南	本宿	千川	井之頭	関前南	桜野	合計
		こどもクラブ												
施設にかかるコスト	各所修繕費	10	427	320	56	19	10	129	10	10	74	86	234	1,384
	大規模修繕費	572	101	168	230	1,530	0	9,806	400	8	3,809	462	127	17,213
	光熱水費	126	5	529	5	5	5	5	5	5	5	284	285	1,266
	建物管理委託費	117	127	220	127	77	89	87	117	117	67	144	206	1,495
	土地・建物以外賃借料	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0	38
	車両・備品購入費	0	0	51	22	0	0	0	21	0	0	0	0	94
施設にかかるコスト計		825	660	1,288	441	1,631	104	10,027	591	140	3,955	976	853	21,490
事業運営	嘱託職員人件費	7,523	10,053	15,679	9,600	10,065	10,790	13,004	9,553	7,947	9,571	7,747	11,615	123,147
	臨時職員人件費	427	217	645	1,245	238	3,662	2,125	443	291	283	906	1,158	11,643
	負担金補助及び交付金	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	3,837
	その他物件費	352	375	466	406	355	466	440	316	353	331	342	402	4,604
	事業運営にかかるコスト計		8,622	10,965	17,109	11,571	10,977	15,238	15,890	10,632	8,911	10,506	9,314	13,495
現金収支を伴うコスト 計		9,447	11,625	18,397	12,012	12,609	15,341	25,917	11,223	9,051	14,461	10,290	14,348	164,721
【収益の部】														
保護者負担金		1,908	2,195	3,462	2,441	2,552	3,499	3,769	1,271	1,533	2,001	1,325	3,449	29,405
現金収支を伴う収益 計		1,908	2,195	3,462	2,441	2,552	3,499	3,769	1,271	1,533	2,001	1,325	3,449	29,405
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】														
減価償却相当額		884	0	280	0	0	0	0	313	942	0	284	1,108	3,811
不納欠損額		0	0	0	0	0	0	0	5	0	25	0	0	30
III. 総括														
コストの部合計(トータルコスト)		10,332	11,625	18,677	12,012	12,609	15,341	25,917	11,541	9,992	14,486	10,575	15,456	168,562
収支差額(ネットコスト)		8,424	9,430	15,215	9,571	10,057	11,842	22,148	10,270	8,459	12,485	9,250	12,007	139,157

※大規模修繕費は、過去 5 年間の平均額を計上しています。

図表 3-(4)ウ-13 こどもクラブトータルコスト (平成 21 年度)



(4) ウ こどもクラブ (学童クラブ)

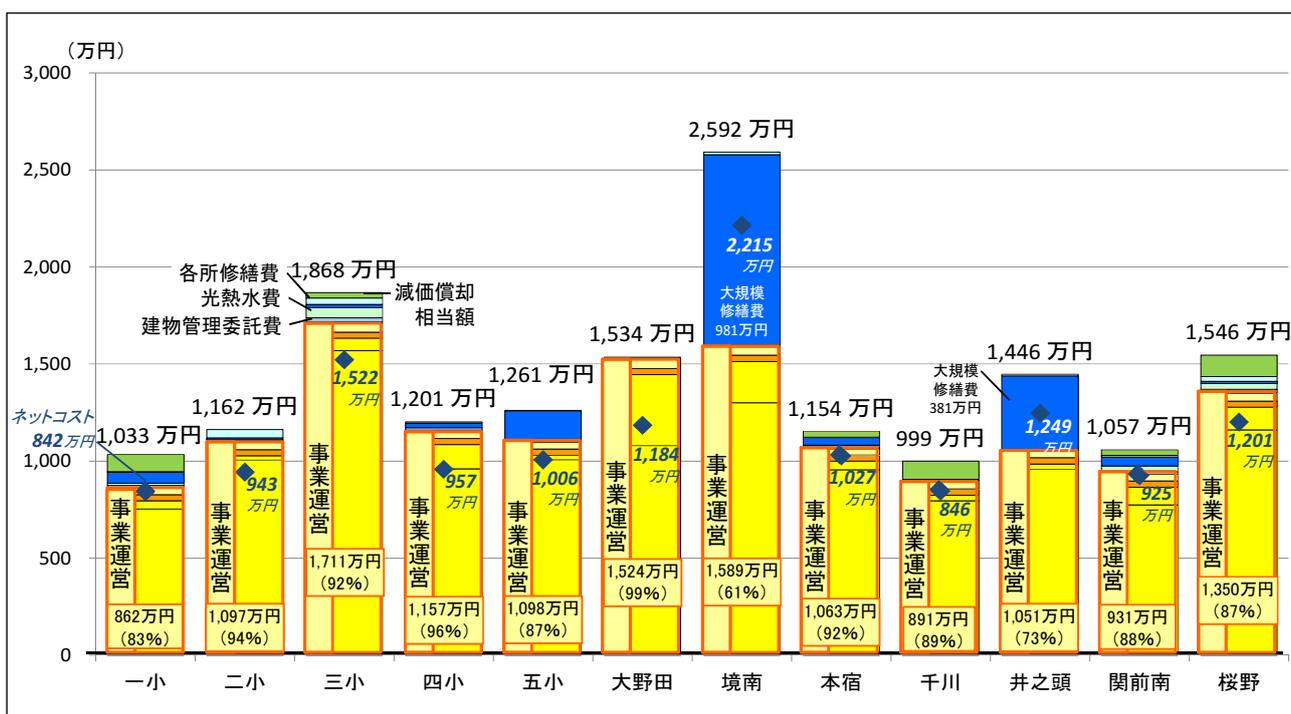
■ 施設別トータルコスト

施設別のトータルコストをみると、999万円(千川こどもクラブ)～2,592万円(境南こどもクラブ)となっています。

施設別の内訳をみると、一時的な費用である大規模修繕費を除けば、どの施設も事業運営にかかるコストが大半を占めており、施設ごとのトータルコストの差は事業運営にかかるコストの違いとなっています。

五小、境南、井之頭こどもクラブの大規模修繕費は、移転改修・改築の費用が含まれるため、大きくなっています。

図表 3-(4)ウ-14 施設別トータルコスト (平成 21 年度)

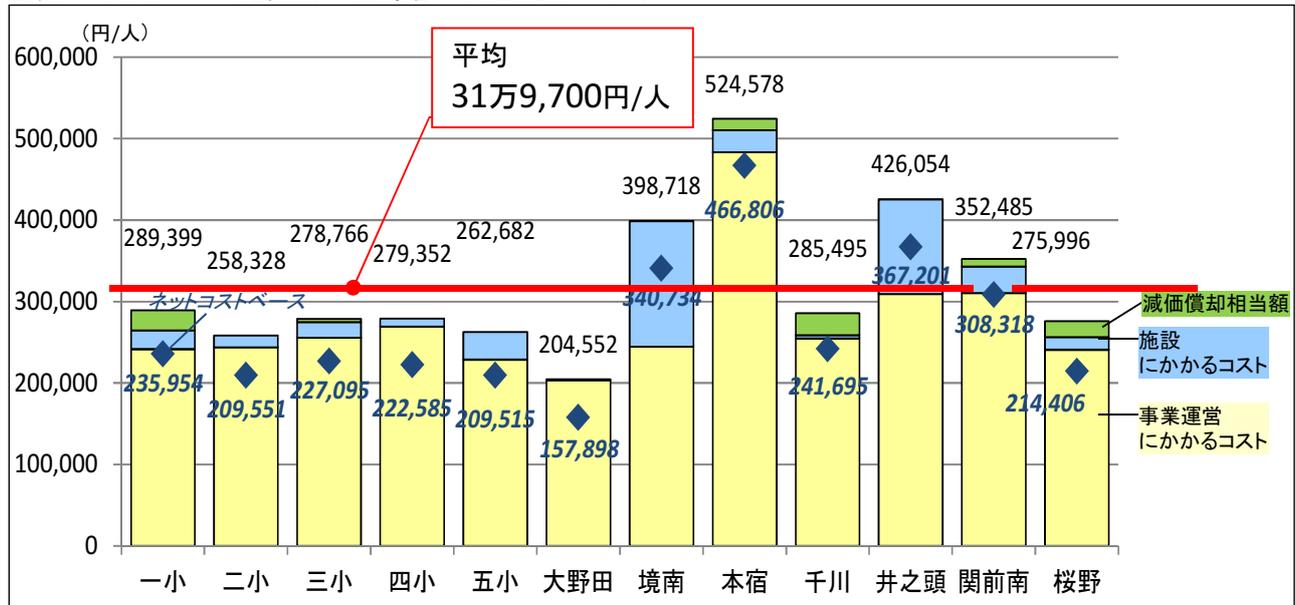


3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 平均登録数とトータルコストの関係 (平均登録者1人当たりコスト)

平均登録数とトータルコストより平均登録者1人当たりにかかるコストを算出すると、大野田こどもクラブが20万4,552円と最も低く、本宿こどもクラブが52万4,578円と最も高い状況です。なお、こどもクラブの平均は31万9,700円/人となっています。

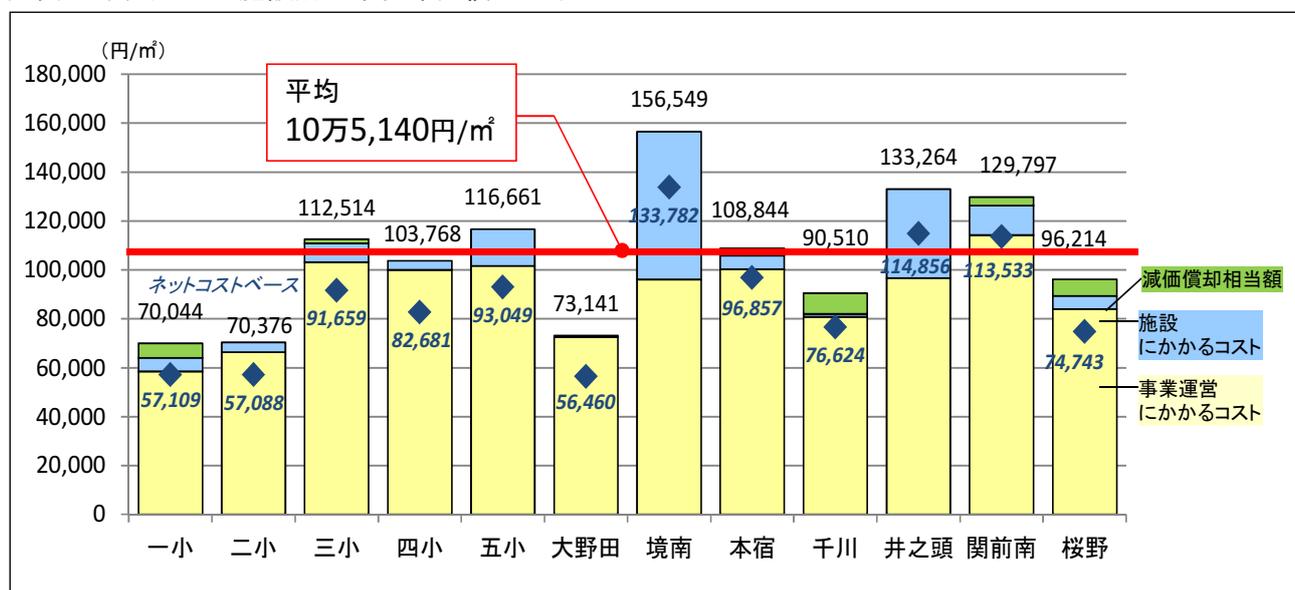
図表 3-(4)ウ-15 施設別 登録者1人当たりコスト



■ 延床面積とトータルコストの関係 (単位床面積当たりコスト)

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、一小こどもクラブが7万44円と最も低く、境南こどもクラブが15万6549円と最も高い状況です。なお、こどもクラブの平均は10万5,140円/㎡となっています。

図表 3-(4)ウ-16 施設別 単位床面積当たりコスト



(5) 子育て支援施設

ア. 保育園・幼稚園

1) 施設概要

① 施設一覧

武蔵野市には、平成21年度現在で、市立保育園9園、合計7,383㎡、市立幼稚園1園1,145㎡を保有しています。保育園の定員は840人、入園児数は868人で、入園率は約103%となっています。幼稚園の定員は200人、入園児数は63人で、入園率は約32%となっています。保育園は需要が供給を上回り、待機児童数は平成21年度市全体で79人となっています。幼稚園は逆に需要が供給を下回っていることが分かります。

定員1人当たりの延床面積をみると、保育園は7.6㎡/人～10.2㎡/人、幼稚園は18.2㎡/人となっています。東・境南・吉祥寺の各園がやや小さめとなっています。

今後は「第三次子どもプラン武蔵野」に基づき、平成23年度に北町保育園、千川保育園の2園、平成25年度にはさらに3園の運営主体が、武蔵野市から公益財団法人武蔵野市子ども協会に移り、民営化されます。

また、境幼稚園を発展的に解消し、同敷地に保育機能、幼児教育機能、子育て支援機能を併せもった認定こども園を平成25年度に開設する予定です。北町保育園は待機児童の解消と周辺地域の水害対策のため、南側隣地へ移転、建替えし平成25年度に開園する予定です。

図表3-(5)ア-1 市立保育園施設一覧

(平成21年4月1日)

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	園児数(人)				認可定員 (人)	定員1人 当たり面積
				3歳未満	3歳	4歳以上	合計		
1 千川保育園	八幡町1-4-13	830.2	昭和49	36	22	39	97	94	8.8
2 南保育園	吉祥寺南町3-6-15	830.5	昭和43	36	22	41	99	94	8.8
3 桜堤保育園	桜堤2-1-27	873.3	昭和57	36	20	41	97	94	9.3
4 境保育園	境4-11-3	1,044.6	平成8	43	22	42	107	102	10.2
5 東保育園	吉祥寺東町3-28-3	573.2	昭和45	21	15	40	76	75	7.6
6 境南保育園	境南町5-1-1	805.9	昭和47	43	22	39	104	102	7.9
7 北町保育園	吉祥寺北町1-23-17	830.9	昭和50	36	21	42	99	94	8.8
8 境南第2保育園	境南町2-20-17	768.0	昭和52	29	15	39	83	83	9.3
9 吉祥寺保育園	吉祥寺北町5-11-51	826.5	昭和60	43	21	42	106	102	8.1
		7,383.0	—	323	180	365	868	840	入園率 103%

※ 「建築年度」「延床面積」は「総合台帳」より

※ 「園児数」「定員」は、「市勢統計」より

図表3-(5)ア-2 市立幼稚園施設一覧

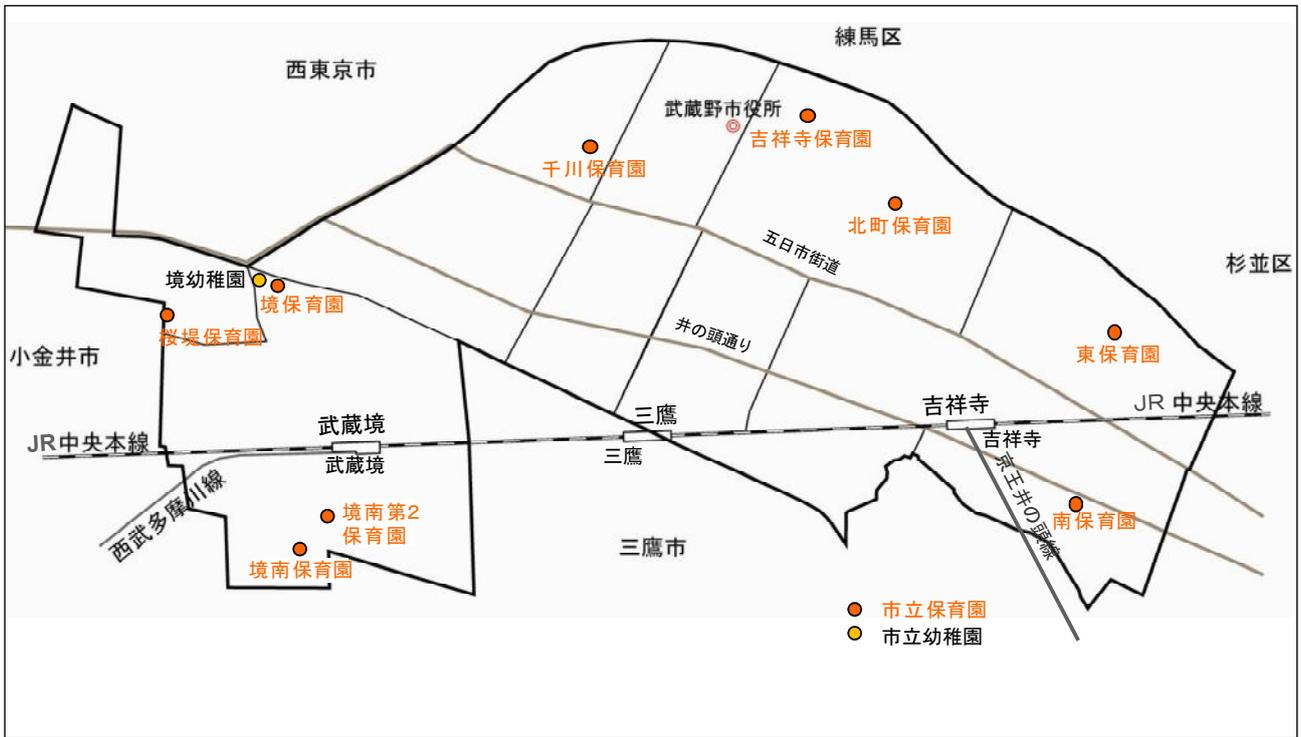
(平成21年5月1日)

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	園児数(人)			定員1人 当たり面積
				3歳未満	3歳	4歳以上	
1 境幼稚園	境4-11-6	1,144.8	昭和47			63	18.2

※ 「建築年度」「延床面積」は「総合台帳」より

※ 「園児数」は、「市勢統計」より

図表 3-(5)ア-3 配置図（市立保育園・市立幼稚園）

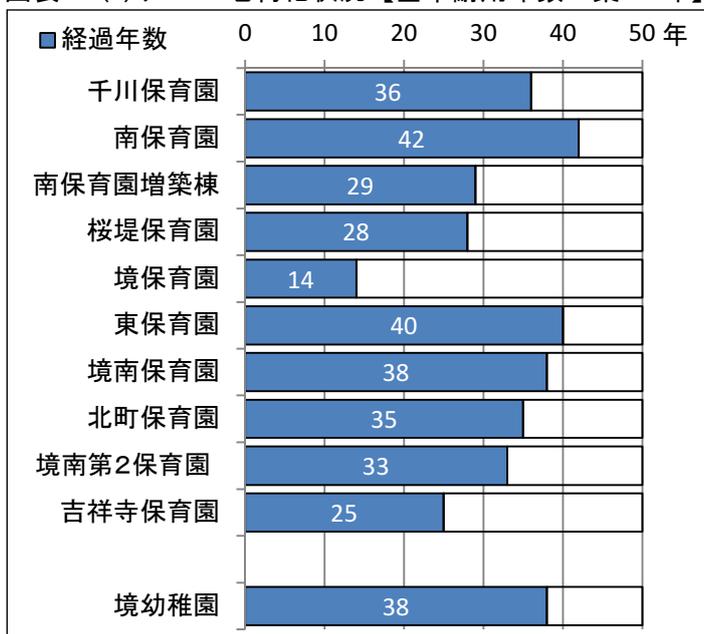


2) 実態把握

① 建物状況

■ 建物評価

図表 3-(5)ア-4 老朽化状況【基準耐用年数：築50年】



保育園9園のうち、南保育園と東保育園が築40年以上経過しており、建替え・大規模改修等の検討が必要です。

築30年以上40年未満を経過した施設が4園(約44%)あり、今後老朽化対策が必要です。

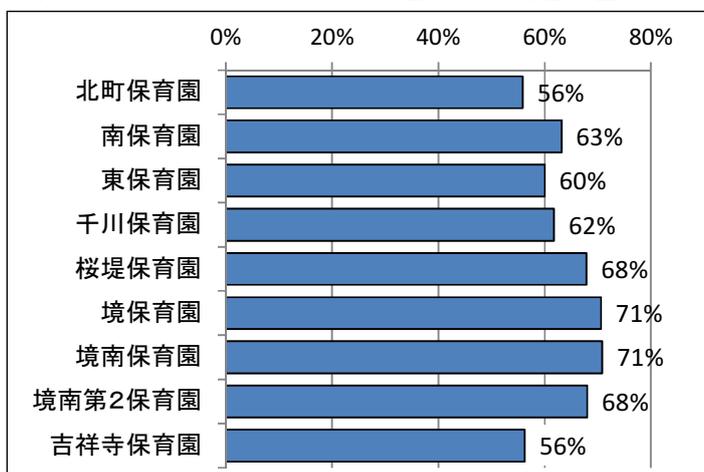
幼稚園は、築38年が経過しておりますが、解体して、認定こども園として平成25年度に開設予定です。

図表 3-(5)ア-5 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

千川保育園	耐震基準に適合
南保育園	耐震基準に適合
南保育園増築棟	耐震基準に適合
桜堤保育園	耐震基準に適合
境保育園	耐震基準に適合
東保育園	耐震基準に適合
境南保育園	耐震基準に適合
北町保育園	耐震基準に適合
境南第2保育園	耐震基準に適合
吉祥寺保育園	耐震基準に適合
境幼稚園	耐震基準に適合

保育園・幼稚園は、全施設とも、耐震基準に適合しています。

図表 3-(5)ア-6 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



保育園のバリアフリー適合率は、56%~71%となっています。

図表 3-(5)ア-7 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

	熱量合計 (MJ)	原油換算 合計 (kl)	CO ₂ 排出量 換算合計 (t)
千川保育園	合計	843,901.9	21.000
	単位床面積当たり	1,016.6	0.025
南保育園	合計	944,718.5	24.000
	単位床面積当たり	1,137.5	0.029
桜堤保育園	合計	991,147.9	25.000
	単位床面積当たり	1,134.9	0.029
境保育園	合計	1,072,435.6	27.000
	単位床面積当たり	1,026.6	0.026
東保育園	合計	704,246.3	18.000
	単位床面積当たり	1,228.6	0.031
境南保育園	合計	922,091.7	23.000
	単位床面積当たり	1,144.2	0.029
北町保育園	合計	852,306.2	21.000
	単位床面積当たり	1,025.8	0.025
境南第2保育園	合計	798,767.1	20.000
	単位床面積当たり	1,040.1	0.026
吉祥寺保育園	合計	850,521.9	21.000
	単位床面積当たり	1,029.1	0.025
境幼稚園	合計	297,221.1	7.000
	単位床面積当たり	259.6	0.006
単位床面積当たり平均値 (A)			
	1,004.3	0.025	0.045

保育園の単位床面積当たり熱量は、年間約 1,016MJ/m²～約 1,228MJ/m²、単位床面積当たり CO₂ 排出量は、約 0.045 t/m²～約 0.054 t/m²となっています。

幼稚園の単位床面積当たり熱量は、年間約 260MJ/m²、単位床面積当たり CO₂ 排出量は、約 0.010 t/m²となっています。

② 園児数の推移

市立保育園及び市立幼稚園に通う園児数は、昭和 61 年度 1,111 人をピークに、平成 22 年度は 932 人とピーク時の約 84%まで減少しています。

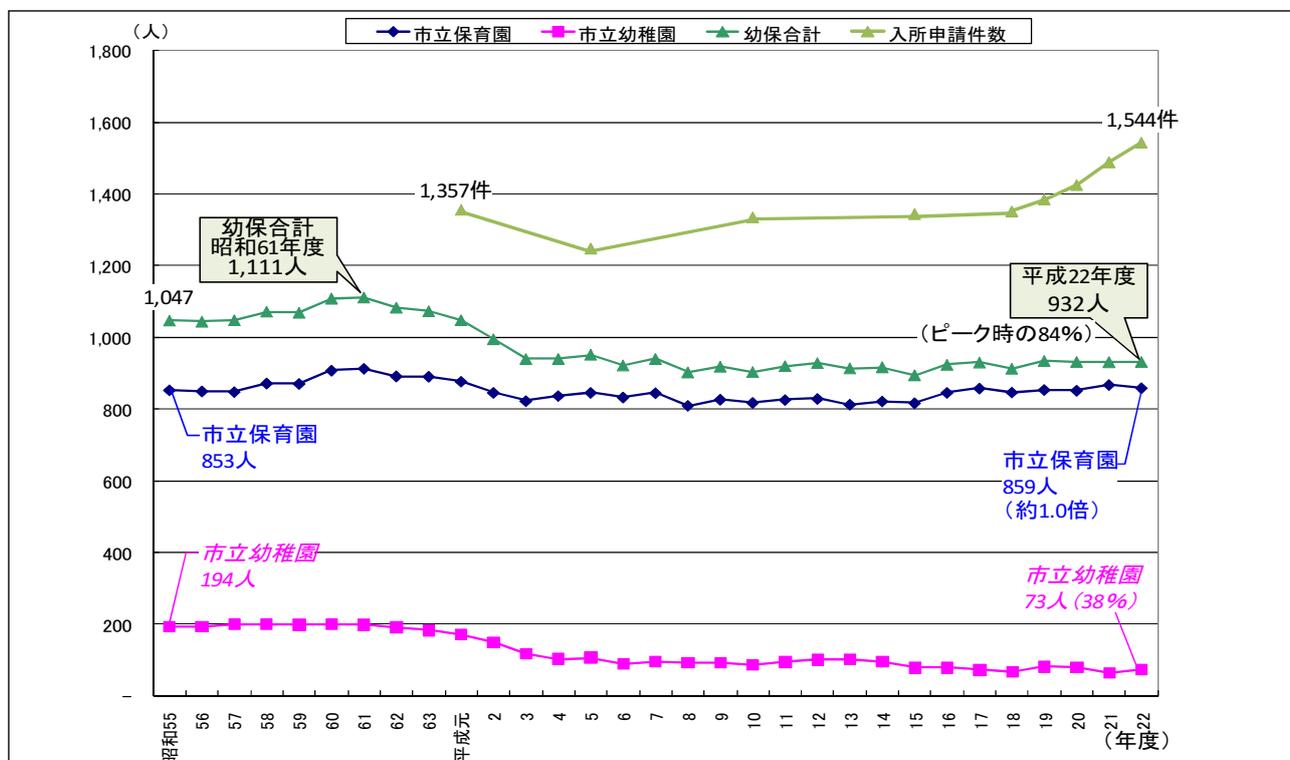
市立保育園の園児数の推移をみると平成 16 年度頃から定員増による園児の増加がみられます。

市立幼稚園の園児数の推移をみると、昭和 55 年度 194 人から減少傾向にあり、平成 22 年度は 73 人と昭和 55 年度の 38%まで減少しています。

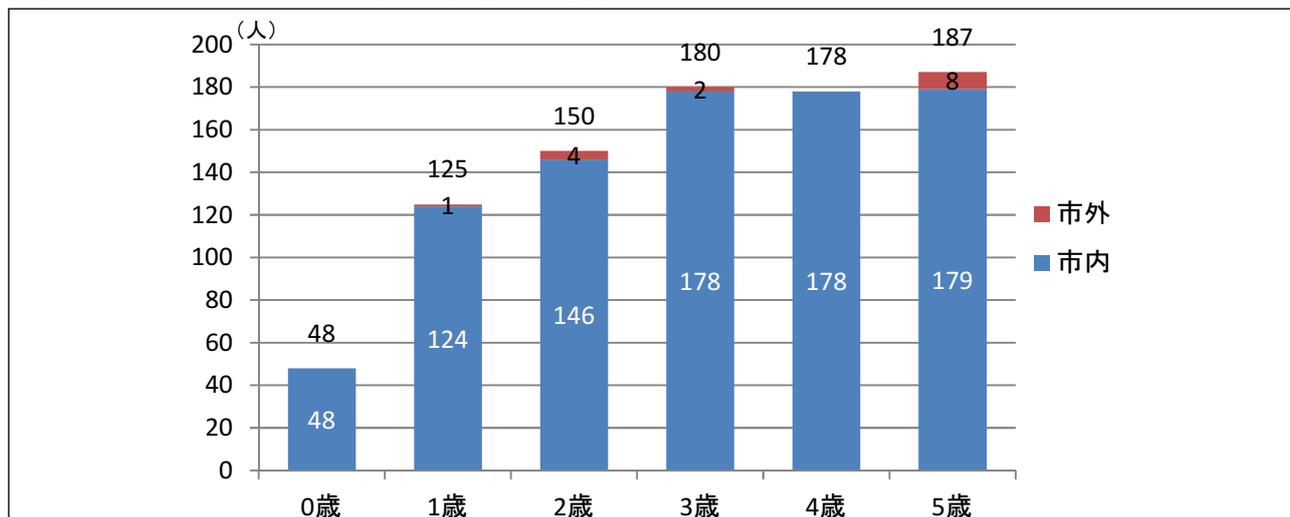
また、入所申請件数の推移をみると、平成元年 1,357 件から平成 22 年度 1,544 件まで、約 1.1 倍に増加しています。

市内/市外別、年齢別の在籍児数の状況を見ると、1・2・3・5 歳児は市外の在籍児童が 1～8 人おり、市全体では 15 人が市外の在籍児童となっています。

図表 3-(5)ア-8 園児数の推移



図表 3-(5)ア-9 市内/市外別・年齢別 在籍児数



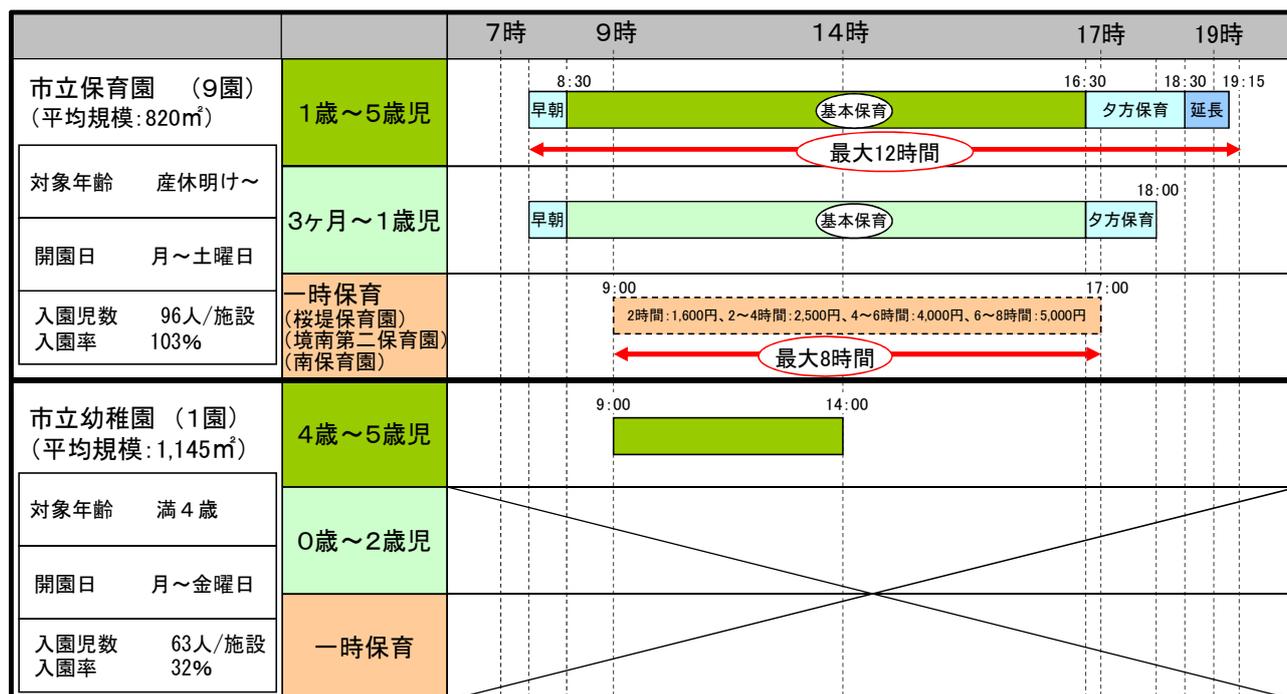
③ 運営状況

保育園の対象年齢は、通常、生後4ヶ月目から就学前までの子どもですが、境、境南、吉祥寺保育園の3園では、生後57日目からの保育を実施しています。

保育時間は、8時半から16時半までを基本としています。延長保育（早朝・夕方保育を含む）は、朝が7時30分から、夜が19時15分までとなっています。一時保育を実施しているのは、桜堤・境南第2・南保育園の3園です。

幼稚園の保育時間は、平日の9時～14時まで、水曜日のみ11時30分までとなっています。

図表 3-(5)ア-10 保育園/幼稚園 運営内容整理



④ スペース構成及び運営人員

保育園 1 施設当たりの平均規模は約 820 m²で、1 施設当たりのスペース構成は乳児室（0 歳児室）、保育室（1 歳以上）、遊戯室、沐浴室、調理室等となっています。

保育園 1 施設当たりの運営人員は、園長が 1 人、保育士が 18 から 28 人、看護師または保健師が 1 人、栄養士・調理員が 3 から 4 人、その他にパートやアルバイトで保育や調理に従事する職員が 14～19 人おり、1 施設当たり 39 から 53 人が従事しています。保育園全体の運営人員は 408 人です。

図表 3-(5)ア-11 市立保育園 施設別スペース構成及び運営人員（平成 21 年度）

認可定員 園児数	スペース構成						運営人員							
	(m ²)						園長	保育士	看護師等	栄養士等	その他	合計		
94人	千川保育園	乳児室(0歳児)		遊戯室	調理室	医務室	その他共用部	830 m ²	1	23	1	3	19	47
97人		保育室(1歳以上) 262m ²	33m ²											
94人	南保育園	保育室 275m ²		遊戯室 71m ²	調理室	医務室	その他共用部 337 m ²	831 m ²	1	23	1	3	14	42
99人		40m ²	71m ²											
94人	桜堤保育園	保育室 237m ²		遊戯室 74m ²	調理室	医務室	その他共用部 409 m ²	873 m ²	1	24	1	4	14	45
97人		44m ²	74m ²											
102人	境保育園	保育室 205m ²		遊戯室 97m ²	調理室	医務室	その他共用部 562 m ²	1,045 m ²	1	28	1	4	19	53
107人		56m ²	97m ²											
75人	東保育園	保育室 179m ²		遊戯室 51m ²	調理室	医務室	その他共用部 218 m ²	573 m ²	1	18	1	4	15	39
76人		45m ²	51m ²											
102人	境南保育園	保育室 324m ²		遊戯室 83m ²	調理室	医務室	その他共用部 229 m ²	806 m ²	1	25	1	4	15	47
104人		56m ²	83m ²											
94人	北町保育園	保育室 262m ²		遊戯室 90m ²	調理室	医務室	その他共用部 330 m ²	831 m ²	1	20	1	4	16	42
99人		42m ²	90m ²											
83人	境南第2保育園	保育室 191m ²		遊戯室 71m ²	調理室	医務室	その他共用部 341 m ²	768 m ²	1	28	1	3	18	51
83人		41m ²	71m ²											
102人	吉祥寺保育園	保育室 194m ²		遊戯室 51m ²	調理室	医務室	その他共用部 398 m ²	826 m ²	1	25	1	3	14	44
106人		61m ²	51m ²											

乳児室(0歳児室)	調理室
保育室	医務室
遊戯室	事務室・保育士室

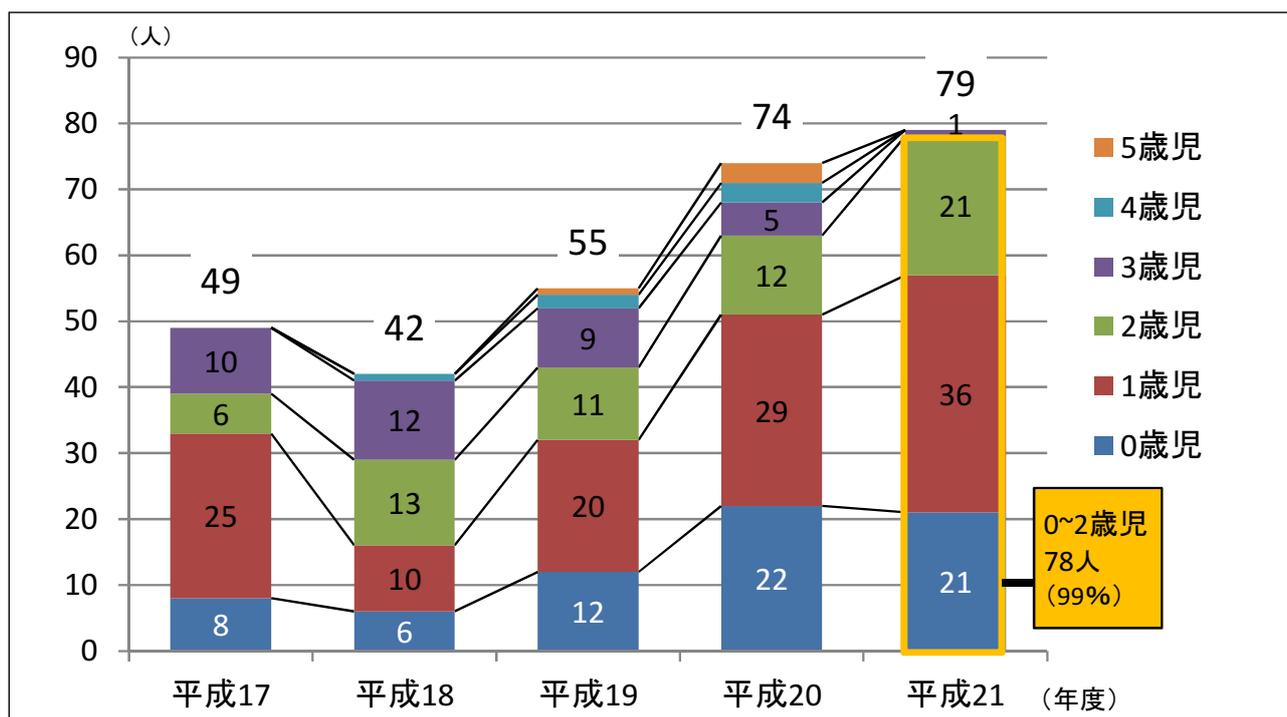
※境幼稚園は建替えのため、実態把握対象外としています。

⑤ 待機児数の推移

待機児数は、毎年度、定員増に向けた取組を推進し、平成17年度の49人から平成21年度には79人となっています。年齢別では、0歳児、1歳児の待機児数が特に増加しており、平成21年度では、0歳児が21人、1歳児36人、2歳児が21人と、0～2歳児が待機児数の約99%を占めています。

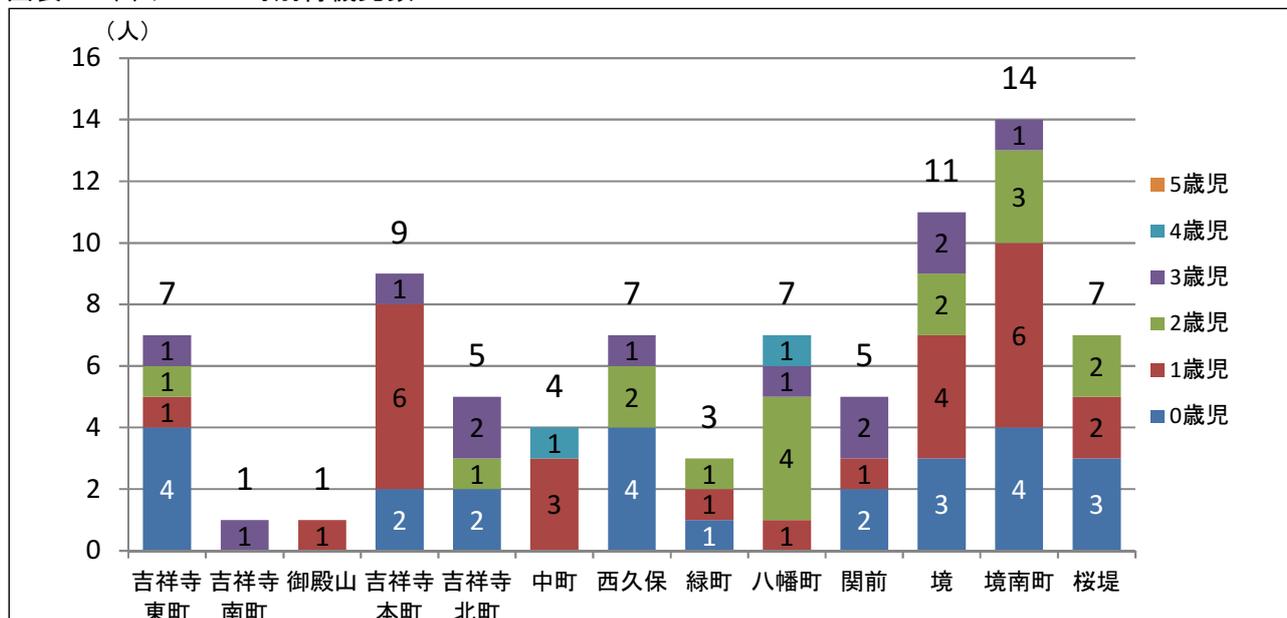
町別に年齢別待機児数をみると、境南町が14人と最も多く、武蔵境地域の待機児数が比較的多いことがわかります。

図表 3-(5)ア-12 待機児数の推移



出典：保育概要 2010 年度、市勢統計

図表 3-(5)ア-13 町別待機児数



出典：市勢統計

⑦ コスト状況

市立保育園 9 園の年間トータルコストは、20 億 8,848 万円、1 施設当たり平均 2 億 3,205 万円で、年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は 1 億 6,867 万円（8%）、事業運営にかかるコスト（人件費・その他物件費等）は 18 億 9,267 万円（91%）、減価償却相当額は 2,714 万円（1%）となっています。

図表 3-(5)ア-14 施設別行政コスト計算書（平成 21 年度）

（千円）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		千川 保育園	南 保育園	桜堤 保育園	境 保育園	東 保育園	境南 保育園	北町 保育園	境南第2 保育園	吉祥寺 保育園	合計
園児数		97	99	97	107	76	104	99	83	106	
施設にか かる コスト	各所修繕費	1,224	615	1,692	667	755	607	2,593	889	813	9,855
	大規模修繕費（※）	7,420	12,987	9,524	3,704	6,112	8,324	4,026	6,348	7,654	66,100
	光熱水費	3,451	3,615	3,795	4,201	2,795	3,584	3,149	3,662	3,876	32,127
	建物管理委託費	6,465	3,844	7,227	2,659	2,429	3,511	6,422	3,832	3,719	40,109
	土地・建物以外賃借料	670	670	670	325	670	670	325	670	639	5,309
	使用料	320	335	283	243	271	432	339	318	244	2,786
	車両・備品購入費	425	324	260	601	962	1,504	373	518	982	5,950
	市債利息償還金	0	0	0	6,436	0	0	0	0	0	6,436
施設にかかるコスト計	19,975	22,389	23,451	18,836	13,994	18,633	17,227	16,238	17,928	168,671	
事業 運営	職員人件費	166,915	166,915	153,738	175,700	131,775	193,270	166,915	158,130	193,270	1,506,628
	嘱託職員人件費	4,064	6,262	6,877	9,720	8,061	3,542	6,450	7,126	6,865	60,787
	再任用職員人件費	0	3,542	0	0	0	7,456	0	0	0	10,998
	臨時職員人件費	22,051	20,575	26,438	26,314	18,496	23,336	21,393	25,530	21,125	205,259
	負担金補助及び交付金	47	48	47	51	39	49	48	42	51	421
	その他物件費	11,790	11,431	12,698	13,542	11,318	12,089	11,282	11,347	13,075	108,572
	事業運営にかかるコスト計	204,867	208,773	199,797	225,327	169,690	239,742	206,088	202,175	236,206	1,892,665
現金収支を伴うコスト 計	224,841	231,163	223,248	244,163	183,684	258,375	223,315	218,412	254,134	2,061,336	
【収益の部】											
負担金（保育料）	19,833	26,616	22,541	26,675	17,791	23,335	24,201	17,409	25,764	204,163	
諸収入	2,216	6,085	4,164	2,625	1,897	2,433	2,533	3,887	2,450	28,291	
現金収支を伴う収益 計	22,049	32,701	26,704	29,300	19,688	25,768	26,734	21,296	28,214	232,454	
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】											
減価償却相当額	2,225	2,960	3,816	7,184	673	1,053	2,537	2,459	4,234	27,140	
【収益の部】											
収入未済額	865	856	288	868	668	486	5	248	195	4,479	
現金収支を伴わない収益 計	865	856	288	868	668	486	5	248	195	4,479	
III. 総括											
コストの部合計（トータルコスト）	227,067	234,122	227,063	251,347	184,357	259,428	225,852	220,871	258,368	2,088,475	
収支差額（ネットコスト）	204,153	200,565	200,071	221,179	164,001	233,174	199,112	199,327	229,959	1,851,543	

※大規模修繕費は、過去 5 年間の平均額を計上しています。

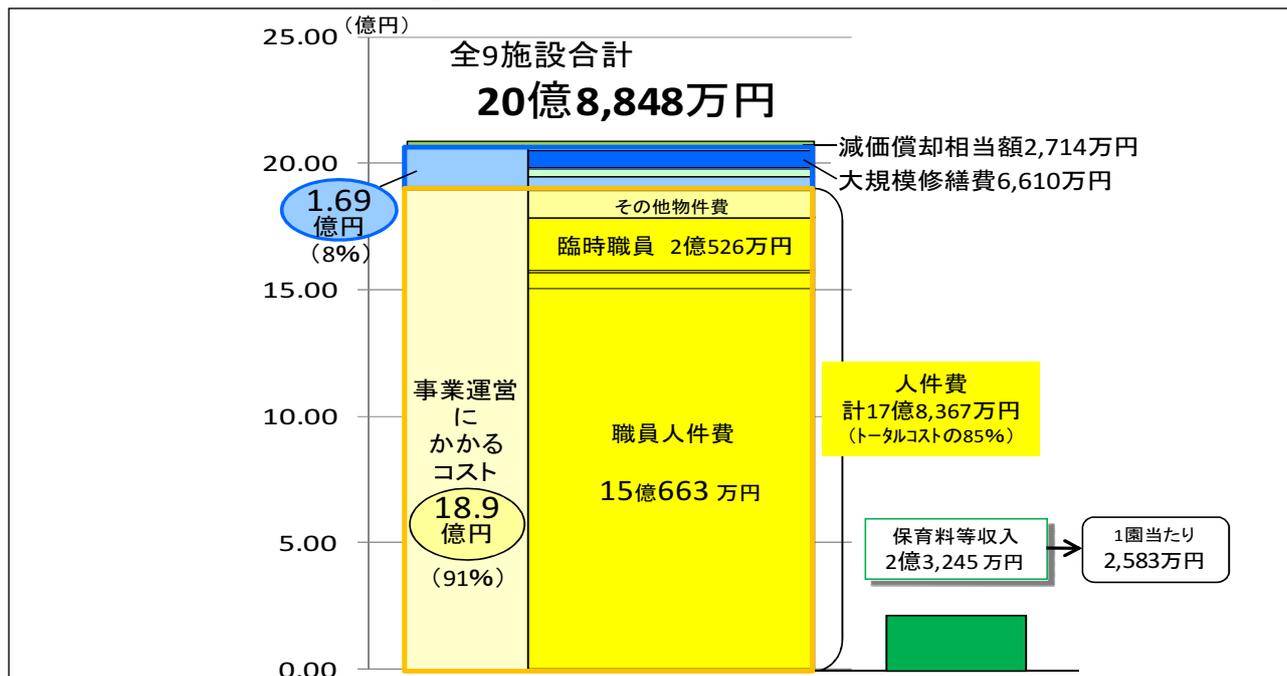
※境幼稚園は建替えのため、実態把握対象外としています。

職員・嘱託・臨時職員を合わせると、人件費が合計 17 億 8,367 万円、トータルコストの約 85%となっています。

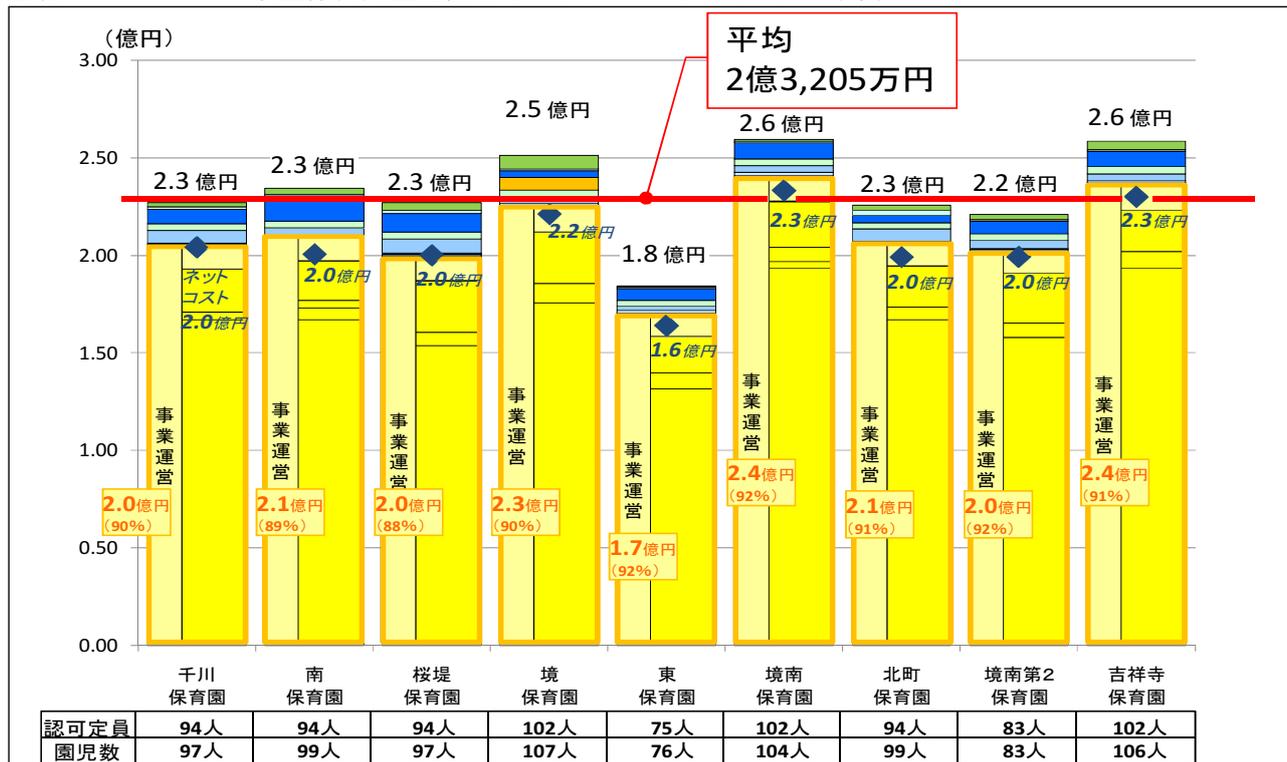
保育料による年間収入が 2 億 3,245 万円、1 施設当たり 2,583 万円となっています。

施設別のトータルコストでは、東保育園の 1.8 億円から境南・吉祥寺保育園の 2.6 億円となっています。市立保育園 1 園当たりのトータルコストの平均は約 2.3 億円で、そのうち、事業運営にかかるコストは 2.1 億円でトータルコストの 91%を占めています。

図表 3-(5)ア-15 市立保育園全施設トータルコスト（平成 21 年度）



図表 3-(5)ア-16 市立保育園全施設別トータルコスト（平成 21 年度）

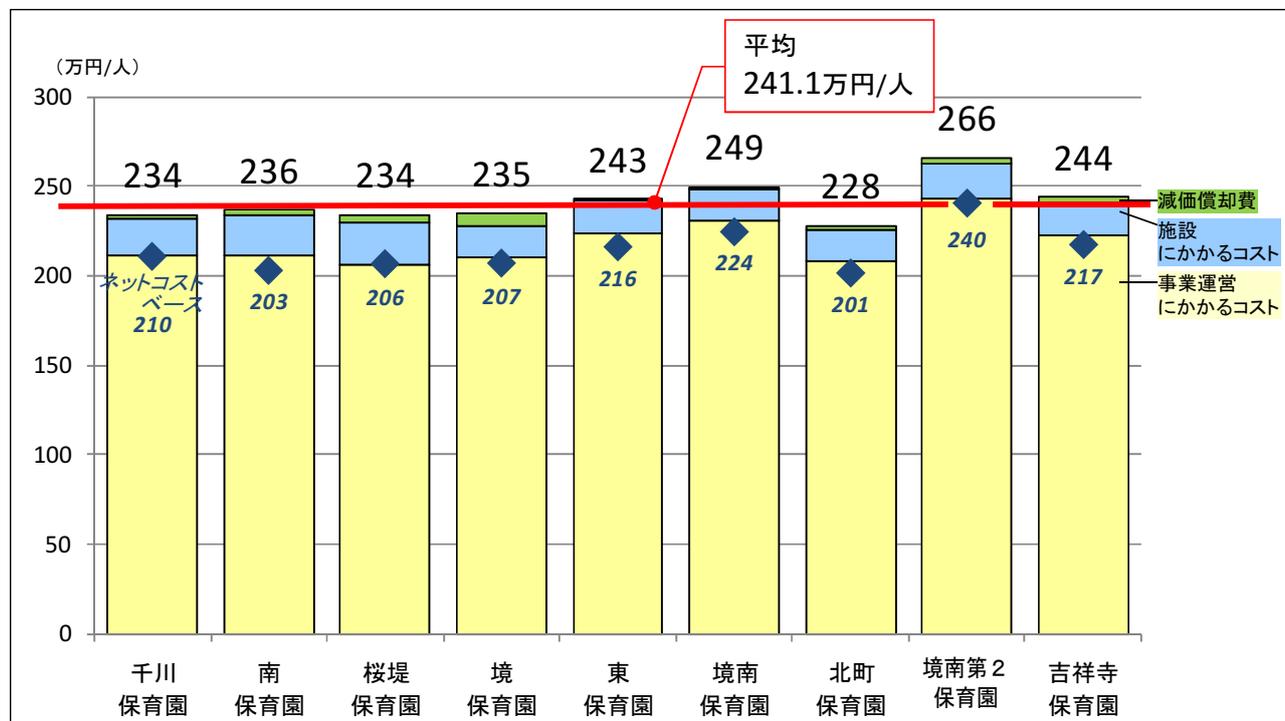


3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 園児1人当たりコスト

園児1人当たりのコストは、市立保育園平均241万円/人となっています。

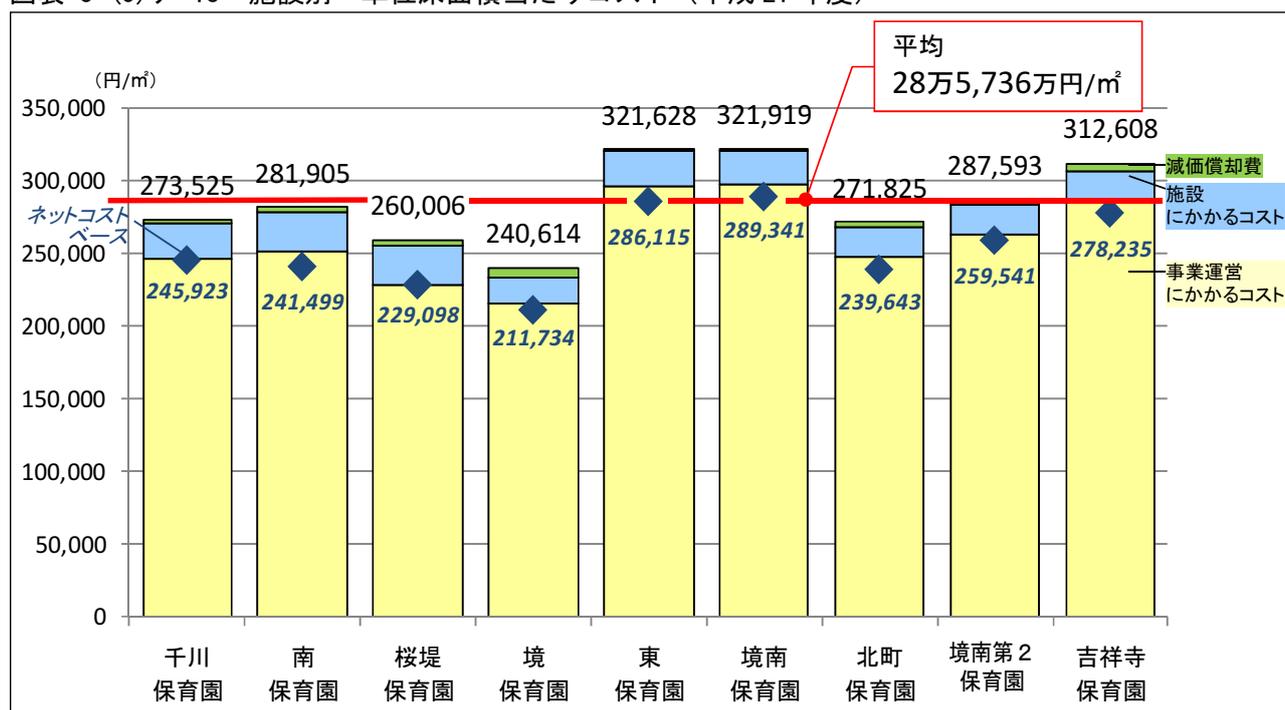
図表 3-(5)ア-17 施設別 園児1人当たりコスト (平成21年度)



■ 延床面積とトータルコストの関係 (単位床面積当たりコスト)

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、境保育園が約24万614円と最も低く、境南保育園が32万1,919円と最も高い状況です。なお、保育園の平均は28万5,736円/㎡となっています。

図表 3-(5)ア-18 施設別 単位床面積当たりコスト (平成21年度)



イ. 児童館 (1 施設)

1) 施設概要

① 施設一覧

桜堤児童館は、遊びを通して子どもたちの健やかな成長を図り、情操を豊かにすることを目的とした自由来所型の施設です。乳幼児から小中学生、保護者向けまでさまざまな行事を行っています。児童館は桜堤地区に、1 施設が配置されています。

図表 3-(5)イ-1 施設一覧

名 称	住 所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)
桜堤児童館	桜堤2-1-29	610.4	昭和57

※ 「建築年度」「延床面積」は「総合台帳」より参照

② 開館日・開館時間

- 開館時間

4月1日～9月30日 : 9:30～17:30

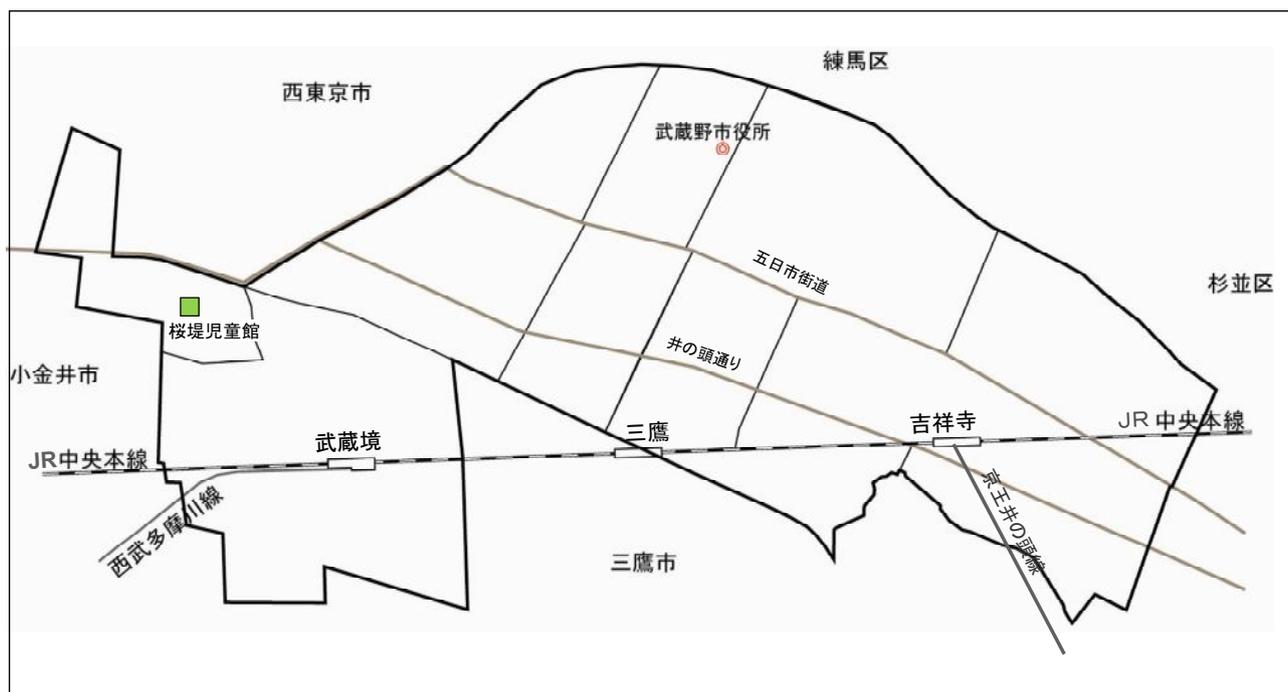
10月1日～3月31日 : 9:30～17:00

- 休館日 : 日曜日、祝日、年末年始
- 年間運営日数 : 294日 (平成21年度)

③ 利用者、費用、利用方法

- 対象者 : 乳幼児 (保護者同伴)、小学生、中学生、子育てに関心のある大人
(市外の方も利用可能)
- 費 用 : 無料
- 利用方法 : 受付で利用簿に記入して利用する。

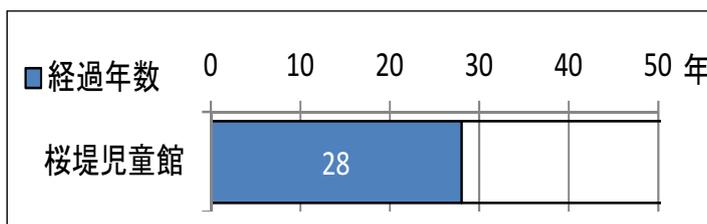
図表 3-(5)イ-2 配置図



2) 実態把握

① 建物状況

図表 3-(5)イ-3 老朽化状況【基準耐用年数：築50年】



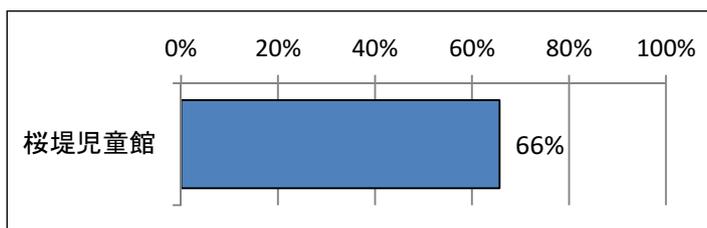
桜堤児童館は築28年を経過しており、今後老朽化への対応が必要になります。

図表 3-(5)イ-4 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

桜堤児童館	耐震基準に適合
-------	---------

児童館は耐震基準に適合しています。

図表 3-(5)イ-5 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



児童館のバリアフリー適合率は、66%となっています。

図表 3-(5)イ-6 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

		熱量合計 (MJ)	原油換算 合計 (kl)	CO ₂ 排出量 換算合計 (t)
桜堤児童館	合計	204,627.7	5.000	9.000
	単位床面積当たり	343.1	0.008	0.015

桜堤児童館の単位床面積当たり熱量は、年間約 343MJ/m²、単位床面積当たりCO₂排出量は、約 0.015 t/m²となっています。

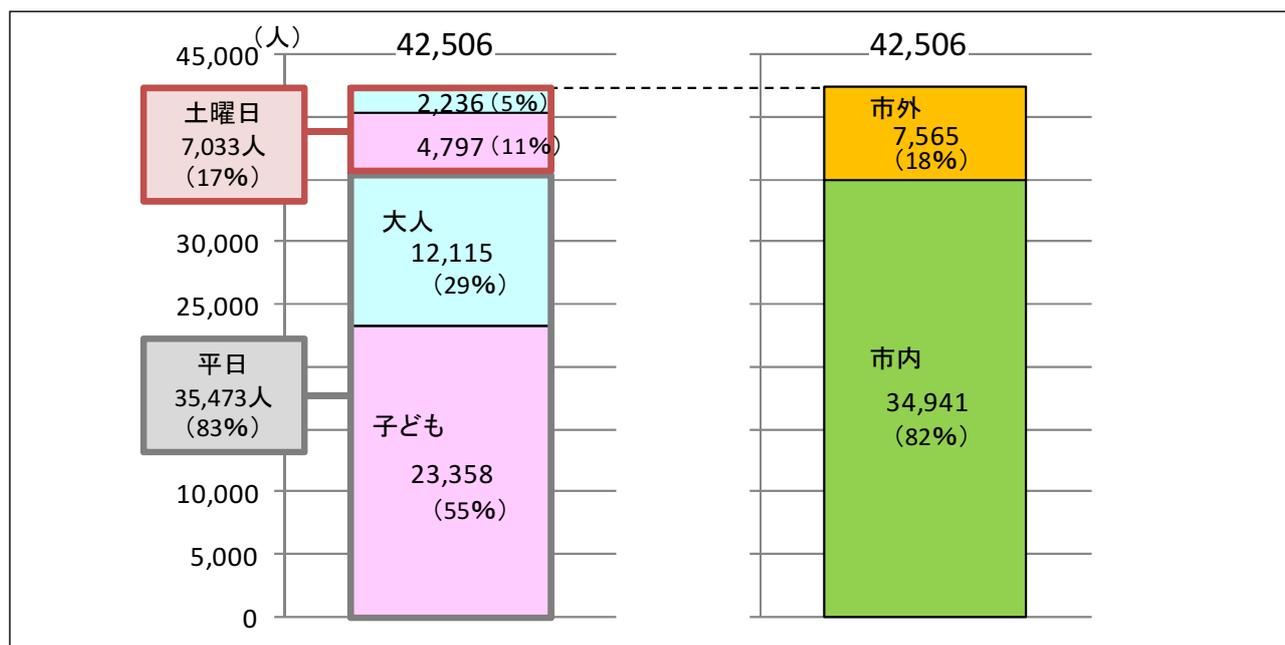
② 利用状況

■ 年間延利用者数

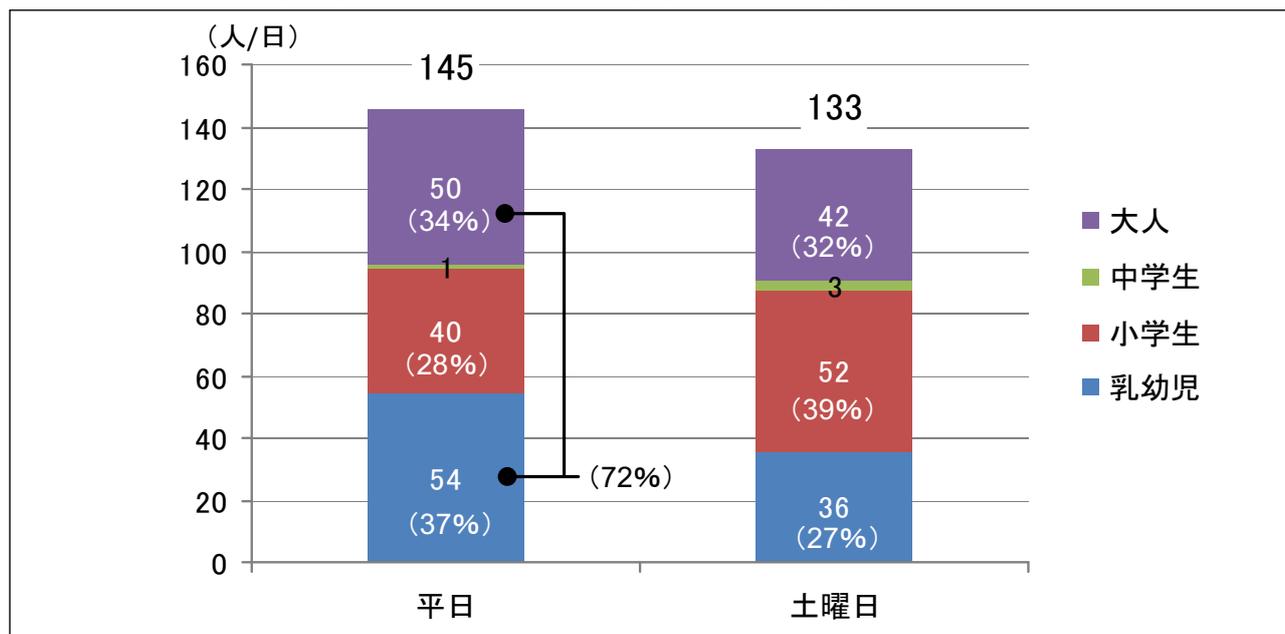
桜堤児童館の年間延利用者数は、4万2,506人です。そのうち平日の利用者は3.5万人(83%)、土曜日の利用者は0.7万人(17%)となっています。また、市内の利用者は3.5万人(82%)、市外の利用者は0.8万人(18%)です。

平日/土曜日別の1日当たりの利用者では、平日は145人、土曜日は133人と若干平日の利用者が多くなっています。平日は乳幼児と大人の利用者が72%を占めていることがわかります。

図表 3-(5)イ-7 年間利用者数 (平成 21 年度)



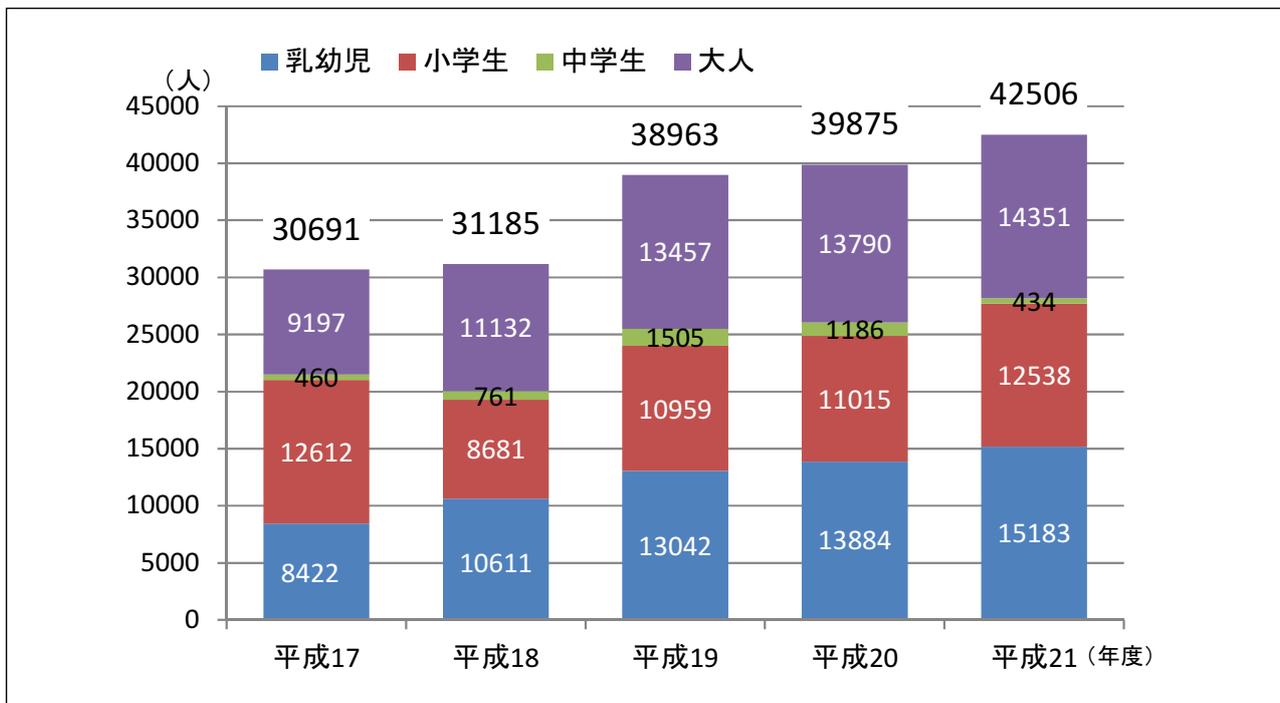
図表 3-(5)イ-8 平日/土曜日別 1日当たり利用者数 (平成 21 年度)



■ 推移

延利用者数の推移は、平成 17 年度約 3.1 万人から平成 21 年度約 4.3 万人と 5 年間で 1.4 倍に増加しています。乳幼児の利用が 1.8 倍と大幅に増加した一方で、小中学生の利用は横ばいとなっており、利用者の構成が変化しています。

図表 3-(5)イ-9 推移



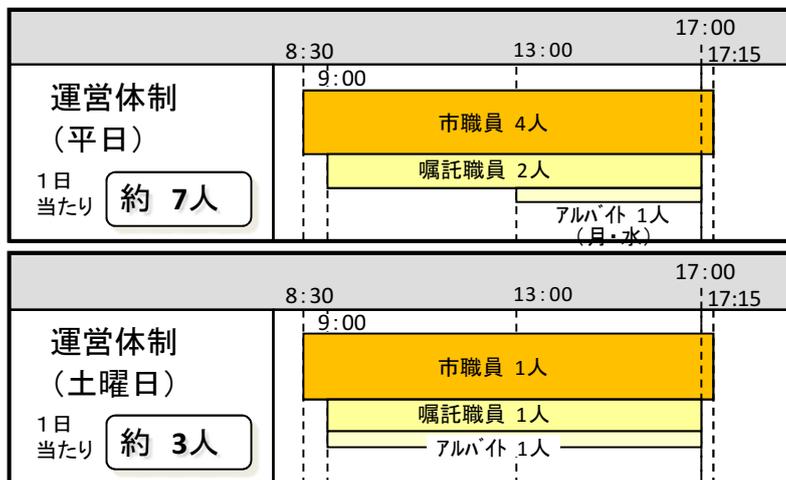
③ 運営状況

1 日当たりの運営体制は、市職員が 4 人、嘱託職員が 2 人の計 6 人の体制となっています。(月・水曜日の午後のみアルバイトが 1 人加わり、計 7 人の体制)

図表 3-(5)イ-10 運営人員

市職員	4
嘱託	2
アルバイト	(1)
合計	6(7)

図表 3-(5)イ-11 運営体制



④ コスト状況

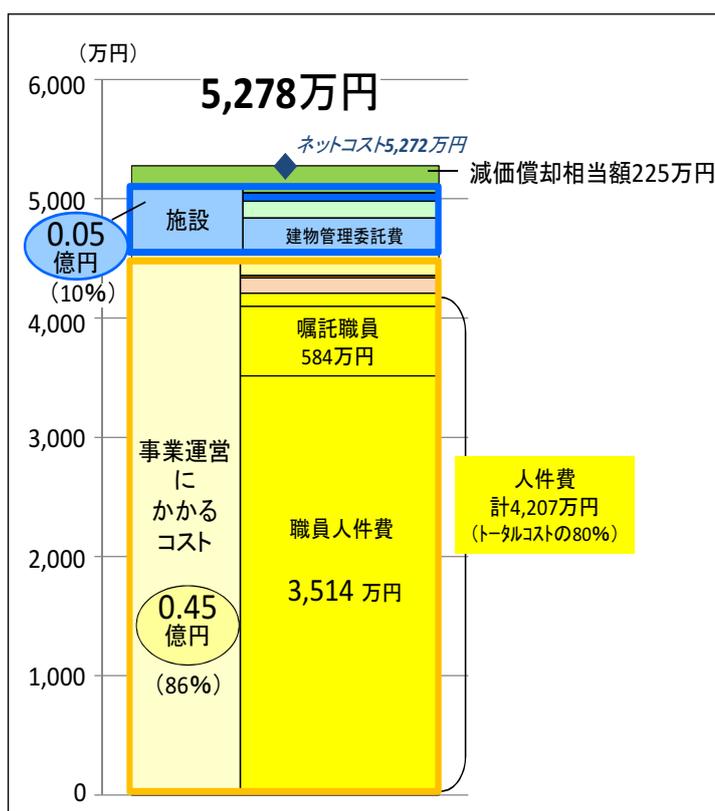
桜堤児童館の年間トータルコストは、5,278万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は523万円（10%）、事業運営にかかるコスト（負担金補助及び交付金・その他物件費）は4,530万円（86%）、減価償却相当額は225万円（4%）です。

図表 3-(5)イ-12 児童館行政コスト計算書

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		桜堤児童館	
施設 にかかる コスト	各所修繕費	41	
	大規模修繕費	694	
	光熱水費	1,404	
	建物管理委託費	2,700	
	土地賃借料	138	
	土地・建物以外賃借料	257	
	施設にかかるコスト計	5,234	
事業 運営	職員人件費	35,140	
	嘱託職員人件費	5,844	
	臨時職員人件費	1,091	
	運営企画業務委託費	1,300	
	負担金補助及び交付金	199	
	その他物件費	1,724	
		事業運営にかかるコスト計	45,297
		現金収支を伴うコスト 計	50,531
【収益の部】			
利用料		64	
	現金収支を伴う収益 計	64	
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】			
減価償却相当額		2,248	
III. 総括			
コストの部合計(トータルコスト)		52,779	
収支差額(ネットコスト)		52,715	

図表 3-(5)イ-13 児童館トータルコスト計算書



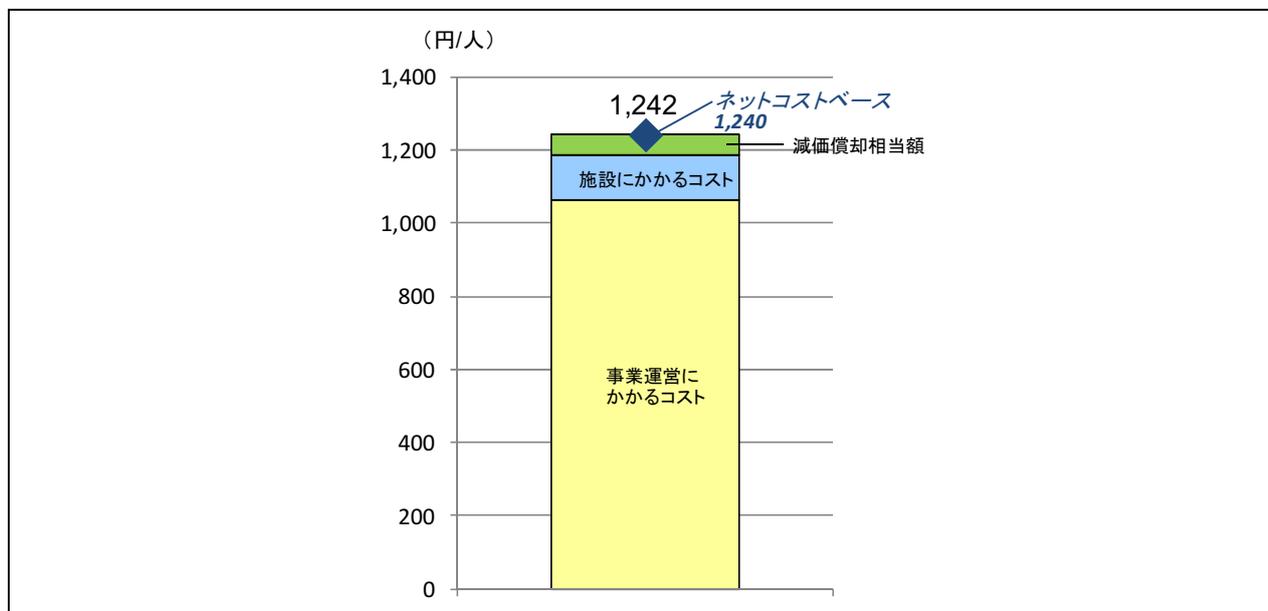
※大規模修繕費は、過去5年間の平均額を計上しています。

3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 利用者数とトータルコストの関係 (利用者1人当たりコスト)

年間利用者数とトータルコストより利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、1,242円/人となっています。

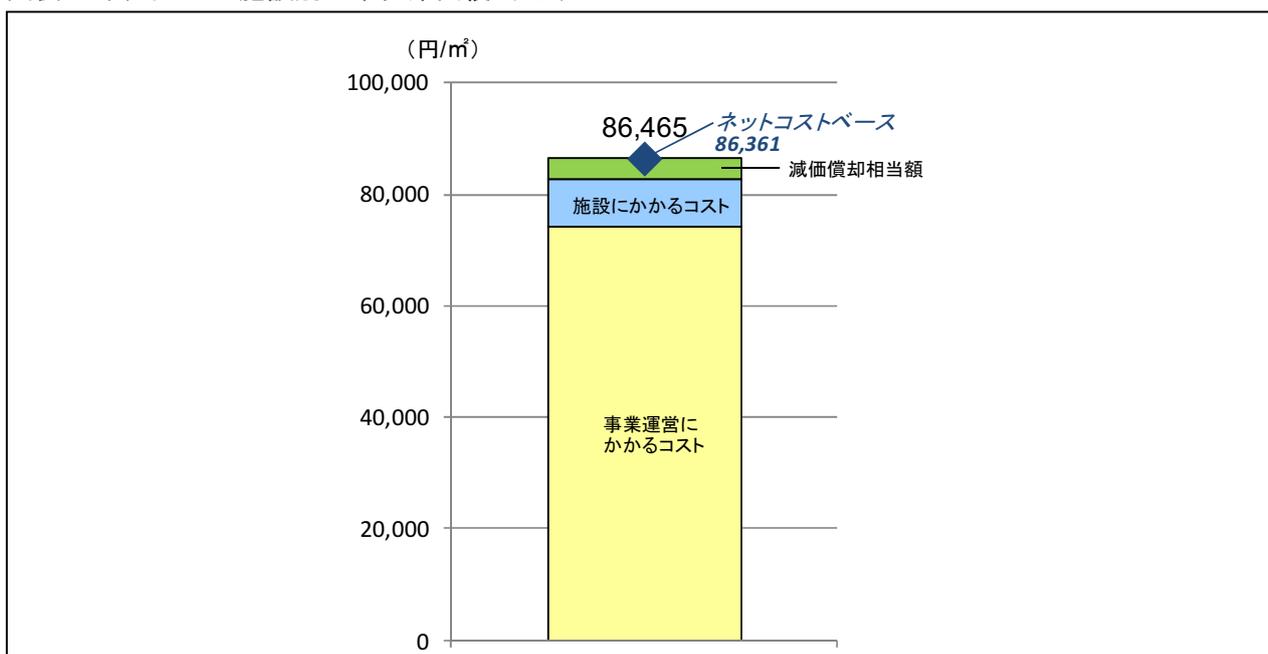
図表 3-(5)イ-14 利用者1人当たりコスト



■ 延床面積とトータルコストの関係 (単位床面積当たりコスト)

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、8万6,465円/㎡となっています。

図表 3-(5)イ-15 施設別 単位床面積当たりコスト



ウ. 0123施設 (2施設)

1) 施設概要

① 施設一覧

「0123施設」は、0歳～3歳までの乳幼児とその親を対象とした子育て支援施設です。親子でいつでも自由に来館し、楽しく遊び、子育てについて学び合うことができます。子育てに関する専門のスタッフが、子どもたちの遊びや利用者同士の交流のお手伝いをしています。

平成21年度現在で2施設が設置されています。三圏域レベルの施設ですが、武蔵境地区には配置されていません。

図表 3-(5)ウ-1 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)
1 0123吉祥寺	吉祥寺東町2-29-12	522.8	平成4
2 0123はらっぱ	八幡町1-3-24	889.1	平成12

※ 「建築年度」「延床面積」は「総合台帳」より参照

② 開館日・開館時間

【0123吉祥寺】

- ・ 開館時間 : 9:00～16:00
- ・ 休館日 : 日曜日・月曜日、5月5日を除く祝日、年末年始
- ・ 年間運営日数 : 249日

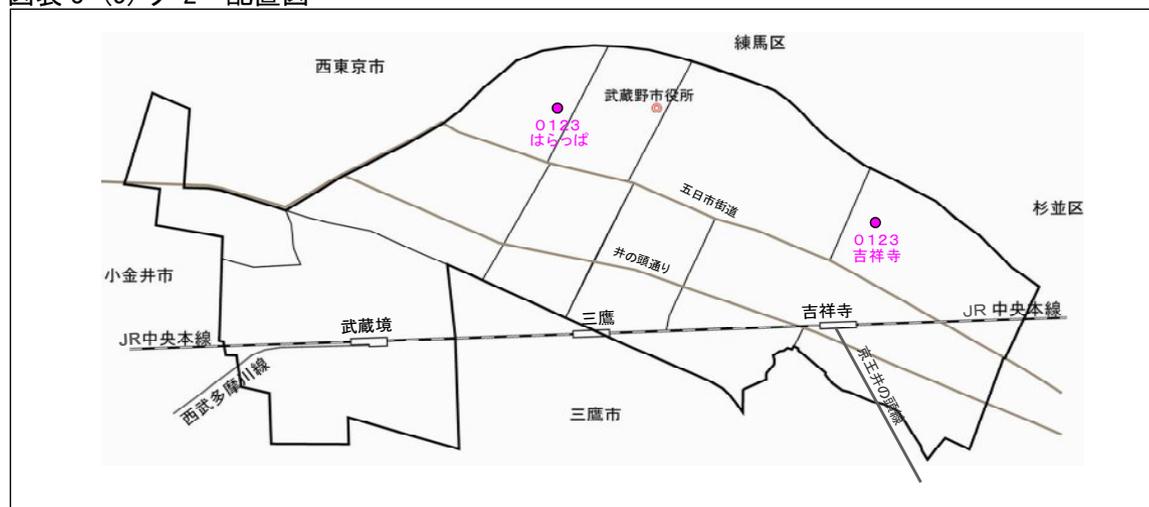
【0123はらっぱ】

- ・ 開館時間 : 9:00～16:00
- ・ 休館日 : 金曜日・土曜日、5月5日を除く祝日、年末年始
- ・ 年間運営日数 : 242日

③ 利用者、費用、利用方法

- ・ 対象者 : 0～3歳の子どもとその家族
- ・ 費用 : 0123施設は基本的に無料

図表 3-(5)ウ-2 配置図

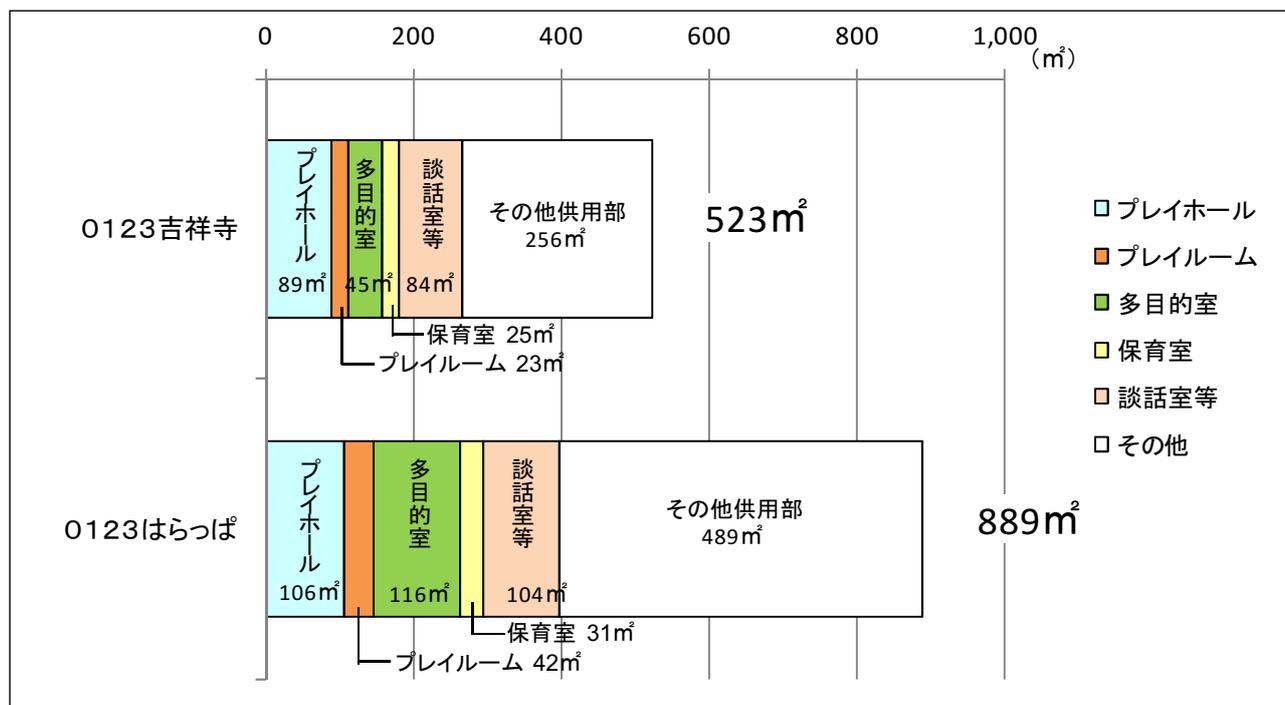


④ スペース構成

0123施設の規模は、0123吉祥寺が523㎡、0123はらっぱが889㎡です。

保有スペースは、89㎡、106㎡のプレイホール、23㎡、42㎡のプレイルーム、45㎡、116㎡の多目的室、84㎡、104㎡の談話室等となっています。

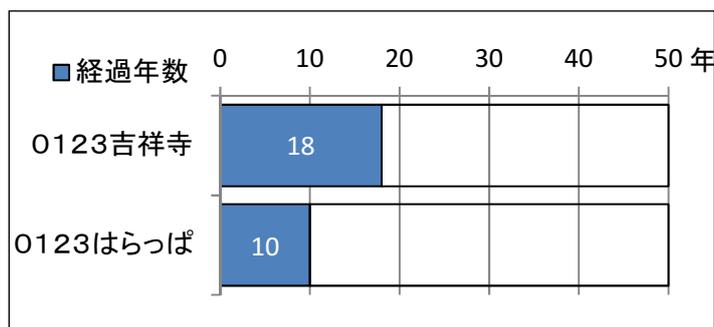
図表 3-(5)ウ-3 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

図表 3-(5)ウ-4 老朽化状況【基準耐用年数：築50年】



0123施設は、2施設とも築10年、18年と20年未満の施設であり、現時点では老朽化への対応は必要のない施設となっています。

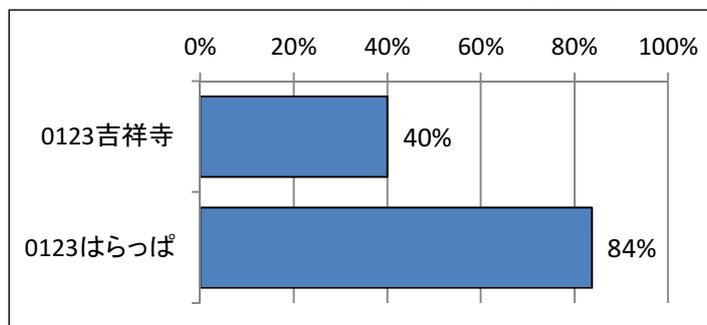
0123はらっぱは木造大断面構造のため、耐用年数を50年としています。

図表 3-(5)ウ-5 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

0123吉祥寺	耐震基準に適合
0123はらっぱ	耐震基準に適合

0123施設は、2施設とも、耐震基準に適合しています。

図表 3-(5)ウ-6 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



0123施設のバリアフリー適合率は、40%、84%となっており、施設によってばらつきがみられます。0123吉祥寺にはエレベーターが設置されていません。

図表 3-(5)ウ-7 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

		熱量合計 (MJ)	原油換算 合計 (kl)	CO ₂ 排出量 換算合計 (t)
0123はらっぱ	合計	787,200.2	20.000	33.000
	単位床面積当たり	885.4	0.022	0.037
0123吉祥寺	合計	401,656.0	10.000	16.000
	単位床面積当たり	768.3	0.019	0.031

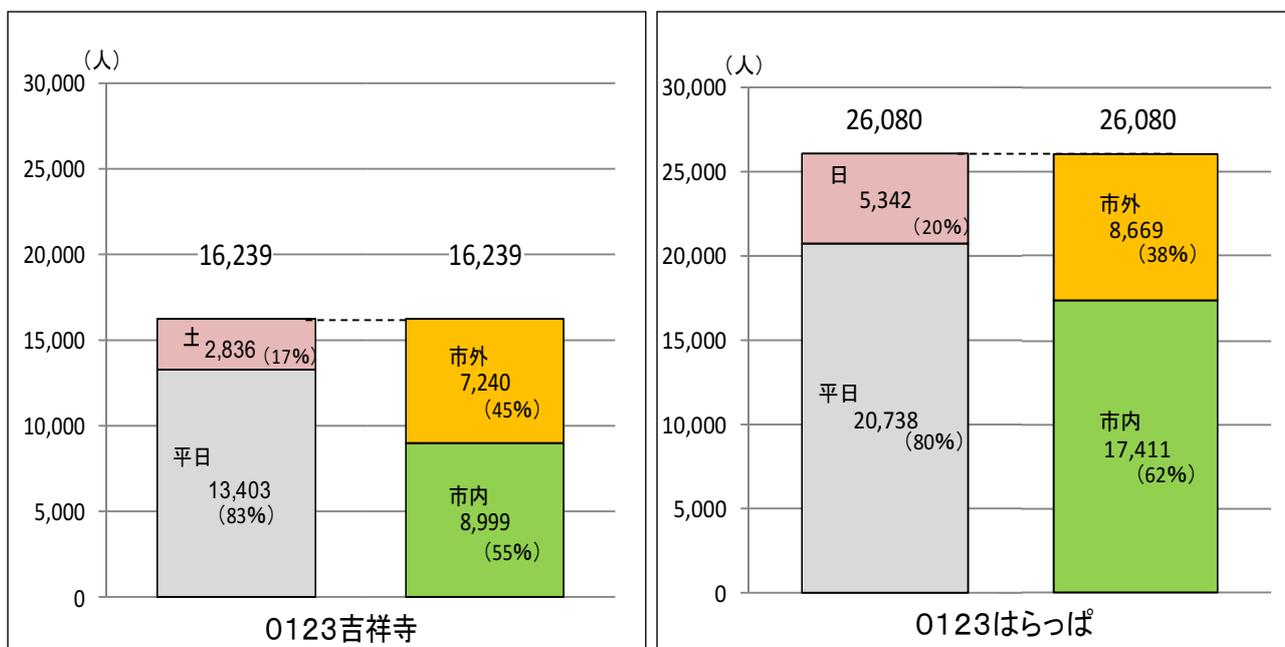
0123施設の単位床面積当たり熱量は、年間約768MJ/m²、約885MJ/m²、単位床面積当たりCO₂排出量は、約0.031t/m²、約0.037t/m²とほぼ同程度の負荷状況となっています。

② 利用状況

■ 年間延利用者数

0123施設の年間延利用者数は、4万2,319人です。そのうち、0123吉祥寺の延利用者数は1万6,239人で、市内・市外の利用者は約半数ずつとなっています。0123はらっぱの延利用者数は2万6,080人で、市内の利用者が約62%となっています。

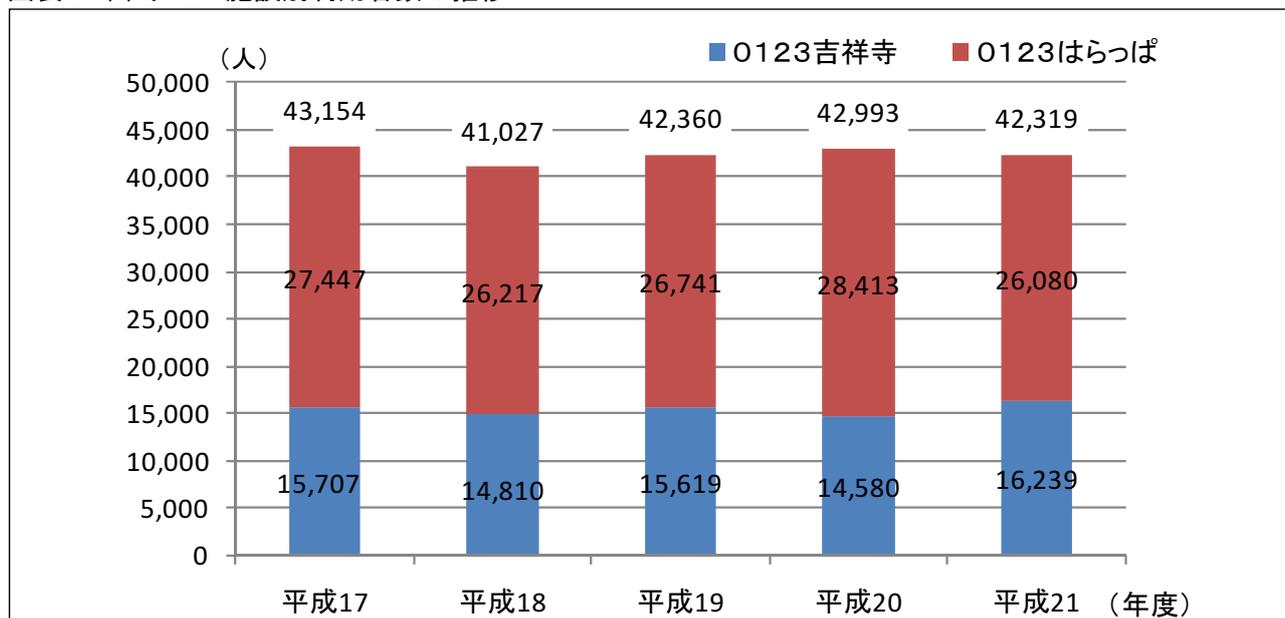
図表 3-(5)ウ-8 施設別年間利用者数（平成21年度）



■ 推移

延利用者数の推移は、平成17年度約4.3万人から平成21年度約4.2万人と5年間4.2万人前後で推移しています。0123はらっぱの利用者が全体の62~66%となっています。

図表 3-(5)ウ-9 施設別利用者数の推移



③ 運営状況

0123施設は、指定管理者制度により公益財団法人武蔵野市子ども協会が運営を行っています。

0123吉祥寺には協会職員が4人、0123はらっぱには協会職員が4人、嘱託職員が1人従事しています。そのほか、登録しているアルバイトスタッフ及びボランティア協力が、必要に応じて補助にあたっています。登録人数は、0123吉祥寺には、アルバイトスタッフ43人、ボランティア協力員37人、0123はらっぱには、アルバイトスタッフ39人、ボランティア協力員24人が登録しています。

図表 3-(5)ウ-10 運営人員

	0123吉祥寺	0123はらっぱ
指定管理者	公益財団法人武蔵野市子ども協会	
	協会職員 4人	協会職員 4人 嘱託職員1人

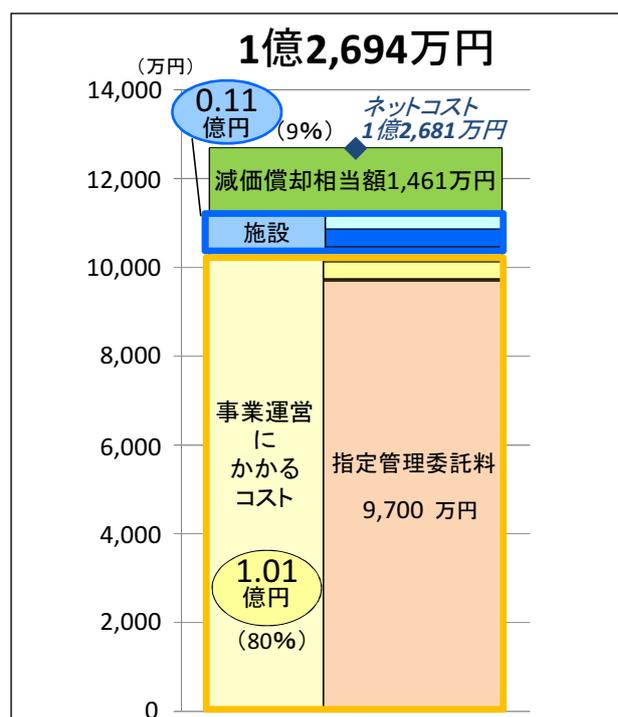
④ コスト状況

0123施設（吉祥寺・はらっぱ）の年間トータルコストは、1億2,694万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は1,104万円（9%）、事業運営にかかるコスト（負担金補助及び交付金・その他物件費）は1億1,291万円（80%）、減価償却相当額は1,461万円（12%）です。

0123施設は、指定管理者となっており、施設毎のコスト把握ができません。

図表 3-(5)ウ-11 行政コスト計算書（平成21年度） 図表 3-(5)ウ-12 トータルコスト

I. 現金収支を伴うもの		0123施設	(千円)
【コストの部】			
コ カ 施 ス か 設 ト る に	各所修繕費	3,649	
	大規模修繕費(※)	4,047	
	光熱水費	3,344	
	施設にかかるコスト計	11,040	
に 事 業 運 営 に か か る コ ス ト	指定管理委託料	97,000	
	負担金補助及び交付金	440	
	その他物件費	3,851	
	事業運営にかかるコスト計	101,291	
現金収支を伴うコスト 計		112,331	
【収益の部】			
諸収入		138	
現金収支を伴う収益 計		138	
II. 現金収支を伴わないもの			
【コストの部】			
減価償却相当額		14,612	
III. 総括			
コストの部合計(トータルコスト)		126,943	
収支差額(ネットコスト)		126,805	



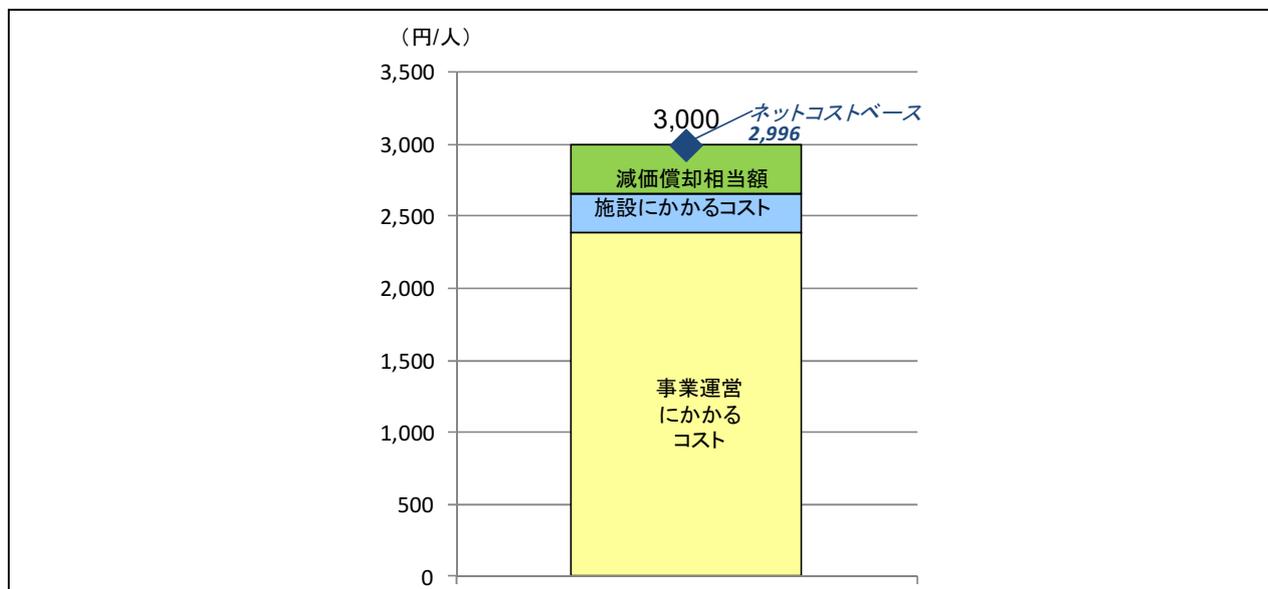
※大規模修繕費は、過去5年間の平均額を計上しています。

3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 利用者数とトータルコストの関係 (利用者1人当たりコスト)

年間利用者数とトータルコストより利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、3,000円/人となっています。

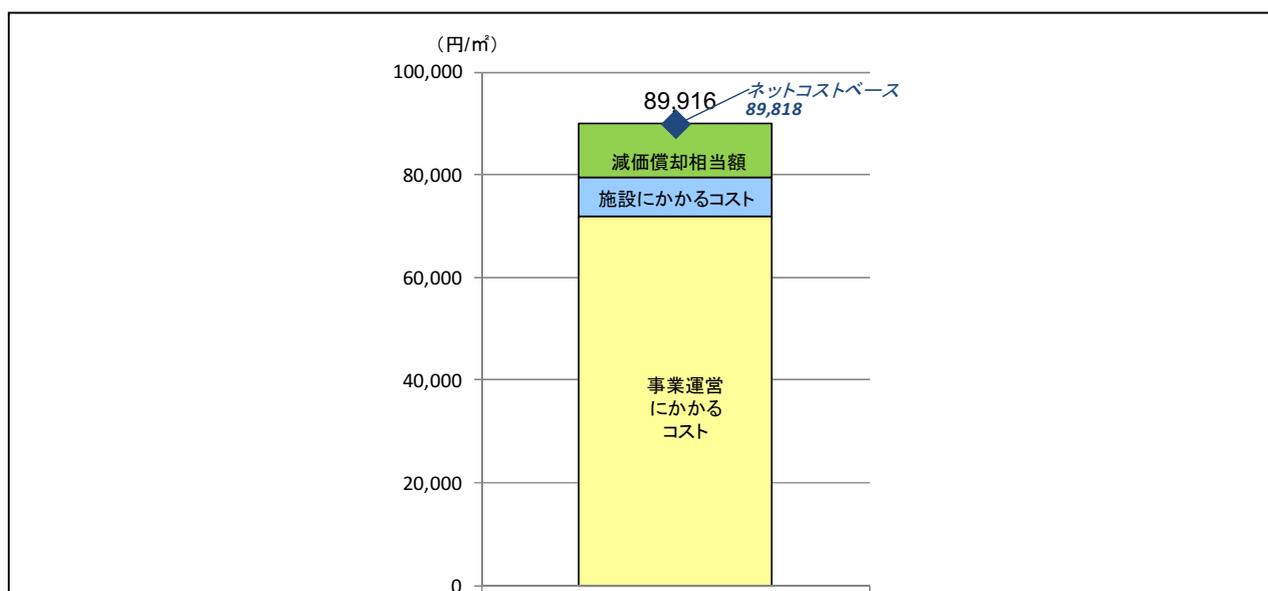
図表 3-(5)ウ-13 利用者1人当たりコスト



■ 延床面積とトータルコストの関係 (単位床面積当たりコスト)

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、8万9,916円/㎡となっています。

図表 3-(5)ウ-14 施設別 単位床面積当たりコスト



(6) スポーツ施設

1) 施設概要

① 施設一覧

武蔵野市では、昭和56年の第二期基本構想・長期計画において、市内三圏域に体育館、運動公園を1施設ずつ配置する構想が示されました。構想に基づき総合体育館が設置されましたが、東部・西部地区への体育館、運動公園の整備には至っていません。

現在は、武蔵野総合体育館を中心にプール、軟式野球場、庭球場、ストリートスポーツ広場などが隣接して設置され、施設の貸出しのほか、指定管理者事業として各種スポーツ教室を行っています。

また、スポーツ関連施設として、市民が気軽にスポーツを楽しむため、大型のコミュニティセンターの体育室の設置や、子どもの遊び場確保の観点から学校開放を行っています。

図表 3-(6)-1 施設一覧

	住所	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年度 (年)	施設内容
1 武蔵野総合体育館	吉祥寺北町5-11-20	56,689.2	13,010.7	平成元	メインアリーナ(バスケット2面・バレーホール3面・バドミントン10面) サブアリーナ(バスケット1面・バレーホール2面・バドミントン4面) 卓球室、ダンス室、柔道室、剣道室、弓道場、トレーニング室など
2 武蔵野陸上競技場	吉祥寺北町5-11-20	30,239.0	—	—	日本陸上競技連盟第3種公認競技場トラック400m×8コース オールウエザー(ウレタン樹脂) インフィールド:芝生(陸上競技、サッカー、ラグビー使用可) ジョギングコース(1周520m)、観覧席2,129席
3 プール	吉祥寺北町5-11-33	8,260.9	3,168.9	昭和56	屋内温水プール(25Mプール 25m×15m 7コース)(15Mプール 15m×8m 4コース) 屋外プール(50Mプール 50m×25m 11コース、幼児プール 直径12m (円形))
4 ストリートスポーツ広場	吉祥寺北町5-11-33	730.8	—	—	スケートボード、インラインスケート、BMX 滑走面(タフトトップコート塗装) 照明3灯
5 軟式野球場	緑町3-1-34	9,663.0	—	—	軟式野球場一面
6 庭球場	緑町3-1-34	4,666.0	—	—	砂入り人工芝コート 7面
7 クラブハウス	緑町3-1	17,000.0	271.0	昭和61	倉庫、便所、更衣室、シャワー
8 緑町スポーツ広場 (平成21年度開設)	緑町2-2-29	1,824.0	—	—	フットサル、ドッジボール、ゲートボール、グラウンドゴルフ等 砂入り人工芝コート 全面30m×47m

※データ出典：「生涯学習スポーツ課の事業概要 2009 年度版」

※敷地面積・延べ床面積・建築年度：「総合台帳」

② 運営日・開館時間

【武蔵野総合体育館】

- 開館時間 : 9:00~21:30
- 休館日: 毎月15日(15日が土・日曜、祝日と重なる場合は翌平日)、年末年始

【武蔵野陸上競技場】

- 開場時間 : 9:00~17:00(5~8月は19時まで、9月は18時まで)
- 休館日: 毎月15日(15日が土・日曜、祝日と重なる場合は翌平日)、年末年始

【プール】

- ・ 開館時間 : 9:00~21:30
- ・ 休館日 : 毎月15日(8月を除く15日が土・日曜、祝日と重なる場合は翌平日)、年末年始

【ストリートスポーツ広場】

- ・ 開場時間 : 平日 13:00~20:00
土・休日 10:00~20:00
- ・ 休館日 : 毎月15日(15日が土・日曜、祝日と重なる場合は翌平日)、年末年始

【軟式野球場】【庭球場】

- ・ 開場時間 : 8:45~16:45(5~8月は18時45分まで)
- ・ 休館日 : 毎月15日(15日が土・日曜、祝日と重なる場合は翌平日)、年末年始

【緑町スポーツ広場】

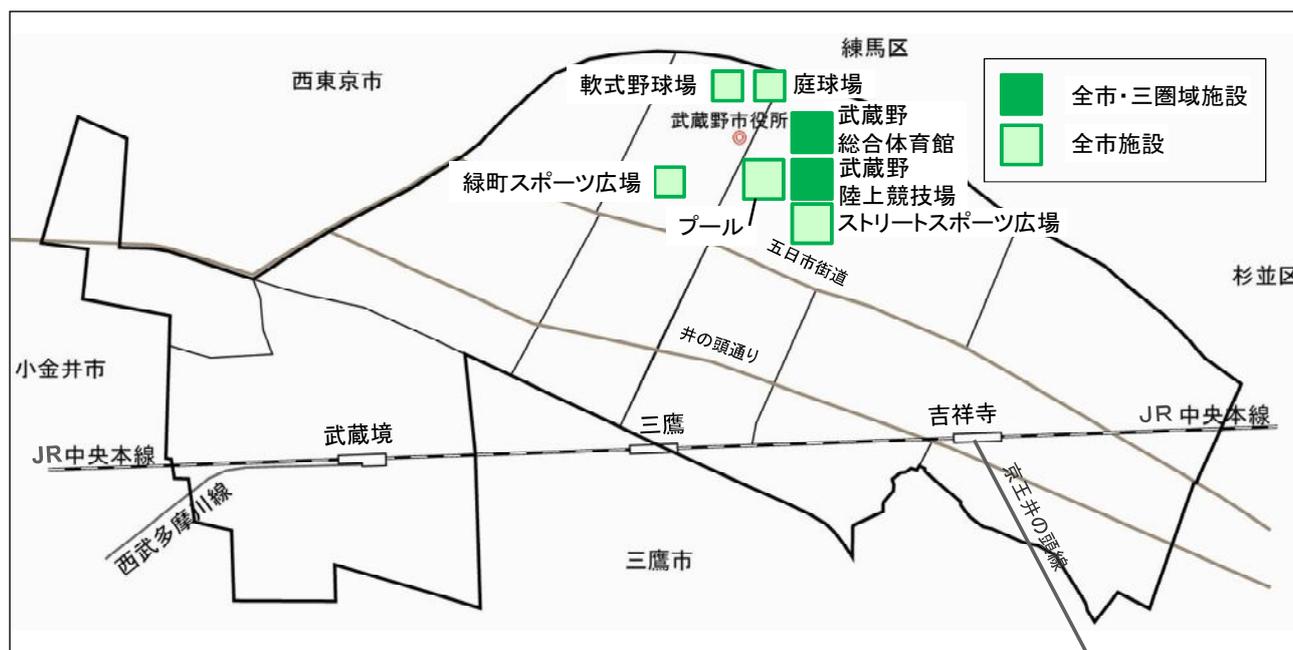
- ・ 開場時間 : 9:00~17:00(5~8月は9:00~19:00)
- ・ 休館日 : 毎月15日(15日が土・日曜、祝日と重なる場合は翌平日)、年末年始

③ 配置状況

スポーツ施設には全市施設と三圏域施設があります。武蔵野総合体育館、武蔵野陸上競技場は中央地域に配置された三圏域施設ですが、その規模から全市施設としての性格も有しています。

スポーツ施設の過半は吉祥寺北町及び緑町の市北部に集中しています。

図表 3-(6)-2 配置図



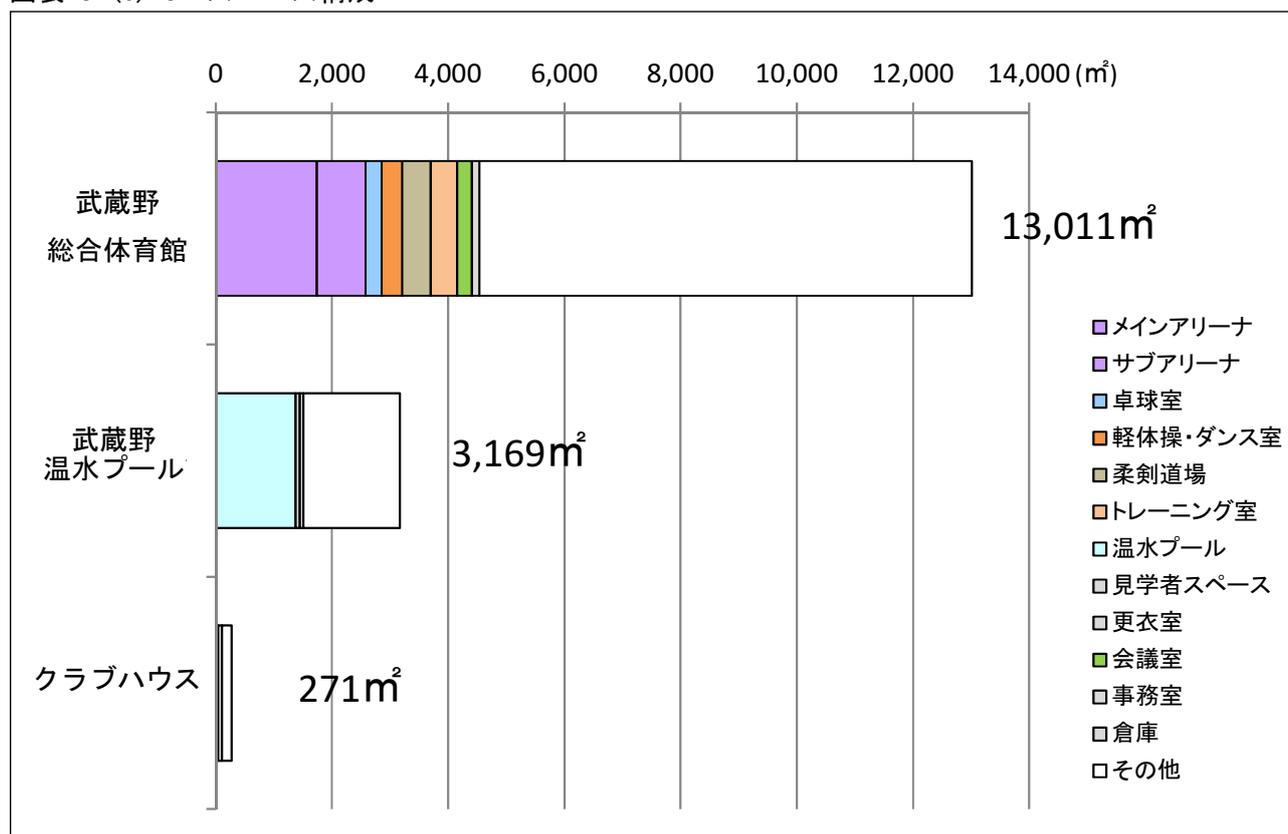
④ スペース構成

武蔵野総合体育館は、メインアリーナ・サブアリーナを中心に、卓球室、軽体操室、トレーニング室、会議室等を保有しています。

武蔵野温水プールは、温水プールが半分近くを占めるスペース構成となっています。

クラブハウスは、更衣室・倉庫を保有しています。

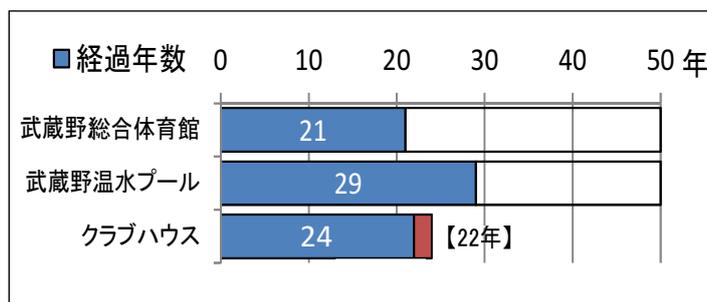
図表 3-(6)-3 スペース構成



2. 実態把握

① 建物状況

図表 3-(6)-4 老朽化状況【基準耐用年数：築50年（RC造）築22年（軽S造）】



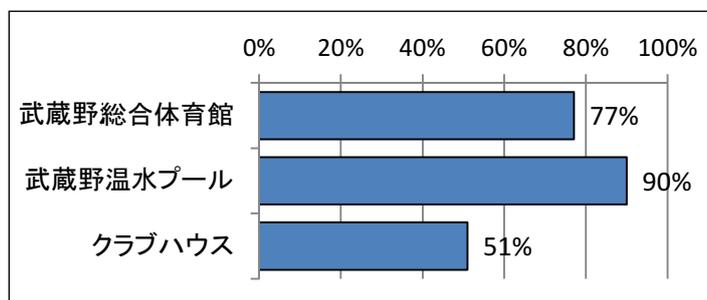
スポーツ施設3施設は、築21～29年を経過しており、今後老朽化への対応が必要になります。

図表 3-(6)-5 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

武蔵野総合体育館	耐震基準に適合
武蔵野温水プール	耐震基準に適合
クラブハウス	耐震基準に適合

スポーツ施設3施設は、全施設とも、耐震基準に適合しています。

図表 3-(6)-6 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



スポーツ施設3施設のバリアフリー適合率は、51%～90%となっています。

図表 3-(6)-7 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

	熱量合計 (MJ)	原油換算合計 (kl)	CO ₂ 排出量換算合計 (t)
武蔵野総合体育館・ 武蔵野陸上競技場	合計 26,557,892.3	685.000	1,087.000
	単位床面積当たり 2,041.2	0.053	0.084
武蔵野温水プール	合計 12,110,709.8	312.000	568.000
	単位床面積当たり 3,821.7	0.098	0.179
市営運動場 (クラブハウス)	合計 275,778.6	7.000	10.000
	単位床面積当たり 1,017.6	0.026	0.037
単位床面積当たり平均値 (A)			
	2,293.5	0.059	0.100

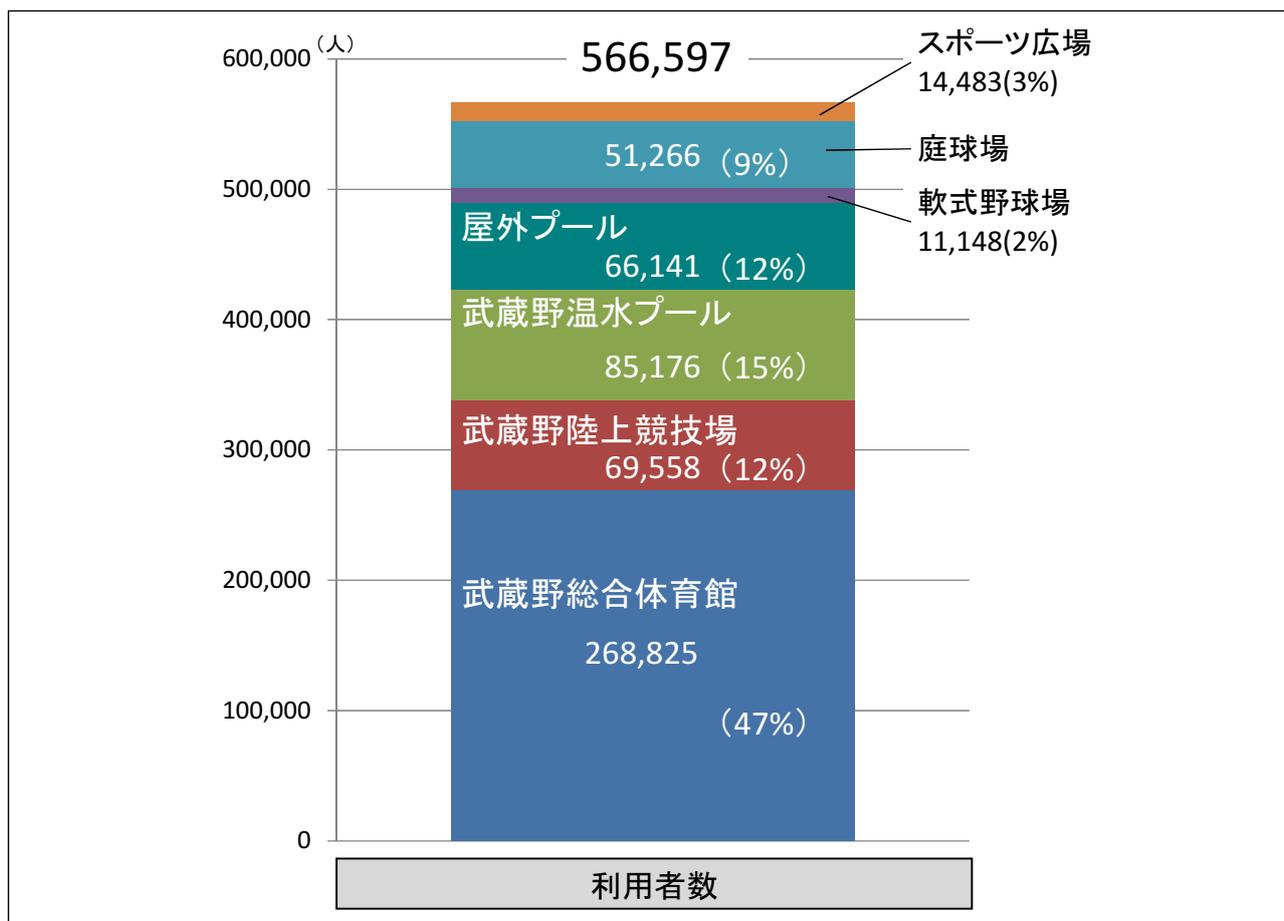
スポーツ施設のうち、3施設の単位床面積当たり熱量は、年間約1,018MJ/m²～約3,822MJ/m²、単位床面積当たりCO₂排出量は、約0.037t/m²～約0.179t/m²となっています。

② スポーツ施設利用状況

■スポーツ施設 利用状況

平成 21 年度貸切施設の年間利用者数は 56 万 6,597 人です。内訳は、武蔵野総合体育館の利用が 26.9 万人（47%）、武蔵野陸上競技場 7.0 万人（12%）、武蔵野温水プール 8.5 万人（15%）、屋外プール 6.6 万人（12%）、軟式野球上 1.1 万人（2%）、庭球場 5.1 万人（9%）、スポーツ広場 1.4 万人（3%）となっています。

図表 3-(6)-8 スポーツ施設 利用状況（平成 21 年度）

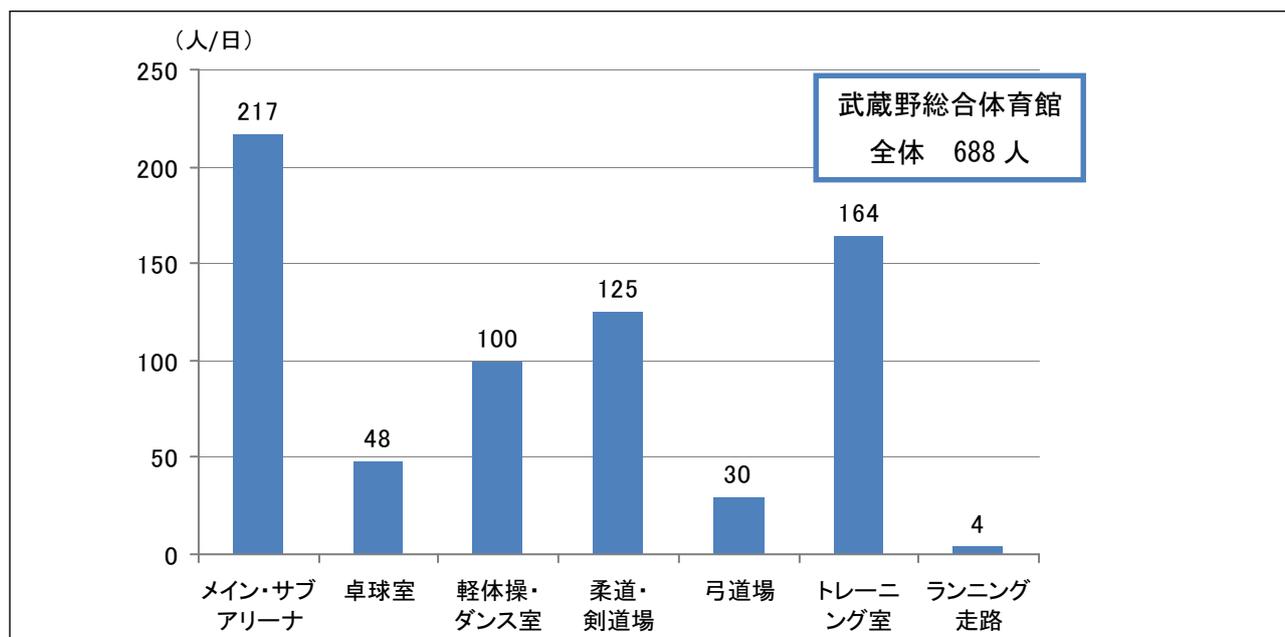


■施設別 1日当たり利用者数

<武蔵野総合体育館>

武蔵野総合体育館の1日当たりの利用者数は、688人です。部屋別にみるとメイン・サブアリーナが217人(32%)、トレーニング室164人(24%)、柔道・剣道場125人(18%)、軽体操・ダンス室100人(15%)の順で利用が多くなっています。

図表 3-(6)-9 武蔵野総合体育館 1日当たり利用者数

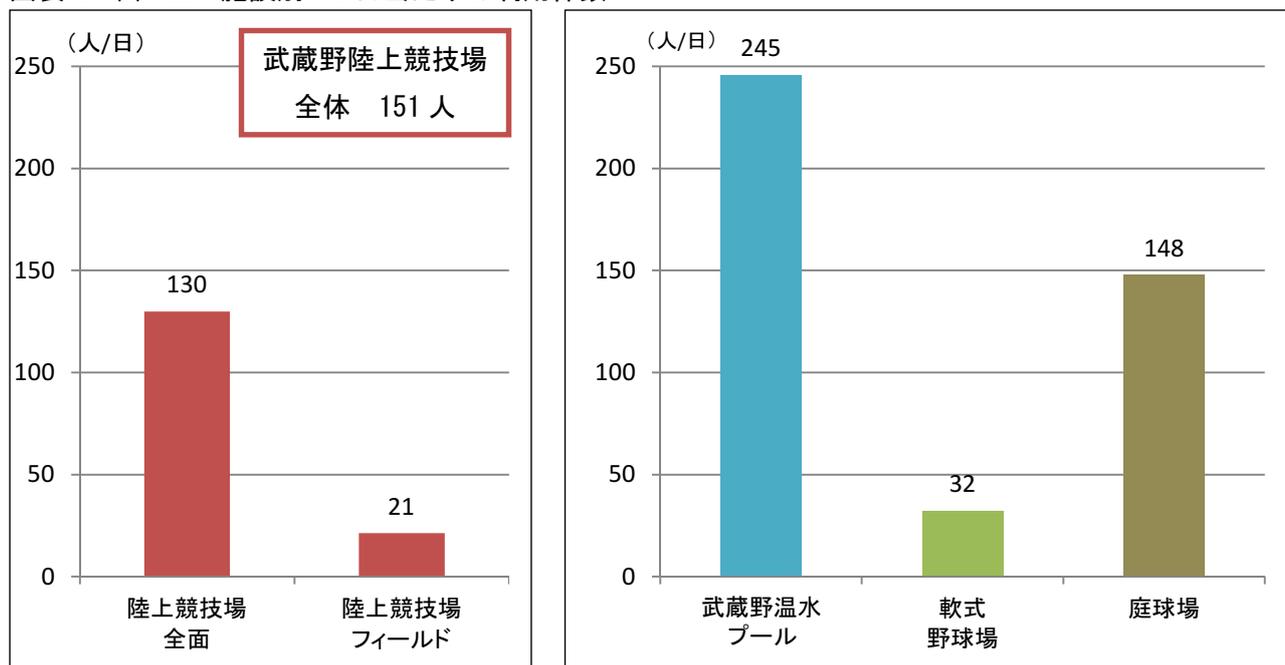


<武蔵野陸上競技場・その他施設>

武蔵野陸上競技場の1日当たりの利用者数は、151人です。

その他のスポーツ施設では、武蔵野温水プール245人、軟式野球場は32人、庭球場は148人となっています。

図表 3-(6)-10 施設別 1日当たりの利用件数

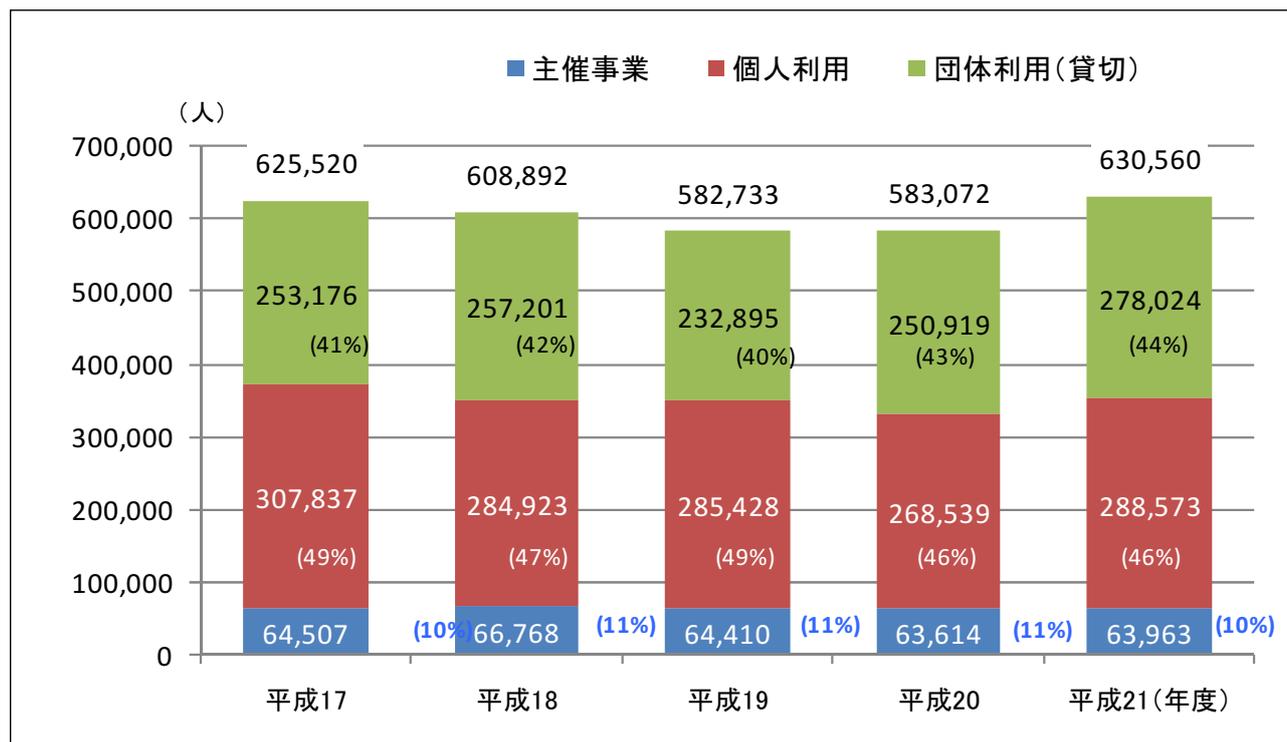


■利用者数推移

スポーツ施設の貸切利用者数と主催事業参加者を合わせた総数で推移をみると、平成 17 年度 62.6 万人から平成 20 年度までは減少傾向にありましたが、平成 21 年度には 63.1 万人となっています。

利用者の内訳をみると、毎年、個人利用と団体利用（貸切）が 40%～49%を占めており、主催事業利用者は各年とも 10%前後となっています。

図表 3-(6)-11 利用者数の推移



③ 運営状況

スポーツ施設は、公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団が指定管理者として管理運営しています。

総合体育館の運営人員は、市職員 2 人のほか、財団の職員 12 人、嘱託職員 4 人、アルバイト 3 人の計 21 人が従事しています。

業務内容による内訳をみると、運動施設管理業務に 5 人、行政一般事務に 7 人、各種自主事業の企画・開催に 6 人、施設利用に関する受付・案内に 3 人が従事しています。

図表 3-(6)-12 運営形態

総合体育館運営形態	指定管理者制度 (公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団)
-----------	---------------------------------

図表 3-(6)-13 総合体育館運営人員

		(人)	
運動施設管理業務	市職員	1	計 5
	財団職員	3	
	嘱託	1	
	アルバイト	0	
行政一般事務	市職員	1	計 7
	財団職員	5	
	嘱託	1	
	アルバイト	0	
各種自主事業の企画・開催	市職員	0	計 6
	財団職員	4	
	嘱託	2	
	アルバイト	0	
施設利用に関する受付・案内	市職員	0	計 3
	財団職員	0	
	嘱託	0	
	アルバイト	3	
合計	市職員	2	計 21
	財団職員	12	
	嘱託	4	
	アルバイト	3	

図表 3-(6)-14 運営体制

	8:30	13:15	17:00	22:00
運営体制 (平日) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">5~11人</div>	市職員 1人 財団職員 3人 嘱託・アルバイト 2人		財団職員 3人 嘱託・アルバイト 2人	
運営体制 (土日祝日) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">5~10人</div>	財団職員 3人 嘱託・アルバイト 2人		財団職員 3人 嘱託・アルバイト 2人	

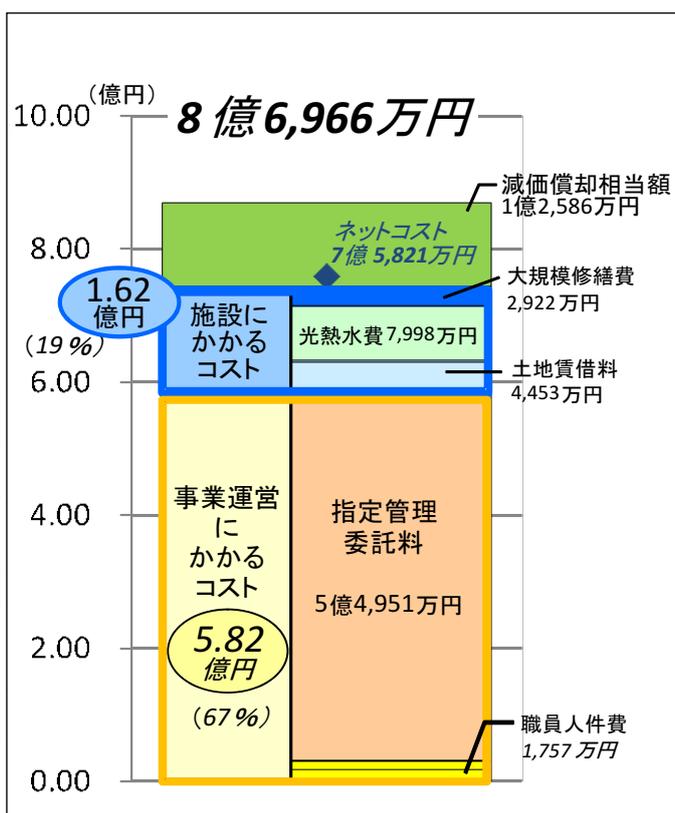
④ コスト状況

スポーツ施設の年間トータルコストは、8億6,966万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は1億6,169万円(19%)、事業運営にかかるコスト(人件費・その他物件費等)は5億8,210万円(67%)、減価償却相当額は1億2,586万円(14%)です。

図表 3-(6)-15 施設別行政コスト計算書(平成21年度)

		(千円)
I. 現金収支を伴うもの		スポーツ施設
【コストの部】		
施設にかかるコスト	大規模修繕費	29,222
	光熱水費	79,976
	建物管理委託費	3,056
	土地賃借料	44,532
	車両・備品購入費	3,183
	市債利息償還金	1,721
	施設にかかるコスト計	161,690
事業運営にかかるコスト	職員人件費	17,570
	嘱託職員人件費	11,919
	臨時職員人件費	1,418
	指定管理委託料	549,507
	その他物件費	1,687
	事業運営にかかるコスト計	582,101
	現金収支を伴うコスト計	743,791
【収益の部】		
利用料収入	109,891	
諸収入	1,556	
現金収支を伴う収益計	111,447	
II. 現金収支を伴わないもの		
【コストの部】		
減価償却相当額	125,864	
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)	869,655	
収支差額(ネットコスト)	758,208	



※大規模修繕費は、過去5年間の平均額を計上しています。

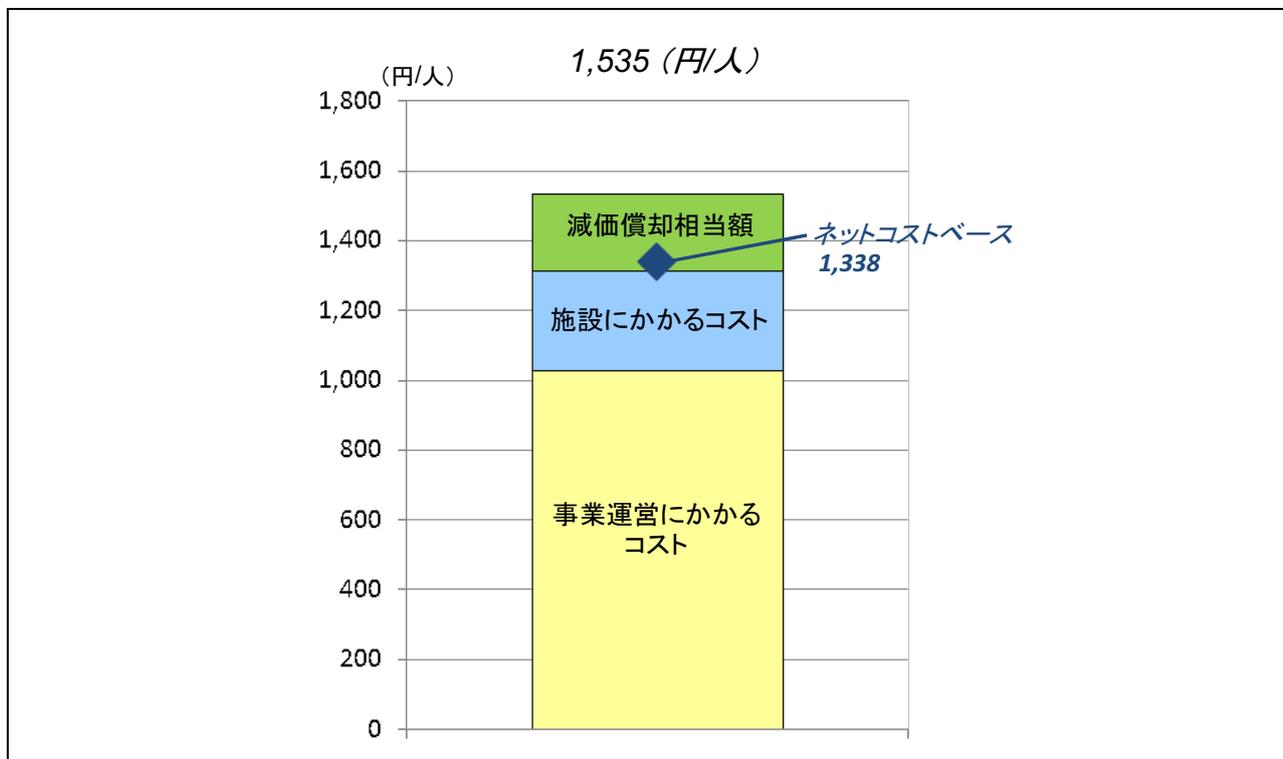
※この頁の斜体文字は平成28年5月に修正したものです。

3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 利用者数とトータルコストの関係 (利用者1人当たりコスト)

年間利用者数とトータルコストより利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、1,535円/人となっています。

図表 3-(6)-16 利用者1人当たり年間コスト (平成21年度)



■ 延床面積とトータルコストの関係 (単位床面積当たりコスト)

指定管理者による運営により、コスト把握は総合体育館などの公共施設の建物のほか、陸上競技場などの施設を含めた総量での把握となり、建物床面積当たりのコストが把握できないため、延べ床面積との関係は比較できません。

※この頁の斜体文字は平成28年5月に修正したものです。

(7) 健康・福祉施設

ア. 福祉施設

1) 施設概要

① 市が保有する福祉施設一覧

高齢者福祉施設は、高齢者総合センター、北町高齢者センター等 10 施設です。

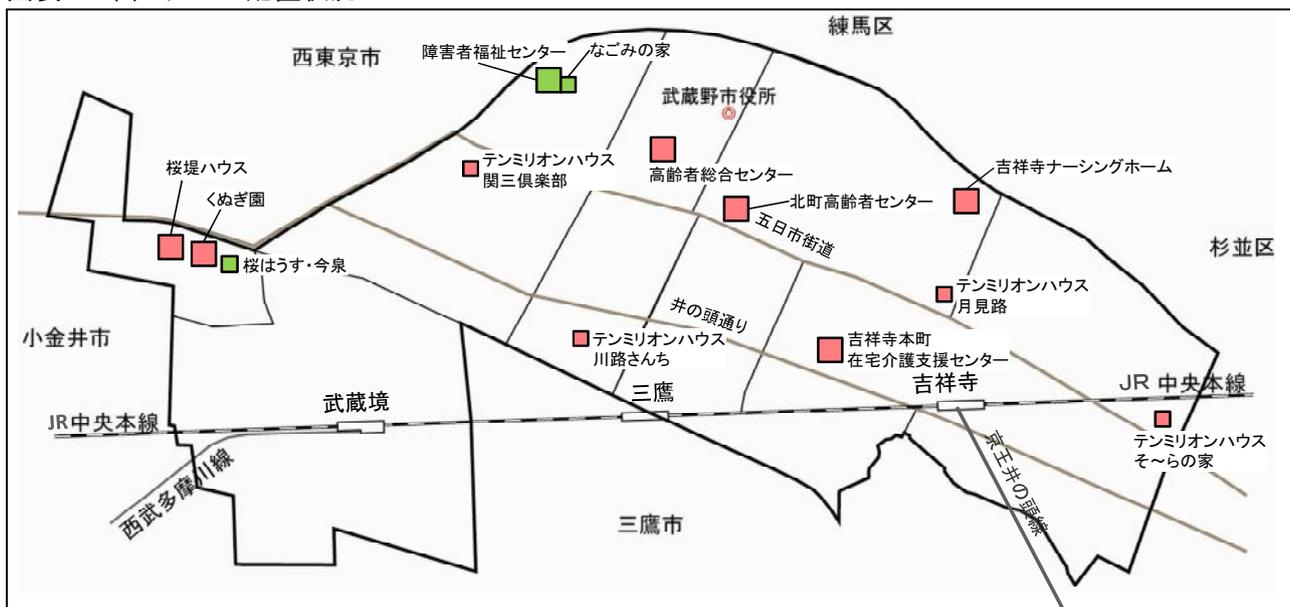
障害者福祉施設は、障害者福祉センター等 3 施設です。

図表 3-(7) ア-1 施設一覧

施設名称		所在地	福祉サービス	建築年度 (年度)	延床面積 (㎡)
高齢者支援	1 高齢者総合センター	緑町2-4-1	社会活動センター 在宅介護支援センター デイサービスセンター	平成5	3,245.8
	2 北町高齢者センター	吉祥寺北町4-1-16	デイサービスセンター 小規模サービスハウス		
	3 くぬぎ園	桜堤1-9-7	軽費老人ホーム	昭和51	3,102.4
	4 桜堤ケアハウス	桜堤1-9-9	ケアハウス	平成7	2,852.5
			在宅介護支援センター		
			デイサービスセンター		
	5 吉祥寺ナーシングホーム	吉祥寺北町2-9-2	在宅介護支援センター	平成6	2,277.9
			デイサービスセンター		
			特別養護老人ホーム		
	6 吉祥寺本町在宅介護支援センター	吉祥寺本町4-20-13	デイサービス・ショートステイ	平成17	275.1
7 テンミリオンハウス川路さんち	西久保1-34-2	ミニデイサービス等	昭和30	91.6	
8 テンミリオンハウス月見路	吉祥寺北町1-11-7	ミニデイサービス等	昭和57	104.0	
9 テンミリオンハウス関三倶楽部	関前3-37-24	ミニデイサービス等	昭和58	78.0	
10 テンミリオンハウスそ〜らの家	吉祥寺南町5-6-16	ミニデイサービス等	平成11	159.3	
(児 障 害 者 福 祉 社)	1 障害者福祉センター	八幡町4-28-13	障害者福祉センター	昭和55	1,613.0
			小規模作業所		
	2 桜はうす・今泉	桜堤1-6-32	障害者ショートステイ	昭和55	42.3
3 なごみの家	八幡町4-28-18	障害者ショートステイ	昭和63	66.3	

※ 「建築年度」「延床面積」は「総合台帳」より

図表 3-(7) ア-2 配置状況



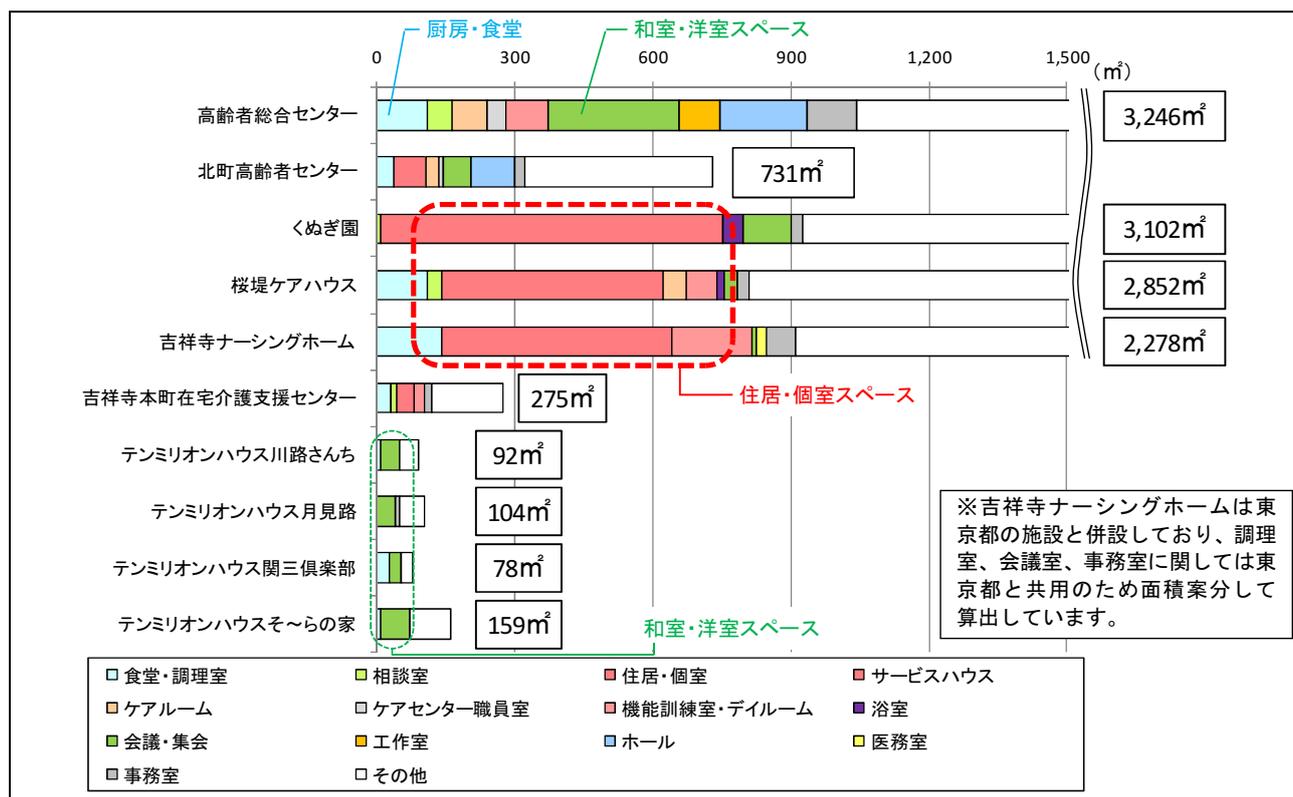
② スペース構成

【高齢者支援】

市が保有する高齢者福祉施設のスペース構成を見ると、高齢者総合センターは厨房・食堂、相談室、ケアルーム、会議・集会（和室・洋室）など様々なスペースがあります。北町高齢者センターはデイサービス、サービスハウスを中心に会議スペースがあります。くぬぎ園、桜堤ケアハウス、吉祥寺ナーシングホームは住居・個室スペースが中心の施設です。

テンミリオンハウスは全て同様のスペース構成となっており、78㎡～159㎡となっています。

図表 3-(7) ア-3 高齢者福祉施設スペース構成



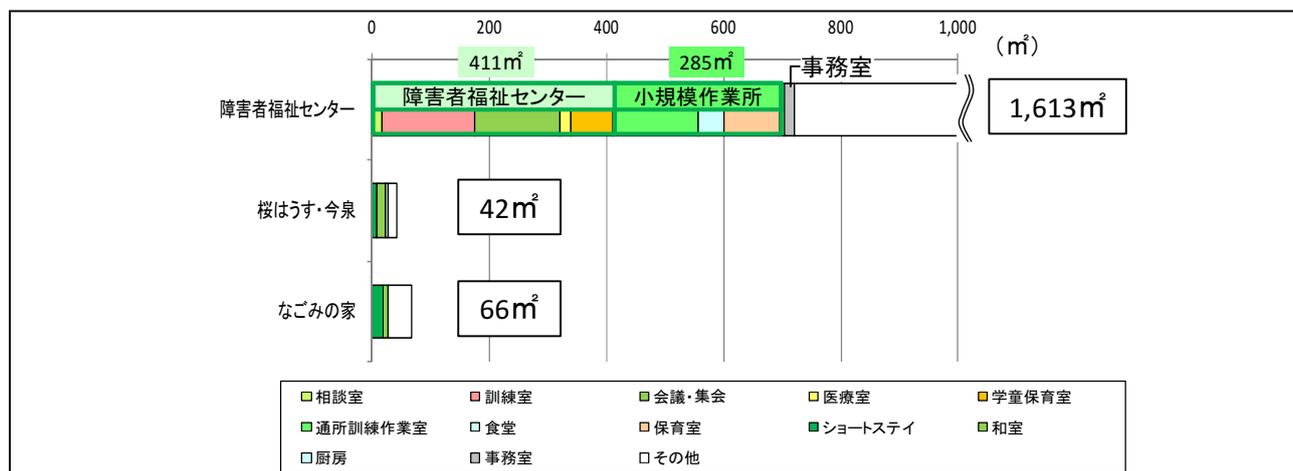
※吉祥寺ナーシングホームは東京都の施設と併設しており、調理室、会議室、事務室に関しては東京都と共用のため面積案分して算出しています。

【障害者（児）福祉】

障害者福祉センター内は障害者福祉センター（411㎡）、小規模作業所（285㎡）、事務室、その他共用スペースとなっています。

桜はうす・今泉、なごみの家は共にショートステイサービスを行っております。

図表 3-(7) ア-4 障害者（児）福祉施設スペース構成



③ 福祉のサービス利用状況及び運営状況

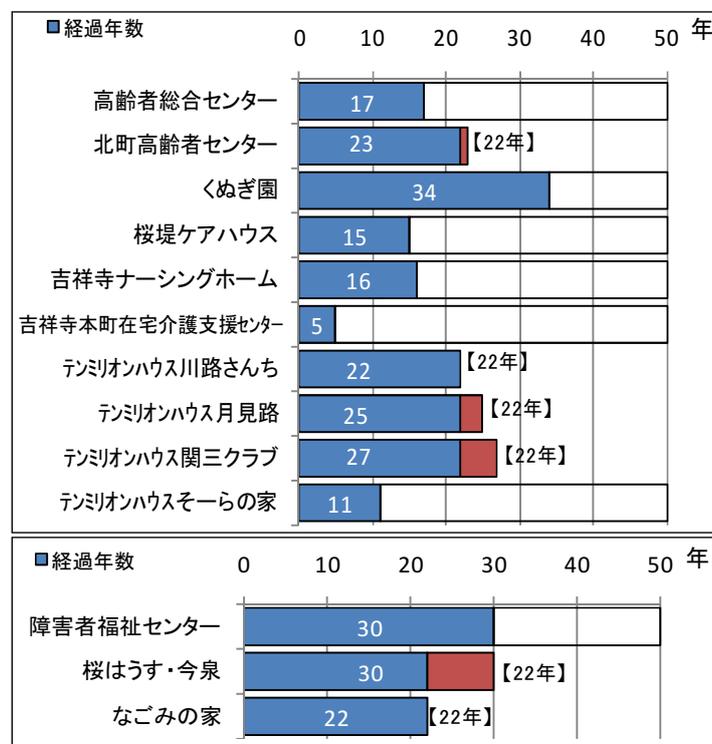
図表 3-(7) ア-5 施設別の福祉サービス利用状況及び運営状況一覧（平成 21 年度）

施設名称	福祉サービス	利用状況		運営形態	
		定員	利用者/ 入所者数		
高齢者支援	1 高齢者総合センター	社会活動センター	—	66,328	指定管理者
		在宅介護支援センター	—	1,883	業務委託
		補助器具センター(相談件数)	—	5,210	業務委託
		デイサービスセンター	45	8,504	指定管理者
		計	—	81,925	—
	2 北町高齢者センター	デイサービスセンター	30	7,103	指定管理者
		小規模サービスハウス	5	5	指定管理者
		計	—	7,108	—
	3 くぬぎ園	軽費老人ホーム	100	42	指定管理者
	4 桜堤ケアハウス	ケアハウス	30	28	指定管理者
在宅介護支援センター		—	2,142	業務委託	
デイサービスセンター		25	5,605	指定管理者	
計		—	7,775	—	
5 吉祥寺ナーシングホーム	在宅介護支援センター	—	1,356	業務委託	
	デイサービスセンター	40	9,228	民営	
	ショートステイ	—	1,311	民営	
	特別養護老人ホーム	50	50	民営	
	計	—	11,945	—	
6 吉祥寺本町在宅介護支援センター	デイサービス	—	2,394	民営	
	ショートステイ	—	840	民営	
	在宅介護支援センター	—	1,380	業務委託	
	計	—	4,614	民営	
7 テンミリオンハウス川路さんち	ミニデイサービス等	—	2,760	民営	
8 テンミリオンハウス月見路	ミニデイサービス等	—	3,456	民営	
9 テンミリオンハウス関三倶楽部	ミニデイサービス等	—	1,300	民営	
10 テンミリオンハウスそ~らの家	ミニデイサービス等	—	4,209	民営	
障害者(児)福祉	1 障害者福祉センター	障害者福祉センター	—	30	直営
		千川作業所	—	20	民営
		ひまわり作業所	—	18	民営
		いずみ作業所	—	7	民営
		計	—	75	—
2 桜はうす・今泉	障害者ショートステイ	—	291	民営	
3 なごみの家	障害者ショートステイ	—	318	民営	

出典：「武蔵野の福祉」（平成 22 年版）

④ 建物総合評価

図表 3-(7) ア-6 老朽化状況【基準耐用年数：築50年（RC造）・築22年（軽S・木造）】



高齢者福祉施設のうち、木造であるテンミリオンハウス川路さんち、軽量鉄骨造である北町高齢者センター、テンミリオンハウス月見路・テンミリオンハウス関三倶楽部は基準耐用年数を超過しており、建替え・改修等の検討が必要です。

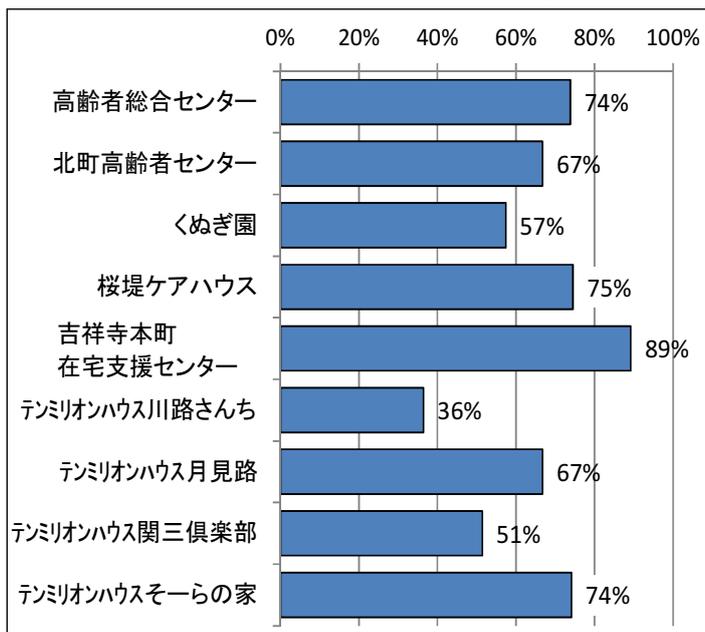
障害者福祉施設は、軽量鉄骨造である桜はうす今泉及びなごみの家は基準耐用年数を超過しており、建替え・改修等の検討が必要です。

図表 3-(7) ア-7 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

高齢者総合センター	耐震基準に適合
北町高齢者センター	耐震基準に適合
くぬぎ園	耐震基準に適合
桜堤ケアハウス	耐震基準に適合
吉祥寺ナーシングホーム	耐震基準に適合
吉祥寺本町在宅介護支援センター	耐震基準に適合
テンミリオンハウス川路さんち	耐震基準に適合
テンミリオンハウス月見路	耐震基準に適合
テンミリオンハウス関三倶楽部	耐震基準に適合
テンミリオンハウスそーらの家	耐震基準に適合
障害者福祉センター	耐震基準に適合
桜はうす・今泉	耐震基準に適合
なごみの家	耐震基準に適合

高齢者福祉施設、障害者福祉施設は、全施設とも、耐震基準に適合しています。

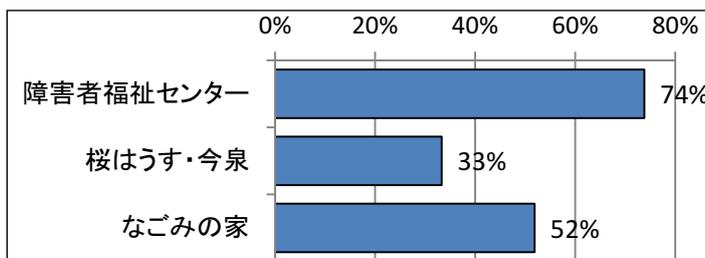
図表 3-(7) ア-8 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



高齢者福祉施設のバリアフリー適合率は、36%～89%となっており、施設によってばらつきがみられます。

障害者福祉施設のバリアフリー適合率は、33%～74%となっており、施設によってばらつきがみられます。

福祉施設でありながら、テンミリオンハウス川路さんち、くぬぎ園及び関三倶楽部の適合状況が低い状況です。川路さんちは木造在来建築特有の段差等があり適合率が低くなっています。



図表 3-(7) ア-9 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO2排出量】

	熱量合計 (MJ)	原油換算 合計 (kl)	CO2排出量 換算合計 (t)
高齢者総合センター	合計	3,333,750.0	86.000
	単位床面積当たり	1,027.1	0.026
北町高齢者センター	合計	1,111,017.5	28.000
	単位床面積当たり	1,604.6	0.040
くぬぎ園	合計	3,438,889.9	88.000
	単位床面積当たり	1,108.5	0.028
桜堤ケアハウス	合計	6,588,677.9	169.000
	単位床面積当たり	3,634.3	0.093
吉祥寺本町在宅介護支援センター	合計	-	-
	単位床面積当たり	-	-
テンミリオンハウス 川路さんち	合計	74,780.9	1.000
	単位床面積当たり	847.6	0.011
テンミリオンハウス 月見路	合計	82,092.0	2.000
	単位床面積当たり	816.2	0.020
テンミリオンハウス 関三倶楽部	合計	166,003.1	4.000
	単位床面積当たり	2,171.4	0.052
テンミリオンハウス そーらの家	合計	143,999.3	3.000
	単位床面積当たり	905.7	0.019
障害者福祉センター	合計	1,194,349.1	30.000
	単位床面積当たり	740.5	0.019
桜はうす・今泉	合計	-	-
	単位床面積当たり	-	-
なごみの家	合計	-	-
	単位床面積当たり	-	-
単位床面積当たり平均値 (A)		1,428.4	0.034

桜堤ケアハウスの単位床面積当たりのエネルギー使用量が他と比べて大きいこと、規模の割にテンミリオンハウス関三倶楽部のエネルギー使用量も高いことがわかります。

⑥ 運営状況

図表 3-(7) ア-10 高齢者総合センター運営状況・運営体制

■ 運営日：平日（月～金曜）、土曜日 ■ 運営日数：293日

■ 運営時間・運営形態・運営人員

		管理・社会活動センター		在宅介護支援・補助器具センター		デイサービスセンター	
運営時間	日	平日	土曜日	平日	土曜日	平日	土曜日
	時間	8時30分から17時15分	8時30分から17時15分	8時30分から17時15分	8時30分から17時15分	8時30分から17時15分	8時30分から17時15分
運営形態		指定管理者		業務委託		指定管理者	
運営人員	職員	4人	1人	6人	2人	4人	1人
	嘱託職員	2人		3人		8人	2人
	パート・アルバイト	非常勤				1人	
	その他			非常勤			
	計	6人	1人	9人	2人	13人	3人

■ 運営体制

平日

土曜

	平日	土曜
管理・社会活動センター	8:30 - 17:15 職員4人、嘱託職員2人 計6人	8:30 - 17:15 職員1人
在宅介護支援・補助器具センター	8:30 - 17:15 職員6人、嘱託職員3人 計9人	8:30 - 17:15 職員2人
デイサービスセンター	8:30 - 17:15 職員4人、嘱託職員8人 パート・アルバイト1人 計13人	8:30 - 17:15 職員1人、嘱託職員2人 計3人

図表 3-(7) ア-11 北町高齢者センター運営状況・運営体制

■ 運営日（デイサービスセンター）：平日（月～金曜）、土曜日 ■ 運営日数：291日

（小規模サービスハウス）：無休

■ 運営時間・運営形態・運営人員

		デイサービスセンター		小規模サービスハウス	
運営時間	日	平日	土曜日	全日	
	時間	8時30分から17時15分	8時30分から14時	24時間体制	
運営形態		指定管理者		指定管理者	
運営人員	職員	2人	1人		
	嘱託職員	4人	2人		
	パート・アルバイト	8人	6人		
	その他			2人	
	計	14人	9人	2人	

■ 運営体制

平日

土曜

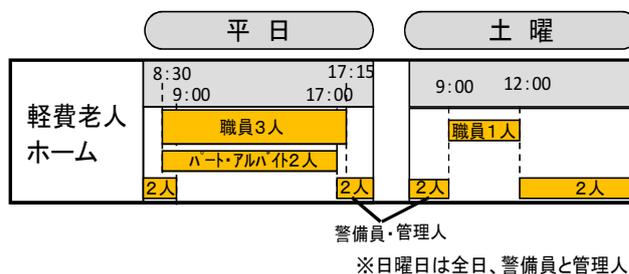
	平日	土曜
デイサービスセンター	8:30 - 17:15 職員2人、嘱託職員4人 パート・アルバイト8人 計14人	8:30 - 14:00 職員1人、嘱託職員2人 パート・アルバイト6人 計9人
小規模サービスハウス	全日 その他 2人	

図表 3-(7) ア-12 くぬぎ園運営状況・運営体制

- 運営日：無休
- 運営時間・運営形態・運営人員

		軽費老人ホーム
運営時間	日	全日
	時間	24時間体制
運営形態		指定管理者
運営人員	職員	3人
	嘱託職員	
	パート・アルバイト	2人
	警備員・管理人	2人
	計	7人

■ 運営体制



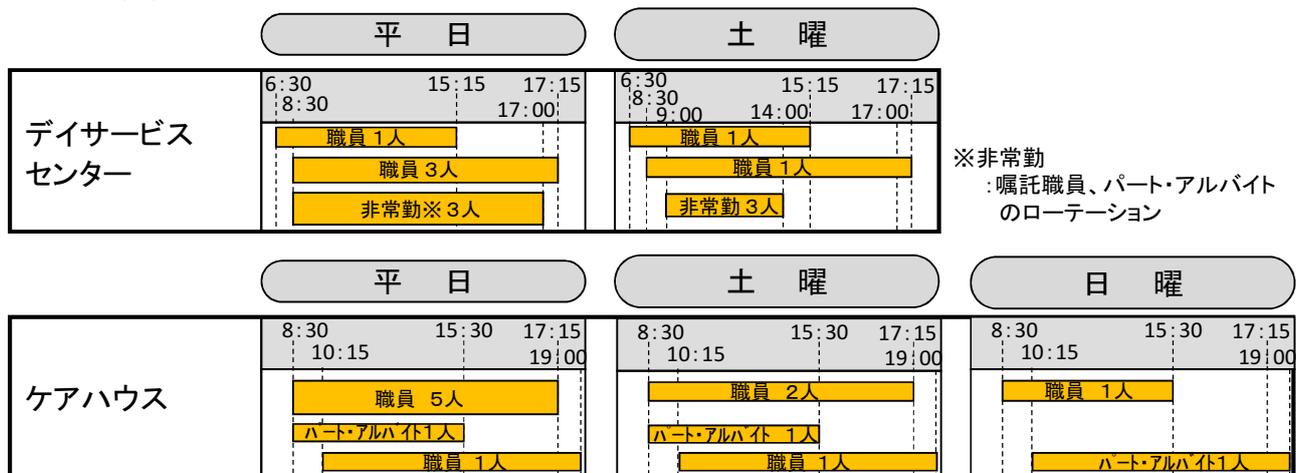
図表 3-(7) ア-13 桜堤ケアハウス運営状況・運営体制

- 運営日（デイサービスセンター）：平日（月～金曜）、土曜日 ■ 運営日数：292日
- （ケアハウス）：無休

■ 運営時間・運営形態・運営人員

		デイサービスセンター		ケアハウス	
運営時間	日	平日	土曜日	全日	
	時間	9時30分～16時	10時～13時15分	24時間体制	
運営形態		指定管理者		指定管理者	
運営人員	職員	4人	4人	7人	
	嘱託職員	3人	1人		
	パート・アルバイト	10人	6人	3人	
	その他				
	計	17人	11人	10人	

■ 運営体制



※在宅介護支援センターは含んでいません。

図表 3-(7) ア-14 吉祥寺ナーシングホーム運営状況・運営体制

- 運営日（デイサービスセンター）：平日（月～金曜）、土曜日 ■ 運営日数：295日
（特別養護老人ホーム）：無休

■ 運営時間・運営形態・運営人員

		デイサービスセンター		特別養護老人ホーム		
運営時間	日	平日	土曜日	平日	土曜日	日曜日
	時間	8時30分から17時30分	8時30分から17時30分	24時間体制	24時間体制	24時間体制
運営形態		民営		民営		
運営人員	職員	4人	5人	20人	11人	8人
	非常勤職員	5人	5人	7人	11人	10人
	派遣職員			1人	1人	1人
	その他					
	計	9人	10人	28人	23人	19人

■ 運営体制

	平日	土曜
デイサービスセンター	8:30 17:30 9:00 17:00 職員4人、非常勤職員4人 計8人 非常勤職員 1人	8:30 17:30 9:00 17:00 職員4人、非常勤職員5人 計9人 非常勤職員 1人

※特別養護老人ホームの運営体制は多岐にわたるため、省略します。

※在宅介護支援センターは含んでいません。

※ショートステイは特別養護老人ホームに含みます。

図表 3-(7) ア-15 吉祥寺本町在宅介護支援センター運営状況・運営体制

- 運営日（デイサービスセンター）：平日（月～金曜）、土曜日 ■ 運営日数：308日
（ショートステイ）：無休

■ 運営時間・運営形態・運営人員

		デイサービス		ショートステイ		
運営時間	日	平日	土曜日	平日	土曜日	日曜日
	時間	9時から16時	9時から16時	24時間体制		
運営形態		民営		民営		
運営人員	職員	3人	1人			1人
	嘱託職員	0人	1人	デイサービス欄の人員に含む	デイサービス欄の人員に含む	0人
	パート・アルバイト	2人	1人			1人
	その他	0人	0人			0人
	計	5人	3人	—	—	2人

■ 運営体制

	平日	土曜	日曜
デイサービス ショートステイ	8:30 17:30 職員2人、パート・アルバイト1.5人 計3.5人 職員またはパート 1人	8:30 17:30 職員1人、パート・アルバイト1.5人 計2.5人 職員またはパート 1人	8:30 17:30 職員1人、パート・アルバイト1人 計2.0人 職員またはパート 1人

※在宅介護支援センターは含んでいません。

図表 3-(7) ア-16 テンミリオンハウス運営状況・運営体制

■ 運営日：平日（月～金曜）

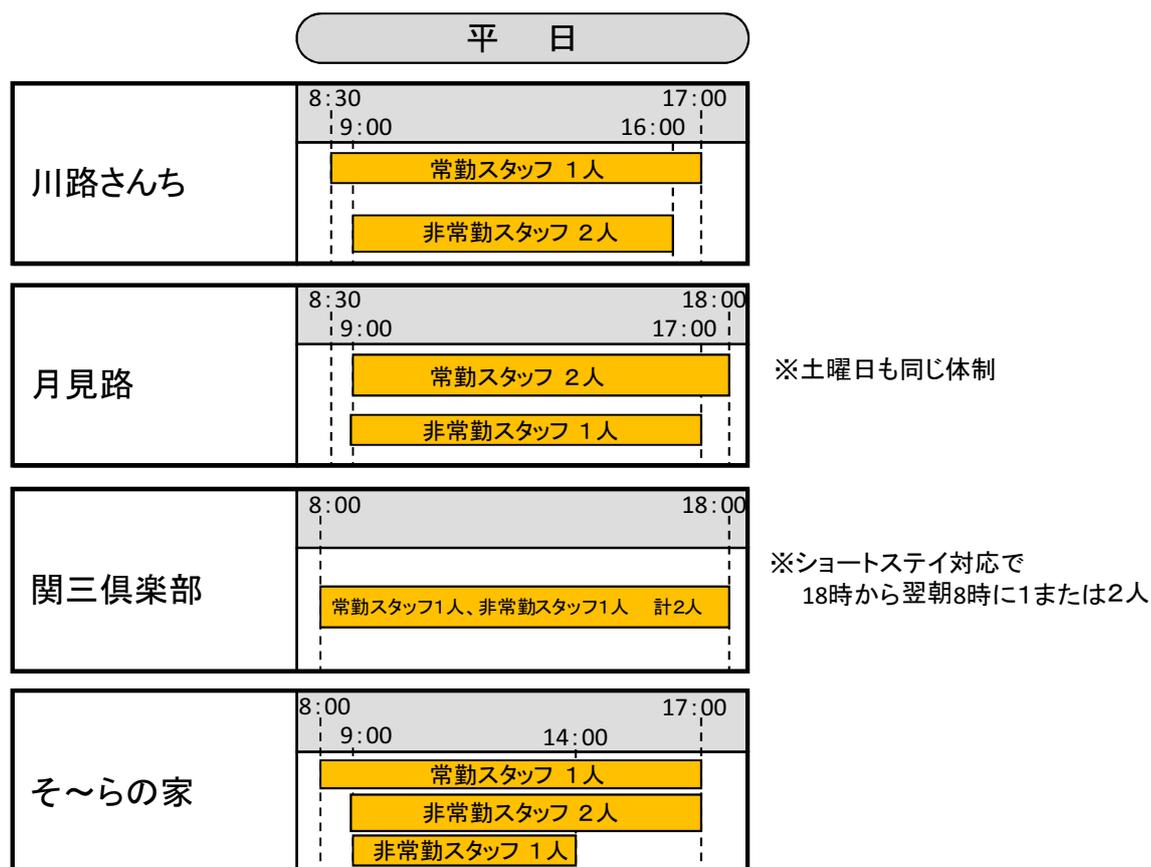
■ 運営時間・運営形態・運営人員

		川路さんち	月見路	関三倶楽部	そ~らの家
運営時間	日	平日	平日	平日	平日
	時間	8時30分から17時	9時から18時	8時から18時	8時から17時
運営日数		251日	291日	357日	255日
運営形態		民営			
運営人員	常勤スタッフ	4人(交代制)	3人(交代制)	1人	5人(交代制)
	非常勤スタッフ	9人	3人	9人	8人
	パート・アルバイト	0人	0人	6人	0人
	その他	0人	0人	0人	0人
	計	13人	6人	16人	13人

※関三倶楽部はショートステイ事業を行っており、土日を含め24時間体制である。

※月見路は平日および土曜日も運営を行っている。

■ 運営体制



図表 3-(7) ア-17 障害者福祉センター運営状況・運営体制

- 運営日：平日（月～金曜）、土曜日
- 運営時間・運営形態・運営人員

- 運営日数：293日
- 運営体制

障害者福祉センター			
運営時間	日	平日	土曜日
	時間	9時から17時	9時から16時
運営形態		直営	
運営人員	市職員	4人	1人
	嘱託職員	6人	1人
	パート・アルバイト	0人	0人
	その他	0人	0人
	計	10人	2人

	平日	土曜
障害者福祉センター	8:30 9:00	8:30 9:00
	13:00 17:15 17:00	13:00 17:15 17:00
	市職員 4人 嘱託職員 5人	市職員 1人 嘱託職員 1人

※小規模作業所は含んでいません。

図表 3-(7) ア-18 桜はうす・今泉運営状況・運営体制

- 運営日：無休（年末年始を除く）
- 運営時間・運営形態・運営人員

- 運営日数：360日
- 運営体制

障害者ショートステイ		
運営時間	日	全日
	時間	24時間体制
運営形態		民営
運営人員	専任職員	5人
	—	—
	—	—
	その他	0人
	計	5人

利用状況に合わせて、交代勤務制です。

図表 3-(7) ア-19 なごみの家運営状況・運営体制

- 運営日：無休（年末年始を除く）
- 運営時間・運営形態・運営人員

- 運営日数：360日
- 運営体制

障害者ショートステイ				
運営時間	日	平日	土曜日	日曜日
	時間	24時間体制		
運営形態		民営		
運営人員	正規職員	1人	0人	0人
	嘱託職員	3人	3人	1人
	臨時職員	1人	0人	2人
	その他	0人	0人	0人
	計	5人	3人	3人

利用状況に合わせて、交代勤務制です。

⑧ コスト状況

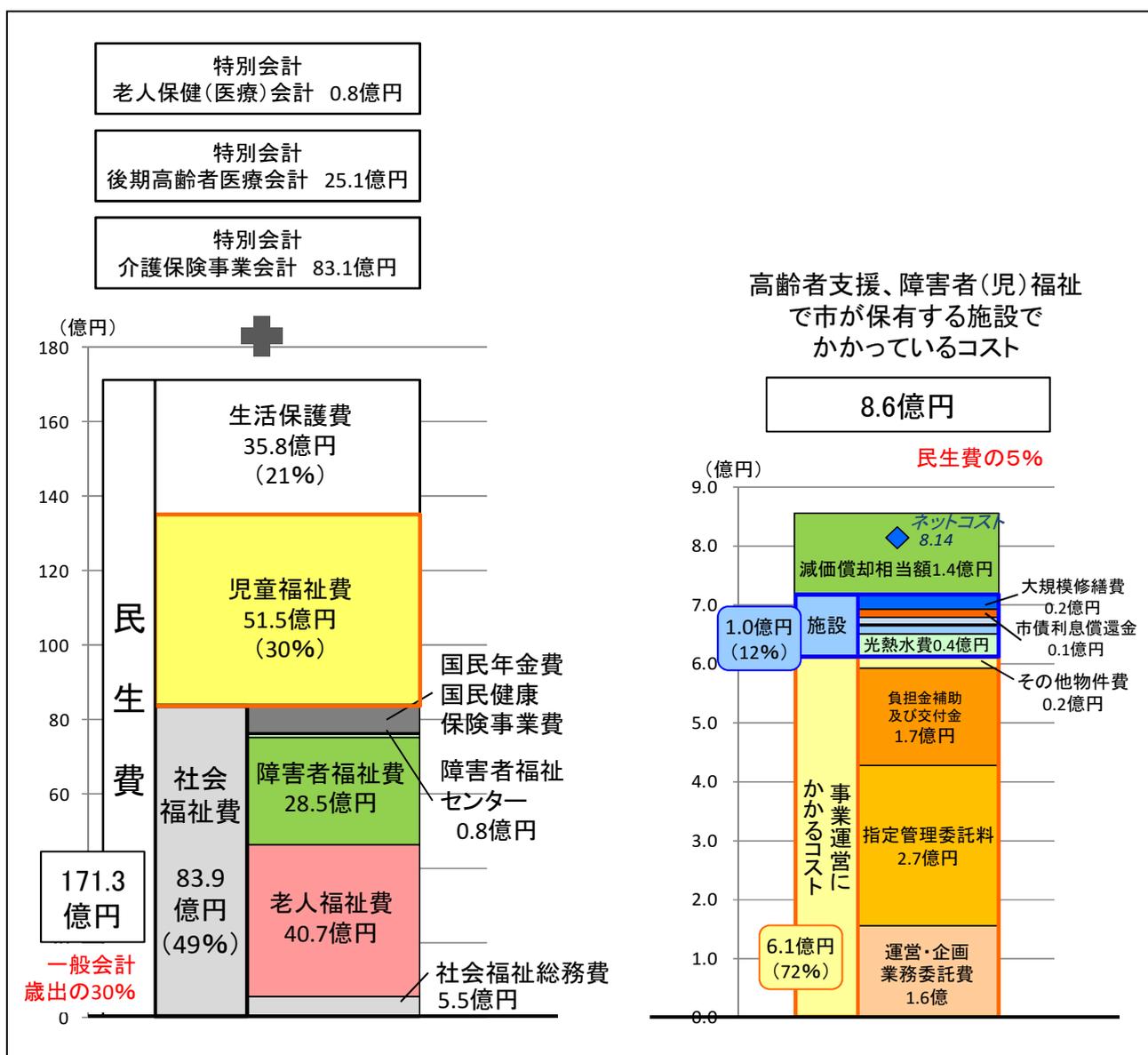
【市全体の民生費等の福祉にかかるコストの把握】

市の民生費の平成21年度（決算額）は171億2,573万円です。これは市全体の一般会計の約30%を占めています。

内訳をみると、社会福祉費が83.9億円（民生費の49%）、児童福祉費が51.5億円で全体の30%を占めています。他に生活保護費が35.8億円となっています。

また、福祉施設全体のトータルコストを見ると、市が保有する施設でかかっているコストは8.6億円で、民生費の約5%です。

図表 3-(7) ア-20 民生費及び福祉施設の全施設トータルコスト(平成21年度)



※特別会計と民生費は平成21年度決算書

※トータルコストは行政コスト計算書 (P. 180, 181) の合計

【高齢者支援の個別施設別のトータルコストの把握】

高齢者支援施設の個別施設別のトータルコストを見ると、高齢者総合センターは2億385万円となっています。内訳を見ると、指定管理委託料が1.1億円と約55%を占めています。その他に運営・企画業務委託料(0.5億円)、光熱水費、市債利息償還金、その他物件費、減価償却相当額がかかっています。

北町高齢者センターのトータルコストは3,492万円となっています。内訳を見ると、運営・企画業務委託料が1,668万円であり、他に指定管理料、光熱水費、その他物件費、減価償却相当額がかかっています。

くぬぎ園のトータルコストは1億830万円となっています。内訳を見ると、指定管理委託料が0.7億円と62%を占めています。その他に光熱水費、その他物件費、減価償却相当額がかかっています。収入として利用料収入等が488万円あります。

桜堤ケアハウスのトータルコストは1億7,608万円となっています。内訳を見ると、指定管理委託料が0.9億円と50%を占めています。その他に運営・企画業務委託料(0.4億円)、負担金補助及び交付金、光熱水費、土地賃借料、その他物件費、減価償却相当額がかかっています。収入として利用料収入等が3,567万円あります。

吉祥寺ナーシングホームのトータルコストは1億1,342万円となっています。内訳を見ると、負担金補助及び交付金が0.4億円、運営・企画業務委託料が0.3億円です。その他に市債利息償還金、減価償却相当額があります。

本町在宅介護支援センターのトータルコストは3,306万円となっています。内訳を見ると、負担金補助及び交付金が0.3億円となっています。他に運営・企画業務委託料・減価償却相当額があります。

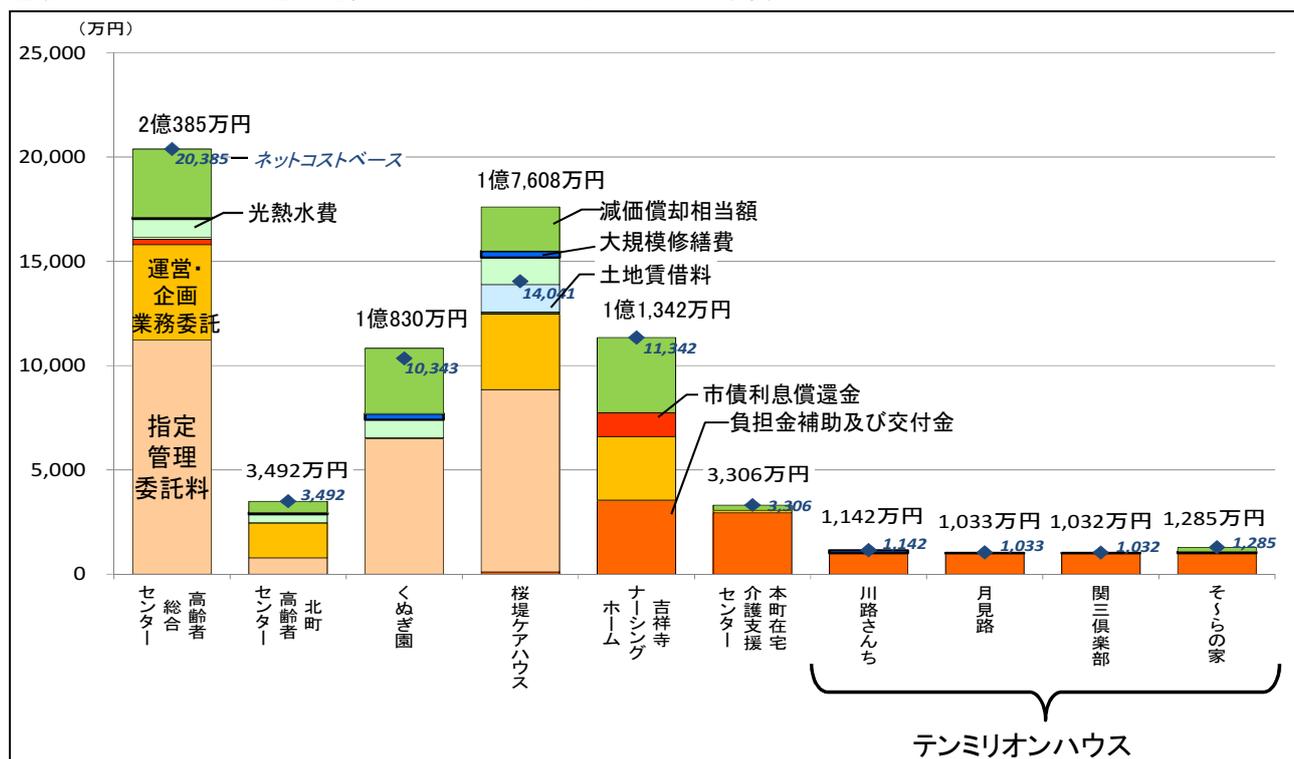
テンミリオンハウスは運営費の補助金として、各施設に1,000万円を上限として交付しています。

図表 3-(7) ア-21 個別施設別行政コスト計算書(平成 21 年度) (千円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		高齢者 総合 センター	北町 高齢者 センター	くぬぎ園	桜堤ケアハ ウス	吉祥寺 ナーシング ホーム	本町在宅 介護支援 センター	川路さんち	月見路	関三倶楽部	そらの家	合計	
施設にか かる コスト	各所修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大規模修繕費	912	878	2,861	3,025	0	0	1,420	82	14	737	9,930	
	光熱水費	8,719	3,982	8,823	12,989	0	0	0	0	0	0	34,513	
	建物管理委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	26	
	土地賃借料	0	0	0	13,222	0	0	0	0	0	0	13,222	
	土地・建物以外賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	車両・備品購入費	0	0	0	177	0	0	0	0	0	0	0	177
	市債利息償還金	2,521				11,397							13,918
施設にかかるコスト計	12,153	4,860	11,684	29,414	11,397	0	1,420	82	40	737	71,787		
事業運 営にか かる コスト	運営・企画業務委託	45,833	16,680	0	36,253	30,534	1,226	0	0	0	0	130,526	
	指定管理委託料	112,178	7,768	65,080	87,376	0	0	0	0	0	0	272,402	
	負担金補助及び交付金	0	0	0	1,071	35,419	29,418	10,000	10,000	10,000	9,968	105,877	
	その他物件費	1,007	205	192	738	0	0	0	0	0	0	2,142	
	事業運営にかかるコスト計	159,019	24,652	65,271	125,438	65,954	30,644	10,000	10,000	10,000	9,968	510,947	
現金収支を伴うコスト 計	171,172	29,512	76,955	154,852	77,351	30,644	11,420	10,082	10,040	10,705	582,734		
【収益の部】													
利用料収入	0	0	3,536	33,730	0	0	0	0	0	0	0	37,265	
その他使用料(総務使用料)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
諸収入	0	0	1,340	1,943	0	0	0	0	0	0	0	3,282	
現金収支を伴う収益 計	0	0	4,875	35,673	0	0	0	0	0	0	0	40,548	
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】													
減価償却相当額	32,677	5,403	31,349	21,226	36,071	2,411	0	253	275	2,144		131,808	
III. 総括													
コストの部合計(トータルコスト)	203,848	34,915	108,304	176,078	113,422	33,055	11,420	10,334	10,315	12,849		714,542	
収支差額(ネットコスト)	203,848	34,915	103,429	140,405	113,422	33,055	11,420	10,334	10,315	12,849		673,994	

※大規模修繕費は、過去5年間の平均額を計上しています。

図表 3-(7) ア-22 個別施設別トータルコスト(平成 21 年度)

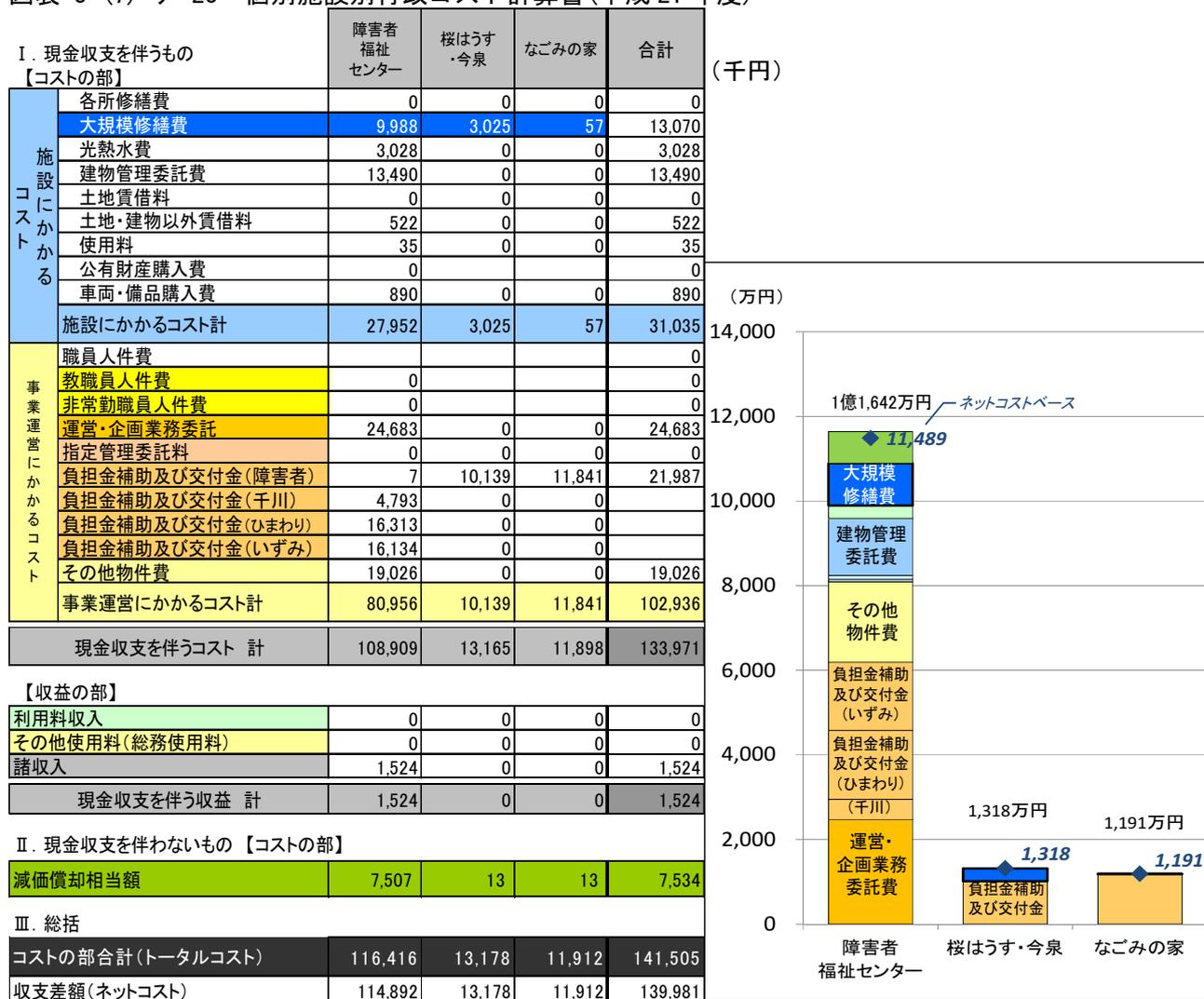


【障害者福祉施設の個別施設別のトータルコストの把握】

障害者福祉センターのトータルコストは、1億1,642万円となっています。内訳を見ると、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）が2,795万円、事業運営にかかるコスト（運営・企画業務委託費、作業所の負担金補助及び交付金、その他物件費等）が8,096万円、減価償却相当額751万円となっています。収入としてその他諸収入が152万円あります

その他の障害者福祉施設は各施設の運営者に負担金補助及び交付金を支出しています。負担金補助及び交付金額は、桜はうす・今泉が1,014万円、なごみの家が1,184万円となっています。

図表 3-(7) ア-23 個別施設別行政コスト計算書(平成21年度)



3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

施設別に利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出します。しかし、福祉施設の場合、施設ごとに行っている福祉サービスが異なり、一律で見ることはいけません。

今後は、施設別のトータルコストを施設内で行っている福祉サービスごとに把握し、福祉サービスの利用状況（利用者数）との関係を見る必要があります。

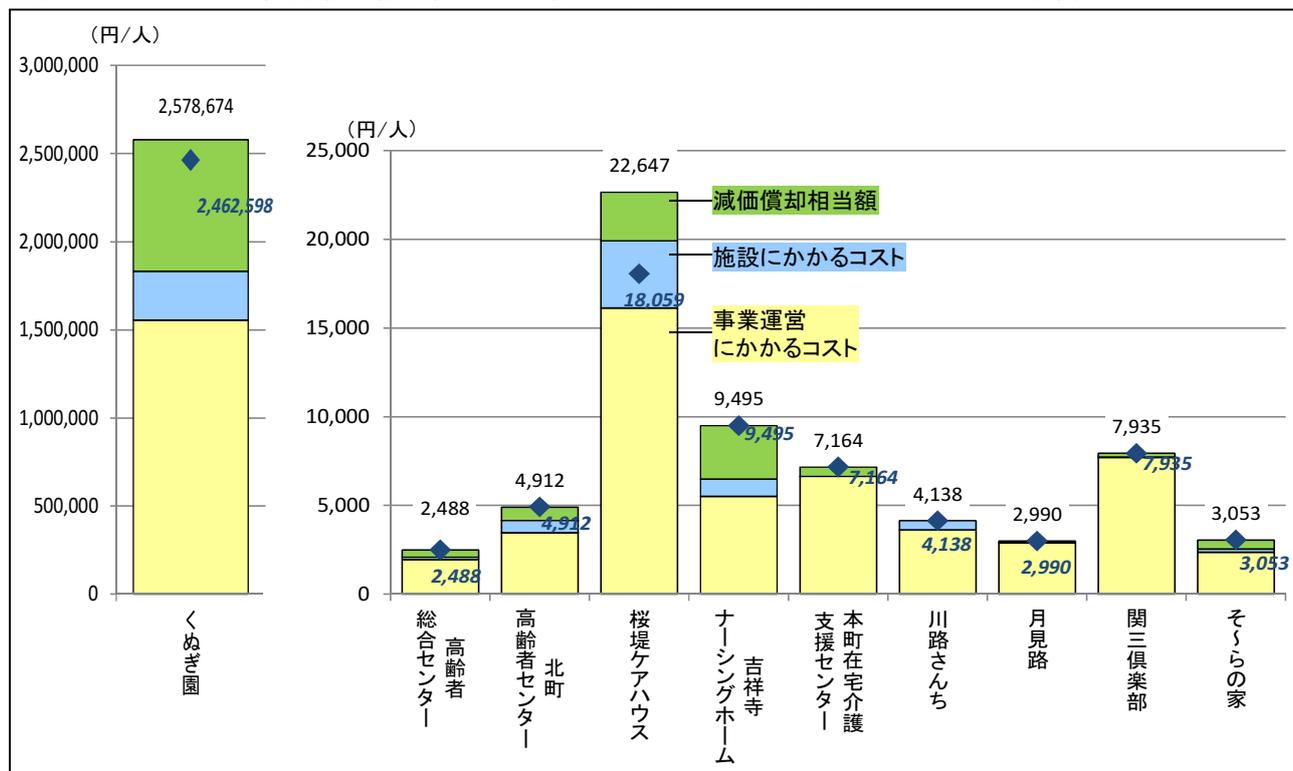
本白書では参考値として、施設別の利用者1人当たりコストを算出しています。

【高齢者支援施設の利用者1人当たりにかかるコスト】（参考値）

施設別の利用者数の合計と、施設別のトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出しました。軽費老人ホームを行っているくぬぎ園は入所者1人当たり約258万円かかっています。

高齢者総合センターは利用者1人当たり2,488円、北町高齢者センターは4,912円、桜堤ケアハウスは2万2,647円、吉祥寺ナーシングホームは9,495円、本町在宅介護支援センターは7,164円、テンミリオンハウスは2,990円（月見路）から7,935円（関三倶楽部）となっています。

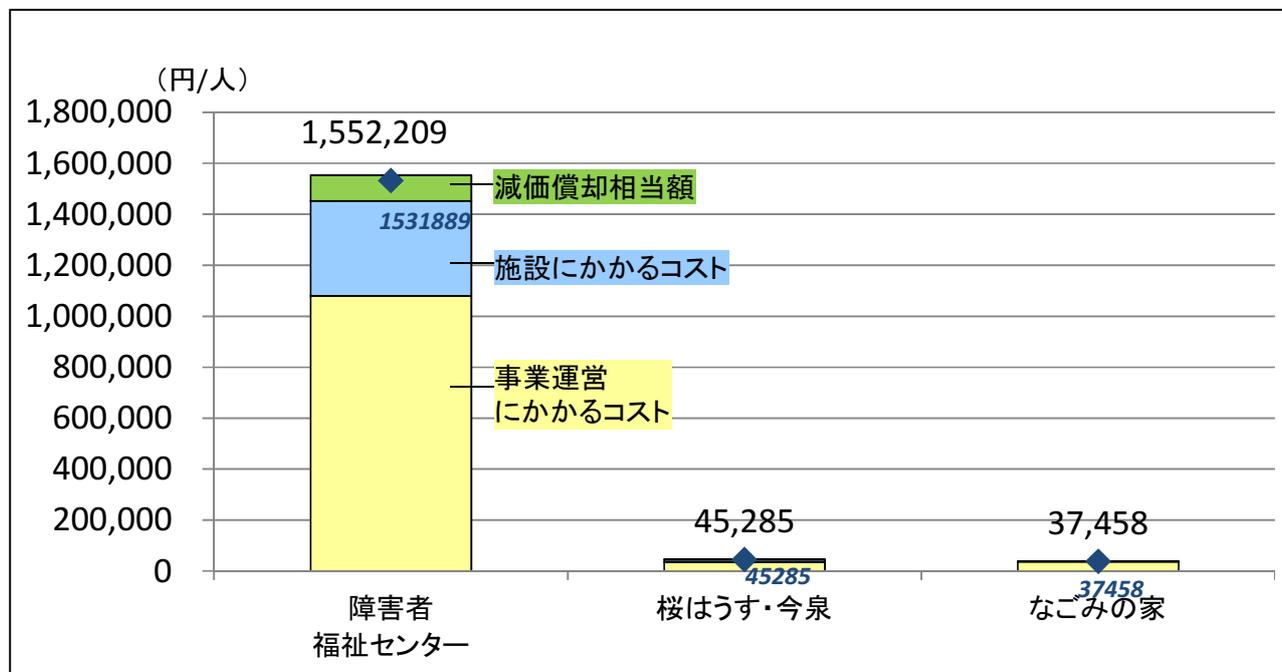
図表 3-(7) ア-24 高齢者支援施設の利用者1人当たりにかかるコスト(平成21年度)



【障害者施設の利用者1人当たりにかかるコスト】(参考値)

施設別の利用者数の合計と、施設別のトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出しました。障害者福祉センターは利用者1人当たり155万2,209円、桜はうす・今泉は4万5,285円、なごみの家は3万7,458円となっています。

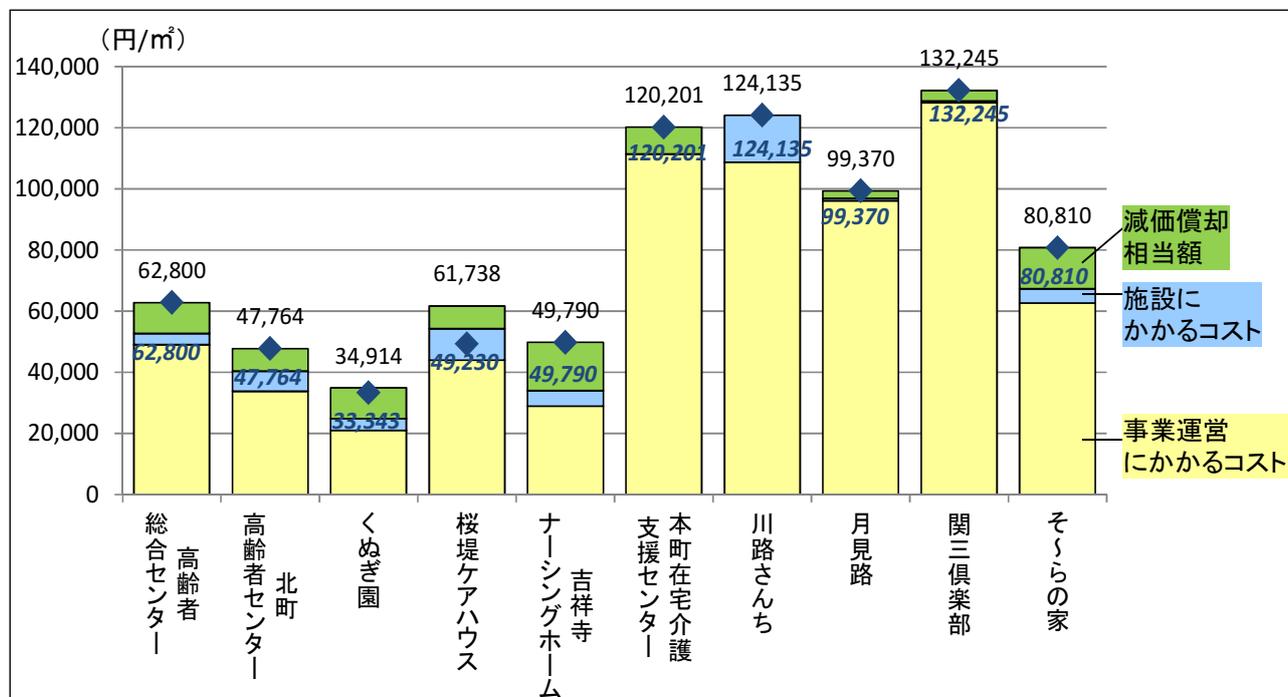
図表 3-(7) ア-25 障害者施設の利用者1人当たりにかかるコスト(平成21年度)



■ 高齢者福祉施設延床面積とトータルコストの関係（単位床面積当たりコスト）

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、くぬぎ園が3万4,914円と最も低く、テンミリオンハウス関三俱樂部が13万2,245円と最も高い状況です。

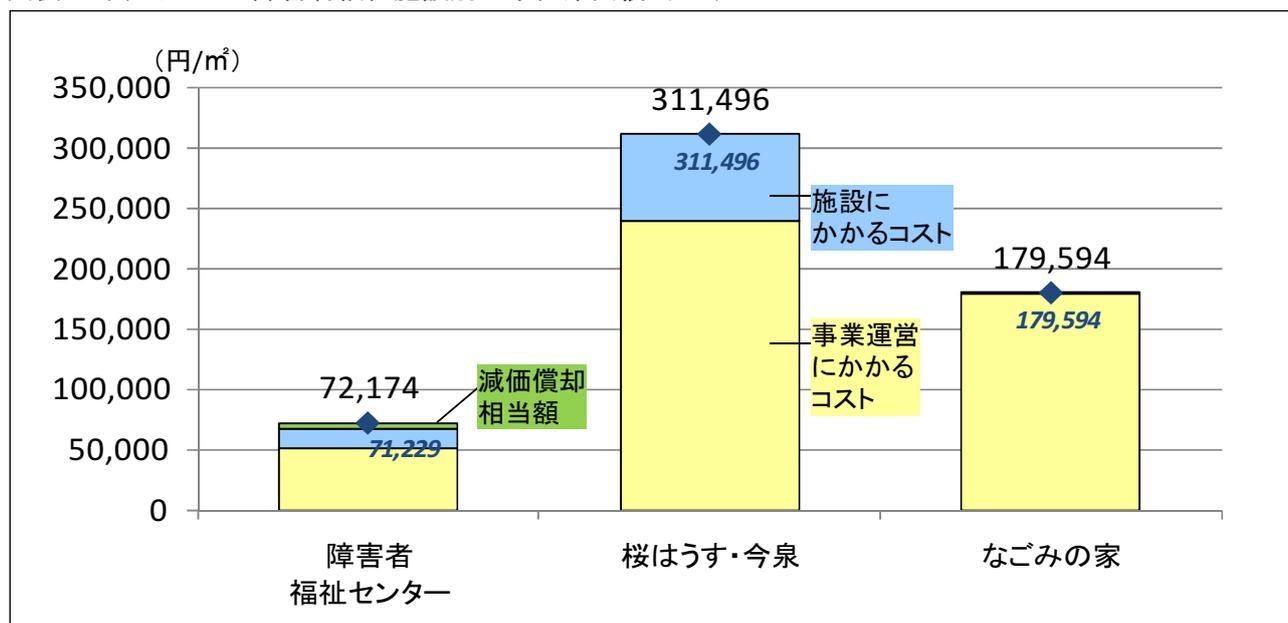
図表 3-(7) ア-26 高齢者福祉施設別 単位床面積当たりコスト



■ 障害者福祉施設延床面積とトータルコストの関係（単位床面積当たりコスト）

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、障害者福祉センターが7万2,174円と最も低く、桜はうす・今泉が31万1,496円と最も高い状況です。

図表 3-(7) ア-27 障害者福祉施設別 単位床面積当たりコスト



イ. 保健センター

1) 施設概要

① 施設一覧

保健センターは、市民の健康の保持及び増進を図るための総合的な保健サービス事業を行う施設です。施設内では、健康診査やがん検診、予防接種、健康増進等に関する各種講座・教室、健康相談等を行っています。

また、施設内には市の健康課の執務機能や公益財団法人武蔵野健康づくり事業団（健康づくりに関する各種講座・教室、人間ドック、事業所健康診断等）、社団法人武蔵野市医師会臨床検査センターがあります。

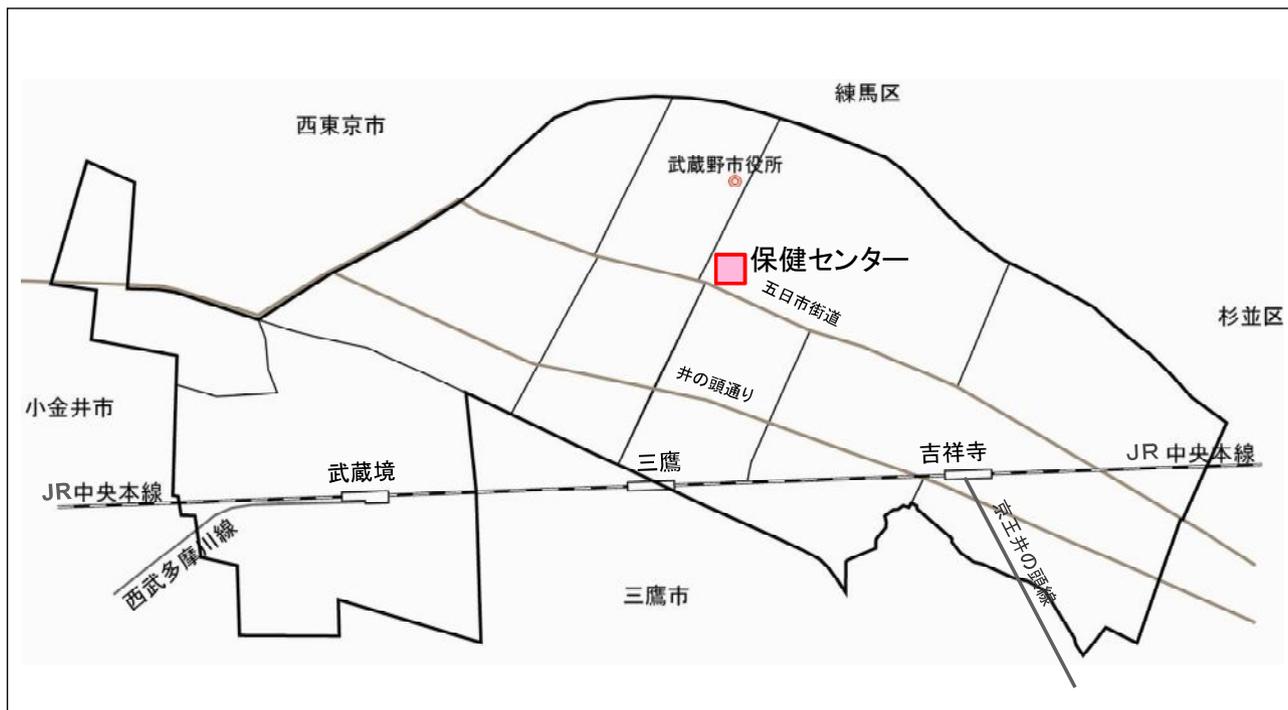
図表 3-(7)イ-1 施設一覧

名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)
保健センター	吉祥寺北町4-8-10	4,472.4	昭和62

② 開館日・開館時間

- ・ 開館時間 : 8:30~17:15
- ・ 休館日: 土曜日・日曜日・祝日

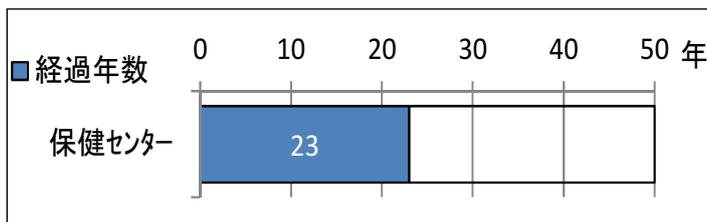
図表 3-(7)イ-2 配置図



2) 実態把握

① 建物状況

図表 3-(7)イ-3 老朽化状況【基準耐用年数：築50年】



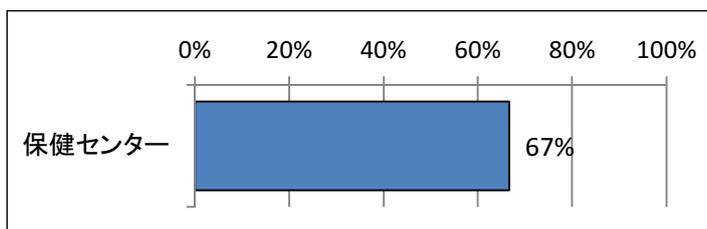
保健センターは築23年を経過しており、今後老朽化への対応が必要になります。

図表 3-(7)イ-4 耐震化状況【適合基準：新耐震基準】

保健センター	耐震基準に適合
--------	---------

保健センターは耐震基準に適合しています。

図表 3-(7)イ-5 バリアフリー適合状況【適合基準：バリアフリー新法・建物バリアフリー条例】



保健センターのバリアフリー適合率は、67%となっています。

図表 3-(7)イ-6 環境負荷状況【把握基準：1次エネルギー消費量(熱量・原油換算)・CO₂排出量】

		熱量合計 (MJ)	原油換算合計 (kl)	CO ₂ 排出量換算合計 (t)
保健センター	合計	5,097,872.6	131	222
	単位床面積当たり	1,141.2	0.029	0.050

保健センターの単位床面積当たり熱量は、年間約1,141MJ/m²、単位床面積当たりCO₂排出量は、約0.050t/m²となっています。

② 利用状況

保健センターでは、市健康課が予防接種、健康診断、健康相談、子育て相談等を行うほか、公益財団法人武蔵野健康づくり事業団、社団法人武蔵野市医師会臨床検査センターが検診事業等を行っています。本書では市健康課が行うサービスを対象としており、年間利用状況は下表の通りです。

■年間利用状況（平成21年度）

図表 3-(7) イ-7

サービス		利用人数	サービス		利用人数
予防接種	ポリオ	1,848名	子育て支援	母子健康手帳の交付	1,303名
	三種混合	3,897名		妊婦相談	184名
	二種混合	637名		妊婦健康診査	12,233名
	麻しん・風しん	3,349名		妊婦歯科健康診査	283名
	日本脳炎	10,473名		こうとり学級	234名
	インフルエンザ	12,411名		ペンギン学級	227名
	肺炎球菌	1,872名		もく浴体験クラス	153名
BCG	944名	妊産婦・乳幼児保健指導		6名	
健診・健康相談等	若年層胸部健診	2名		妊産婦訪問・こんこちは赤ちゃん訪問	1,080名
	健康手帳交付	207名		育児学級	41名
	健康教育	205名		もぐもぐ教室	240名
	出前講座	69名		かみかみ教室	238名
	健康講座	205名		ひよこクラス	212名
	健康なんでも相談	1,005名		コアクラス	200名
	保健健康相談	33名		カンガルークラス	20名
	食生活健康相談	29名		育児相談	1,256名
	歯科健康相談	15名		乳児健康診査(3～4か月)	944名
	特定健康診査	21,665名		産後健康診査	930名
	若年層健康診査	393名		乳児健康診査(6～7か月)	910名
	特定保健指導	337名		乳児健康診査(9～10か月)	898名
	生活機能評価	16,641名		乳児精密健康診査	12名
	眼科健診	19,465名	1歳0ヶ月児健康診査	951名	
	胃がん健診	748名	1歳0ヶ月児歯科健康診査	947名	
	乳がん健診	3,346名	1歳0ヶ月児母親歯科健康診査	900名	
	子宮がん健診	7,254名	1歳0ヶ月児保育相談	947名	
	肺がん健診	281名	1歳0ヶ月児精密健康診査	3名	
	大腸がん健診	20,658名	3歳児健康診査	874名	
	健康づくりフォローアップ事業	84名	3歳児精密健康診査	18名	
	腰、軽やか教室	46名	親支援グループミーティング事業	111名	
	骨粗しょう症予防健診	330名	幼児教室	24名	
			こどもクラブ	21名	
			乳幼児発達相談	132名	
			乳幼児歯科相談	2,510名	
			その他健康増進	口腔健康診査	459名
				よい歯のための集い	350名
				歯科健康診査	5,130名
				健康運動指導	5,411名
				軽やか若ひざ体操教室	55名
				筋力はずらつ！若返り教室	34名
				健康づくりの集い～生活習慣病予防～	119名
				かかりつけ薬局推進事業「薬の相談」	424名
		くすりと健康展 来場者数		143名	
		休日診療受診者数		16,885名	
		処方箋受付数	981枚		
		新型インフルエンザ電話相談	1,287件		
		新型インフルエンザ休日診療・薬局	1,117人		

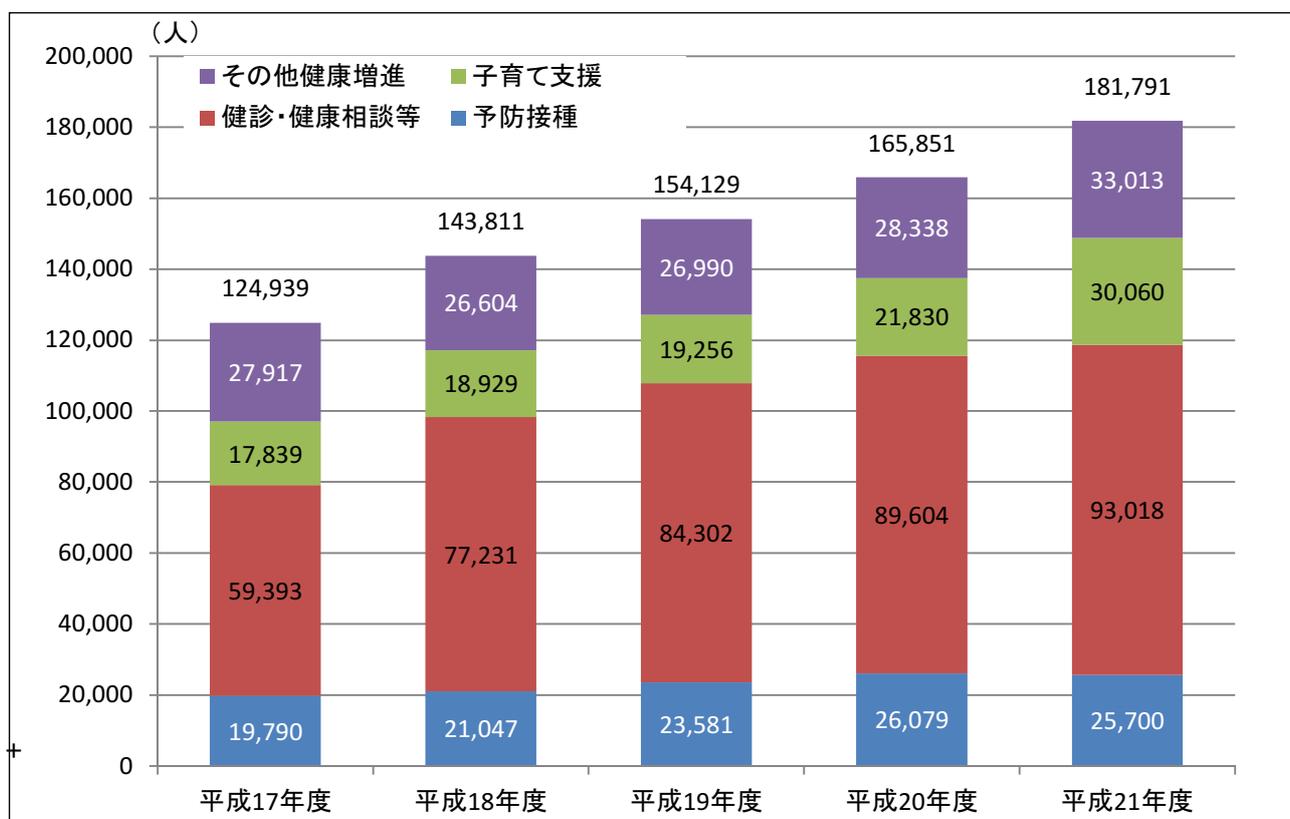
※各サービスの利用人数は、保健センターにおける参加者（受診者）に限らない。市内公共施設、医療機関、薬局等で実施されているものを含む。

■利用状況の推移

保健センターで市健康課が行っている予防接種、健康診断、健康相談、子育て相談等の利用者・参加者数の推移を把握しました。

平成21年度の延人数は18万1,791人です。平成17年度からの推移を見ると、年々増加傾向にあり、特に予防接種の利用者は微増となっていますが、健診・健康相談等の利用者数は5年間で約1.6倍、子育て支援の利用者数は約1.7倍に増加しています。

図表 3-(7)イ-8 保健センター主な業務の利用状況の推移



出典：平成21年度事務報告書

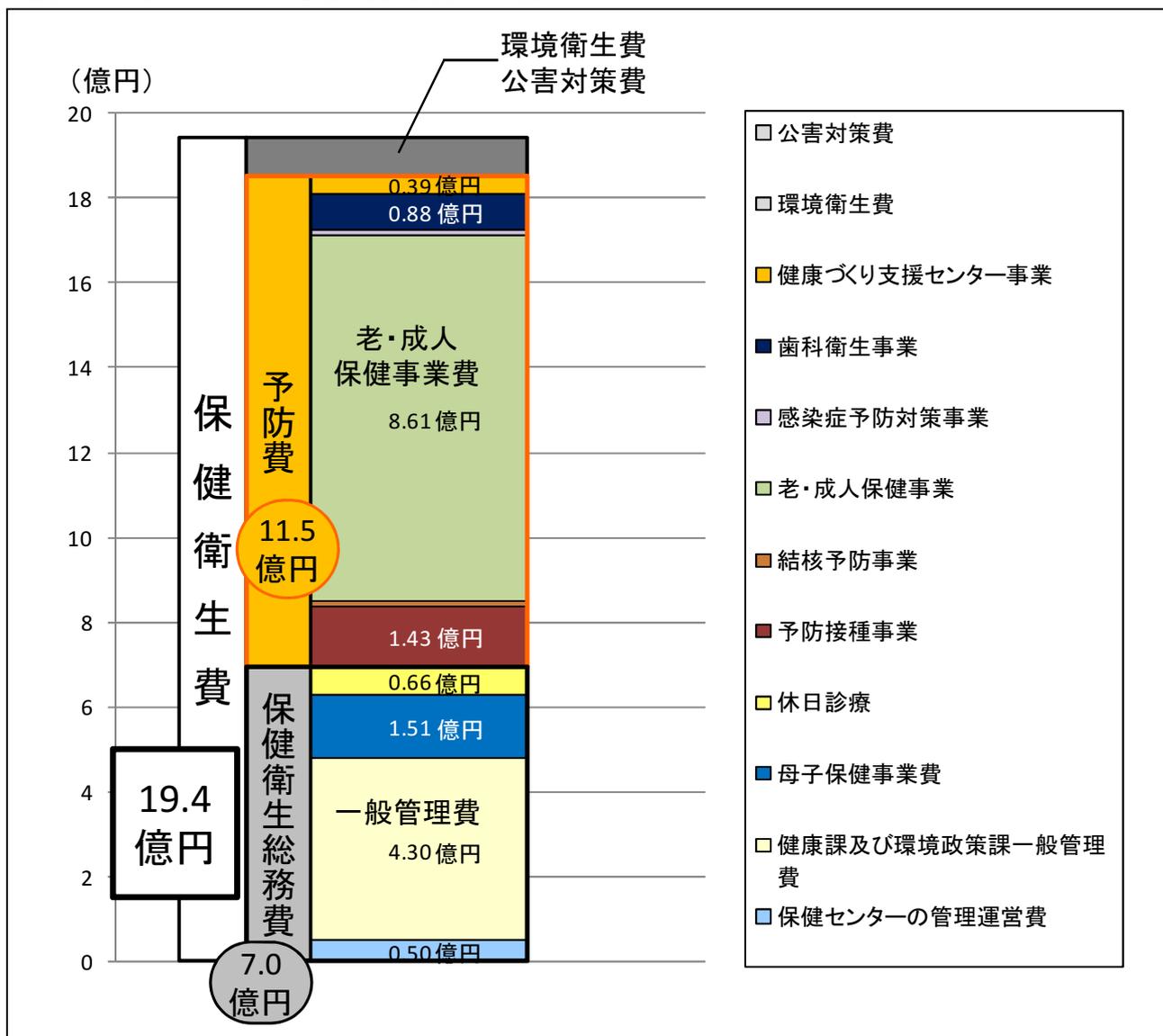
③ コスト状況

市の保健衛生費の平成21年度（決算額）は19億4,158万円です。

内訳をみると、保健衛生総務費が7.0億円(全体の36%)、予防費が11.5億円で全体の59%を占めています。他に環境衛生費、公害対策費が9.1億円となっています。

このうち、保健センターの管理運営費（光熱水費、維持管理委託費、改修修繕費）は年間0.5億円となっています。

図表 3-(7)イ-9 市の保健衛生費(平成21年度)



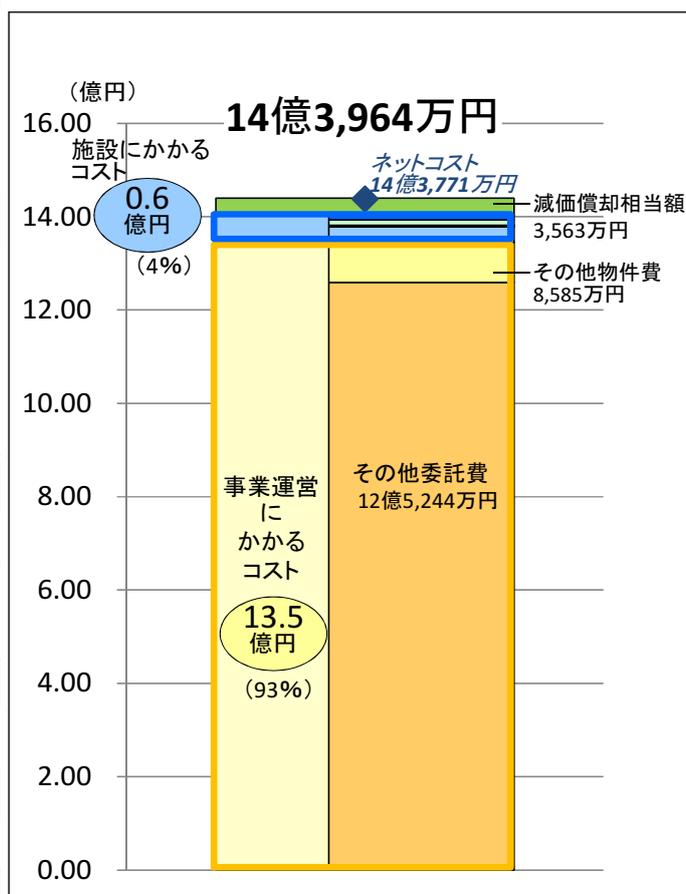
【保健センターのトータルコストの把握】

保健センターの年間トータルコストは、14億3,964万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は5,885万円（4%）、事業運営にかかるコスト（負担金補助及び交付金・その他委託費等）は13億4,515万円（93%）、減価償却相当額は3,563万円（3%）です

図表 3-(7)イ-10 行政コスト計算書(平成21年度)

I. 現金収支を伴うもの		保健センター	(千円)
【コストの部】			
施設にかかるコスト	大規模修繕費	10,773	
	光熱水費	11,449	
	建物管理委託費	32,874	
	土地賃借料	0	
	土地・建物以外賃借料	2,989	
	使用料	63	
	車両・備品購入費	703	
	施設にかかるコスト計	58,851	
事業運営にかかるコスト	運営・企画業務委託	0	
	指定管理委託料	0	
	負担金補助及び交付金	6,875	
	その他委託費	1,252,439	
	その他物件費	85,846	
	事業運営にかかるコスト計	1,345,159	
現金収支を伴うコスト 計		1,404,010	
【収益の部】			
利用料収入	0		
その他使用料(総務使用料)	0		
諸収入	1,929		
現金収支を伴う収益 計		1,929	
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】			
減価償却相当額	35,628		
III. 総括			
コストの部合計(トータルコスト)		1,439,637	
収支差額(ネットコスト)		1,437,709	

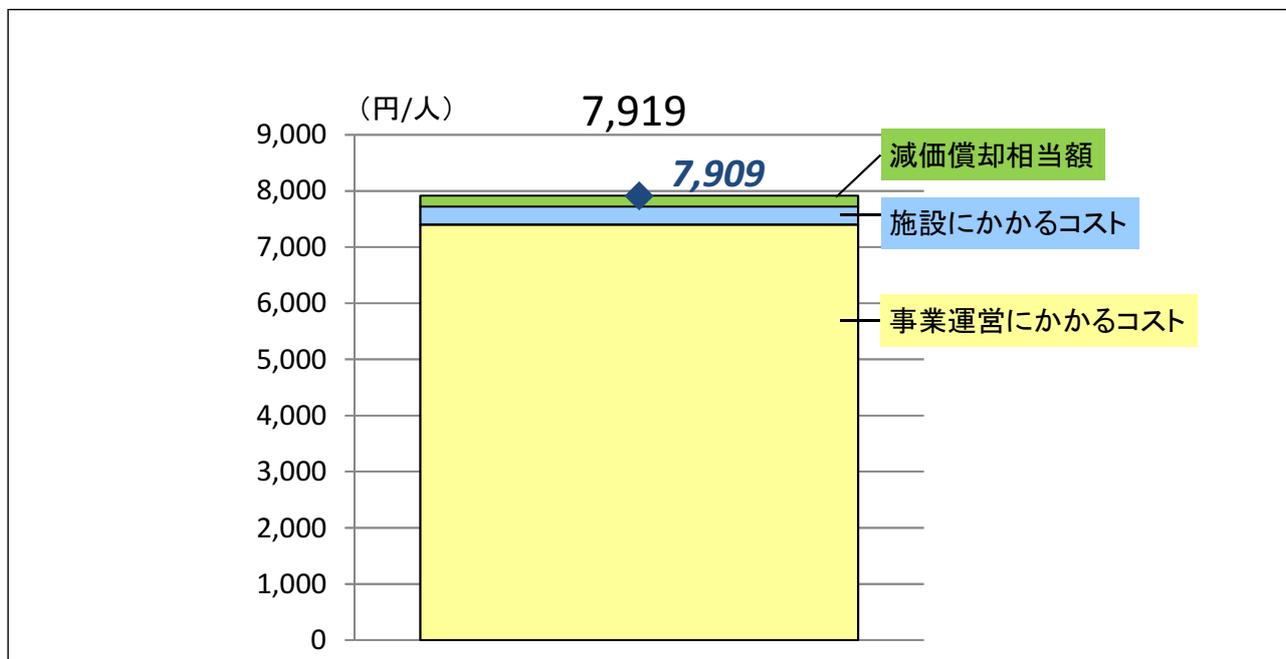


3) 利用状況・運営状況とコスト状況の関係

■ 利用者数とトータルコストの関係（利用者1人当たりコスト）

年間利用者数とトータルコストより利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、7,919円/人となっています。

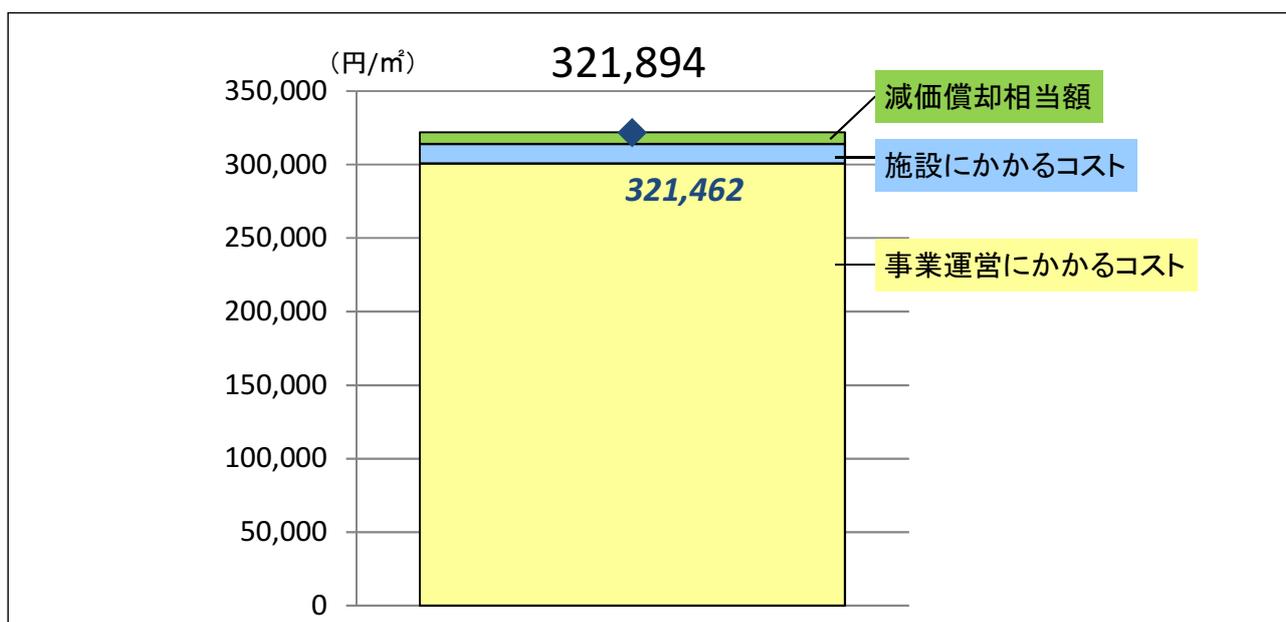
図表 3-(7)イ-11 利用者1人当たりコスト



■ 延床面積とトータルコストの関係（単位床面積当たりコスト）

延床面積とトータルコストより単位床面積当たりにかかるコストを算出すると、32万1,894円/㎡となっています。

図表 3-(7)イ-12 単位床面積当たりコスト



武蔵野市公共施設白書

平成 23 年 9 月

発行 武蔵野市（財務部施設課）

〒180-8777

東京都武蔵野市緑町 2-2-28

TEL 0422-60-1865 FAX 0422-51-9141

E-mail sec-shisetsu@city.musashino.lg.jp